

二〇二四年

# 緑風出版図書目録

現代を探険する



緑風出版

# I 脱原発の社会を考える本

## 原発問題を考える



### 原子力防災の虚構

上岡直見著

四六判上製 256頁 2600円  
ISBN978-4-8461-2316-1 C0036

福島原発事故から10年以上が経過したが、事故の教訓を生かすことなく「令和のインパール作戦」「令和の特攻」が始まっている。方向転換しなければ「令和の敗戦」は避けられない。本書は、原子力防災の全体の構図を捉え返し、およそ不可能な計画の元に組み立

てられた原子力防災の虚構を明らかにし、原発再稼働の無謀な政策を告発する。(2024.1)

#### 【内容構成】

- 1 迫る「令和の敗戦」
- 2 武力攻撃と被害
- 3 原子力防災のしくみ
- 4 被ばくのシミュレーション
- 5 緊急時対応の困難性
- 6 原発をめぐる訴訟と論点
- 7 地域のトピックス
- 8 「令和のインパール作戦」に向かう原子力



### 核問題の隠された真実

ヒロシマから六ヶ所まで

小川進著

四六判並製 236頁 2400円  
ISBN978-4-8461-2311-6 C0036

ウラルの核惨事で爆発したのは、高レベル廃棄物の硝酸溶液である。広島の前爆とチェルノブイリでは短時間の豪雨が深刻な放射能汚染をもたらした。福島原発事故も首都圏まで深刻な汚染を引き起こした。

再処理工場の危険性は、硝酸塩と高レベル廃棄物が集約された大量のタンクによる事故である。1974年の水島製油所の重油流失事故で明らかのように、タンクの安全性は極めて脆弱である。

本書は、六ヶ所再処理工場の有機溶媒の事故についての5本の鑑定書などを中心に、著者の50年の研究成果を分かりやすくまとめ、

核問題の隠された真実を明らかにしたものである。(2023.9)

#### 【内容構成】

はじめに

1. 黒い雨
2. ウラルの核惨事
3. チェルノブイリ原発事故
4. 福島原発事故
5. 核燃料サイクルの建設と裁判
6. 石油備蓄基地の火災による再処理工場への影響
7. タンカーによる海面流出油火災
8. 森林火災延焼による再処理工場への影響
9. 核燃裁判における反論書
10. HEPA フィルターの無効性
11. 高レベル放射性廃液タンクの危険性
12. 冷却水停止事故と空間線量の増加
13. 環境放射能の上昇とがん死
14. 青森県の地震と地下水汚染あとがき



### 汚染水海洋放出の争点

トリチウムの危険性

渡辺悦司・遠藤順子・山田耕作共著

A5判上製 236頁 2700円  
ISBN978-4-8461-2120-4 C0036

2021年4月、政府は福島原発事故による汚染水を海洋に放出することを決定した。公聴会の圧倒的反対、地元漁業関係者や住民、国内ばかりか近隣諸国の反対の声を無視した決定であった。その根拠となった政府「多核種除去設備等処理水の取り扱いに関する小委

員会」の海洋放出案は、さまざまな放射性物質を含む汚染水による海洋汚染、トリチウムの危険性、敷地やタンクの増設や他の処理方法を検討しなかったり、無視した杜撰なものであった。

本書は、トリチウムの危険性と汚染水放出の問題点について、一般読者向けの概括的でやさしく分かりやすい解説書であると同時に、国の放出案を逐次的に批判し、汚染水の海洋放出に反対する人びとの手引き書でもある。(2021.12)

#### 【内容構成】

福島第一原発事故の汚染水を海洋に放出して

はならない

第1章 放射線科学から見たトリチウムの危険性

第2章 トリチウム問題の核心～その人体への影響

第3章 トリチウムの危険性は歴史的に隠蔽

されてきた

第4章 処理水小委員会報告および東電報告批判

第5章 環境放射能汚染とウイルス変異の加速化、パンデミック反復の危険性



## プルトニウム

原子力の夢の燃料が悪夢に

フランク・フォンヒッペル、田窪雅文、カン・ジョンミン著

A 5 判上製 204 頁 2600 円  
ISBN978-4-8461-2116-7 C0036

本書は、核燃料についての考え方の発展の歴史をわかりやすく説明、世界の原子力の現実を解き明かす。そしてプルトニウム経済の危険性に関する考え方を明確かつ簡潔に示し、民生用燃料サイクルにおけるプルトニウムの分離と使用の禁止を提唱する。(2021.10)

## 【内容構成】

第1章 概観／第2章 夢 プルトニウムを動力源とする未来／第3章 民生用プルトニウム分離と核拡散／第4章 増殖炉不在のまま続くプルトニウム分離／第5章 実際よりずっと深刻な福島事故の可能性 稠密貯蔵状態の使用済み燃料プールでの火災／第6章 早期の乾式キャスク貯蔵 稠密貯蔵プールと再処理の両方に対するより安全な代替案／第7章 使用済み燃料の深地下直接処分／第8章 プルトニウム分離禁止論



## 放射線被曝の隠蔽と科学

矢ヶ崎克馬著

A 5 判上製 284 頁 3200 円  
ISBN978-4-8461-2109-9 C0036

本書は、一貫して被曝防護の基準を核推進の国家や企業に有利になるように制定し被害を拡大してきた国際放射線防護委員会などの防護の考え方や防護基準を科学の目で批判し、どうすれば放射線被曝から市民のいのちと暮らしを守れるかを考える。(2021.4)



## 原発避難はできるか

上岡直見著

四六判上製 224 頁 2000 円  
ISBN978-4-8461-2006-1 C0036

原発の重大事故に備えて国・原子力規制委員会の定めた原子力災害対策指針に基づき、道府県・市町村の原発避難計画が策定されている。本書はこれら指針・計画では安全な避難が不可能なことを、全局面において明らかにし、国の被ばく強要政策を問う。(2020.3)



## 原発のない未来が見えてきた

反原発運動全国連絡会編

四六判並製 136 頁 1200 円  
ISBN978-4-8461-1919-5 C0036

1978年創刊以来、『はんげんぱつ新聞』は「国策」に押しつぶされない闘いを粘り強く続けてきた。スリーマイル島、チェルノブイリ、そして福島第1原発事故……うちのめされてもあきらめず、新聞は500号を迎えた。そして原発のない未来が見えてきた。(2019.11)



## 『プルトニウム』紹介 プルトニウムをどうするか

エネルギー問題を根本的に解決する「夢の燃料」となるはずだったプルトニウムは、核拡散と核テロをもたらす悪夢へと変わった。その過程を、日・米・韓の専門家が各国の事例に触れながらまとめている。

そもそも、プルトニウムを用いた長崎用原爆を開発したマンハッタン計画の科学者たちが抱いた夢であった。その実現が米国で放棄された後も、日本は原発の使用済み燃料からプルトニウムを取り出す再処理政策を進め、核兵器

6000発分近くに達するプルトニウムを保有するに至った。そして、原型炉と位置付けられた「もんじゅ」が失敗した後も、六ヶ所再処理工場の運転を断念しない。未来にわたる重荷となっているこの再処理政策を考える上で本書は必読だ。著者たちはすべての国による再処理の放棄を提言し、使用済み燃料を空冷式の乾式貯蔵で最終処分まで保管するという代案を説明する。科学的な記述も平易で読みやすい。

●『世界』2022年4月号より。



## 原発フェイドアウト

筒井哲郎著  
四六判上製 272頁 2500円  
ISBN978-4-8461-1913-3 C0036

福島原発事故後、人びとの見方は着実に脱原発の方に向かっている。しかし、いま福島で進む施策は上辺を糊塗するにとどまり、将来に禍根を残すものである。合理的な選択を行うにはどうしたらよいか、プラント技術者の視点で原発の本質を考える。(2019.7)

☆



## 放射能汚染の拡散と隠蔽

小川進・有賀訓・桐島瞬著  
四六判並製 292頁 1900円  
ISBN978-4-8461-1805-1 C0036

福島第一原発は未だアンダーコントロールになっていない。放射能汚染は現在も拡散中である。政府・東電・自治体・マスコミが一体となって情報操作し、隠し続ける放射能汚染の実態……。福島の人びとは福島から逃げる勇氣を持ってほしい。(2018.3)

☆



## プロブレムQ&A 新・なぜ脱原発なのか？

西尾漢著  
A5判並製 188頁 1800円  
ISBN978-4-8461-1815-0 C0336

福島第一原発の事故を目の当たりにし、原発からの脱却を望むのは当然です。本書は、2003年に発売した『なぜ脱原発なのか？』を、福島原発事故を踏まえ、全面増補改訂したものです。原発に賛成の人も反対の人も改めて、この問題をともに考えましょう。(2018.9)



## 放射能に負けないレシピと健康法

大和田幸嗣著  
A5判並製 88頁 1000円  
ISBN978-4-8461-1724-5 C0036

広島・長崎、チェルノブイリの経験に加え、最新の健康科学や放射能防護研究の成果等を参考にして、放射能に負けない体を作るための食物やレシピ、デトックス(解毒)の方法等を考えた。放射能に対する賢い向き合い方を身につけてほしい。(2017.12)



## 原発は終わった

筒井哲郎著  
四六判上製 268頁 2400円  
ISBN978-4-8461-1721-4 C0036

原発の世界市場からの敗退と発電産業の世代交代は、福島原発事故の帰結でもある。本書は、原発産業を技術的・社会的側面から分析し、電力供給のために、甚大なりリスクを冒して国土の半ばを不住の地にしかねない政策の愚かさを明らかにする。(2017.11)

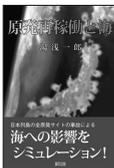
☆



## 放射能は人類を滅ぼす

落合栄一郎著  
A5判上製 196頁 2800円  
ISBN978-4-8461-1623-1 C0036

本書は、放射能の本質を議論し、現在喧伝されている「放射能安全神話」の誤りと、体制側がいかに真実の隠蔽を図っているかを検証する。真実とは、「放射能は命と相容れない、核産業を保持しようとする側は、その真実を隠さざるをえない。(2016.12)



## 原発再稼働と海

湯浅一郎著  
A5判上製 232頁 2800円  
ISBN978-4-8461-1612-5 C0036

安倍政権による原発再稼働が始まった。本書は日本列島に存在する17サイトの原発、六ヶ所再処理施設、米原子力空母が重大事故を起こした場合、いかなる事態になるのか、とりわけ海への影響という観点から個別にシミュレーションする。(2016.7)



## 放射線被曝の争点 福島原発事故の健康被害は無いのか

渡辺悦司・遠藤順子・山田耕作著  
A5判上製 252頁 3000円  
ISBN978-4-8461-1606-4 C0036

福島原発事故から5年。本書は、放射性微粒子の危険性と体内に入ったセシウムやトリチウム(三重水素)等の影響を明らかにすると同時に、汚染水問題や「健康被害はない」と主張する学界への批判を通して、原発事故の恐ろしさを検証する。(2016.4)



## 海・川・湖の放射能汚染

湯浅一郎著  
A5判上製 / 236頁 / 2800円  
ISBN978-4-8461-1410-7 C0036

☆☆

本書は、福島原発事故による海・川・湖の放射能汚染に関するデータを解析。いま何が起きており、いかに生態系と人類を脅かすかを明らかにした労作。海洋環境学の第一人者が自ら調べ上げたデータを基に平易に説く。『海の放射能汚染』の続編。(2014.7)



## 胎児と乳児の内部被ばく 国際放射線防護委員会のカラクリ

長山淳哉著  
四六判上製 272頁 2400円  
ISBN978-4-8461-1313-1 C0036

\*

本書は、放射線の生物や人間への影響、特に内部被ばくに焦点をあて、最新の知見を紹介。放射線をはじめ、有害物質への感受性が極めて高く、もっとも影響をうけるのは胎児と乳幼児だ。これらのライフステージでの研究例を中心に、放射線のリスクを解説する。(2013.6)



## プロブレムQ&A どうする?放射能ごみ [増補改訂新版] (実はずらしに直結する恐怖)

西尾漢著  
A5判変並製 208頁 1700円  
ISBN978-4-8461-1222-6 C0336

\*

原発から排出される放射能ごみ=放射性廃棄物の処理は大変だ。原発のツケを子孫に残さないようにするにはどうしたらいいのか? 増補改訂新版では、福島原発事故による放射能ごみ問題や廃炉問題など新たな事態に応じ、最新データに基づき大幅加筆。(2012.11、初版 2005.1)



## なぜ即時原発廃止なのか

西尾漢著  
四六判上製 240頁 2000円  
ISBN978-4-8461-1221-9 C0336

\*

福島原発事故では20万人近い人が、避難せざるをえなかった。いまこそ脱原発しかない。そして段階的な脱原発より即時全原発廃絶のほうが現実的なのだ。本書は、福島原発事故、政府の原子力政策、核燃料サイクルの現状を総括し、提言する。(2012.11)



## 原発問題の争点 内部被曝・地震・東電

大和田幸嗣・橋本真佐男・山田耕作・渡辺悦司共著  
A5判上製 228頁 2800円  
ISBN978-4-8461-1213-4 C0036

\*

本書は、福島原発事故による低線量内部被曝の脅威、原発の耐震設計の非科学性と耐震設計が不可能であることを自然科学の観点から考察する。また科学者の責任を問い、東電の懲罰的国有化の必要性、原発によるエネルギー生産の永久放棄を提言する。(2012.8)



## がれき処理・除染はこれでよいのか

熊本一規、辻芳徳共著  
四六判並製 200頁 1900円  
ISBN978-4-8461-1211-0 C0036

避難区域への住民の帰還推進が進められる除染事業。しかし放射性物質は除染によって減少することはない。がれき利権と除染利権に群がるゼネコンや原発関連業者。いま必要なのは放射性物質の隔離と住民の避難なのだ。本書は、問題点を丁寧に解説。(2012.6)



## 海の放射能汚染

湯浅一郎著  
A5判上製 192頁 2600円  
ISBN978-4-8461-1209-7 C0036

本書は、福島原発事故による海の放射能汚染を最新のデータで解析、大気圏核爆発・再処理工場・原発などによる海洋の放射能汚染とその影響を総括し、放射能汚染がいかに生態系と人類を脅かすかを明らかにする。海洋環境学の第一人者による労作。(2012.6)



## 放射性廃棄物 原子力の悪夢

ロール・ヌアラ著  
及川美枝訳  
四六判上製 232頁 2300円  
ISBN978-4-8461-1206-6 C0036

\*

本書は私たちを世界の核のゴミ捨て場を巡る不安な旅に誘う。その過程で私たちが驚きと共に発見するのは、原子力産業が常に、原子力について議論する機会を、そして廃棄物を拒否する権利を、市民たちから奪ってきたという事実である。(2012.4)



## 高速増殖炉の恐怖 [三訂増補版] 「もんじゅ」差止訴訟

原子力発電に反対する福井県民会議著  
四六判上製 544頁 4300円  
ISBN978-4-8461-1201-1 C3053

高速増殖炉「もんじゅ」は、1995年に数カ月試運転しただけで、事故により現在まで止まらなかった。2009年までに要した建設費、維持管理費、燃料費は1兆3300億円にも達している。老朽化した「もんじゅ」の危険性は、ますます深刻化している。(2012.2、初版1985.11)



## 原発閉鎖が子どもを救う 乳歯の放射能汚染とガン

ジョセフ・ジェームズ・マンガーノ著  
戸田清、竹野内真理訳  
A 5判並製 276頁 2600円  
ISBN978-4-8461-1121-2 C0036

低線量放射線が子どもたちにガンを引き起こす。本書は平時においても原子炉の近くでストロンチウム90のレベルが上昇するときには、数年後に小児ガン発生率が増大すること、減少するときには小児ガンも減少することを統計的に明らかにする。(2011.12)



## チェルノブイリと福島

河田昌東著  
四六判上製 164頁 1600円  
ISBN978-4-8461-1119-9 C0036

本書はチェルノブイリ事故と福島原発災害を比較検討。福島原発事故が引き起こしつつある土壌や農作物などの放射能による汚染、そして外部・内部被曝による人間への影響を考える。また汚染除去や被曝低減対策など暮らしの中の被曝対策を提言する。(2011.11)



## 放射線規制値のウソ 真実へのアプローチと身を守る法

長山淳哉著  
四六判上製 180頁 1700円  
ISBN978-4-8461-1116-8 C0036

本書は、国際放射線防護委員会(ICRP)などの国際機関や厚生労働省の放射線規制値がいかに甘く、人間の健康に脅威であるかを、科学的に明らかにし、放射線から身を守る方法も提言する。ダイオキシン研究・環境医学研究の第一人者による渾身の書！(2011.10)



## どう身を守る？放射能汚染

渡辺雄二著  
四六判並製 192頁 1600円  
ISBN978-4-8461-1114-4 C0036

放射能汚染は、特に食物や呼吸を通じた内部被曝によって、長期的に私たちの身体を蝕み、健康を損なわせる可能性があります。一刻も早く放射性物質を排除していかねばなりません。本書は、各品目別に少しでも放射能を減らしていく方法を伝授します。(2011.9)



## 低線量内部被曝の脅威 原子炉周辺の健康破壊と疫学的立証の記録

ジェイ・マーティン・グールド著  
肥田舜太郎・斎藤紀・戸田清・竹野内真理共訳  
A 5判上製 388頁 5200円  
ISBN978-4-8461-1105-2 C0036

本書は米国の核施設がもたらす健康被害について、アメリカ全土3,053の郡における人口および死亡数を追跡。18のグループ別年間調整死亡率を5年を1期間とした3期間を通じて割り出すという徹底した疫学調査をもとに、簡明な図表と明快な論調で解説。(2011.3)



## 破綻したプルトニウム利用 政策転換への提言

原子力資料情報室、原水禁編著  
四六判並製 220頁 1700円  
ISBN978-4-8461-1008-6 C0036

原発の使用済み燃料から再処理工場でプルトニウムを抽出し高速増殖炉で燃料として使用する「核燃料サイクルシステム」が、すでに破綻しており、いかに危険で莫大なムダであるかを科学的根拠に基づいて分析し、政府の政策の転換を提言。(2010.7)



## プロブレムQ&A 原発は地球にやさしいか (温暖化防止に役立つというウソ)

西尾漢著  
A 5判並製 152頁 1600円  
ISBN978-4-8461-0814-4 C0336

原発は「温暖化防止のため」とか、「地球に優しいエネルギー」などと宣伝されている。原発のCO<sub>2</sub>発生量は少ないというのが根拠らしいが、実際はどうか？ 本書はこれらの疑問に答え、原発が温暖化防止に役立つというウソのウソを明らかにする。(2008.9)



プロブレムQ&A  
**むだで危険な再処理**  
[いまならまだ止められる]

西尾漢著  
A 5判変並製 160頁 1500円  
ISBN978-4-8461-0702-4 C0336

☆ 高速増殖炉の開発も、プルサーマル計画も頓挫しているのに、事故や核拡散の危険性の大きい「再処理」をなぜ強行しようとするのか。世界的にみてもそのまま廃棄物とする「直接処分」が主流だ。本書はムダで危険な再処理問題をQ&Aでやさしく解説。(2007.12)



**原発の即時廃止は可能だ**

ロジェ&ベラ・ベルベオーク著  
桜井醇児訳  
四六判上製 184頁 1800円  
ISBN978-4-8461-0710-9 C0036

原子力発電所は、稼働年数が経つほど回復不能な重大事故の可能性が高い。チェルノブイリの状況を防ぐ方法はないのか？ 原発大国フランスで、電力消費をさほど落とすことなく、原発の即時廃止が可能であると説く本書は、日本にも当てはまる。(2007.8)



**核廃棄物は人と共存できるか**

マルチヌ・ドギオーム著  
桜井醇児、ル・パップ・ジャン＝ポール訳  
四六判上製 180頁 1700円  
ISBN4-8461-0113-4 C0042

☆ 原発などから出る放射性廃棄物の処分は、固有の毒性のため極めて困難だ。しかも、影響が弱くなる半減期がプルトニウムの場合で2万4000年。本書は原子力大国フランスの核廃棄物処理問題の分析を通じ、放射性廃棄物が人類と共存できないことを解説。(2001.11)



クリティカル・サイエンス②  
**核燃料サイクルの黄昏**

緑風出版編集部編  
A 5判並製 244頁 2000円  
ISBN4-8461-9814-6 C0342

もんじゅ事故などに見られるように日本の原子力エネルギー政策、核燃料サイクル政策は破綻を迎えている。本書はフランスの高速増殖炉解体、ラ・アーグ再処理工場の汚染など、国際的視野を入れ、現状を批判的に総括したもの。(1998.11)



**高速増殖炉もんじゅ事故**

緑風出版編集部編  
四六判並製 296頁 2500円  
ISBN4-8461-9610-0 C0053

地球上最悪の猛毒プルトニウムを燃料とする高速増殖炉もんじゅで、予想されていた重大事故が発生した。本書ではこのナトリウム漏洩事故の全貌を、動燃や原発行政も含むあらゆる角度から分析し、もんじゅ廃炉を訴える。(1996.4)



『脱原発の経済学』書評  
**「原発のウソ」のどこがウソなのか**

原発は火力や水力など、他のどの発電方法よりも安いのだと言われてきた。しかも安全でクリーンでCO<sub>2</sub>を出さないので地球環境にも優しいのだと。

何もかも大ウソ以外の何物でもなかったと、今なら誰もが知っている。だが、すでに四半世紀以上も前に、原発ローコスト論のまやかしを暴き、白日の下に晒した経済学者がいた。本書の著者・熊本一規だ。

いわゆる原子力ムラのプロバガンダでかき消されていた真実が甦った。彼によれば1980年代の資源エネルギー庁は、設備利用率を実態より高く設定して、原発のコストを都合よくでっち上げていた。その後も算定方法や計算式に当てはめる耐用年数、割引率、燃料上昇率等々を恣意的に改める小細工の繰り返し。

使用済み燃料の再処理や処分、それら諸施設の廃止に至る「バックエンド」の費用がコストに算入され始めたのは、ようやく1999年度になってからだった。曖昧すぎる数字の根拠が2004年度の試算で多少は示されたと思ったら、今度は高レベル廃棄物の最終処分場のコストをたったの80年分しか見積もらなかった。半永久的に管理し続けなければならないのではなかったのか。

他にも、反原発の運動圏で常識化した「電力料金を決定している総括原価主義は、原発を造れば造るほど儲かる仕組み」だという俗説の誤りが指摘されたりと、目からウロコの読みどころが満載だ。原発コストの問題は、実質国有化や発送電分離など、これから噴き出してくる東京電力の経営形態見直しのテーマとも、当然のように結びつく。早めに理論武装しておこう。

【斎藤貴男】

◎『サンデー毎日』2012年3月3日 3・4号より。

# 原子力社会を告発する



## 原子力市民年鑑 2023

原子力資料情報室編  
A5 並製 306 頁 4500 円  
ISBN978-4-8461-2304-8 C0036

原子力をめぐる最新情報と、原子力の現状をめぐる課題を市民目線で解説。

圧巻は、原発ごとに、また核燃料サイクルや事故、放射能、産業などのテーマごとに満載している図表。

編者は、1975年に設立され、非営利の調査研究機関として現在まで活動を続ける「原子力資料情報室」。原子力に関する、現代の必携データブックとしてご活用ください。

(2023.5)

### [内容構成]

はじめに

### 巻頭論文

旧年版掲載の主要データ一覧

文明の曲り角 原子力発電をやめるとき (山口 幸夫)

原発急旋回の経緯とその問題点 (松久保 肇)

高レベル放射性廃棄物処分地選定をめぐる動き (伴 英幸)

第 I 部 データで見る日本の原発

第 II 部 データで見る原発をとりまく状況

プルトニウム／核燃料サイクル／廃棄物／事故／福島第一原発事故／地震／被曝・放射能／核兵器・核物質防護／世界の原発／原子力行政／原子力産業／輸送／エネルギー／その他

原子力関係略語表

元素記号表

原子力年表

キーワードで索引する図表索引



## 核のない未来を願って

松井英介遺稿・追悼集

松井英介遺稿・追悼集編集委員会編  
四六判上製 528 頁＋口絵カラー 8 頁  
3400 円  
ISBN978-4-8461-2119-8 C0023

3・11 以降、専門医として低線量被曝に警鐘を鳴らし、子どもへの影響を心配して乳歯中のストロンチウム90を測定する組織を立ち上げた医師・松井英介。反核平和、人権、環境、国際連帯などを掲げ、核なき未来を目指して闘った医師の遺稿・追悼集！ (2021.11)

### [内容構成]

松井英介さん遺稿・追悼集の刊行にあたって

I 英介ライブラリー

一九八〇年～自由な時間を生きる

一九九〇年～NO DAM! 「河口ダム」

建設現場から、日本の「川」を問う！

二〇〇〇年～水俣は終わっていない

二〇一〇年～二〇二〇年子どもが人間らしく成長できる社会を

II 追悼

松井英介 年譜

あとがき

お世話になったみなさまへ



## 脱原発・脱炭素社会の構想

原水禁エネルギー・シナリオ

原水爆禁止日本国民会議編著  
A5 判並製 152 頁 1700 円  
ISBN978-4-8461-2114-3 C0036 ☆

福島第一原発事故以降、エネルギーを取り巻く環境が大きく変化した新状況を踏まえた、原水爆禁止日本国民会議（原水禁）の政策提言。脱原発・脱炭素社会を構想しながら、2030年までに原発ゼロ・石炭火力をゼロとする新エネルギー政策を提言する！ (2021.7)

### [内容構成]

総論 2030年原発ゼロ・石炭火力ゼロの日本をめざして (長谷川公一)

第 1 部 課題

1 原子力・核燃料サイクル政策の破たん (末田一秀) / 2 原子力が地域の重荷となる現実 (藤堂史明) / 3 石炭火力の現状と課題 (桃井貴子)

第 2 部 可能性

1 世界と日本の自然エネルギーの現状と展望 (松原直直) / 2 持続可能な地域づくりとエネルギーの大転換 (手塚智子) / 3 長期エネルギー需給予測 (松久保肇)



**原発時代の終焉**  
東京電力福島第一原発事故10年の帰結

小森敦司著  
四六判上製 196頁 1800円  
ISBN978-4-8461-2104-4 C0036

☆

東京電力の原発事故が福島の人びとにいか  
に犠牲を強いてきたのか？ 原発推進がす  
でに経済的に破綻し、国民全体の犠牲につな  
がるものであったのか？ しかし一方で、再生  
可能エネルギーが大きく成長し、原発依存の  
時代は終焉を迎えようとしている。(2021.2)



**核被害の歴史**  
ヒロシマからフクシマまで

稲岡宏蔵著  
A5判上製 376頁 3600円  
ISBN978-4-8461-2024-5 C0036

☆

本書は、核時代の歴史の変遷の中で、核被  
害者の人権と加害者の責任に焦点をあてて歴  
史を総括。ヒバクシャをはじめとする世界の  
人びとが、反核平和・反原発のたたかいを通  
じて、核廃絶のためにどのように苦闘してき  
たかを考察した労作。(2020.12)



**科学者の社会的責任を問う**

荻野晃也著  
四六判上製 272頁 2500円  
ISBN978-4-8461-2014-6 C0036

湯川秀樹らの集う原子力研究のメッカで、  
反旗を翻して反原発運動の黎明期に活動。「全  
国原子力科学技術者連合」(全原連)の組織化  
に邁進し、「伊方原発訴訟」の弁護補佐人と  
して安全性論争を担った著者の闘いの軌跡。  
科学者の社会的責任を改めて問う。(2020.8)



**告発・原子力規制委員会**  
被ばくの実験台にされる子どもたち

松田文夫著  
四六判並製 208頁 1800円  
ISBN978-4-8461-2008-5 C0036

福島第一原発の事故後、国が大幅に緩和し  
た被ばく限度20ミリシーベルトの値は、そ  
の理論的根拠が明確ではなく、その値を規定  
する法律もない。本書では、子どもたちを被  
ばくの実験台にしようとするのは、いったい  
誰なのか——それを明らかにする。(2020.4)



**原子力市民年鑑 2018-20**

原子力資料情報室編  
A5判並製 332頁 4300円  
ISBN978-4-8461-2004-7 C0036

☆

原子力をめぐる状況を市民の目線で解説。  
圧巻は、原発ごとに、また、核燃料サイクル  
や事故、放射能、産業などのテーマごとに満  
載の図表。必携のデータブック。(2020.3)



**反原発運動四十五年史**

西尾淳著  
四六判上製 324頁 2500円  
ISBN978-4-8461-1921-8 C0036

☆

日本の反原発運動は、原発建設予定地にお  
ける反対運動から、海外の原発事故を経て、  
市民・労働者に拡がり、福島第一原発事故に  
よって、大きく変貌した。『はんげんぱつ新聞』  
編集長である著者による反原発・脱原発運動  
最前線の闘いの生々しい45年史！(2020.12)



**原発は日本を滅ぼす**

青谷知己・小倉志郎・草野秀一・後藤政志・  
後藤康彦・山際正道共著  
四六判並製 230頁 1800円  
ISBN978-4-8461-2001-6 C0036

☆

福島原発事故とはどのような事故だったの  
か、原発とはどのようなものなのか、放射能  
汚染とは何なのか、放射性廃棄物をどうする  
のか、など、複数の原発メーカーの技術者と、  
高等学校の現・元教員らが、可能な限りやさ  
しくコンパクトに整理した。(2020.1)



**東京五輪がもたらす危険**  
いまそこにある放射能と健康被害

東京五輪の危険を訴える市民の会編著  
渡辺悦司編集  
A5判並製 216頁 1800円  
ISBN978-4-8461-1914-0 C0036

東京五輪の開催が、参加者らにもたらす放  
射線被曝の恐るべき危険性を警告。また原発  
事故の影響は制御されているとの首相発言が、  
いかに誤りであるかを科学的医学的に明らか  
にする。科学者・医師・避難者・市民の声を  
網羅的に収録した注目の書。(2019.9)



## 福島原発事故の謎を解く

小川進・桐島瞬著  
四六判並製 176頁 1600円  
ISBN978-4-8461-1909-6 C0036

福島第一原発事故は謎が多い。解明されていない問題点が多々ある。本当に水素爆発だったのか？放射能汚染の拡散は実際どうだったのか？また福島原発に労働者として潜入、驚くべき内部の実態を告発する。原発推進派とも反原発派とも異なる事実の報告！（20194）



## 放射能を喰らって生きる 浜岡原発で働くことになって

川上武志著  
四六判並製 252頁 2000円  
ISBN978-4-8461-1807-5 C0036

職場が浜岡原発と聞いたとき、真っ先に浮かんだのは「被曝」の二文字だった。以前、原発で働いているときは、まさに被曝要員としての歴史だったからである。  
「放射能を喰らって生きている原発労働者なんて、虫けら以下の存在だ！」



## 原発に抗う 『プロメテウスの罫』で問うたこと

本田雅和著  
四六判上製 232頁 2000円  
ISBN978-4-8461-1621-7 C0036

私の足下には「津波犠牲者」と呼ばれる死者たちが、今や骨の断片と化して眠っているはずだ。実はその多くが、原発事故により、捜索から取り残された犠牲者でもある……5年を経て、何も解決していない。フクシマに生きる記者の現場からの報告。（201611）



## フクシマの荒廃 フランス人特派員が見た原発棄民たち

アルノー・ヴォレラン著  
神尾賢二訳  
四六判上製 212頁 2200円  
ISBN978-4-8461-1620-0 C0036

本書は、フランスの日報紙『リベラシオン』の特派員が、福島第一原発事故の除染・廃炉作業に携わる労働者などフクシマの棄民たちから原子力村の面々までを独自の取材とインタビューでまとめた迫真のルポルタージュである。（201611）



## チェルノブイリの嘘

アラ・ヤロシンスカヤ著  
村上茂樹訳  
四六判上製 552頁 3700円  
ISBN978-4-8461-1603-3 C0036

本書は、国会議員となって怒り立ち上がる民衆の先頭に立った著者による、ペレストロイカ時代のチェルノブイリ事故からソヴェト体制の崩壊、腐敗したウクライナ政府との闘いまで、当事者でしか書けないチェルノブイリ・ドキュメント。（20163）



## チェルノブイリの犯罪【上巻】 核の収容所

ヴラディーミル・チェルトコフ著  
中尾和美、新居朋子、髭郁彦訳  
四六判上製 608頁 3700円  
ISBN978-4-8461-1505-0 C0036

本書は、チェルノブイリ原発事故惨事の影響を克明に明らかにしているだけではない。国際原子力ロビーの専門家や各国の政府が事実を隠蔽するばかりか、いかに迫害しているかを白日の下に明らかにする。膨大な数のインタビューが犯罪を告発してする。（20154）



## チェルノブイリの犯罪【下巻】 核の収容所

チェルトコフ著 中尾和美、新居朋子監訳  
中尾和美・コリンコバヤシ・新郷啓子訳  
四六判上製 572頁 3700円  
ISBN978-4-8461-1513-5 C0036

国際原子力ロビーによる欺瞞を軸に、意志に反して反逆者とならざるを得なかった、物理学者のネステレンコ、解剖病理学者のパンダジェフスキーの2人の科学者らの闘い、そして森と湖の国ベラルーシの放射能汚染の恐るべき実態を明らかにする。（20159）



## 非除染地帯 ルポ 3・11後の森と川と海

平田剛士著  
四六判上製 168頁 1800円  
ISBN978-4-8461-1414-5 C0036

東京電力福島第一原発の過酷事故発生以降、除染対象から外れた「非除染地帯」の森・川・海では、今も大量の放射能が生態系をめぐり続けている。被災地の「山の幸」「海の幸」はいつ元通りに戻るか——答えを探して各地を歩き回った。（201410）



**どんぐりの森から**  
原発のない世界を求めて

武藤類子著  
四六判並製 212頁 1700円  
ISBN978-4-8461-1407-7 C0036

☆☆

福島森を自ら開墾し、小さな喫茶店を営みながら、自然と寄り添い生きてきた著者は、チェルノブイリ以後、脱原発の運動も長年続けてきた。本書は、そんな彼女が3・11以後発信し続けた講演会や集会での発言をまとめたものである。(2014.4)



**原発は滅びゆく恐竜である**  
水戸巖著作・講演集

水戸巖著  
A5判上製 328頁 2800円  
ISBN978-4-8461-1403-9 C0036

☆☆

反原発運動の黎明期を切り開き、その生涯をかけて闘いぬいた原子核物理学者・水戸巖。本書は、彼の論文・講演等の文章を集め構成したものである。その文章の端々から、放射能汚染による人体への致命的影響が驚くべきリアルさで迫ってくる。(2014.3)



**原発の底で働いて**  
浜岡原発と原発下請労働者の死

高杉晋吾著  
四六判上製 216頁 2000円  
ISBN978-4-8461-1402-2 C0036

☆

廃炉こそが唯一の選択肢である。本書は、浜岡原発労働者の死を縦糸に、浜岡原発の危険性の検証を横糸に、そして、3.11を契機に、経営者の中からも上がり始めた脱原発の声を拾い、原発のない未来を考えるルポルタージュ。(2014.2)



**原発大国とモノリザ**  
フランスのエネルギー戦略

竹原あき子著  
四六判上製 208頁 2200円  
ISBN978-4-8461-1322-3 C0031

☆☆

巨大な中央集権的官僚主義と、利権企業団体が原発を取り巻くフランスと日本。美術品貸与の見返りに原子炉と核燃料を輸出する。本書は、原発大国フランスのエネルギー戦略の現状とその転換の実態をルポ。(2013.11)



**歴史物語り 私の反原発切抜帖**

西尾漢著  
四六判上製 232頁 2000円  
ISBN978-4-8461-1321-6 C0036

☆

電力危機を訴える電気事業連合会の広告に疑問をもったことなどから、反原発運動に関わるようになって40年。原子力資料情報室共同代表で『はげんぱつ新聞』編集長の著者による、自分史を重ね合わせた運動史。運動当事者の視点から遊び心も加えて軽妙に語る。(2013.11)



**東大闘争と原発事故**  
廃墟からの問い

折原浩・熊本一規・三宅弘・清水靖久著  
四六判上製 304頁 2500円  
ISBN978-4-8461-1316-2 C0036

\*

1945年の敗戦の廃墟からだけでなく、1969年の大学闘争の廃墟から、東日本大震災と原発事故の第三の廃墟を考える。大学闘争を闘ったかつての学生たちが、経緯と問題について語り、科学者の責任を問うとき、共に歴史をつくりだしていけるだろう。(2013.7)



『原発時代の終焉』書評  
**事故から十年、原発時代を掘り下げたドキュメント**

福島原発震災から十年の歳月が流れた。東京電力福島第一原発の原子炉が相次いでメルトダウンを起こし、建屋が次々と水素爆発を起こしたときの恐怖感は、未だまざまざと残っている。(…)本書はシビリアン・アクシデントを起こし、収束作業の目処も立たない今日なお続いている原発時代を掘り下げ、調査報道によって幾多の問題点を浮き彫りにした新聞記者のドキュメントである。

(…)国と電力会社は、事故への備えのハードルを下げ、事故や被害を過小評価することに汲々とし、再稼働を進める。膨れ上がる事故対応の費用まで国民に負担させ続ける一方で、原発推進派がいかに原発ゼロの声を恐れているかも本書から明らかになる。「原発が存続できるという理由や理屈を見いだせない」と述べる著者の述懐は、広く理解されるはずだ。事故からこの十年、原発時代が終焉していない責任は、当の私たちにある。

【桜井裕三・ジャーナリスト】

◎『図書新聞』2021年3月20日付より。



## チェルノブイリ人民法廷

ソランジュ・フェルネクス編  
竹内雅文訳  
四六判上製 408頁 2800円  
ISBN978-4-8461-1301-8 C0036

チェルノブイリ事故の10年後、チェルノブイリ国際医療委員会(IMCC)は、数十万人に及んだ死亡者、畸形や障害など様々な健康被害、および救援活動の実態を調査してきた。本書は同委員会の提案を受けて開催された人民法廷の全記録である。(20132)



## 終りのない惨劇

チェルノブイリの教訓から

ミシェル・フェルネクス、ソランジュ・フェルネクス、ロザリー・バーテル著/竹内雅文訳  
四六判上製 216頁 2200円  
ISBN978-4-8461-1205-9 C0036 \*

チェルノブイリ原発事故から25年目。本書は、国際原子力機関(IAEA)や世界保健機関(WHO)がどのようにして死者数や健康被害を隠蔽しているのかを明らかにし、被害の実像に迫る。いま同じことがフクシマで始まっている……。(20123)



## 東電の核惨事

天笠啓祐著  
四六判並製 224頁 1600円  
ISBN978-4-8461-1111-3 C0036

電力会社は「オール電化」を推進して電力需要の拡大を図り原発建設、政府はそれを後押しし、原発に依存する社会を作ってきた。本書は福島第一原発事故を、これまでの原発事故史のなかに位置づけ、原発のない社会への転換を促す。(20117)



## チェルノブイリの惨事 [新装版]

ペラ&ロジェ・ベルベオーク著  
桜井醇児訳  
四六判上製 224頁 2400円  
ISBN978-4-8461-1106-9 C0036 \*

チェルノブイリ原発事故では必要とされた100万人の住民避難が行われず、子供を中心に白血病、甲状腺がんの症例・死亡者が増大した。本書はフランスの反核・反原発の2人の物理学者が、1993年までの事態の進行を克明に分析し、告発する。(20114、旧版1994.12)



## ドキュメント チェルノブイリ [新装版]

松岡信夫著  
四六判上製 382頁(グラビア16頁) 2500円  
ISBN978-4-8461-1107-6 C0036 ☆\*

本書はソ連体制下の報道管制的網をかいくぐり、チェルノブイリ原発事故の真実を伝えた労作。現地各紙誌を原資料として全過程とその影響が深刻化する二年間の動きを忠実に追ったドキュメント。福島第一原発事故の近未来を明らかにする。(20114、初版1988.8)



## 反原発運動マップ

反原発運動全国連絡会・編  
A5判並製 320頁 2800円  
ISBN4-8461-9716-6 C0036

チェルノブイリ原発事故から10年。先進各国の脱原発の歩みが加速する中、日本は高速増殖炉・核燃料再処理工場の建設など原発大国への道を突き進んでいる。本書は全国の原発と闘う反原発運動の担い手による最新の日本の反原発マップである。(1997.10)



### 『科学者の社会的責任を問う』書評 原発危険性 半世紀訴え 訴訟や反対貫く苦悩つづる

(...) 遺著「科学者の社会的責任を問う」は、がん告知された3年前から執筆を始めた。荻野さんは同著で、70年前後の大学が原発推進一色で、初期の反原発運動に対し科学者たちが冷淡だったことをつづる。荻野さんは活断層説に立って証言する地震学者を探し回ったが、地震学者たちは官庁や大企業の協力で地質調査していることを理由に「私の学生生命を断つ気ですか」などと断り、やむなく荻野さんが活断層説

を調査研究して法廷で証言した。

電力会社が「企業秘密」だと核燃料棒データを公開しなかったこと、微量放射線の危険性や炉心熔融リスクを指摘しても国側証人の科学者たちが否定したことなど、福島第1原発事故前の原発訴訟の経過と科学者の姿勢を振り返っている。荻野さんは「原発推進のための教室の関係者として苦しい選択であった」と書き、組織の中で一人反対の声を貫く苦しさも垣間見える。(…)

【岡本晃明】

●『京都新聞』2020年9月7日付より。

# 世界が見た 福島原発災害

大沼安史著

政府・東電・御用学者・マスコミは、一体となった情報操作により、福島原発災害の真実と放射能汚染の深刻さを隠蔽し続けている。  
海外メディアのみが事故と被ばくの全貌と真実を伝えている。



## ① 海外メディアが報じる真実

四六判並製 280頁 1700円  
ISBN978-4-8461-1108-3 C0036

☆ 福島原発災害は、政府・東電・マスコミの大本営発表と御用学者の楽観論評で、緩慢なる被曝ジェノサイドが始まっている。本書は、福島原発災害を伝える海外メディアを追い、政府・マスコミの情報操作を暴き、事故と被曝の全貌と真実に迫る。(2011.5)



## ② 死の灰の下で

四六判並製 396頁 1800円  
ISBN978-4-8461-1117-5 C0036

☆ 政府・東電・マスコミは情報隠しをしていないというが、私たちは瞞されている。そして政治的無策のなか、死の灰の下で確実に〈殺されていく〉。好評の既刊に引き続き、海外メディアの徹底した収集と読み解きで描く〈ポスト3.11〉の日本。(2011.11)



## ③ いのち・女たち・連帯

四六判並製 320頁 1800円  
ISBN978-4-8461-1203-5 C0036

☆ 3.11から1年、「国の責任において子どもたちを避難・疎開させよ！ 原発を直ちに止めてください！」—フクシマの女たちが子どもと未来を守るために立ち上がる。一方、政府の「冷温停止状態」という収束宣言は、「見え透いた嘘」と世界の物笑いに。(2012.3)



## ④ アウト・オブ・コントロール

四六判並製 364頁 2000円  
ISBN978-4-8461-1503-6 C0036

☆ 3.11から4年……安倍政権は福島原発事故が「アンダー・コントロール」されていると世界に宣言して、東京オリンピックの誘致に成功した。しかし事態は深刻化するばかり。本書は、海外メディアが報じた隠蔽できない真実を明らかにする。(2015.3)



## ⑤ フクシマ・フォーエバー

四六判並製 292頁 2000円  
ISBN978-4-8461-1617-0 C0036

☆ 福島第一原発事故から5年、政府・マスコミは事故を過去のものとして風化させようとしている。しかし海外メディアが伝えるフクシマの現実には恐るべきものがある。本書は、日本のメディアが絶対に伝えない真実を明らかにする。(2016.9)



## ⑥ 核の地獄を超えて

四六判並製 304頁 2000円  
ISBN978-4-8461-1716-0 C0036

☆ 福島第一原発事故から6年、海外メディアが伝えるフクシマの核の地獄！ 沈黙しフェイク・ニュースを流す国内メディア……本書は、海外メディアが伝える「フクイチ」の恐るべき現実、日本のメディアが絶対に伝えない真実を明らかにする第6弾！(2017.09)



## ⑦ ニッポン原子力帝国

四六判並製 312頁 2000円  
ISBN978-4-8461-1906-5 C0036

☆ 人口減の中、南相馬市立総合病院のガン患者急増の現実。「原子力緊急事態宣言」=放射線業務従事者許容基準を一般国民に適用=も解除されないまま、日本人は「緩慢なる死」を迎えるのか？ 福島第一原発事故から8年、海外メディアが伝える驚愕の現実！(2019.3)

# エコロジカルな社会をどうつくるか



## 科学・技術倫理とその方法

唐木田健一著  
四六判上製 234頁 2400円  
ISBN978-4-8461-2117-4 C0040

倫理的問題は、昨今の諸事例からも明らかのように、誰もが巻き込まれ得ます。本書は、組織／社会における倫理的問題を解決するための方法を提供します。それは、とりわけ科学・技術分野において、職務上要求される思考と極めて親近性の高いものです。(2021.9)

### [内容構成]

- 1章 ルールとの関係
  - 1 日常の問題
  - 2 「お手本」について
  - 3 アメリカにおける倫理規程とその運用
  - 4 とくに注意すべき事項

- 2章 ルールを超えた場合の方法：倫「理」
  - 1 方法
  - 2 本多勝一「なぜイルカなのか」
  - 3 朝永振一郎「核抑止政策の矛盾」
  - 4 山本義隆「丸山真男の場合」
  - 5 柴谷篤弘「ネオ・アナーキズム」
  - 6 「反倫理」の生態
  - 7 方法への補足
- 3章 組織／社会における科学者・技術者
  - 1 ファインマン氏、ワシントンに行く
  - 2 西村肇「水俣病原因追究」をめぐる
  - 3 JCO臨界事故
  - 4 アインシュタインの手紙と原発
- 4章 「倫理」を別の角度から眺めてみる
  - 1 村井実「よさ」
  - 2 デヴィッド・ボーム「全体的運動」
- 5章 日本社会における人間関係
  - 1 「和」の社会とその課題
  - 2 現代社会と情報技術



## 電力改革の争点 原発保護が脱原発か

熊本一規著  
四六判上製 204頁 2200円  
ISBN978-4-8461-1709-2 C0036

本書は、「電力システム改革貫徹」がいかに違法で有害無益な政策であるかを、また、膨大な「放射能で汚染された廃棄物・土壌」の処理が、国民の健康への脅威を計り知れないものにする、とんでもない放射能拡散政策であることを明らかにする。(2017.6)



## 電力改革と脱原発

熊本一規著  
四六判上製 200頁 2200円  
ISBN978-4-8461-1420-6 C0036

日本政府は「エネルギー基本計画」において、原発を「重要なベースロード電源」と位置づける。また放射能で汚染された廃棄物の規制を大幅に緩和し、汚染を全国に拡散させている。本書は、政府の論理を理論的・実証的に論破し、脱原発・脱汚染を解く。(2014.12)



## 変貌する世界の緑の党 草の根民主主義の終焉か？

E・ジーン・フラン克蘭ド、ポール・ルカルディ、ブノワ・リウー 編著／白井和宏訳  
四六判上製 460頁 3600円  
ISBN978-4-8461-1320-9 C0031

今や世界的な存在となった緑の党。かつてエコロジーの旗を掲げた小政党と認識されたこれら政党も、欧州各国で短期間に連立政権に参加するなど、今や政党政治の一面を担う存在となった。本書は欧米14カ国の緑の党を比較分析、自己改革過程を検証。(2013.9)



## エネルギー倫理命法 100%再生可能エネルギー社会への道

ヘルマン・シェア著／今本秀爾、ユミコ・アイクマイヤー、手塚智子、土井美奈子、吉田明子訳  
四六判上製 392頁 2800円  
ISBN978-4-8461-1207-3 C0036

原発が人間存在や自然と倫理的・道徳的に相容れないこと、小規模分散型エネルギーへの転換の合理性、再生可能エネルギーによる代替の有効性を明らかにする。ドイツを脱原発へ転換させた理論と政治的葛藤のプロセスを再現。(2012.5)



## 脱原発の市民戦略

上岡直見、岡将男共著  
四六判上製 276頁 2400円  
ISBN978-4-8461-1204-2 C0036

原発推進派の言い分の不合理を明らかにし、脱原発の市民戦略をさまざまなデータを駆使しながら、具体的かつ説得力のあるシナリオを提案。また、原発自主避難者への支援活動が続ける「おいでんせえ岡山」の運動を紹介、新しいコミュニティを考える。(2012.3)

\*



## 脱原発の経済学

熊本一規著  
四六判上製 232頁 2200円  
ISBN978-4-8461-1118-2 C0036

脱原発が否か。脱原発を選ぶとしたら、それをいかに進めるのがよいか。本書は、原発の電気がいかに高く、いかに電力が余っているか、いかに地域社会を破壊してきたかを明らかにし、脱原発が必要かつ可能であることを経済学的観点から提言する。(2011.11)

\*



## エコ社会主義とは何か

ジョエル・コヴェル著  
戸田清訳  
四六判上製 524頁 3400円  
ISBN978-4-8461-0912-7 C0036

グローバル化した巨大資本の活動は様々な生態学的危機を引き起こしているが、対策は技術的な応急処置にすぎず、根本的な解決にはほど遠い。本書は自然と人間の敵・資本主義を一掃し、望ましい存在・生活様式を取り戻すエコ社会主義の必要を説く。(2009.8)

\*



## 未来は緑 ドイツ緑の党新綱領

同盟90／ドイツ緑の党著  
今本秀爾監訳  
四六判上製 296頁 2500円  
ISBN978-4-8461-0719-2 C0031

本書は、「同盟／ドイツ緑の党」の「ベルリン新綱領」の全文訳。世界各国に共通する21世紀のためのモデルプランが、体系的に環境、社会、経済の各分野に展開される。政権参加の経験を踏まえ、20年ぶりに改訂された、緑の未来のための政策集。(2007.12)

\*



## 政治的エコロジーの歴史

ジャン・ジャコブ著  
鈴木正道訳  
四六判上製 492頁 3400円  
ISBN4-8461-0509-1 C0010

フランスのエコロジーの思想的流れを通して、自然保護運動から政権の一翼を担うまでになった現代の政治的エコロジー思想までを歴史的に検証。様々な人々が織りなすエコロジーの思想と運動の歴史を詳しく解説。エコロジーを知る上で、必要な1冊だ。(2005.6)

\*



## 主役に育つエコ・エネルギー

井田 均著  
四六判並製 212頁 1800円  
ISBN4-8461-0502-4 C0036

危険をとまなう原発や問題の多い石油に替わるエコ・エネルギーが脚光をあびている。地球温暖化や利権をめぐる争いを考えれば、それを考えざるをえない。本書は、現地を訪ね歩いて、その現状と各国の取組みを紹介し、問題点と展望を明らかにする。(2005.2)



## 政治的エコロジーとは何か フランス緑の党の政治思想

アラン・リビエツ著  
若森文子訳  
四六判上製 232頁 2000円  
ISBN4-8461-0019-7 C0010

地球規模の環境危機に直面している今ほど政治にエコロジーの観点からのトータルな政策が求められている時もない。本書は、フランス緑の党の幹部でジョスパン首相の経済政策スタッフでもある経済学者の著者が、エコロジストの政策理論を展開する。(2000.12)



## 緑の政策宣言

フランス緑の党著  
若森章孝・若森文子訳  
四六判上製 284頁 2400円  
ISBN4-8461-0415-X C0031

本書は、持続可能なフランスとEU(欧州連合)をつくるための「フランス緑の党の基本政策」の全容を論じる。政治、経済、社会、文化、環境保全などの在り方を、より公平で民主的で持続可能な方向に導いていくための指針が、具体的に述べられる。(2004.10)

\*



## 緑の政策事典

フランス緑の党著  
真下俊樹訳  
A 5判並製 304頁 2500円  
ISBN4-8461-0104-5 C0031

現代の行き詰まった高度資本主義社会は、地球規模の破局への道をひた走っている。この危機を乗り越える新たな政治思想と政策を打ち出し、政権についてのフランス緑の党。本書は、同党がエコロジストの英知を結集して全力で編集した最新の政策集 (2001.5)



## 赤と緑 社会主義とエコロジズム

いいだ もも著  
四六判上製 222頁 1700円  
ISBN4-8461-8622-9 C0030

危機の時代を克服すべく内外の最新諸理論を摂取し赤=社会主義と緑=エコロジズムとの理論的+実践的大合流による人間の解放と社会主義のオルタナティヴを構想する。85年秋「社会主義理論フォーラム」の総括の書。(1986.4)



## エコロジーとマルクス主義

いいだ もも著  
四六判上製 382頁 2400円  
ISBN4-8461-8206-1 C0030

現代日本の代表的マルクス主義理論家による、マルクスの根本原理にもとづく初の本格的なエコロジー論である本書は、エコロジー運動の〈緑旗〉と労働運動の〈赤旗〉の大合流によるエコロジー的・自治的共産主義を構想する。(1982.11)



## エコロジーから自治へ

C・カストリアディス  
D・コーン=ベンディット共著 江口幹訳  
四六判上製 189頁 1700円  
ISBN4-8461-8312-2 C0030

仏五月革命の旗手・コーン=ベンディットと孤高の革命的思想家・カストリアディスがはなつエコロジーをめぐる白熱の討論は、エコロジー論の新地平を切り開く。訳者・江口幹もエコロジーから自治への思想を全面展開。(1983.12)



## エコロジスト宣言

A・ゴルツ著  
高橋武智訳  
四六判上製 326頁 2200円  
ISBN4-8461-8002-6 C0030

\*美本なし

フランスの代表的左翼理論家である著者は、エコロジー的・自主管理的社会主義論を武器に現代社会を解剖し、新たな社会の構想を宣言する。ヨーロッパのエコロジー運動と労働者自主管理運動のバイブルといわれる名著。(1980.5)



### 『アレルギーの人の家造り・増補2訂版』書評 省エネ・高気密住宅が悪化を促進

ある日、著者の足立和郎さんが日消連事務所を訪ねて来られました。香害をなくす活動の担当者に伝えたいことがあるということです。空気汚染である香害は、柔軟剤や消臭剤などがそもその原因ですが、昨今普及した省エネ・高気密住宅が悪化を促進しているということでした。

建物の換気がされにくい環境が体調不良につながる。その話は目から鱗でした。私や家族は、鼻炎やじんましんなどアレルギー症状に悩まされています。一時的に症状を抑える薬に頼るのではなく、根本的な治療はないものかと考えていましたが、建物には思い至りませんでした。

この本では、建築家である足立さん本人が化学物質過敏症(CS)を患い、苦悩しながら安全な住まい造りを模索してきた経験が語られています。また同じく苦しむ人の建築・リフォー

ムの相談に乗る中で得た、対処法の数々が披露されています。

考えさせられたのは、天然住宅や再生紙というエコなイメージの言葉とは裏腹に、それらを取り入れてCSを発症させたケースです。一般に木の香りは良いものと思われていますが、せっかくの「木造りの家」で天然化学物質のTVOC(総揮発性有機化合物)により、体調を悪化させるケースがあるそうです。また再生紙を使った壁紙や断熱材は要注意だそうです…バージンパルプに比べて多くの薬剤を使って製品化するため、それらが空气中に揮発してくる可能性があるからです。

足立さんはこの頃、就学前の乳幼児のCSの相談が増えていることを最も気にしています。母親の妊娠中に体内曝露が起きているのではないかと。新婚で住まいを選ぶ人にも参考にして欲しい1冊です。

【杉浦陽子・本誌編集長】

●『消費者レポート』2020年12月20日付より。

# 戦争と飢餓のない世界を目指して



## 生態学的債務

アンドリュー・シムズ著  
戸田清訳  
四六判上製 464頁 3600円  
ISBN978-4-8461-1601-9 C0036

もしあなたが先進国の市民として、有限な自然資源の公平な分け前以上のものを取っているのなら、あなたは生態学的債務を負っていることになる。もしあなたのライフスタイルが生態系にその更新能力を超える負担を及ぼすのなら、あなたは生態学的債務を負っていることになる。

地球温暖化は生態学的債務の顕著な事例である。先進国は、化石燃料という有限な遺産の不釣り合いな量（公平な分け前を超える量）を燃やすことによって豊かになったのであるが、そうした行為が気候変動を招いた。バングラデシュ、南太平洋の島嶼国、サハラ以南

アフリカ諸国のような第三世界の貧しい国々は、結果として過剰な被害を受けることになり、しかもそれらの国々は先進国に債務の救済を求めている。先進国の方こそが生態学的債務を負っているのに……。この現実をどう変えればいいのか？ (2016.1)

### [内容構成]

第一章 金星への短い旅／第二章 化学者の警告／第三章 天国の破裂／第四章 人類の進歩の大逆転／第五章 生態学的債務／第六章 炭素債務／第七章 自己破壊の合理化／第八章 世界の終わりの駐車場／第九章 返済期間／第十章 懐疑派のためのデータ／第十一章 新しい構造調整／第十二章 ミネルヴァのふくろう／第十三章 スタンレーの足跡のなかで／第十四章 気候変動時計の刻み／第十五章 アヒルの選択／第十六章 鳥でいかに生きるか



## 核の時代70年

川名英之著  
四六判上製 344ページ 2800円  
ISBN978-4-8461-1511-1 C0036 ☆

本書は、放射能の発見から広島・長崎の原爆投下、冷戦時代の核軍拡競争を経て、今日の核廃絶運動に至るまでの、核の70年を追い、それによってもたらされた災いの歴史を辿り、人類の悲願である核の廃絶を展望する。(2015.8)



## 資本主義からの脱却

エルヴェ・ケンプ著／神尾賢二訳  
四六判上製 228頁 2200円  
ISBN978-4-8461-1103-8 C0036

虚栄的浪費活動をもとにグローバルな文化モデルを規定し、政治経済を支配する寡占階級＝オリガルキーが不公平と貧困と飢餓を生み出している。先進諸国の資源消費量を半減するための富裕階級への課税、資本主義の破壊的メカニズムからの脱却を提唱。(2011.3)



## 金持ちが地球を破壊する

エルヴェ・ケンプ著  
北牧秀樹・神尾賢二訳  
四六判上製 224頁 2200円  
ISBN978-4-8461-0916-5 C0031 \*

世界人口の2割が世界の富の8割を消費している。本書は、地球温暖化などの危機の元凶が世界の経済と政治をオリガルキー（寡頭支配）する大金持ちにあることを明らかにし、より少ない消費と、より良き分配こそが人類と地球を救うことを明示する。(2010.1)



## ポスト・グローバル社会の可能性

ジョン・カバナ、ジェリー・マンダー編  
翻訳グループ「虹」訳  
四六判上製 560頁 3400円  
ISBN4-8461-0616-0 C0036 \*

「グローバル化を求めないのなら、何をめざすのか」という問いに、あらゆる側面からこたえることを通じて、ポストグローバル社会を構想する。仏・独・西・中など8カ国語で出版されている本書は、グローバル化を考えるための必読書！ (2006.11)



## グローバルな正義を求めて

ユルゲン・トリッティン著  
今本秀爾監訳  
四六判上製 268頁 2300円  
ISBN4-8461-0618-7 C0036

「グローバルな正義は、開発政策上の措置や直接投資によってだけでは達成されえない。むしろ工業国は自国の誤った開発をやめ、自分自身が持続可能な豊かさのモデルとなるべきである」。ドイツ緑の党代表が記した党の思想と達成可能なヴィジョン。(2006.9)

\*



## 反核シスター

ロザリー・バーテルの軌跡  
メアリー＝ルイズ・エンゲルス著  
中川慶子訳  
四六判上製 220頁 1800円  
ISBN978-4-8461-0810-6 C0036

修道女、ガン研究学者、反核平和運動家として、世界的に著名なロザリー・バーテルの半生を描いた書。研究所を追われ、妨害されながらも、核の危険性を説いて回り、真摯に核の脅威に立ち向かう姿は、少数民族や第三世界の人々をも揺り動かしてきた。(2008.8)

\*



## 戦争はいかに地球を破壊するか 最新兵器と生命の惑星

ロザリー・バーテル著／中川慶子・稲岡美奈子・振津かつみ訳  
四六判上製 416頁 3000円  
ISBN4-8461-0507-5 C0047

本書は、核実験からスターウォーズ計画まで含め、核兵器、劣化ウラン弾、レーザー兵器、電磁兵器などによって、惑星としての地球が温暖化や核汚染をはじめとして、いかに破壊されているかを解明。(2005.8)

\*



### 『生態学的債務』紹介 問題は炭酸ガスでなく人である

(…) 著者の前提は明瞭である。化石燃料の使用によって、炭酸ガス濃度が増大している。その結果、温暖化が進行する。平均気温で三度も上昇しないうちに、大破局が来るはずである。それがいつであるかは問題だが、そう遠い将来ではない。／それなら炭酸ガス濃度を減らさなくてはならない、だれがそれを出しているのか、そもそもなぜ炭酸ガスの濃度が上昇したのか。いわゆる先進国のせいである。実質経済の成長とは、つまりエネルギー消費の成長である。日本のように急速に経済成長をした国は、それだけのエネルギーつまり化石燃料を消費したから、それだけの炭酸ガスを出したことになる。その結果、地球環境に破綻が生じるとしたら、だれが責任を負うのか。

(…) こうした思考を素直に追っていけば、解答はおのずと明らかである。GDPなんか、

クソくらえ。燃料は配給制度にしたらどうか。炭酸ガスを減らすためには、使える化石燃料の量は限定される。それに従って社会を運営するしかない。配給について、著者は戦時下のイギリスの例を挙げる。食糧配給制の下で、イギリス人はより健康になった。ただし念のためだが、ナチス・ドイツでも国民の健康は増進した。国家的に禁煙運動を始めたのはヒトラーである。

(…) 著者はイギリス人で、たぶん個人的に話をすれば、喧嘩にはならないであろう。論理はその通りだと思うからである。ではなぜ世界はそう動かないのか。大勢の「まともな」市民がいわば経済成長を目指して働いている。その家族は車を使わないことについて、どう思うだろうか。トヨタや日産の従業員はどうすればいいのだろうか。日航はどうか。

1つだけ、はっきりしている和私は思う。問題は炭酸ガスではない。人なのである。

【養老孟司】

●『毎日新聞』2016年3月13日号より。



### 『金持ちが地球を破壊する』紹介 より少ない消費とよりよき分配

最富裕層500人の収入が最貧困者の4億人の全収入を上回り、世界人口の2割が世界の富の8割を消費しているという。一方で、農業生産

高は人口増加よりも上回っているのに、28億もの人が飢餓と栄養失調に苦しんでいる。／経済と政治をオリガルキー(寡頭支配)する富裕層の経済成長至上主義を糾弾し、より少ない消費とよりよき分配を目指した社会の再構築を提言する。●『日刊ゲンダイ』2010年3月4日号より。



### 『戦争はいかに地球を破壊するか』紹介 温暖化や核汚染を例に出し追及

核実験からスターウォーズ計画まで、核兵器や劣化ウラン弾、レーザー兵器、電磁兵器などがいかに地球を破壊しているか、温暖化や核汚

染などを例に出して追及。著者はインド・ポパールでの化学工場爆発事故による住民の被害調査をはじめ、環境保健の分野で積極的に活躍している。

●『週刊金曜日』2005年11月25日号より。

# II エコロジーと環境の本

## エコロジーを考える



**スーパーマンは来ない**  
米国の水汚染と私たちにできること

エリン・プロコピッチ著、且祐介訳  
四六判上製 438頁 3200円  
ISBN978-4-8461-2301-7 C0036

地球上の生き物にとって、綺麗な水は水素や酸素と同じくらい重要である。この惑星の水の現状にこだわってきた、映画『エリン・プロコピッチ』の環境問題活動家、エリン・プロコピッチが、水問題で今何が問われているかを語る。大規模工場・大農場や軍事基地が垂れ流す化学物質や発ガン性物質PFAS（有機フッ素化合物）などによる全米の水道水汚染——その事実を隠蔽するまやかしの科学を強く糾弾し、飲み水汚染によるガン・クラスターが報道されない現実を告発する。

市民を救う「スーパーマンは来ない！」ひとりひとりが立ち上がり、水汚染をなくそ

うと行動を呼びかける！ (2023.1)

### [内容構成]

- 第一部 恐ろしい真実
- 第1章 どうやってここまで来てしまったのか
- 第2章 ヒンクリーから始まり、今やいたるところに
- 第3章 点と点を結び、地図を作る
- 第4章 化学物質の海に浮かぶ
- 第5章 有害物質のトップ
- 第二部 希望に満ちた未来のために
- 第6章 立ち上がる地域の人たち
- 第7章 「意図しない結果」にノーと言う
- 第8章 地元政治が暴走する
- 第9章 軍事基地の公害と闘う英雄たち
- 第10章 環境保護庁とフロリダの海岸線とを取り戻す
- 第三部 最後の呼びかけ
- 第11章 デイ・ゼロ（すべての始まり）
- 第12章 行動する時が来た！



### 再生可能エネルギーの問題点

加藤やすこ著  
四六判並製 188頁 1800円  
ISBN978-4-8461-2207-2 C0036

再生可能エネルギーは、脱原発・脱炭素社会実現の切り札になっていて、導入が促進されています。しかし、ただやみくもに推進すると、低周波公害、電磁場被曝などの健康被害だけでなく、住民が守ってきた自然や景観が破壊されてしまいます。情報公開を積極的に行い、地域住民が意志決定に参加できる仕組みが必要です。

本書は、再生可能エネルギーの問題点と課題を考えます。 (2022.5)

### [内容構成]

第1章 気候変動と再生可能エネルギーの問

### 題点

- 第2章 風力発電所から発生する音と電磁波の影響とは  
IEAは風車を年一八%増加/破壊される自然環境/野生生物への影響/風車から発生する音と影響/各地で起きている健康被害/海外で行われた疫学調査/洋上風力発電の問題点とは/風車の稼働時間が少ない理由とトラブル
- 第3章 太陽光発電とバイオマス発電の問題点  
太陽光発電の問題点/各地で起きた反対運動/農地と森林の開発/木質バイオマスと森林伐採
- 第4章 デジタル機器の増加と電磁波被曝  
インターネット利用と温室効果ガスの増加/枯渇する金属資源と環境・健康への影響/無線通信とサイバー攻撃
- 第5章 環境アセスメントは機能しているか？



### ニームとは何か [増補改訂版]

人と地球を救う樹

国際開発のための科学技術委員会・編著  
石見 尚・監訳/片山弘子・訳  
A5判並製 208頁 2000円  
ISBN978-4-8461-1006-2 C0036

何世紀もの間、インドで「村の薬局」として利用されてきたニームは、害虫防除や薬剤、人口増加の抑制、地球温暖化の緩和と人間の生活に密着した効能を持ち、利用範囲は極めて広い。科学的解明が始まったばかりのこの樹を詳しく紹介する。(2010.6、初版2005.4)



**環境危機はつくり話か**  
ダイオキシソ・環境ホルモン、温暖化の真実

山崎清 他著  
四六判上製 286頁 2400円  
ISBN978-4-8461-0804-5 C0036

環境危機は「つくられたもの」「思い過ごし」  
だとして環境保護を求める専門家や運動を攻撃する懐疑論者は経済成長こそが大事だとする市場原理を優先する。本書は、これらの主張を詳しく分析、批判し、環境危機の実態に迫り、いかに行動すべきかを問う。(2008.3)



**エコロジーの歴史**

パトリック・マターニウ著  
門脇 仁訳  
A 5 判上製 320頁 3200円  
ISBN4-8461-0609-8 C0040

エコロジー＝生態学についてその科学史を解説した本はほとんどない。本書は、博物学などのエコロジー思想の源流から現代のエコロジー理論まで、起源、確立者、科学としての発展などをまとめた、科学のエコロジー史＝生態学史の本格的入門書。(2006.8)



**気候パニック**

イヴ・ルノワール著  
神尾賢二・訳  
四六判上製 420頁 3000円  
ISBN4-8461-0602-0 C0036

本書は、温室効果と地球温暖化の関係を詳細に分析し、数々の問題点を科学的に検証することを指摘、「極地移動性高気圧」などの要因から異常気象を解説。フランスで出版時から議論を巻き起こした話題の書！(2006.3)



**ウォーター・ウォーズ**  
水の私有化、汚染そして利益をめぐる

ヴァンダナ・シヴァ著  
神尾賢二訳  
四六判上製 248頁 2200円  
ISBN4-8461-0301-3 C0036

水の私有化や水道の民営化に象徴される水戦争は、人々から共有財産を奪い、農業の破壊や貧困の拡大を招き、地域・民族紛争と戦争を誘発し、地球環境を破壊するものだ。世界的に著名な著者が世界の水戦争を分析し、水問題の解決の方向を提起する。(2003.3)



**バイオパイラシー**  
グローバル化による生命と文化の略奪

バンダナ・シバ著  
松本文二訳  
四六判上製 264頁 2400円  
ISBN4-8461-0210-6 C0036

先進国とりわけ欧米諸国による「特許獲得」「遺伝子工学」という新しい武器を使った第三世界の再植民化。グローバル化は「地域固有の知識」の価値を否定、生命自体をも植民化しようとする。世界的な環境科学者である著者による反グローバル化の思想。(2002.6)



**自然保護の神話と現実**  
アフリカ熱帯雨林からの報告

ジョン・F・オーツ著  
浦本昌紀・訳  
A 5 判並製 300頁 2800円  
ISBN4-8461-0601-2 C0036

国際的な自然保護政策は、経済開発にすり寄ることで、各地で破綻し、肝心の野生動物が急速に絶滅の危機に瀕している。本書は、西アフリカで長年フィールドワークに従事してきた野生動物学者が、現場から自然保護政策の問題点を撃つ異色のレポート。(2006.2)



**自然史思想への招待**

松本文二著  
四六判上製 272頁 2400円  
ISBN4-8461-0612-8 C0010

本書は、人間は進化の過程で、遺伝子から脳まで心身ともに「適応環境」において最大の能力が発揮できるように作られていることを指摘。適応環境を疑似することによって幸福と健康が得られることを、生物学・人類学・社会学の知識を総合して論じる。(2006.5)



**エコロジカルな暮らし**

井手敏彦著  
四六判並製 193頁 1400円  
ISBN4-8461-9258-X C0030

沼津方式として知られるゴミのリサイクル型収集に、市長としていち早く取り組んだ著者が、暮らしのさまざまなテーマを通じて、便利な暮らしのツケをどう解決したらいいかを説く。『ゴミが宝か宝がゴミか』の改題増補版。(1992.6)

# 自然破壊と公共事業を考える



## ナショナル・トラストへの招待 [改訂カラー版]

四元忠博著  
四六判並製 284頁 2600円  
ISBN978-4-8461-2309-3 C0036

☆

誕生後120年、ナショナル・トラストは拡大を続け、所有面積はイギリス全体の1.5%に達した。

本書は、ナショナル・トラストの成立を概観し、山岳地帯、田園地帯、海岸線、都市近郊などの特徴に分け、イギリス各地のトラストを訪ね歩き、その姿を平易に解説する。写真と地図を満載の格好のガイド。ハンドブックとして好評につき改訂カラー版として刊行!

(2023.5)

### [内容構成]

- I ナショナル・トラストの成立  
ナショナル・トラスト運動とは何か/オー

ブン・スペース運動の開始/ナショナル・トラストの成立/ナショナル・トラスト運動の開始

- II 山岳地帯を歩く  
湖水地方を歩く/ウェールズ北部山岳地帯を歩く
- III 田園地帯を歩く  
ナショナル・トラストの農業/コッツウォルズのシャーボン村を訪ねて/北サマセット(エクスムア)のハニコト・エステートを訪ねて/ゴールデン・キャップとブランスクームへ/ウェールズ南西部に行く
- IV 海岸線を歩く  
ナショナル・トラストの海岸線を歩く/再びナショナル・トラストの海岸線を歩く/持続可能な海岸線を求めて
- V 都市近郊を歩く  
リヴァプールとバーミンガムへ/マンチェスターとシェフィールドへ/ロンドン近郊を歩く/再びロンドン近郊を歩く



## リニアはなぜ失敗したか

川村晃生編  
四六判並製 182頁 1500円  
ISBN978-4-8461-2308-6 C0036

リニア新幹線は、死に体に近づきつつある。リニアが直面している困難は、財源不足、発生土の処理や静岡での未着工問題、大都市圏のトンネル掘削でのシールド工法の技術的問題、その結果導かれた大幅な工期遅れ、住民の反対運動など。そしてこれから直面する南アルプスのトンネル掘削、それに伴う南アルプスの壊滅的な環境破壊。

このまま、強行すれば、さらに大きな破綻を招くことになる。これらの問題を専門家が詳しく解説。

(2023.6)

### [内容構成]

- I リニアが抱えた困難
  - 1章 国策民営事業としてのリニア中央新幹線(桜井徹)
  - 2章 迷走する残土処分場探し(井澤宏明)
  - 3章 なぜ静岡県でリニア工事が始まらないのか?(林克)
  - 4章 多くの不安を抱えたリニアのトンネル工事(大塚正幸)
  - 5章 リニア二〇二七年開業が遅れるのは静岡県製のせいではない(樫田秀樹)
  - 6章 工事中止と事業見直し求める市民、住民運動の拡大(天野捷一)
- II リニアがこれから直面する困難
  - 1章 南アルプストンネルの危険性―地質の観点から(松島信幸)
  - 2章 リニア新幹線の安全性(阿部修治)
  - 3章 トンネル工事での地下水位低下と地表面沈下(越智秀二)
- III リニアはなぜ失敗したか(川村晃生)



## リニアが壊す南アルプス エコパークはどうなる

「ストップ・リニア! 訴訟」原告団南アルプス調査委員会編著  
四六判並製 116頁 900円  
ISBN978-4-8461-2107-5 C0036

日本第二の高峰北岳を中心に3000メートル級の山々が連なる南アルプスは、2014年にユネスコのエコパーク(生物圏保存地域)に登録され、豊かな自然や生き物、そして美しい景観の宝庫だ。いまここにリニア新幹線の巨大なトンネルが東西に貫通し、自然と生活を

破壊しようとしている。本書は、著者らがエコパークの存続の可能性をもふくめて全力を挙げて調査した報告である。(2021.4)

### [内容構成]

- 第一章 南アルプスエコパークの特異性
- 第二章 南アルプスエコパークの普遍的価値

第三章 世界自然遺産とエコパークの相違点と関連性

第四章 リニア新幹線と南アルプス—環境アセスメントをめぐる

第五章 リニア新幹線は南アルプスのエコパーク登録に何をもたらすか



### 公共事業縮出しに勝訴 「お触れ」「村八分」裁判を闘って

島崎武雄著

A 5判上製 388頁 4000円  
ISBN978-4-8461-2103-7 C0036

官製談合問題の告発や、東京湾の第二海堡の保存の請願により圧力を受け、公共事業から縮出され、会社を追われた建設コンサルタント会社社長。綿密な記録と調査を元に国交省の不法行為を追及して国家賠償訴訟を提起、勝訴に至るまでの闘いの記録！(2021.3)



### 小笠原が救った鳥 アカガシラカラスバトと海を越えた 777匹の猫

有川美紀子著

四六判上製 220頁 2000円  
ISBN978-4-8461-1806-8 C0045

☆

国指定天然記念物で絶滅危惧種の美しい鳥・アカガシラカラスバトは、野生化したノネコなどによって絶滅の淵に。小笠原の野生動物研究者らが起ち上がり、住民、獣医師、行政そして国を巻き込んだ保護活動を推進。(2018.4)  
☆ 全国学校図書館協議会第52回緑陰図書選定



### 熱帯雨林コネクション

ルーカス・シュトラウマン著

鶴田由紀訳  
四六判上製 352頁 2800円  
ISBN978-4-8461-1719-1 C0036

地球上で最も豊かな生態系を、マレーシア・サラワク州の独裁政権が、いかに乱伐し、破壊していったのか？ 本書は、汚職と不正乱伐で肥え太り、マネーロンダリングで不動産投資に明け暮れる〈木材マフィア〉＝タイプ帝国の驚くべき実態を暴露する。(2017.10)



### 検証・大規模林道

『検証・大規模林道』編集委員会編著

四六判並製 312頁 2500円  
ISBN978-4-8461-1613-2 C0036

林業開発のためという名目で、山間部に完全舗装2車線の大規模林道開発事業が進められてから半世紀ほどになる。道路建設は山を崩し、谷を埋め、自然生態系を破壊する。本書は、大規模林道問題とその反対運動の歴史と現在を検証・総括する。(2016.7)



### WWF黒書

世界自然保護基金の知られざる闇

ヴィルフリート・ヒュースマン著

鶴田由紀訳  
四六判上製 256頁 2600円  
ISBN978-4-8461-1516-6 C0036

パンダのシンボルマークで知られるWWFが、世界的な多国籍企業と結びつき、実は自然破壊の先兵として、先住民や地元住民を追い出し生活を破壊していると聞いたら、どう思うだろうか？ 本書はその実態を世界各地に取材し、出版された告発の書！(2015.11)



### 海の記憶

七〇年代日本の海

丹野清志著

四六判並製 256頁 2600円  
ISBN978-4-8461-1514-2 C0036

☆

「開発」がもたらした豊かさとは、何だったのだろう。……この先どのような国をつくらうとするのだろうと考えた時、ちいさなレポートではあるけれど、1970年代に見たことを次世代へのメッセージとして記録しておきたいと思ったのである。(2015.10)



### ナショナル・トラストの軌跡Ⅱ 1945年～1970年

四元忠博著

A 5判上製 272頁 3600円  
ISBN978-4-8461-1507-4 C0036

本書は、前著に続き、ナショナル・トラスト運動を第2次世界大戦後から1970年までを追っている。トラスト運動が、いかにして歴史的な勝地や自然的景勝地を、とりわけ自然の海岸線の獲得保護に力を尽くしているかをたどっている。(2015.1)



**失われた日本の景観**  
「まほろばの国」の終焉

浅見和彦、川村晃生著  
四六判上製 224頁 2200円  
ISBN978-4-8461-1501-2 C0036

☆

古来、日本の国土は「まほろばの国」と呼ばれ、美しい景観に包まれていた。日本の景観破壊はいつまで続くのか。われわれは景観の重要性に気付くのだろうか。それともこのまま社会は進み続けるのだろうか。そうした状況に警鐘を鳴らす。(2015.1)



**朝日連峰の自然と保護**

石川徹也著  
四六判上製 184頁 1800円  
ISBN978-4-8461-1120-5 C0036

\*

本書は、現地を長期間にわたって取材してきたジャーナリストが、ブナ林伐採問題、大規模林道建設反対運動、そして奥三面ダム開発といった問題を中心に、朝日連峰の自然と民俗の変遷、開発とそれに対峙した自然保護運動を総括する。(2011.12)



**植物誌入門**  
多様性と生態

岩田好宏著  
四六判並製 304頁 3000円  
ISBN978-4-8461-1011-6 C0045

☆

本書は、植物を語り手として、植物の立場から、植物の世界を描く。長年にわたる植物観察を通して見えてきた、植物の生きかた、生態、多様性、人間との関わりなどを丁寧に解説。人間が自分勝手に扱っている植物との関わりを、考え直すための1冊。(2010.8)



**野生生物保全事典**  
野生生物保全の基礎理論と項目

野生生物保全論研究会 (JWCS) 編  
A 5判上製 176頁 2400円  
ISBN978-4-8461-0817-5 C0545

\*

世界的に多くの野生生物の絶滅が危惧されている。本書は野生生物界の課題を地球環境問題と捉え、10余年の野生生物保全論研究会の論議をふまえて、それぞれの専門家が新たな保全論と対策を提起。保全実践の進展のための書である。(2008.12)



**セレクテッド・ドキュメンタリー**  
新・白神山地一森は蘇るか

佐藤昌明著  
四六判並製 304頁 2300円  
ISBN4-8461-0611-X C0036

☆

青しかし今、白神山地は入山規制問題で大きく揺れ動いている。本書は、春秋林道建設問題の発端から今日までを関係者にインタビューした現地レポート。新版では、第5章を書き下ろし、入山規制問題の推移と入山規制論を批判する。(2006.5、初版1998.5)



**セレクテッド・ドキュメンタリー**  
白神山地の入山規制を考える

井上孝夫著  
四六判並製 248頁 2200円  
ISBN4-8461-9723-9 C0036

\*

世界遺産・白神山地は、春秋林道建設の是非に揺れ、また保護のあり方をめぐって論争が続いている。本書は入山規制問題の経緯と背景、自然保護論争を分析、自然保護のあるべき姿を提起する。(1997.12)



**ルポ・東北の山と森**  
自然破壊の現場から

山を考えるジャーナリストの会編  
四六判並製 317頁 2400円  
ISBN4-8461-9615-1 C0036

\*

いま東北地方は、世界遺産の白神山地の自然保護、大規模林道建設やスキー場などのリゾート開発をめぐって、保護か開発かで大きく揺れている。本書は東北各地で取材した新聞記者による現場報告！(1996.9)



**大規模林道はいらない**

大規模林道問題全国ネットワーク編  
四六判並製 248頁 1900円  
ISBN4-8461-9910-X C0036

\*

大規模林道の建設が始まって25年。大規模な道路建設が山を崩し谷を埋める。自然破壊しかもたらさない建設に税金がムダ使われる。本書は全国の大規模林道の現状をレポートし、不要な公共事業を鋭く告発する。(1999.8)



## 環境を破壊する公共事業

『週刊金曜日』編集部編  
四六判並製 288頁 2200円  
ISBN4-8461-9711-5 C0036

公共事業の美名のもとにコンクリート列島と化した日本！本書は北海道・二風谷から沖縄・宮古・八重山にわたる各地の環境破壊・生態系軽視の「開発」の実態を報告し、「公共事業」の存在意識を問い直す。『週刊金曜日』好評連載の単行本化。(1997.9)

\*



## 政治が歪める公共事業

小沢一郎ゼネコン政治の構造

久慈力／横田一共著  
四六判並製 211頁 1900円  
ISBN4-8461-9614-3 C0031

政・官・業の癒着によって際限なくつくられる無用の「公共事業」が、列島の貴重な自然を破壊し、国民の血税をゼネコンに流し込んでいる！本書は、その黒幕としての「改革者」小沢一郎の行状を明らかにする告発の書！(1996.8)



## ナショナル・トラストへの招待

四元忠博著  
四六判並製 296頁 2300円  
ISBN978-4-8461-0722-2 C0036

本書は誕生後110年、所有面積はイギリス全体の1.5%に拡大したナショナル・トラストの成立を概観、山岳地帯、田園地帯、海岸線、都市近郊などの特徴に分け、イギリス各地のトラストを訪ね歩き、その姿を平易に解説する。写真と地図を満載。(2007.12)



## ナショナル・トラストの軌跡

— 1895 ~ 1945年 —

四元忠博著  
A 5判上製 296頁 3800円  
ISBN4-8461-0309-9 C0036

自然保護運動で世界的に有名な英国のナショナル・トラスト。産業革命の進行と共に破壊される自然と歴史的建造物——それらを守る為に立ち上がった3人の先駆者、揺籃期から制度の確立までの歴史(2003.7)

\*



## ナショナル・トラストの誕生

グレアム・マーフィ著／四元忠博訳  
A 5判上製 284頁 5000円  
ISBN4-8461-9261-X C0530

イギリスの美しい山と森林、河川湖沼などの自然的景勝地と古城などの歴史的名勝を保護、公開しているナショナル・トラストとは何か。三人の創立者の生涯、その創立の理念と歴史を描いた初の書。貴重な写真も多数収録。(1992.10)

\*



## ザ・ラスト・グレート・フォレスト

カナダ亜寒帯林と日本の多国籍企業

イアン・アークハート／ラリー・プラット著  
黒田洋一／河村洋訳  
四六判上製 472頁 4500円  
ISBN4-8461-0106-1 C0061

カナダ北西部・アルバータ州北部に広がる世界最大・最後の亜寒帯林。パルプを確保するためこの大森林に目を付けた日本の多国籍企業と抵抗する先住民や自然保護運動との知られざる戦い。(2001.4)

\*



## 検証・リゾート開発

[東日本篇]

リゾート・ゴルフ場問題全国連絡会編  
四六判並製 291頁 2400円  
ISBN4-8461-9613-5 C0036

リゾート法とバブル景気により、ゴルフ場・スキー場・ホテルの三点セットを軸に、自治体を巻き込み全国で展開されたリゾート開発。本書は全国の開発と環境破壊の実態を総点検し、乱開発中止とリゾート法廃止を訴える。(1996.7)



## 検証・リゾート開発

[西日本篇]

リゾート・ゴルフ場問題全国連絡会編  
四六判並製 333頁 2500円  
ISBN4-8461-9805-7 C0036

リゾート法とバブル景気に乗って全国で展開されたリゾート開発は日本の残された自然を破壊し、また景気の不振によってそれ自体頓挫したものも多い。[東日本篇]に引き続き、静岡以西に広がる乱開発の現状を告発！(1998.2)



## スキー場はもういない

藤原 信編著  
四六判並製 421頁 2800円  
ISBN4-8461-9483-3 C0036

森を切り山を削り、スキー場が増え続けている。このため、貴重な自然や動植物が失われている。また、人工降雪機用薬剤、凍結防止剤などによる新たな環境汚染も問題化している。本書は初の全国スキーリゾート問題白書。(1994.7)



## 自然保護事典 ①山と森林 [増補版]

全国自然保護連合編  
A 5 判上製 411頁 4200円  
ISBN4-8461-9606-2 C0530

☆☆

山岳観光道路、スーパー林道、別荘、ゴルフ場、スキー場などのリゾート開発による山地自然破壊——日本の山と森林が直面している破壊の実態と保護の方法を考える事典。増補版は、最新情報を追加。(1996.4、旧版 1987.8) (品切れ中)



## 自然保護事典 ②海

全国自然保護連合編  
A 5 判上製 500頁 5000円  
ISBN4-8461-9594-5 C0530

☆☆

東京湾、瀬戸内海、白保のサンゴ礁、蒲生・藤前干潟など、北海道から沖縄まで日本の海・湾・海岸・干潟が直面している汚染、自然破壊の惨状を多角的に照射し、保護の現状と未来を豊富な図表と資料を駆使して考える事典(1995.8)



## セレクトッド・ドキュメンタリー エイリアン・スピーシーズ 在来生態系を脅かす移入種たち

平田剛士著  
四六判並製 267頁 2200円  
ISBN4-8461-9914-2 C0045

自然分布している範囲外の地域に人が持ち込んだ種を移入種という。アライグマ、マンガース、ブラックバスなどの移入種によって従来の生態系が影響をうけている。本書は北海道から沖縄まで移入種問題を追い、その対策を考える。(1999.12)



## 本州のクマゲラ

藤井忠志著  
四六判並製 204頁 1800円  
ISBN4-8461-9913-4 C0045

\*

白神山地など東北地方のブナ林に生息する本州のクマゲラは天然記念物で希少種でもあり、自然の豊かさのシンボルである。この生態がほとんど知られていないクマゲラを豊富なフィールドワークに基づきやさしく解説する。(1999.10)



## 大雪山のナキウサギ裁判

大雪山のナキウサギ裁判を支援する会編  
四六判並製 320頁 2400円  
ISBN4-8461-9712-3 C0036

北海道の大雪山国立公園は、日本で稀少な原生的自然が残り、氷河期の生きの残りといわれるナキウサギの日本最大の生息地である。そこが無用な道路建設計画により危機に瀕している。本書は生態系保護、生物多様性の保護がいかに大切かを訴える。(1997.5)



## 埋立問題の焦点

志布志国家石油備蓄基地と漁業権

熊本一規著  
四六判上製 285頁 2500円  
ISBN4-8461-8623-7 C0036

美本なし

鹿児島県志布志湾に石油備蓄基地を建設する不法・不当性を、公有水面埋立法や漁業法に照らして詳細に検討し、さらに、これまでの臨海開発、埋立問題で見落とされてきた埋立と漁業権の関係について画期的理論を展開する。(1986.7)



## 水戦争 琵琶湖現代史

池見哲司著  
四六判上製 310頁 1900円  
ISBN4-8461-8205-3 C0036

\*

水盗りと赤潮により瀕死の湖と化した近畿1300万人の「水がめ」。琵琶湖を、一貫して取材してきたジャーナリストが、国・自治体・企業・政党・住民の錯綜した「水戦争」を克明にレポート。水問題の入門書として最適!(1982.8)

# ダムを考える



## ハッ場ダムと倉測ダム

相川俊英著  
四六判上製 204頁 1800円  
ISBN978-4-8461-2019-1 C0036

敗戦直後に計画された群馬県のハッ場ダムは、時代が変わり、ダムの必要性が無くなり、民主党が建設中止を掲げ総選挙で政権を獲得しながらも、国の河川行政を転換できず河川官僚の陥穽にはまり、安倍政権によって完成されてしまった。一方、倉測ダムは、地域住民主導で闘った結果、ダム建設を止められた。何が違い、何が間違っていたのか？ 民主党はなぜ挫折したのか？ そして今、「ハッ場ダムが台風の豪雨から首都圏の水害を守った」とのフェイクニュースがまき散らされている。

本書はハッ場ダムと倉測ダムの歴史的顛末

を追い、流域住民主体の流域治水への転換を考える。(2020.10)

### 【内容構成】

- 第一章 ダムをとめた住民と県知事  
地味で目立たぬ知事の「脱ダム宣言」  
保守大国で異例のダム反対運動  
県民に寄り添った官僚出身知事  
ダムなしでの治水利水策を実施 他
- 第二章 国策ダムに翻弄される住民と地方自治  
敗戦直後に策定された巨大ダム計画  
ダムができて急速に衰退した故郷  
現職知事を追い落とす保守分裂選挙  
ハッ場が政治課題に急浮上した背景 他
- 第三章 ハッ場ダム復活の真相  
準備なしの中止宣言で墓穴を掘る  
ダム官僚の思う壺となった有識者会議  
民主党の敗北と失意の病死  
中止を中止して万歳三唱した国交大臣 他



## ODAダムが沈めた村と森 コトパンジャン・ダム反対 25年の記録

コトパンジャン・ダム被害者住民を支援する会編  
四六判上製 248頁 2400円  
ISBN978-4-8461-1903-4 C0036

インドネシアのコトパンジャン・ダム裁判は、強制立ち退きを強いられた2万人以上の被害者と自然環境破壊が大量に生み出され、多くの人々が苦しんでいることを白日の下にさらけ出すことになった。

本書は、8396人という日本の裁判史上最

大の原告団と日本での裁判を支援する支援者・弁護士によって闘われたコトパンジャン・ダム裁判の全記録である。(2019.2)

### 【内容構成】

- ☆ 第1章 コトパンジャン・ダムと被害の実態
- 第2章 裁判では何が問われたのか
- 第3章 さまざまな壁を乗り越えてきた裁判支援
- 第4章 現地の困窮は引き継がれている
- 第5章 ODAの本質とは何か
- 第6章 コトパンジャン裁判に関わって



## 虚構に基づくダム建設 北海道のダムを検証する

北海道自然保護協会編  
四六判上製 328頁 2500円  
ISBN978-4-8461-1307-0 C0036

## ダムとの闘い

### 思川開発事業反対運動の記録

藤原信 編著  
四六判上製 264頁 2400円  
ISBN978-4-8461-1208-0 C0036

北海道でも、ムダなダム建設が強行され、豊かな自然が破壊されている。天塩川水系のサンルダム、沙流川の平取ダム、当別川の当別ダムはその典型である。ダム建設への懐疑的な世論の中で建設が止まらない原因を明らかにし、川を取り戻す方法を提言。(2013.3)

1964年、東京の水不足解消策のひとつとして構想された思川開発。小川のような川を堰き止め、ダムを建設、足りないダム用水を複数の遠い河川から水を導水するという計画。日本の行政と司法の腐敗が、税金を垂れ流し、国民と国土を荒廃させる……(2012.5)



**よみがえれ! 清流球磨川**  
川辺川ダム・荒瀬ダムと漁民の闘い

三室勇・木本生光・小鶴隆一郎・熊本一規共著  
四六判並製 232頁 2100円  
ISBN978-4-8461-1102-1 C0036

内水面の共同漁業権を武器に川辺川ダム計画を中止に追い込み、また荒瀬ダムを日本で初めてのダム撤去に追い込んだ、球磨川漁民の闘いの記録。既存ダムを撤去に追い込む闘い方を含め、今後のダム行政を揺るがす内容。(2011.3)



**緑のダム、の保続**  
日本の森林を憂う

藤原 信著  
四六判上製 232頁 2200円  
ISBN978-4-8461-0906-6 C0036

日本の森林の荒廃の原因は「保続原則」を軽視し、収益性、経済性を追求めた林野庁の行政にある。治水、利水面で森林を「緑のダム」としてその公益的機能を再認識し、森林を保続するため、今こそ、ヒトとカネを注ぎ込まなければならない。(2009.6)



**なぜダムはいらないのか**

藤原 信著  
四六判上製 272頁 2300円  
ISBN4-8461-0307-2 C0036

土建業者のための建設といった無駄があまりに多いダム。地域住民が反対するダム建設はほとんどがそうした代物だ。本書は、「長野県治水・利水ダム等検討委員会」委員などを務め、住民の立場からダム政策を批判してきた研究者による、渾身の力作。(2003.8)



**脱ダムから緑の国へ**

藤田 恵著  
四六判並製 220頁 1600円  
ISBN4-8461-0408-7 C0036

ゆずの里として知られる徳島県の人口1800人の小さな山村、木頭村。国のダム計画に反対し、「ダムで栄えた村はない」、「ダムに頼らない村づくり」を掲げて、村ぐるみで遂に中止に追い込んだ前・木頭村長の奮闘記。(2004.5)



**日ル本ポ**  
セレクテッド・ドキュメンタリー  
ルポ・日本の川

石川徹也著  
四六判並製 224頁 1900円  
ISBN4-8461-9912-6 C0036

ダム開発で日本中の川という川が本来の豊かな流れを失い、破壊されて久しい。本書は全国の主なダム開発などに揺れた川、いまでも揺れ続けている川を訪ね歩いたルポ。清流は取り戻せるのか。(1999.10)



『ODAダムが沈めた村と森』書評  
**ODAの名のもとに行われた自然破壊**

2002年、東京地裁にインドネシア・コトパンジャン・ダム被害者住民の損害賠償請求裁判が提訴された。(…) 独裁体制を敷いていたスハルト政権は、開発を推し進めていた。(…) 1992年、ダム建設のために政府は軍隊を動員

し、銃で脅して住民を移転させた。移住先には粗末な家屋と水の出ない井戸、荒れ地のような農地しかなく、ゴム園用の苗木は枯死した。補償金も満額はもらえなかった。

ODAという名のもとに行われた自然破壊と住民の生活破壊の責任を問う裁判の全記録。

●『日刊ゲンダイ』2019年3月21日付より。



『虚構に基づくダム建設』書評  
**旧態依然の河川行政への重い宿題**

(…) 治水、利水、環境への影響などを多角的に検証し、ダムが止まらない原因に迫る。

本書のもととなったのは、北海道自然保護協会をはじめ市民団体でつくる「北海道脱ダムをめざす会」が10～11年、住民の立場で独自に事業の必要性を再検証した結果だ。全国的にも珍しいこの取り組みを、専門家の協力を受けて充実させた。データに基づいて問題点を列挙し、

表題の「虚構」ぶりを立証しようとしている。しかし、現実には厳しい。反対意見は見直しの場から締め出され、事業の推進という自治体や議会の「民意」を盾に、形式的な検証だけで継続が決まった。看板倒れに終わった「脱ダム」を問い直すと共に、「環境」と「住民参加」の観点が盛り込まれた改正河川法の形骸化に警鐘を鳴らす。「川を住民の手にとりもどす」という結びの提言は、旧態依然の河川行政への重い宿題だ。【信】

●『毎日新聞』2013年5月5日付より。

# 公害と防災を考える



## パリから見た被災の世紀

竹原あき子 [著]  
四六判上製 / 144 頁 / 1800 円  
ISBN978-4-8461-2401-4 C0036

☆

原因さえいまだわからない 2019 年のノートルダム寺院の火災は、未来への警告だった。本書は、ノートルダム炎上に始まりコロナ禍・パンデミックを経て、欧州に向かう中東・ベトナムなどの「難民」——被災と災厄の世紀をパリの街角から見つめる。(2024.2)

### [内容構成]

1 ノートルダム炎上 / 2 フランス：原発被災、福島 / 3 テロ対策と安全 / 4 フランス政府のキャンペーンの知恵：恐怖 / 5 難民のパリ / 6 パリの移民と難民 / 7 難民のゆくえ / 8 仏左翼でさえ知らなかった中国とソ連の労働問題 / 9 異色の移民。里子の詠り / 10 フランスと中国の密かな戦い / 11 戦争の置き土産 / 12 いまだに続くベトナム難民



## 隠された人災 火災死急増とバス事故の真実

松本健造著  
四六判上製 208 頁 2200 円  
ISBN978-4-8461-2313-0 C0036

てきた元朝日新聞記者でジャーナリストの著者が、隠されてきた事故の真実に迫る。(2023.12)

### [内容構成]

第1部 隠された青酸ガス中毒  
京アニ放火事件 / 多摩ビル火災の全犠牲者に青酸ガス / 奇妙な住宅火災 / 青酸ガス解毒剤 / 火災の青酸ガス中毒に対応できず / 大阪ビル放火現場のトリアージの謎 / 青酸ガスの発生源 / ダンスクラブ火災 / 布団類や車両火災でも大量発生 / ホテル大東館火災 / 業界ぐるみの青酸ガス隠し / 国内初の青酸ガス死はタンカー火災 / 着衣着火、焼死ではなく青酸ガス中毒 / 住宅用火災報知器は青酸ガス検知不能 / 建材の有毒ガス分析を怠る建築行政  
第2部 隠されたバス事故原因  
同一メーカーのバス事故が各地で相次ぐ / フェイルセーフ欠如のシステム / 相次ぐ厳罰判決 / 悲劇を繰り返さない緊急対策

各地で火災が目立ち、犠牲者は一向に減らない。猛烈に噴き出す煙で救出が阻まれ、救出しても搬送先の病院で死亡する。死因は「一酸化炭素中毒」や「焼死」とマスコミで報じられる。だが、死因に猛毒「青酸ガス」(シアン化水素)が関与していることは隠されている。

同一メーカーのバス事故が各地で相次ぐ。ギアがニュートラルで暴走し、曲がりくねった急な坂道を暴走する観光バス。電子制御変速システム「フィンガーシフト」の欠陥が隠されている。

本書は長年、火災事故、バス事故を取材し



## プロブレムQ&A 化学防災読本 〔化学災害からどう身を守るか〕

門奈弘己著  
A5判変並製 192 頁 1700 円  
ISBN978-4-8461-1705-4 C0336

☆

化学災害は、化学工場やコンビナートだけでなく、どこでも発生します。特に住宅火災は、有害化学物質が発生する化学災害といえます。本書は、発生件数がつねに高い「化学災害」から身を守るためにどうしたら良いのかについてやさしく解説します。(2017.11)

### [Qの例]

化学災害とは、どのような災害のことを言うのですか？  
私たちにとって身近な危険物とは、どのようなものですか？  
危険物施設とは、どのような施設で、全国にどのくらいあるのですか？  
どうして、住宅火災を化学災害と考えるべきなのですか？  
行政は、化学災害に対してどのように取り組んでいるのですか？  
私たちが化学災害から身を守るために、どのようなことをすべきですか？



## 化学災害

門奈弘己著  
四六判上製 208頁 2300円  
ISBN978-4-8461-1518-0 C0036

化学災害とは、化学物質が大きく関わっている爆発や火災、漏えいなどの事故のことである。便利で快適な暮らしは、石油などの化学物質に負うところが大きい。本書は、様々な化学災害を例に取り、身近な危険をどうすれば避けられるかを考える。(2015.12)



## 日本を壊す国土強靱化

上岡直見著  
四六判上製 284頁 2500円  
ISBN978-4-8461-1317-9 C0036

自民党が推進する「国土強靱化」。本書は、そのために成立が目的されている「国土強靱化基本法案」を総点検し、公共事業や原発再稼働を前提とする強靱化政策は、国民の生命と暮らしを脅かし、国土を破壊するものであることを、実証的に明らかにする。(2013.8)



## カネミ油症

過去・現在・未来

カネミ油症被害者支援センター・編著  
A5判並製 176頁 2000円  
ISBN4-8461-0607-1 C0036

水俣病研究の第一人者、原田正純、疫学の第一人者、津田敏秀、人権派弁護士として著名な保田行雄らが、油症事件を専門的立場から分析。いかに被害者の人権が踏みにじられ、理不尽な状態に置かれているかを明らかにし、国の早急な救済を求めている。(2006.4)



## 検証・カネミ油症事件

川名英之著  
四六判並製 352頁 2500円  
ISBN4-8461-0422-2 C0036

カネミ油症事件は、1968年に北九州一帯でダイオキシン類に汚染された米ぬか油を食べた約1万4000人が健康被害を訴えた一大食品公害事件である。本書は、カネミ油症事件を綿密に調査、検証して、国が被害者を積極的に救済することを強く訴える。(2005.1)



## 新・水俣まんだら

チッソ水俣病関西訴訟の患者たち

木野茂・山中由紀著  
四六判上製 376頁 2800円  
ISBN4-8461-0116-9 C0036

水俣病のため貧しくとも豊かな故郷を離れざるを得なかった人たちが、第二の人生を目指した途端に水俣病を発病する。見知らぬ地で病氣と差別に耐えた末に、初の県外訴訟となったチッソ水俣病関西訴訟の患者たちの人生と闘いの記録。(2001.1)



## 水俣病闘争の軌跡

黒旗の下に

池見哲司著  
四六判並製 361頁 2400円  
ISBN4-8461-9617-8 C0036

空前の規模の深刻な被害を発生させ、公史上に特筆される水俣病。その責任を問い、「怨」の黒旗の下に水俣病闘争を担った川本輝夫ら患者や支援者の闘いを軸に、その闘争の全軌跡を克明な取材で描いた注目の書。(1996.9)



## セレクテッド・ドキュメンタリー

地すべり災害と行政責任

長野・地附山地すべりと老人ホーム26人の死

内山卓郎著  
四六判並製 288頁 2200円  
ISBN4-8461-9906-1 C0036

'85年長野市郊外の地附山で、大規模な地滑りが特別養護老人ホームを襲い、26名の死者が出た。行政側は自然災害、天災であると主張したが、裁判闘争によって行政の過失責任が明らかとなる。公共事業と災害を考える。(1999.6)



## ドキュメント クロム公害事件

川名英之著  
四六判上製 252頁 1800円  
ISBN4-8461-8308-4 C0036

「オレはクロムに食われる。——悲痛な叫びを家族に残して死んでいくクロム職業がんの労働者。発がん物質のクロム鉱滓不法投棄の発覚から日本最大の労災職業病裁判となった日本化学工業クロム公害事件の勝利までの記録。(1983.5)

## ごみ問題を考える



### ダイオキシンは怖くないという嘘

長山淳哉著  
四六判上製 262頁 1800円  
ISBN978-4-8461-0715-4 C0036

ダイオキシンは恐くない、といった論調の本が次々と出版され、新聞までもが好意的な評価を加える事態となっている。本書は、ダイオキシンは恐くない、環境ホルモン問題は空騒ぎ、という論者たちがいかに科学的に間違っているかを明らかにする。(2007.10)



### 実は危険なダイオキシン 『神話の終演』の虚構を衝く

川名英之著  
四六判上製 392頁 2600円  
ISBN978-4-8461-0717-8 C0036

ダイオキシンに関する、非科学的で根拠のない言説が蔓延し、これらの言説がダイオキシン被害者を傷つけ、マスコミや行政に悪影響を与えている。本書は、こうした言説の誤りを指摘、対策の重要性を説き、国のゴミ焼却政策の転換を求める。(2007.12)



### 崩壊したごみリサイクル 御殿場RDF処理の実態

米山昭良著  
四六判並製 264頁 2000円  
ISBN4-8461-0407-9 C0036

ごみリサイクルが、ひどい欠陥施設であることが明らかになってきた。本書は、早くからRDFの導入にふみきった、静岡県御殿場市と小山町のごみ騒動——企業の甘言に従った事業化、故障・事故、そして自治体による企業の告訴——を現地報告する。(2004.6)



### 検証・ガス化溶融炉 [増補版] ダイオキシン対策の切札か

津川 敬著  
四六判並製 248頁 2000円  
ISBN4-8461-0412-5 C0036

日本は、世界の流れに逆行し大型ごみ焼却炉の大量建設、24時間連続焼却という政策を打ち出した。その切札とされたのが、ガス化溶融炉だ。導入後のトラブル、事故の検証を通して問題点を指摘、ごみ政策を問う。最新動向を増補改訂。(2004.8、初版2000.11)



### プロブレムQ&A 教えて!ガス化溶融炉 [これでごみ問題は解決か]

津川 敬著  
A5判並製 212頁 1900円  
ISBN4-8461-0118-5 C0336

ダイオキシン対策の名分で、超大型ゴミ焼却炉のガス化溶融炉が今猛烈な勢いで全国で建設されようとしている。分別しなくてもOKというのだが、これがとんでもない欠陥品なのだ。なんとも難しそうな名前だが、この一冊で問題点をやさしく解説する!(2002.1)



### 『ダイオキシンは怖くないという嘘』書評 ダイオキシンの怖さ

欧米に比べて立ち遅れたわが国もようやくこの10年、ダイオキシン対策に取り組んできた。だが、このところ「ダイオキシンは空騒ぎ」といった論調の本や報道が相次ぐ。その中心的な論客たちの主張を詳細に分析し、徹底的に反論している。

欧州連合(EU)は01年、最新の知見を採用し、ダイオキシンの耐容摂取量をより厳しくした。そんな世界の流れに逆行するような国内の論調への危機感から筆をとった。「ダイオキシ

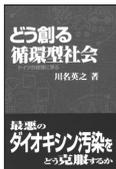
ンはあくまで象徴的な事例であり、その向こう側にある問題を知ってほしい」と長山さんはいう。

長山さんの論争相手は、いずれも国の科学研究の方向づけに影響をもつ著名な学者である。収録された議論の応酬からは、環境問題に取り込む科学者の姿勢の違いが鮮明に浮かび上がる。

この国の行方を考えるためにも、ぜひ一読をすすめた。

(評者: 大矢雅弘「窓・論説委員室から」欄)

●『朝日新聞』2008年1月9日夕刊より。



## どう創る循環型社会 ドイツの経験に学ぶ

川名英之著  
四六判並製 280頁 2000円  
ISBN4-8461-9903-7 C0036

ゴミ問題が深刻化し、ダイオキシン汚染が世界最悪の事態になる一方、「循環経済・廃棄物法」を制定したドイツは、廃棄物政策先進国として注目を集めている。循環型社会へと向かうドイツの政策に学びながら、日本でどう創るかを考える。(1999.8)



## 杉並病公害

川名英之・伊藤茂孝著  
四六判上製 320頁 2500円  
ISBN4-8461-0217-3 C0036

閑静な住宅が広がる東京杉並区に不燃ごみ圧縮施設「杉並中継所」が稼働。直後から付近一帯で原因不明の呼吸困難、頭痛などの被害が多発、死亡者まで出る騒ぎとなった。だが都は施設を発生源と認めず、住民は闘いに立ち上がる。本書はその記録(2002.12)



## 所沢ダイオキシン報道

横田 一著  
四六判並製 204頁 1800円  
ISBN4-8461-0015-4 C0036

テレビ朝日の「所沢ダイオキシン報道」ぐらい批判・バッシングされた報道は近年あるまい。本来、野放しの焼却施設が撤去されるべきなのに、安全宣言が出されうやむやにされて、汚染は深刻化している。本書は汚染隠しの問題点を総点検する。(2001.1)



## 検証・ダイオキシン汚染

川名英之著  
四六判並製 408頁 2500円  
ISBN4-8461-9813-8 C0036

ダイオキシンは、発がん性、催奇形性等を持ち、健康被害を発生させるのに、日本では対策をとらず、13年間も無為無策に終始した。このためゴミ焼却によるダイオキシン汚染は世界最悪の状況といえる。現状を総括し、緊急対策を提言。(1998.6)



## ダイオキシン汚染地帯 所沢からの報告

横田 一著  
四六判並製 204頁 1600円  
ISBN4-8461-9820-0 C0036

全国一のダイオキシン汚染地帯となった埼玉・所沢市一帯。産廃業者のゴミ焼却や清掃工場の排煙が住民を襲い、流産・奇形児出産の多発、アトピー・喘息の拡大、ガン死の増加など、放置できない状態だ。本書はその汚染をルポし、環境対策を提言。(1998.11)



## ゴミ問題の焦点 [増補版] フェニックス計画を撃つ

巨大ゴミの島に反対する連絡会編著  
四六判上製 267頁 2200円  
ISBN4-8461-9045-5 C0036

「ゴミ危機」に揺れる日本。その争点と課題は何か。廃棄物処理法の改正はどうあるべきか—本書は新稿を加え、ゴミ問題の争点を明らかにし、疑問に答え、解決策を提示する格好の入門書。(1990.12、初版 1985.2)



## 『崩壊したゴミリサイクル』書評 「夢の新技術」の恐るべき実態

本書はなぜ同市(御殿場市)がプラントの維持管理にてこずったあけく、運転のパートナーである焼却炉メーカーを提訴するという事態に立ち至ったかを克明に綴ったドキュメントである。

自らも御殿場生まれの著者はまる10年にわたる現場への密着取材を通し、いかにRDFが開発されるべきでなかった技術かを立証する。三重の惨事はRDFに生ごみを入れるという技術上の無理によってもたらされた。「御殿場の

事故事例を国が早い段階で感知し、危機意識を持つに至れば三重の死亡事故は回避できたのではないか」(183ページ)という指摘は痛烈だ。

本書のもうひとつの読みどころは生石灰が有機物と反応する際の危険や、RDF製造工程のメカニズムを明解に解き明かしている部分である。その分析力は中央紙の科学部記者も顔負けだ。その上、明治学院大学の仏文科出身という経歴もあってか、一度読み出したら途中でやめられない推理小説の面白さがある。欲をいえば御殿場市における住民運動の記述が抜けているところか。(評者：津川敏、ジャーナリスト)

●『週刊金曜日』2004年8月27日より。

# 電磁波問題を考える



## スマートシティの脅威

加藤やすこ著  
四六判並製 192頁 1800円  
ISBN978-4-8461-2118-1 C0036

☆

現在、政府はIoT（モノのインターネット）やビッグデータ、AI（人工知能）などの先端技術を利用して、少子高齢化や人口減少などの社会的な課題を解決し、経済発展も目指す新しい社会、スマートシティ＝「ソサエティ5.0」の実現を目指しています。

ソサエティ5.0では、現実空間のIoTが情報を集め、AIが集約された情報を分析することになります。自動走行車で移動し、AIが分析した結果を人間に提案し、工場ではロボットが自動的に製造します。これまでになかった新たな価値が産業や社会にもたらされ、多様なニーズに対応できるようになる、

と考えられています。政府は「これは一人一人の人間が中心となる社会であり、決してAIやロボットに支配され、監視されるような未来ではありません」と述べていますが、中国のようなデジタル全体主義につながるリスクも孕んでいるのではないのでしょうか。本書ではスマートシティの問題点をさまざまな角度から分析し、その危険性を考えます。

(2021.11)

### 【内容構成】

- 第1章 スマートシティとは
- 第2章 5G電磁波は安全か？ 環境・健康への影響
- 第3章 宇宙に広がる通信ネットワークと環境汚染
- 第4章 遠隔医療と医薬品配送ドローンの課題
- 第5章 GIGAスクールと各国の規制
- 第6章 各国で進む電磁波対策



## 電磁波過敏症を治すには [増補改訂版]

加藤やすこ著  
四六判並製 216頁 1800円  
ISBN978-4-8461-2112-9 C0036

携帯電話や無線通信技術の発展と普及によって、環境中に電磁波が飛び交い、電磁波過敏症の患者が世界的に急増しています。

本書は、電磁波過敏症の当事者からの体験談も含め、どうすれば治すことができるかを具体的に提案しています。増補改訂版では、5Gに関する情報や問題点を加え、最新の動きを加筆しました。(2021.6)

### 【内容構成】

- 第一章 過敏症ってどんな病気？  
引き金は生活環境の中に／過敏症に関する海外の動向／過敏症専門医の見解

- 第二章 電磁波による子どもへの影響  
電磁波による胎児への影響／電磁波と化学物質一発達障害への影響／脳神経科学から見た発達障害／原発事故の影響と基準値の欺瞞
- 第三章 八人の過敏症体験

発症して患者会を設立一著者・加藤やすこの経験／電磁波過敏症の一家の闘い一塩田さん家族の経験／働きながら過敏症から回復一佐藤祐子さんの経験／発達障害と過敏症が改善一小山ゆみさんの経験／化学物質の少ない環境で子どもを保育一木村洋子さんの経験／過敏症を克服し運送会社で働く一北島宏子さんの経験／化学物質、電磁波過敏症と難病を併発一鹿島豊子さんの経験／歯科治療で過敏症の症状が悪化一太田智子さんの経験

- 第四章 症状を改善するために  
自分で出来る対策／交通機関の携帯電話電磁波／携帯電話基地局の規制が必要



## 5Gクライシス

加藤やすこ著  
四六判並製 188頁 1800円  
ISBN978-4-8461-2010-8 C0036

大容量・超高速通信と多数機同時接続という特徴から、普及が早まっている5G＝第5世代移動通信システムであるが、本書は、そこで懸念される健康影響、海外での反対運動と規制の取り組みを詳述、5G導入を拙速に進めているのか、あらためて問う。(2020.6)



## 身の回りの電磁波被爆

その危険性と対策

荻野晃也著

四六判上製 344頁 2500円  
ISBN978-4-8461-1907-2 C0036

電磁波の危険性については、最近問題になってきてはいるが、まだまだ知られていないことが多い。本書は、電磁波問題研究の第一人者が、最新の世界の論文まで細かくチェックし、概説・歴史から実際に起きた事件や最新情報まで網羅し詳説する。(2019.3)



## 電磁波過敏症 [増補改訂版]

大久保貞利著

四六判並製 252頁 1900円  
ISBN978-4-8461-1816-7 C0036

本書は、世界で最も権威のある電磁波過敏症治療施設を取材し、また過敏症患者に接した実体験をもとに、電磁波過敏症について、懇切ていねいに解説した。増補改訂版では宮田幹夫北里大学名誉教授の講演など4章・5章を書き加え、全面改訂した。(2018.10)



## シックスクール問題と対策

加藤やすこ著

四六判並製 248頁 1800円  
ISBN978-4-8461-1813-6 C0036

本書は個別の事例を検証しながら、子どもたちの置かれている状況、保護者が直面している問題を明らかにし、どうすれば、すべての子どもが安全に学校で学べるかを考えます。環境改善はすべての子どもの発症を予防することにもつながります。(2018.8)



## プロブレムQ&A 総点検・リニア新幹線 [問題点を徹底究明]

リニア・市民ネット編著

A5変並製 168頁 1400円  
ISBN978-4-8461-1713-9 C0336

☆

膨れあがる建設費、中央構造線のトンネル貫通など工事の危険性、膨大な残土処理と自然破壊・景観破壊、電磁波による健康影響、膨大な電力消費など、問題が山積するリニア中央新幹線の問題点を総点検し、建設の問題点を、Q&Aでやさしく解説します。(2017.9)



## スマートメーターの何が問題か

網代太郎著

四六判並製 184頁 1600円  
ISBN978-4-8461-1614-9 C0036

電力小売り自由化で一般家庭も電気を買う会社を選べるようになりましたが、電力会社を変更する「スイッチング」をするとスマートメーターがなかば自動的に設置されます。本書はメーターのさまざまな問題点を考え、どうすればいいのかを提案します。(2016.8)



## 電磁波の何が問題か [増補改訂版] どうする基地局・携帯電話・変電所・過敏症

大久保貞利著

四六判並製 224頁 2000円  
ISBN978-4-8461-1619-4 C0054

\*

本書は、基地局（携帯電話中継基地局、アンテナ）、携帯電話、変電所、電磁波過敏症、IH調理器、リニアモーターカー、無線LAN、等々の問題を、最新のデータに基づき、詳しくかつ具体的に紹介し、特に基地局問題を徹底的に明らかにする。(2016.10、初版2010.11)



## 電磁波による健康被害

加藤やすこ著

四六判並製 188頁 1700円  
ISBN978-4-8461-1510-4 C0036

本書は、電磁波や基地局をめぐる被害の実態や訴訟の動向、病院や交通機関の対応などを被害者の証言を基に明らかにしている。また、世界の電磁波をめぐる対応や研究者の声を紹介、どうすれば発症者も自由に生きられる社会ができるかを提言している。(2015.7)



## 電磁波汚染と健康 [増補改訂版]

ザミール・P・シャリタ著 荻野晃也・出村守・山手智夫監修、加藤やすこ訳

四六判上製 396頁 2800円  
ISBN978-4-8461-1409-1 C0054

\*

本書は、体を蝕む電磁波汚染をひとつひとつ取り上げ、そのメカニズムを解説するとともに、環境汚染のなかで暮らしていくためのアドバイスを、食事療法からサプリメントの摂取まで、具体的に提案する。最新の研究データと分析を加えて改訂。(2014.7、初版2004.5)

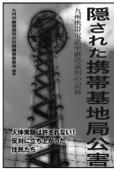


## 危ないリニア新幹線

リニア・市民ネット編著  
四六判上製 304頁 2400円  
ISBN978-4-8461-1315-5 C0036

☆☆

実験線を走らせるだけで宙に浮いていたリニア計画が、JR 東海によるリニア中央新幹線計画の浮上で現実味を帯びてきた。本書は、こうした様々な問題点を、専門家が詳しく分析し、リニア中央新幹線の必要性を考える素材を提供する。(2013.7)



## 隠された携帯基地局公害 九州携帯電話中継塔裁判の記録

九州中継塔裁判の記録編集委員会編著  
四六判並製 304頁 2200円  
ISBN978-4-8461-1314-8 C0036

\*

本書は、九州各地において、携帯電話中継塔の撤去を求めて提起された8つの裁判の経過とその特徴並びにその到達点と今後の課題を明らかにするために、裁判を担当した弁護士らによる報告と当事者の思いをまとめたものである。(2012.6)



## プロブレムQ&A 新 電磁波・化学物質過敏症対策 [克服するためのアドバイス]

加藤やすこ著、出村 守監督  
A 5 判並製 204頁 1800円  
ISBN978-4-8461-2002-3 C0336

誰もが一定の許容量を超えれば、罹る可能性のある過敏症。最新情報をもとに全面的に増補改訂した本書は、そんな人たちのために、過敏症に効く代替医療、食事療法、生活上の改善策、住宅対策などをアドバイスする。(2020.2、増補改訂版2013.3、初版2004.11)



## 携帯電話でガンになる!? 国際がん研究機関評価の分析

電磁波問題市民研究会編著  
四六判並製 240頁 2000円  
ISBN978-4-8461-1212-7 C0036

スマートホンの爆発的普及、全国的な携帯基地局の増加などにより、私たちの身の回りには電磁波が飛び交い、健康影響を訴える人たちが急増している。本書はWHO評価の内容と意味を詳しく分析し、携帯電話の電磁波問題への対処について提起する。(2012.7)



## プロブレムQ&A 危ないオール電化住宅 [増補改訂版] [健康影響と環境性を考える]

加藤やすこ著  
A 5 判並製 140頁 1500円  
ISBN978-4-8461-1104-5 C0336

テレビでも話題のオール電化住宅は、本当に快適で、環境にもやさしい? 本書は電磁波過敏症の著者が、IH調理器、電子レンジ、電気温水器・床暖房、太陽光発電などを具体的に調査し、健康被害の実態を明かし好評の既刊を増補改訂。(2011.6、初版2007.6)



## 暮らしの中の電磁波測定

電磁波問題市民研究会編著  
四六判並製 224頁 1600円  
ISBN4-8461-0615-2 C0036

\*

電磁波による人体への影響は、まだはっきりわからないことが多いが、電磁波過敏症から脳腫瘍、ガンまでさまざまな悪影響が出ている。本書は、日常生活の中の様々な機器の電磁波を最新の測定器で実際に測定し、その影響と対策を検討している。(2006.8)



## 告発・電磁波公害

松本健造著  
四六判並製 296頁 1900円  
ISBN978-4-8461-0714-7 C0036

WHOの超低周波新指針が発表され、慢性曝露の危険性の指摘など、規制が強化されたのに対し、日本政府の規制はおざなりで、疫学調査は、衝撃的な内容から政府によって葬られた。本書は誰も書かなかった真実を告発する渾身のルポ。(2007.9)



## 『スマートシティの脅威』紹介 予防原則の大切さをとく

(…)政府が導入をめざす都市計画、スマートシティ。街中に設置された機器を通じて、消費者の属性や行動、天候などを集めて分析。公共

交通などの運営を最適化して「利便性の向上をめざす」というものですが、さまざまな懸念が指摘されています。

本書では(…)多岐にわたる問題点を分析。その危険性を考えます。

●『しんぶん赤旗』2021年12月28日付より。



## 健康を脅かす電磁波

荻野晃也著  
四六判並製 276頁 1800円  
ISBN978-4-8461-0705-5 C0036

電磁波による影響には、白血病・脳腫瘍・乳ガン・肺ガン・アルツハイマー病が報告され、ノイローゼや自殺と関係があるといわれている。悪影響が証明されてからでは遅すぎる。本書は、健康を脅かす電磁波問題を、その第一人者がやさしく解説する。(2007.4)



## ユビキタス社会と電磁波 [地デジ・ケータイ・無線LANのリスク]

加藤やすこ著  
A5判並製 196頁 1800円  
ISBN978-4-8461-0723-9 C0336

ユビキタス社会とはどんな社会なのか？本書は、機器・施設ごとの問題点を解明し、電磁波が我々の健康に及ぼす影響を検証する。また、海外の最新情報や疫学調査も取り上げ、健康被害から立ち上がった住民の反対運動や裁判も紹介する。(2008.2)



## 危険な携帯電話 [増補改訂版] [それでもあなたは使うの?]

荻野晃也著  
A5判並製 232頁 1900円  
ISBN978-4-8461-0718-5 C0336

誰もが持っている携帯電話の高周波電磁波は電子レンジに頭を突っ込んでいるほど強いもので、脳腫瘍の危険が極めて高い。本書は、政府や電話会社が否定し続けている携帯電話と電波塔の危険をやさしく解説する。最新データで大幅増補(2007.11、初版2002.10)



## 誰でもわかる電磁波問題

大久保貞利著  
四六判並製 240頁 1900円  
ISBN4-8461-0218-1 C0054

家庭電器製品からの極低周波による、発がんや脳腫瘍など電磁波の危険性が社会問題化している。本書は、電磁波問題のABCから携帯タワー・高圧送電線反対の各地の住民運動、脳腫瘍から電磁波過敏症まで、やさしく解説する。(2002.10)



## デジタル公害 ケータイ・ネットの環境破壊

懸樋哲夫著  
四六判並製 200頁 1700円  
ISBN978-4-8461-0807-6 C0036

世の中が「デジタル」化している。こうした社会は電磁波の氾濫に加え、情報が管理されやすく、また膨大な廃棄物が発生するなど様々な問題を孕んでいる。本書は急激なデジタル化の問題点を様々な角度から捉え、本当に必要なものは何かを問う。(2005.12)



## 新東京タワー 地デジとボクラと、ドキドキ電磁波

網代太郎著  
四六判並製 272頁 2000円  
ISBN978-4-8461-0711-6 C0036

高さ610メートルで「世界一」といわれる新東京タワー。そこからの電磁波の影響が懸念される。本書は、建設予定地近くに住むジャーナリストが、タワーの問題点を総ざらえ。本当に必要なか、安全か、そして地域の活性化に役立つのかを総点検。(2007.8)



## 『総点検リニア新幹線』書評 市民の疑問点わかりやすく解明

東京大阪間を世界最速時速505キロメートルで行くリニア新幹線の技術に、自慢と好奇心から無批判に賛成する人が少なくない。本書はそうした現状を踏まえ、リニア新幹線の問題点を36個のQ & A方式で大変分かりやすく浮き彫りにしている。Q & Aでは、「どのような計画ですか」「超伝導技術とな何でしょうか」から始まり、「電磁波対策はどうなっていますか」「ドイツや中国のリニアはどうなっていますか」など関心によって問題点が指摘されている。／

リニア新幹線は速いのを取りえ以外マイナスしかない。現在の新幹線の3～4倍の電力を消費し、建設費も約9兆円の予算というが、それ以上かかるともいわれる無駄の代表である。人口が減少する中で、乗客が増大するとの需要予測は過大である。国は昨年JR東海への3兆円の財政投資を実行したが、今後赤字は国民に押し付けられる。／(…)この本は、市民が疑問に思う点から出発し、問題点を丁寧に告発してリニア新幹線計画の白紙撤回を求めている。

【関島保雄・弁護士・ストップ・リニア新幹線訴訟弁護団共同代表】

◎『しんぶん赤旗』2017年11月26日付より。



## 高圧線と電磁波公害 [増補改訂版]

高圧線問題全国ネットワーク編  
四六判並製 280頁 2200円  
ISBN4-8461-9709-3 C0054 ☆

パソコンや携帯電話・PHSの電磁波の身体への影響が問題となっている。また超高压送電線下では子供に大きな影響がでるといふ。がん発生率増加を明らかにしたカロリンスカ研究所報告全文掲載の旧版に最新情報を増補・改訂 (1997.7、初版1995.4)



## 電磁場からどう身を守るか

エレン・シュガーマン著

天笠啓祐他訳  
四六判並製 310頁 2200円  
ISBN4-8461-0005-7 C0054 ☆

送電線、家電製品などがつくり出す電磁場の被曝によって、ガンなどが引き起こされることは欧米では常識に近い。本書は、ガン発生のメカニズムを解説、電磁場から身を守る方法を具体的に提案。 (2000.4)



## 電力線電磁場被曝

隠蔽する電力会社と政府

ポール・ブローダー著/  
荻野晃也監訳  
四六判上製 356頁 2400円  
ISBN4-8461-0115-0 C0054

電力線の電磁場によるガンなどの多発が欧米で大問題になり、これを根拠がないとして抑え込もうとする電力会社・政府と市民の攻防が広がっている。本書は、アメリカの著名な科学ジャーナリストが、電力線電磁場被曝を告発した名著。 (2001.11)



## 死の電流

ポール・ブローダー著  
荻野晃也監訳/半谷尚子訳  
四六判上製 440頁 2800円  
ISBN4-8461-9901-0 C0054

高圧線とVDTから発する電磁波はガン発生等健康への脅威だ——告発する科学者と隠蔽する米国政府・産業界との闘い。科学ジャーナリストである著者が電磁波の危険性を世界に先駆けて提起した衝撃のノンフィクション。 (1999.3)



## 電磁波はなぜ怖いのか [増補改訂版]

[暮らしの中のハイテク公害]

天笠啓祐著  
A5判変並製 181頁 1700円  
ISBN4-8461-9609-7 C0336 ☆\*

電磁波でガンになる!? 家庭や職場、大気中に飛びかう電磁波がトラブルを起こしている。電子レンジ、携帯電話・PHS、OA機器の人体への影響は? 医用機器、AT車などの誤動作との関係は? 最新情報を増補・改訂。 (1996.5、初版1993.10)



## 『5Gクライシス』書評 このまま導入を進めていいのか?!

5G (ファイブジー) とは何のことでしょうか。携帯電話など通信システムの第5世代のことです。

通信技術は、約10年ごとに更新されてきており、最近30年間で最大通信速度は、何と10倍にもなったと言われてます。現在は4Gの段階ですが、今年の3月からは日本でも、この5Gの運用が開始されたのです。

5Gは大容量のデータを最高速で送受信でき、次世代携帯電話、自動車の自動運転、遠隔医療などに応用できると、いいことずくめで宣伝されています。新たな利益追求を狙う関連産業は実用化に大わらわです。しかし、使用電波の特性(高周波、高エネルギー)ゆえに、今までにも増して、健康障害など電磁波被害が飛躍的に増加することが予測されます。この点についてマスコミなどは、一切触れていません。

この本の著者は、自らが化学物質・電磁波による障害を体験された方です。環境病をテーマに、海外の研究成果や被害実態についても詳しく研究を重ねてこられました。今回、5Gによる「電磁波汚染と健康被害」について、豊富な事例を根拠として具体的に問題提起しています。

人工的な電磁波、特に携帯などのマイクロ波(波長が非常に短い)が、ごく微量でも人間の細胞内外のイオン濃度を狂わせ、多様な神経系と内分泌系を攪乱するメカニズムが丁寧に解説されています。5Gの電波は短い波長なので、電波の到達領域が狭いために中継局の大量増設が避けられず、電磁波曝露の危険が一層拡大します。

目下、日本とアメリカの規制基準が一番緩いという憂慮すべき事態です。それでも米国のいくつかの州は厳しい基準作成に乗り出しています。欧州では5G推進は、はるかに慎重で彼我の差を感じさせます。【池上明・日消連監査委員】  
◎『消費者レポート』2020年8月20日号より抜粋。

# 生命操作と バイオハザードを考える



## コリンズとラインの微生物学実験法 [第8版]

C.H. コリンズ、パトリシア M. ラインほか編著  
本庄重男、新井秀雄、長島功訳  
A 5判上製 824頁 9500円  
ISBN978-4-8461-1302-5 C3047

1964年初版の『コリンズとラインの微生物学実験法』は、不朽の名著として版を重ねており、本書第8版は、その完全決定版の全訳である。本書は、医学、公衆衛生および食品衛生の重要な細菌と菌類の分離、同定および検査について、従来の伝統的な微生物学技術だけでなく、最近の技術革新と自動化法への明解な手引きを提供している。また本書は、病原性微生物の安全な取扱いについても論じている。このような広範な分野をこれほど詳細に論じた本は、本書以外にはない。

本書は、微生物の試料を扱うすべての研究者、実務家、学生の座右の書である。(2013.1)

## 【内容構成】

第1章 微生物学実験における安全性／第2章 品質保証／第3章 実験室設備／第4章 感染材料の滅菌、消毒、除染／第5章 培地／第6章 培養法／第7章 同定法／第8章 自動化された方法／第9章 真菌学的方法／第10章 微生物数の測定／第11章 臨床材料／第12章 抗菌剤感受性試験／第13章 食中毒と食品媒介疾患／第14章 食品微生物学：一般法則／第15章 獣肉と鳥肉／第16章 新鮮食品、保存食品および長期保存食品／第17章 鮮魚、貝類および甲殻類／第18章 牛乳、乳製品、卵およびアイスクリーム／第19章 環境微生物学／第20章 水の微生物学第21章 一般的な好気性、非芽胞性、グラム陰性細菌への手がかり／第22章 シュードモナス属 (Pseudomonas)、ブルクホルデリア属 (Brevundimonas) および他のシュードモナス群菌／第23章 アシネトバクター属 (Acinetobacter)、アルカリゲネス属 他



## 遺伝子操作時代の権利と自由 なぜ遺伝子権利章典が必要か

シェルドン・クリムスキー、ピーター・ショ  
レット編著／長島功訳  
四六判上製 420頁 3000円  
ISBN978-4-8461-1217-2 C0036 \*

本書は、私たち人間の権利と人格的完全性と地球の生物学的完全性を保護するために、人間の遺伝子操作をはじめとした遺伝子革命の社会的・生物学的な意味を評価し、その応用を民主的に制御するために、遺伝子権利章典を提案する。(2012.10)



## 生命(いのち) 人体リサイクル時代を迎えて

山口研一郎 編著  
A 5判並製 256頁 2400円  
ISBN978-4-8461-1014-7 C0036 \*

現代医療は、先端医学の発展で「生命の操作」にまで及び、「神」の領域に踏み込みつつある。本書は、5人の専門家が、現在置かれている生命の状況を踏まえ、医療のあり方、国や企業の動き、生命観、宗教観など、人体リサイクル社会の問題点を議論。(2010.12)



## バイオハザード原論

本庄重男著  
四六判上製 192頁 1900円  
ISBN4-8461-0416-8 C0036 ☆\*

危険な病原体や遺伝子組み換え微生物が、市民生活の場や環境に漏れ出て、健康や環境に重大な悪影響や被害を及ぼし始めている。本書はバイオハザードについて、定義から現状分析、予防原則に基づいた対策まで、著者の経験を踏まえて詳細に論じる。(2004.9)



## 『遺伝子操作時代の権利と自由』書評 その応用を民主的に制御するために

(…) 個人の遺伝情報から得た特定の病気に罹る可能性が高いといった形質にかかわる情報によって保険の加入や就職の内定を取り消す遺

伝子差別が起り、人々を人種的に選別することの可能性が高まるといった問題点や、生物兵器の開発と使用、明確な攻撃意図をもった生物防衛研究を終わらせる必要があることを示し(…) 遺伝子権利章典が必要だと訴えている。

●『出版ニュース』2013年2月中旬号より。



**プロブレムQ & A  
教えて!バイオハザード**  
(基礎知識から予防まで)

バイオハザード予防市民センター著  
A 5 判変並製 224頁 1800円  
ISBN4-8461-0212-2 C0336

アメリカの炭疽菌事件、バイオテロ、遺伝子組み換え生物の研究、SARS……。バイオテクノロジーの発展は、関連施設の急増を招き、バイオハザード=生物災害の危険を身近なものにしている。バイオハザードとは何かなどQ&Aでやさしく解説する。(2003.5)



**国立感染研は安全か**  
バイオハザード裁判の予見するもの

国立感染症研究所の安全性を考える会 編著  
A 5 判上製 308頁 4000円  
ISBN978-4-8461-0910-3 C0036

最高裁が「取り返しのない惨禍」を生み出しかねない危険を指摘した国立予防衛生研究所=現国立感染症研究所をめぐる裁判の記録。全国で繰り返されているバイオ施設、病原体研究施設の建設反対運動の理論的支えとなるものである。(2010.2)



**バイオハザード裁判**  
予研=感染研実験差し止めの法理

予研=感染研裁判原告の会、  
予研=感染研裁判弁護団 編著  
A 5 判上製 356頁 4800円  
ISBN4-8461-0018-9 C0036

未知の生物出現や猛毒病原体など、バイオハザード=生物災害の危険性が高まっている。特に日本では国立感染研究所や遺伝子組み換え施設が都会のご真ん中に野放しで建設されている。本書は、予研=感染研の移転と実験差し止め訴訟の全記録。(2001.1)



**生命特許は許されるか**

天笠啓祐/  
市民バイオテクノロジー情報室編  
四六判上製 200頁 1800円  
ISBN4-8461-0308-0 C0036

多国籍企業の間で繰り返される特許争奪戦。なかでも、いままでタブーとされてきた生命や遺伝子までもが特許の対象となりつつある。私たちの生命が特定の企業によって私物化されるという異常な状況は許されるのか? 具体的な事例をあげて解説。(2003.8)



**人クローン技術は許されるか**

御興久美子他著  
四六判並製 236頁 2000円  
ISBN4-8461-0111-8 C0036

いわゆる「人クローン規制法」の内容と問題点を分析し、クローン技術がもたらすさまざまな脅威を明らかにする。生命倫理、宗教、人権の視点から厳しい規制を課す欧米諸国の状況と比較して、日本の歯止めなき推進の実態を浮き彫りにする。(2001.9)



**生命操作事典**

生命操作事典編集委員会編  
A 5 判上製 496頁 4500円  
ISBN4-8461-9818-9 C0040

脳死、臓器移植、出生前診断、ガンの遺伝子治療、クローン動物など、生や死が人為的に容易に操作される時代。我々の「生命」はどのように扱われようとしているのか。医療、バイオ農業を中心に50項目余りをあげ、問題点を浮き彫りに。(1998.10)



『Q&A 教えて!バイオハザード』書評  
**生物災害を防ぐために**

バイオハザードとは、BSE(狂牛病)や病原性大腸菌O157、新型肺炎(SARS)などに代表される生物災害のこと。病原体による被害だけでなく、遺伝子組み換えなどにより、環境に有害な影響を与える場合も含まれる。

本書はバイオテクノロジーは自然界にない強引な技術で、発がん率の上昇などの負の面も存在すると指摘。病原体の取り扱いへの法的規制がない日本のバイオ施設を安全に管理するには、専門知識のない「素人」の問い掛けと、「市民的立場」を忘れない専門家の知識が不可欠と説く。

●『中国新聞』2003年7月14日付より。

# 牧畜の問題から動物の権利まで



## ビーガン食の栄養ガイド

パメラ・ファーガソン著  
井上太一訳  
四六上製 204頁 2200円  
ISBN978-4-8461-2302-4 C0036

ビーガン生活を始めたなら、きっと周囲の誰かからこんな質問を受ける。「健康は大丈夫なのだが、世間の標準とされる食習慣にのっとりない者は、それだけで体の調子を崩すと思われがちである。

本書は、ビーガン生活を送っている人々、あるいはこれからその生活を始めようとしている人々を対象に、ビーガンの食事とその栄養学を分かりやすく解説した手引き書である。著者はカナダの公認栄養士で、20年以上この分野の教育と研究に携わってきた。本書はビーガン食が健康に悪いという風評への強力な反

対材料である。

(2023.2)

### [内容構成]

- はじめに  
第一章 ビーガン食とは何か、なぜそれに挑戦するとよいのか  
第二章 ビーガンの完全栄養食と健康上の利点  
第三章 ビーガンの台所をつくる  
第四章 植物性のタンパク質  
第五章 炭水化物と食物繊維  
第六章 健康によい植物性脂肪  
第七章 ビタミンとミネラル  
第八章 あらゆるライフステージのビーガン食  
第九章 ビーガンの日常生活  
第十章 ビーガン料理と献立  
さらに学びたい人のために  
参考文献  
訳者あとがき



## 動物の権利・人間の不正 道徳哲学入門

トム・レーガン著／井上太一訳  
四六判上製 244頁 2500円  
ISBN978-4-8461-2206-5 C0036

「私が動物の権利を信じるのは、その権利を認める道徳理論が、それを認めない理論よりも、理性的に考えてより満足のいくものだからである。もしこの確信が当たっているなら、私たちはどのような生き方をすれば他の動物の権利を尊重できるのか」「私たちが食事の席に就くたびに、あるいは新しいコートを買いに行くたびに、何をすべきかを問う」

動物の権利否定派は、肯定派を不合理・感情的・反科学・人間嫌いなどと語ることが多いが、本書はその否定派の議論に一つ一つ反駁する。動物の権利の問題について道徳哲学から説き起こした入門書。(2022.4)

### [内容構成]

- 謝辞  
序論  
第一章 無関心から擁護へ  
第二章 動物搾取  
第三章 権利の性質と重要性  
第四章 間接義務論  
第五章 直接義務論  
第六章 人間の権利  
第七章 動物の権利  
第八章 反論と回答  
第九章 道徳理論と課題  
原註  
解題



## ビーガンという生き方

マーク・ホーソン著／井上太一訳  
四六判並製 208頁 2200円  
ISBN978-4-8461-1902-7 C0036

極端な食事法、健康志向の生活スタイルといったビーガンへの誤解を丁寧に解きながら、それが動物搾取の産物を可能な限り一掃しようとする考え方であることを解説する。動物搾取、人種差別、性差別、階級差別に反対する、脱搾取=ビーガニズムの入門書。(2019.1)

☆



**動物の権利入門**  
わが子を救うか、犬を救うか  
ゲイリー・L・フランシオン著  
井上太一訳  
四六判上製 352頁 2800円  
ISBN978-4-8461-1804-4 C0036

必要なのは動物搾取の廃絶である。これまで動物福祉の理論は数多く示されてきたが、本質的な動物の権利を問う文献はなかった。本書は、米ラトガース大学法学院教授で動物の権利運動に決定的影響を与えてきた著者の代表作の邦訳である。(2018.4)



**屠殺**  
監禁畜舎・食肉処理場・食の安全  
テッド・ジェノウエイズ著  
井上太一訳  
四六判上製 292ページ 2600円  
ISBN978-4-8461-1622-4 C0036

トランプ大統領を誕生させた現代アメリカ社会の暗部と病根を照らし出す渾身のルポルタージュ。過密飼育によって環境と動物福祉が日に日に脅かされ、労働者は国内随一の危険な労働環境に置かれ、抗生物質漬けの肉が消費者の健康を脅かす。(2016.11)



**動物工場**  
工場式畜産CAFOの危険性  
ダニエル・インホフ編  
井上太一訳  
四六判上製 560頁 3800円  
ISBN978-4-8461-1602-6 C0036

工場式畜産によって得られる食肉は、確かに安い。例えば抗生物質まみれの肉は人間の細菌耐性を弱め、糞尿由来のO-157などに感染するリスクを増大させるなど、危険な食品である。本書は、工場式畜産のむごたらしい実態と問題点を明らかにする。(2016.3)



**終りなき狂牛病**  
フランスからの警鐘  
エリック・ローラン著/門脇 仁訳  
四六判上製 248頁 2200円  
ISBN4-8461-0209-2 C0045

英国から欧州大陸へと上陸した狂牛病。牛の前頭検査では狂牛病は防げない。欧州と殺場での感染、肉骨粉による土壤汚染からの感染、血液感染、母子感染など種の壁を超え、エイズを上回る狂牛病の恐怖を余すことなく暴いた書。(2002.6)



**狂牛病**  
イギリスにおける歴史  
リチャード・W・レーシー著  
淵脇耕一訳  
四六判並製 312頁 2200円  
ISBN4-8461-9819-7 C0045

牛海綿状脳症という狂牛病の流行によって全英の牛に大被害がもたらされ、また、人間にも感染することがわかり、人々を驚愕させた。本書は、まったく治療法のないこの狂牛病をわかりやすく詳しく解説した話題の書！(1998.10)



**プロブレムQ&A ⑧  
アニマルライト犬との暮らし方全書**  
[あなたの犬は本当に幸せ!?]  
動物との共生を考える会著  
A5判変並製 188頁 1800円  
ISBN4-8461-9587-2 C0361

血統書・ブリーダー・予防注射・動物医療など構造的な問題から躰け・事故・病気・失踪・供養・旅行の案内に至るまで、「犬たちは私たち人間の最高のセラピスト」という愛犬家たちが披露する、初の問題提起型愛犬読本！(1995.3)



『屠殺』書評  
**「米国産安い肉」生産過程の実像**

米国有数の豚肉加工会社の工場で、労働者に謎めいた症状が出てきたのは生産ラインの加速後だった。膝から下が焼けるように痛む疾患は、後に進行性炎症性神経障害と命名され、食肉処理機器の欠陥が原因だと、これが撤去され

た。  
患者の大半はヒスパニック系の移民就労者。彼らのその後を軸に、会社が移民労働者に頼った経緯、反移民条例の制定を巡る動き、過密養豚場における環境汚染や動物虐待を総合的にルポ。「米国産安い肉」生産過程の実像に迫る。  
●【信濃毎日新聞】2017年3月26日付

# 食べ物の安全を考える



プロブレムQ&A  
**食品添加物から身を守る**  
〔自身と家族のために〕

渡辺雄二著  
A5変並製 144頁 1500円  
ISBN978-4-8461-2220-1 C0336

コンビニやスーパーなどで買い物をしていて、「この食品は安全なのだろうか?」とふと疑問に感じることもあるのではないのでしょうか。その最大の理由は、多くの食品添加物が使われているからだと思います。

現在、市販の加工食品のほとんどに添加物が使われています。そして添加物の大半は人工的に化学合成されたものであり、中には発がん性が疑わしかったり、免疫力を低下させる可能性があったり、胎児に障害をおよぼす危険性のあるものもあります。

現在、私達の体は知らないうちに添加物によってむしばまれています。それを防ぐため

には、本書で取り上げた危険性の高い添加物ができるだけ摂らないようにすることです。これを実行することによって、添加物による害の大半は防ぐことができます。(2023.1)

## 〔内容構成〕

プロローグ 食品添加物が危険なこれだけの理由

- I がんになりたくなければ、この添加物は食べてはいけない
- II 免疫力を低下させる心配のある添加物
- III 胎児に障害をもたらす危険性のある添加物
- IV 子どもにとくに食べさせたくない添加物
- V 改めて食品添加物とは何ですか
- VI 一目でわかる添加物表示の見方
- VII それほど心配しなくてもいい添加物



**農と食の戦後史**  
敗戦からポスト・コロナまで

大野和興・天笠啓祐共著  
四六判上製 188頁 1800円  
ISBN978-4-8461-2018-4 C0036

敗戦直後の食糧難時代を経て、環境破壊や健康破壊が顕在化し、農業が衰退してゆく。グローバル化の波にさらされ、食の安全が脅かされるようになる。本書は、日本の農業と食がどのように変化してきたかを捉え、戦後の食と農を総括している。(2020.9)



**牛乳をめぐる10の神話**

エリーズ・ドウソル二エ著・井上太一訳  
四六判上製 216頁 2200円  
ISBN978-4861-2009-2 C0036

かつて非常によい飲みものと思われていた牛乳も、研究の結果、その再考を迫られている。また、乳製品は驚くほど様々な健康問題を引き起こすものと、認識されつつある。本書は、健康に良いと思われてきた、牛乳をめぐる驚くべき真実を明らかにする。(2020.4)



プロブレムQ&A  
**ゲノム操作・遺伝子組み換え食品入門**  
〔食卓の安全は守られるのか?〕

天笠啓祐著  
A5変並製 280頁 1900円  
ISBN978-4-8461-1910-2 C0336 ☆

新しい遺伝子操作を用いた作物やゲノム操作食品の開発が進んでいるが、政府はこれらの安全審査も食品表示もしない方針という。本書は、遺伝子組み換え・ゲノム操作の本質と危険性を探り、現在の状況、対応策などをQ&A形式でやさしく解説する。(2019.6)



**ゲノム操作食品の争点**

天笠啓祐著  
四六判並製 212頁 1800円  
ISBN978-4-8461-1723-8 C0036 ☆

食料危機を克服するという名目のもと、いま、ゲノム操作食品という新しい遺伝子操作を用いた作物や食品の開発が進んでいる。本書は反対運動の第一人者が、新しいバイオテクノロジーであるゲノム操作技術とその作物や食品の問題点をやさしく解説。(2017.12)



**プロブレムQ&A  
遺伝子組み換え食品入門 [増補改訂版]**  
必要か不要か？安全か危険か？

天笠啓祐著  
A5判並製 192頁 1800円  
ISBN978-4-8461-1616-3 C0336

バイオテクノロジーの応用が進み、自然界にはなかったものが作られ、生態系への影響や食の安全性が脅かされている。本増補改訂版は、遺伝子組み換え食品の危険性を明らかにし、T P P交渉を踏まえ最新の問題点を加筆した。(2016.8 増補改訂、初版 2013.9)



**新・ヤマザキパンはなぜカビないか**  
誰も書かない食品&添加物の秘密

渡辺雄二著  
四六判並製 208頁 1700円  
ISBN978-4-8461-1509-8 C0036

本書は、旧版『ヤマザキパンはなぜカビないか』の増補改訂版。著者を交えた消費者と山崎製パンとの議論を経て、同社は臭素酸カリウム使用を取りやめた。本書は、その顛末をまとめながら、改めて食品と添加物の問題点を取り上げる。(2013.9、旧版 2008.3)



**なぜ遺伝子組み換え作物に反対なのか**  
「セラーニ二事件」は転換点となるか

ジャック・テスター著／林昌宏訳  
四六判並製 108頁 1200円  
ISBN978-4-8461-1324-7 C0036

「遺伝子組み換え作物は、一体誰の利益になるのか」。遺伝子組み換え作物のリスク便益の評価方法は、医薬品と同様の手続きを踏むべきだ。本書の目的は、私たちが必要としないモノを、私たちに押し付ける人々の戦略を暴露することにある。(2013.12)



**遺伝子組み換え企業の脅威 [増補版]**  
モンサント・ファイル

『エコロジスト』誌編集部編／アントニー・F・ポーズ／安田節子監訳／日本消費者連盟訳  
A 5判並製 180頁 1900円  
ISBN978-4-8461-1122-9 C0036

遺伝子組み換え技術をてこに農業・食糧を支配しようとする世界最大のバイオテクノロジー企業モンサント社。この戦略が人々の健康と農業の未来にとっていかに危険であるかをレポート。遺伝子組み換え作物問題の最新の動向を増補。(2011.12、初版 1999.12)



**クリティカル・サイエンス⑥  
遺伝子組み換えナタネ汚染**

遺伝子組み換え食品いらない！キャンペーン編  
A 5判並製 200頁 2000円  
ISBN978-4-8461-1013-0 C0340

遺伝子組み換えナタネは、生物多様性とどう関わり、地球の未来をどう左右するのか？本書は市民による六年間の地道な調査活動を基に遺伝子組み換えナタネの現状と問題点を掘り下げる。海外の状況も踏まえ、丁寧に説明する。(2010.10)



**健康食品は効かない!?  
くだんの食事で健康力アップ**

渡辺雄二著  
四六判並製 192頁 1600円  
ISBN978-4-8461-1007-9 C0036

テレビや新聞のCMでおなじみの、数々の健康食品や特定保健用食品はホントに効くのか？効果は確認されたのか、どうして効かないのか、副作用はないのかなど、商品別に徹底分析、くだんの食事で健康力アップの方法を提案する。(2010.7)



**『農と食の戦後史』書評  
歴史に目を閉じ、過ちを繰り返す  
為政者こそ読むべき本だ。**

2人のジャーナリストが対話形式で、農と食の戦後史を縦横に語る。政治、経済、社会の変遷と絡め、その全体像に迫った。現場に立脚しながら、構造問題を解析し、ポストコロナウイルス時代の視座を提示する。

食糧増産、基本法農政、総合農政、グローバル化、新型コロナ禍による変化を読み解く。眼前に広がるのは農業の衰退、食の安全の後退と

いう荒涼たる世界である。通底するのは、自由化と効率至上主義。それを招いたのは米国の「核の傘と食糧の傘」に守られた日本の戦後体制そのものだと言破する。

コロナなどの感染症拡大は、グローバル化の所産だとし、改めて生産者と消費者の結び付きを強め、小さな試みを地方から起こすよう呼び掛ける。歴史に学び、未来を展望するための一冊である。歴史に目を閉じ、過ちを繰り返す為政者こそ読むべき本だ。

●『日本農業新聞』2020年11月29日号



**プロブレムQ & A  
危険な食品・安全な食べ方**  
(自らの手で食卓を守るために)

天笠啓祐著  
A 5 判並製 184頁 1700円  
ISBN978-4-8461-0802-1 C0336

食品偽装事件から、狂牛病、鳥インフルエンザ、遺伝子組み換え食品の問題など、食を取り巻く環境は益々悪化している。本書は、事態を様々な問題を通して分析、とられるべき政策、食の安全と身を守るにはどうしたらよいかを具体的に提言する。(2008.2)

\*



**生物多様性と食・農**

天笠啓祐著  
四六判上製 208頁 1900円  
ISBN978-4-8461-0909-7 C0036

グローバリズムが、環境破壊を地球規模にまで広げ、生物多様性の崩壊に歯止めがかからない状況にある。気づかれずに絶滅した生物種も多数にのぼる。本書は、危機の元凶が多国籍企業の活動にあり、これをどう乗り越えることが可能かを明らかにする。(2009.9)

\*



**世界食料戦争 [増補改訂版]**

天笠啓祐著  
四六判上製 240頁 1900円  
ISBN978-4-8461-0808-3 C0040

現在の食料価格高騰の根底には、グローバリゼーションがある。世界規模での食料の流通と競争。食品偽装事件もまた、これと無関係ではない。本書は、最近の情勢もふまえ、そのメカニズムを易しく解説、それに対抗する市民の運動を紹介。(2008.6、初版2004.9)

\*



**食品汚染読本**

天笠啓祐著  
46 判並製 216頁 1700円  
ISBN4-8461-0215-7 C0040

遺伝子組み換え食品から狂牛病まで、今ほど消費者の食品にたいする不安と不信が広がったことはない。しかも取り締まるべき農水省から厚労省までは業者よりで、事態を深刻化するばかり。本書は、不安で危ない食品の問題点と解決策を解説。(2002.10)

\*



**市民のための疫学入門**  
医学ニュースから環境裁判まで

津田敏秀著  
A 5 判並製 246頁 2400円  
ISBN4-8461-0311-0 C0036

SARS、食中毒、環境汚染と人体へ影響、薬害……。医学・医療ニュースから裁判まで、因果関係を考える疫学。さまざまな公害・環境裁判に関わってきた疫学研究者による、疫学をやさしく解説した入門書。(2003.11)

\*



**雪印の落日**  
食中毒事件と牛肉偽装事件

藤原邦達著  
四六判上製 324頁 2000円  
ISBN4-8461-0201-7 C0058

史上最大の集団食中毒事件となった雪印乳業食中毒事件に続く雪印食品の牛肉表示偽装事件。日本を代表する食品メーカーで起きた、考えられないような事件。本書は食品衛生学の第一人者の著者が、企業と国の責任を厳しく問う。(2002.3)



**食料主権**

日本消費者連盟編  
四六判並製 208頁 1700円  
ISBN4-8461-0514-8 C0040

本書は、世界の農民・消費者運動がこれら多国籍企業やWTO（世界貿易機関）などに対抗するために掲げ、追求しようとしている食料主権を取り上げ、その意味するもの、それを守るためには何が必要かを様々な角度から提言。(2005.9)



**食不安は解消されるか**

藤原邦達著  
四六判上製 312頁 2200円  
ISBN4-8461-0317-X C0036

食品安全基本法と改正食品衛生法が成立。狂牛病や食中毒、PCB、農薬・ダイオキシン汚染や環境ホルモン、遺伝子組み換え食品……果たして、食不信、食不安、食不満を解消できるか？ 食の安全の現状を鋭く分析、近未来を予測した警鐘の書！(2004.1)

\*



## 安全な暮らし方事典

日本消費者連盟編  
A 5判並製 359頁 2600円  
ISBN4-8461-0009-X C0036

☆☆

ダイオキシン、環境ホルモン、遺伝子組み換え食品、食品添加物、電磁波等、今日ほど身の回りの生活環境が危機に満ちている時代はない。本書は問題点を易しく解説、対処法を提案。日本消費者連盟30周年記念企画

(2000.6)



## プロブレムQ&A ハイテク食品は危ない [増補版] (蝕まれる日本の食卓)

天笠啓祐著  
A 5判並製 140頁 1600円  
ISBN4-8461-9707-7 C0358

遺伝子組み換えダイズなどの輸入が始まった。またクロン牛、バイオ魚などハイテク技術による食品が食卓に増え続けている。しかし安全性に問題はないのか。最新情報を増補し内容充実。遺伝子組み換え食品問題の入門書。

(1997.5、旧版 1995.11)



## クリティカル・サイエンス① 遺伝子組み換え食品の危険性

緑風出版編集部編  
A 5判並製 224頁 2200円  
ISBN4-8461-9710-7 C0358

\*

遺伝子組み換え作物の輸入が始まり、食品の安全性、表示問題、環境への影響をめぐって市民の不安が高まっている。シリーズ第一弾では、関連資料も収録しこの問題を専門的立場で多角的に分析、その危険性を明らかにする。

(1997.8)



## クリティカル・サイエンス③ 遺伝子組み換え食品の争点

緑風出版編集部編  
A 5判並製 284頁 2200円  
ISBN4-8461-0001-4 C0040

\*

豆腐の遺伝子組み換え大豆など、知らぬ間に遺伝子組み換え食品が、茶の間に進出してきた。導入の是非や表示をめぐると問題点、安全性や人体・環境への影響等、最新の論争、データ分析で問題点に迫る。資料多数。

(2000.2)



## クリティカル・サイエンス④ 遺伝子組み換えイネの襲来

遺伝子組み換え食品いらない！  
キャンペーン編  
A 5判並製 176頁 1700円  
ISBN4-8461-0119-3 C0340

☆☆

遺伝子組み換え技術が主食の米にまで及ぼうとしている。日本をターゲットに試験研究が欧米でも進められ、近々解禁されるのでは危惧されている。遺伝子組み換えイネの環境への悪影響から食物としての危険性まで問題点を衝く。

(2001.12)



## 増補改訂 遺伝子組み換え食品

天笠啓祐著  
四六判上製 280頁 2500円  
ISBN4-8461-9917-7 C0040

\*

遺伝子組み換え食品が多数出回り、食生活環境は大きく様変わりしているが、安全や健康は考えられているのか。米国と日本の農業・食糧政策の現状を検証、「日本の食卓」の危機を訴える好著。大好評の旧版に最新動向を増補・全面改訂！

(2000.1)



## O-157と無菌社会の恐怖 HACCP システムの問題点

久慈力著  
四六判並製 216頁 1700円  
ISBN4-8461-9817-0 C0036

全国に食中毒パニックを引き起こしたO-157事件。これを機に厚生省が導入を考えているのが「HACCP (ハセツプ)」という殺菌消毒衛生システムだ。しかしこのシステムは果たして安全でかつ信用できるものなのか？ 実態と問題点を検証する。

(1998.9)



## 『動物の権利・人間の不正』紹介 権利否定論に1つ1つ反駁

肉や乳製品が好きなのは、動物の権利の本を読むと苦しくなる。著者もそんな1人だったのがなぜピーガンになったのか？「私が動物の権利を信じるのは、その権利を認める道徳

理論が、それを認めない理論よりも、理性的に考えてより満足のいくものだからである」。

動物の権利否定派は、肯定派を不合理・感情的・反科学・人間嫌いと語る事が多いが、その議論に1つ1つ反駁する。

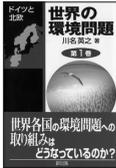
●『クローンハウス通信』2022年7月号

# 世界の環境問題 (全11巻)

川名英之著

全11巻セット39400円(税別)

惑星地球の危機が叫ばれて久しい。京都議定書が発効し、環境政策は待ったなしの状況である。だが、世界各国の環境破壊とその対策は、はたして進んでいるのだろうか？ 本シリーズは世界各国の環境問題の歴史と現状を総括する日本初の大作！



## 第1巻 ドイツと北欧

四六判上製・465頁  
3200円  
ISBN4-8461-0512-1 C0336

惑星地球の危機が叫ばれて久しい。だが、世界各国の環境破壊とその対策は、はたして進んでいるのだろうか？ 本書は、『ドキュメント日本の公害』の著者が主要各国の歴史と現状を総括するシリーズの第1巻。ドイツ・北欧の環境政策を検証する。(2005.12) \*



## 第2巻 西欧

四六判上製・465頁  
3200円  
ISBN4-8461-0623-3 C0336

第2巻は、自然保護に古い歴史を持つオランダ、石炭利用による大気汚染に苦しんだイギリス、原発大国フランス、そして景観美を自然資源とする観光立国スイス、脱原発をめざすイタリアなど西欧11カ国の環境政策、「緑の党」の動きなどを検証。(2007.1) \*☆



## 第3巻 中・東欧

四六判上製・448頁  
3200円  
ISBN978-4-8461-0805-2 C0336

第3巻は、バルカン半島、バルト三国を含めた欧州の東半分を扱う。多くは第二次大戦後、社会主義体制をとった国だ。ドナウ川のダム建設をめぐる反対運動など、知られざる環境問題を追う。また政治と事件を概観し、環境問題への取り組みを検証。(2008.4) \*



## 第4巻 ロシアと旧ソ連邦諸国

四六判上製・496頁  
3400円  
ISBN978-4-8461-0816-8 C0336

第4巻では、豊かな鉱物資源や天然の森林、動植物等の宝庫であるロシアと旧ソ連邦諸国——ウクライナ、ベラルーシ、カフカス3国、中央アジア5共和国などを取り上げる。「利潤を追求しない」社会主義国で、生産力主義と冷戦がもたらした諸問題とは。(2009.1) \*



## 第5巻 米国

四六判上製・528頁  
3500円  
ISBN978-4-8461-0911-0 C0336

米国歴代政権の環境政策は、その背後にある軍産複合体、産業界と市民との緊張関係に影響されてきた。世界が温暖化防止に動く中で、最大のエネルギー消費国の動向は強い影響を及ぼす。オバマ政権の舵取りはまだ、始まったばかりだ。(2009.10) \*☆



## 第6巻 極地・カナダ・中南米

四六判上製・492頁(グラビア3頁)  
3800円  
ISBN978-4-8461-1010-9 C0336

温暖化の影響を強く受けている北極圏と南極圏、熱帯雨林の危機に揺れるブラジルなど南米諸国、内戦で荒廃する小国とエコツーリズムで復活したコスタリカなどの中米諸国、有機農業大国となったキューバなどカリブ海諸国等の自然と環境問題を追う。(2010.8) \*☆



## 第7巻 中国

四六判上製 388頁  
3500円  
ISBN978-4-8461-1110-6 C0336

西欧列強による支配下から人民中国の成立、改革開放に至る今日中国までの歴史を辿りながら、歴史と現状を総括する。森林伐採・砂漠化と砂漠緑化、自然破壊と稀少動物の減少、黄土高原と砂漠化・黄砂の頻発、大気汚染や酸性雨など。(2011.9) \*☆



## 第8巻 アジア・オセアニア

四六判上製 608頁  
4000円  
ISBN978-4-8461-1216-5 C0336

インド・ボパールの化学工場爆発事故、ベトナム戦争で破壊されたインドシナ各国と戦後のメコン川ダム開発問題、仏ムルロア環礁などの核実験…。第8巻は、中国を除くアジア、オセアニアの公害環境問題の歴史と現状を総括、最新の環境政策を追う。(2012.9)



## 第9巻 中東・アフリカ

四六判上製 548頁  
3800円  
ISBN978-4-8461-1401-5 C0336

第9巻は、砂漠化の進行、農業の不振と飢饉、人口急増、水不足や食料危機、飢餓と餓死、民族・宗教紛争、資源をめぐる大国の介入、内戦と大量の犠牲者と難民、自然破壊と環境汚染、多様な野生動植物の危機など、中東・アフリカの環境問題を総括。(2014.1)



## 第10巻 日本

四六判上製 692頁(グラビア3頁)  
4200円  
ISBN978-4-8461-1413-8 C0336

日本列島は、四季が明確で、豊かな生物、植生など自然環境に恵まれている。しかし、企業優先の産業政策は公害病を引き起こし、豊かな自然を破壊した。本書は、被害者などの闘い、行政、司法の対応の問題点を浮き彫りにした環境・公害史の総括。(2014.10)



## 第11巻 地球環境問題と人類の未来

四六判上製 384頁  
3600円  
ISBN978-4-8461-1515-9 C0336

最終巻第11巻は、人類の築いてきた現代文明が、環境破壊によって崩壊の崖っぷちに立つに至った地球環境破壊の経過をたどり、その現状について総括し、文明の崩壊を防ぐ手立てはないのかを考える。巻末に、歴史年表と重要事項・人名索引を収録した。(2015.10)



### 『JRに未来はあるか』書評 安心が蔑ろにされる実態

中島みゆきの「ホームにて」は、ふるさとを思ふ切なさを歌った名曲です。汽車に乗れば間違いないと帰れるのだという鉄道に対する信頼が、この歌の叙情を支えています。「線路はつづくよどこまでも」や「汽車ぼっぼ」といった童謡の軽快な楽しさも、鉄道がもたらす安心感があってこそのもです。

しかし、日本の鉄道、ことにJRでは、安心や安全が蔑ろにされているのではないかと。ホームドアは設置されていても、駅員がホームにいることは減多にありません。無人駅が増えて、夜遅くに鉄道を利用する女性たちから不安の声があがっています。架線や車両の故障による列車の遅延や運休もあとを絶ちません。高級リゾート列車やリニア新幹線を走らせるよりも、ラッシュ時の混雑緩和のために資金を投じるべきではないかなど、JRを日々利用している全国の人たちは様々な不満を抱えているはずですよ。

1987年4月、国鉄を分割民営化してスター

トしたJRは、「あなたの鉄道になります」と宣言しました。ところが、経費削減を金科玉条としたために、鉄道会社としての本業を疎かにするようになった実態を、確かなデータに基づいて立証したのが本書です。

JRの今日の惨状は、当初から予見されていました。当時大学生だった評者は、国労の組合員を招いての学習会で、JRになったら在来線は寸断されて地方交通は壊滅すると言われたのを鮮明に覚えています。

国鉄が赤字を垂れ流しているとの批判も全く根拠のないものだったし、自動車による代替のほうが費用が格段にかさむことは、本書のなかで丁寧に証明されています。

鉄道には百年を超える豊かな歴史があります。「駅ナカ」のショッピングモールが繁盛しているのも、人々が駅に親しみを感じているからでしょう。

本書は、JRの30年を検証し、公共交通機関のあり方を考えるために必読の一冊です。

【佐川光晴・小説家】

●『中日・東京新聞』2017年7月30日付

## ドキュメント

# 日本の公害(全13巻)

川名英之著

全13巻セット50225円(税別)

水俣病の発生から今日まで現代日本の公害史をドキュメントにした初めての通史! 公害・環境事件に第一線記者として立ち会い続けて20年、膨大な取材メモ、聞き書きノートや資料をもとに書き下ろした渾身の大作!



### 第一巻 公害の激化

四六判上製 465頁(グラビア15頁)  
3000円  
ISBN4-8461-8727-6 C0036

重化学工業振興政策により公害が社会問題化した1960年代を描く。(1987.1)  
[内容構成] 水俣病の発生/新潟水俣病/カドミウム公害/統発する水質汚濁事件/大気汚染公害の激化/四大公害裁判/公害意識の高揚と住民運動/年表〔1〕

☆\*



### 第二巻 環境庁

四六判上製 610頁(グラビア15頁)  
3800円  
ISBN4-8461-8834-5 C0036

激化する公害問題に対処すべく新設された環境庁を追う。(1988.10)  
[内容構成] 対応策迫られた政府/公害国会/草創期の環境庁/乗用車排ガス規制/土呂久と松尾の亜硫酸鉍害/対馬・安中のカドミウム鉍害/公害行政の前進/年表〔2〕

☆\*



### 第三巻 薬害・食品公害

四六判上製 409頁(グラビア7頁)  
2825円  
ISBN4-8461-8936-8 C0036

代表的な薬害、食品公害への政治の対応、企業と被害者の動きと顛末。(1989.5)  
[内容構成] スモン薬害の発生/スモン訴訟の和解/サリドマイド事件/クロロキン薬害事件/森永砒素ミルク中毒/PCB公害/年表〔3〕

☆\*



### 第四巻 足尾・水俣・ビキニ

四六判上製 493頁(グラビア15頁)  
3400円  
ISBN4-8461-8938-4 C0036

「公害の原点」と呼ばれる足尾鉍毒事件と水俣病、核軍拡競争の発端となったビキニ核実験を追う。(1989.11)  
[内容構成] 足尾鉍毒事件/水俣病の認定問題/水俣病認定をめぐる訴訟/ビキニ核実験と第五福竜丸/原水爆実験・禁止運動関連年表

☆\*



### 第五巻 総合開発

四六判上製 370頁(グラビア7頁)  
3000円  
ISBN4-8461-9044-7 C0036

日本列島を「公害列島」と化した全国総合開発計画を追う。(1990.12)  
[内容構成] 全国総合開発計画/列島改造から四全総へ/新産業都市水島の公害/瀬戸内海の開発/瀬戸内海の汚染と入浜権/大規模開発・総合開発計画関連年表

☆\*



### 第六巻 首都圏の公害

四六判上製 465頁(グラビア15頁)  
3500円  
ISBN4-8461-9148-6 C0036

大気汚染・開発埋立等による首都圏の公害を詳述。(1991.5)  
[内容構成] 京浜工業地帯の公害/京葉臨海工業地帯の公害/川崎製鉄公害訴訟/東京湾岸の開発と汚染/ゴミ公害/東京湾横断道路/鹿島の開発と公害/年表〔4〕

☆\*



### 第七巻 大規模開発

四六判上製 541頁(グラビア15頁)  
4500円  
ISBN4-8461-9254-7 C0036

新全総などによる主要な大規模開発をめぐる行政と住民の闘いの顛末を追う。(1992.1)  
[内容構成] 志布志湾の開発/大分新産業都市の公害/九州の開発と自然保護/中海・宍道湖の淡水化問題/苫小牧東部の開発/むつ小川原開発/年表〔5〕

☆\*



## 第八巻 空港公害

四六判上製 469頁 (グラビア 15頁)  
4200円  
ISBN4-8461-9263-6 C0036

☆\*

耐えがたい騒音をまき散らす民間空港、軍用空港の公害を追う。(1993.1)  
[内容構成] 大阪国際空港の公害/大阪空港公害最高裁判決/関西新空港の建設/横田基地の騒音公害/厚木基地公害訴訟/嘉手納基地の騒音公害/交通公害問題関連年表



## 第九巻 交通公害

四六判上製 553頁 (グラビア 7頁)  
4800円  
ISBN4-8461-9369-1 C0036

☆\*

自動車特にディーゼル車の急増によるNOx 濃度の悪化などを分析(1993.7)  
[内容構成] 悪化するNOx 濃度/ディーゼル車の公害/自動車公害訴訟/新幹線の騒音公害/名古屋新幹線訴訟/拡大する新幹線公害/年表〔6〕



## 第十巻 飲料水・海水汚染

四六判上製 605頁 (グラビア 7頁)  
4900円  
ISBN4-8461-9479-5 C0036

☆\*

排水で汚濁が進む湖沼問題、発がん性物質に汚染される飲料水問題を追跡。(1994.9)  
[内容構成] 琵琶湖・霞ヶ浦の汚濁と対策/難航した湖沼法制定/飲料水の発がん性物質汚染/ゴルフ場の農業汚染/沖縄の海水汚染とサンゴ/年表〔7〕



## 第十一巻 環境行政の岐路

四六判上製 548頁 (グラビア 7頁)  
4800円  
ISBN4-8461-9590-2 C0036

☆\*

公害健康被害補償制度の見直しや環境アセス法制化の挫折など、環境行政の後退から基本法成立まで。(1995.5)  
[内容構成] 環境行政の後退/環境アセス法制化の挫折/公害訴訟の動向/白神山地のブナ林保護運動/環境基本法の制定 他



## 第十二巻 地球環境の危機

四六判上製 490頁 (グラビア 8頁)  
4300円  
ISBN4-8461-9599-6 C0036

☆\*

林・生物種の減少/有害化学物質の越境汚染

オゾン層の破壊・地球温暖化問題など地球環境の危機と地球サミットなどの対応策を追う。(1995.11)

[内容構成] 地球環境問題の発生/地球温暖化と政府の対応/「地球サミット」/熱帯雨

[資料] 国連人間環境会議「人間環境宣言」/国連人間環境会議10周年記念会合「ナイロビ宣言」/「環境と開発に関する世界委員会」(別称・国連環境特別委員会)の「東京宣言」/主要先進国首脳会議の経済宣言に盛り込まれた環境問題/環境と開発に関するリオ宣言/気候変動に関する枠組み条約(骨子)/生物の多様性に関する条約(骨子)/森林に関する原則声明/アジェンダ21(骨子)



## 第十三巻 アジアの環境破壊と日本

四六判上製 354頁 (グラビア 8頁)  
3200円  
ISBN4-8461-9603-8 C0036

☆\*

日本企業によるアジア諸国への「公害輸出」の実状と日本政府の不誠実な対応を追う最終巻!(1996.2)  
[内容構成] 環境配慮のない「欠陥ODA」/進出企業と「公害輸出」/アジアの公害・自然破壊/対応を迫られている課題

### 川名英之 (かわな ひでゆき)

元毎日新聞編集委員。著述業。  
1935年千葉県生まれ。東京外国語大学ドイツ語科卒業。

1960年から毎日新聞記者。1965年、社会部。日本化学工業のクロム事件を取材以来、公害・環境問題をフォローし、1977年から83年まで環境問題を、そのあと87年まで都市問題、国土政策などを担当、読者室委員を経て、90年同社を退職。

# クルマ社会と交通を考える



## 次世代へつなぐ地域の鉄道 国土省検討会 提言を批判する

安藤陽・桜井徹・宮田和保編著  
A 5判上製 192頁 2500円  
ISBN978-4-8461-2310-9 C0065

鉄道開業から150年目を迎えた2022年に、国土交通省の有識者検討会が『地域の将来と利用者の視点に立ったローカル鉄道の在り方に関する提言～地域戦略の中でどう活かし、どう刷新するか～』という提言を公表しました。

この提言は、第三セクター鉄道や地方私鉄だけでなく、JRローカル線を含む地方の中核的な都市の周辺、それらの都市を連絡する路線も含めた在来線の見直しを提起するものです。

ローカル鉄道の見直しを提起する提言の理由は是認できるものなのでしょうか。私たち

は提言の内容について批判的な視点からまとめました。(2023.10)

### [内容構成]

第1部 ローカル鉄道問題はローカルだけの問題ではない

はじめに／検討会設置の契機と背景／検討会と提言の枠組み・概要／論点／あるべき方向

第2部 提言に対するQ&A

ローカル線を取り巻く現状に関するQ&A／ローカル鉄道の廃止と地域公共交通の利便性に関するQ&A／地方自治体の責任と役割に関するQ&A／国の責任と役割に関するQ&A／地域社会における鉄道の役割に関するQ&A

第3部 地域のための鉄道を求めて

鉄道は「社会的生産過程の一般的条件」／JR北海道のもっている矛盾と二つの解決の道／第一の道における理論的な枠組み／第二の道をもとめて



## 時刻表が薄くなる日

上岡直見著  
四六判上製 312頁 2700円  
ISBN978-4-8461-2306-2 C0036

日本の鉄道創業から150年にあたる2022年、長年築き上げた鉄道ネットワークを破壊しかねない政府の方針が提示された。輸送量の少ないJRローカル線の廃止を促進する内容である。一方でJRは一人百数十万円の料金で豪華なクルーズトレインを運行している。

「一生に一度は乗りたい列車」より「一生乗り続けられる列車」を走らせるべきではないのか。このままでは新幹線と大都市の通勤路線しか残らず「時刻表が薄くなる日」が迫っている。

鉄道の活用による持続的な交通体系を考え

る。(2023.5)

### [内容構成]

はしがき

本書の構成／用語と資料

第1章 時刻表が薄くなる日

第2章 公共交通の価値

《コラム1》宇田郷駅

第3章 誰が「お客さま」なのか

第4章 鉄道は「人」で動く

《コラム2》「駅」こそ鉄道の命

第5章 鉄道に乗ってもらうには

第6章 バス転換は解決策ではない

《コラム3》「上岡直見」に行ってきた

第7章 鉄道とSDGs

第8章 鉄道貨物の活用

第9章 すでに破綻したりニア新幹線

第10章 鉄道活用のための政策

あとがき



## 自動車の社会的費用・再考

上岡直見著  
四六判上製 276頁 2700円  
ISBN978-4-8461-2208-9 C0036

クルマ社会の負の側面を指摘し警鐘を鳴らしたのは宇沢弘文の『自動車の社会的費用』(1974年)であった。宇沢の論考から半世紀、その負の側面は悪化している。いま改めて宇沢はか先人の指摘を振り返るとともに、自動車依存社会の転換を考える。(2022.4)

### [内容構成]

1. クルマ社会は何をもたらしたか
2. 社会的費用半世紀
3. 住み方・動き方
4. 道路に関する動き
5. 終わらぬ「交通戦争」

6. 現代の社会的費用論
7. 技術は社会的費用を解決しない
8. ポストコロナのクルマ社会
9. 物流をどうするか
10. 公共交通と社会的共通資本



## 道路の現在と未来 道路全国連四十五年史

道路住民運動全国連絡会編著  
四六判上製 368頁 2600円  
ISBN978-4-8461-2113-6 C0036

道路事業は始まったら止まらない。住民は道路と対峙し、全国組織を立ち上げ、建設を強行する事業者と闘うと共に、住民の理解を得る、透明性のある、持続可能な道路の在り方を提言してきた。本書は、道路全国連の45年の闘いの代表例など事例別に総括し、専門家や研究者の分析・提言などを踏まえ、道路の現在と未来を切り拓く試みである。

(2021.7)

### [内容構成]

第1部 公共事業の実態と今後への提言

- 第1章 国土・地域再編の方向性とインフラ整備のあり方（中山徹）
  - 第2章 車と道路計画の現状と課題（上岡直見）
  - 第3章 道路の設置管理と市民参加（磯野弥生）
  - 第4章 東京外環道の事例からみるP Iと市民・住民参加（小山雄一郎）
- 第2部 住民はどのように抵抗し何を勝ち取ってきたか
- 第1章 住民参加を目指して
  - 第2章 環境を守る
  - 第3章 法廷での闘い
  - 第4章 あきらめなくて闘い続けるということ
  - 第5章 住民側からの提案で事業計画を変える試み
- 第3部 資料編



## 地域における鉄道の復権 持続可能な社会への展望

宮田和保・桜井徹・武田泉編著  
A5判上製 320頁 3200円  
ISBN978-4-8461-2105-1 C0065

鉄道は安全性・定時性・高速性で高く評価され、地域社会の発展に不可欠であるのに、政府の自動車・航空偏重政策の前に危機を迎えている。本書は、「持続可能な社会」の考え方を基本に、鉄道路線・地域経済・社会の存続・再生への道を提起する。

☆

(2021.3)



## 新型コロナ禍の交通

上岡直見著  
四六判上製 225頁 2000円  
ISBN978-4-8461-2020-7 C0036

新型コロナ禍は終息する気配がなく、今後長く社会・経済に影響を及ぼす恐れがある。その結果、公共交通が危機に瀕している。鉄道での「三密」リスクへの対策は、どうあるべきか？ 本書は新型コロナ時代に対応する☆ 低速交通体系の充実に提案する。(2020.10)



### 『時刻表が薄くなる日』 迫る、「明治20年代の鉄道」への後退

2022年は、日本の鉄道運行開始から150年。だが、鉄道の未来は暗い。著者によれば「ローカル線ヘイト」が続く中、「近い将来」残るのは「新幹線と大都市周辺の通勤路線」のみ。「それはおよそ明治20年代の鉄道ネットワークの姿」だ。単に人口減少や過疎化が理由ではない。JRなど鉄道事業者によるコストダウン一辺倒経営が利便性を著しく低下させ、鉄道離れに拍車をかける。日本の鉄道輸送がもたらす収益事業にすぎず、社会的インフラとしての公共交通の位置付けが失われているためだ。この傾向を、

1987年の国鉄分割民営化が加速した。転換は可能なのか。EU（欧州連合）圏は、市場規模が日本より格段に小さい鉄道路網を公的な財政支援で維持する。これに比べ、日本の鉄道事業のトータルな営業収支は1兆3500億円もの黒字（2019年度）。さらに、リニア中央新幹線の膨大な事業費の5%程度であれば、在来線のネットワークは十分に維持されるという。著者は、ローカル線廃止の背景に戦後日本の農業軽視を見る。とすれば、鉄道の公共性確立は、国内農業再生ともセットになった社会民主主義の大きな課題と言えるのではないかと。

(河田すみ)

●『社会新報』2023年7月5日付



**僕らの街に「道路怪獣」が来た**  
現代の道路戦争

山本俊明著  
四六判並製 272頁 2200円  
ISBN978-4-8461-1917-1 C0036

戦時法制の影響を受けた住民無視の道路計画が、東京五輪を前に続々と強行される。本書は「道路怪獣」=理不尽とも言える道路建設に立ち向かった市民の戦いと、建設強行のカラクリを明らかにし、無用な道路建設をどうしたら止められるかを考える。(2019.9)



**自動運転の幻想**

上岡直見著  
四六判上製 223頁 2500円  
ISBN978-4-8461-1911-9 C0036

自動運転は自動車や交通に関わる諸問題を解決できると期待が高まっている。自動車メーカーの開発も急ピッチだ。しかし本当にそうなのか？ 本書は自動運転の技術問題と交通問題を多角的な視点から分析、自動運転の限界と幻想を指摘する。(2019.6)

☆



**沿線住民は眠れない**  
京王線高架計画を地下化に

海渡雄一・筒井哲郎著  
四六判並製 204頁 1800円  
ISBN978-4-8461-1808-2 C0065

1969年に決定した京王線高架化計画は開かずの踏切こそ解消するものの、沿線住民が希望する騒音・振動問題、日照問題を解決できない。一方、地下化は、駅周辺の一体的開発、鉄道跡地の防災緑地化などを可能にする。合理性を無視した計画は許されない！(2018.5)



**JRに未来はあるか**

上岡直見著  
四六判上製 264頁 2500円  
ISBN978-4-8461-1710-8 C0036

国鉄が分割民営化され、1987年4月、JRが発足した。あれから30年、JRは赤字を解消して安全で地域格差のない「利用者本位の鉄道」に生まれ変わったのか？ 本書は、鉄道交通問題研究の第一人者が、分割民営化後のJRの30年を総括。(2017.6)

☆



**鉄道は誰のものか**

上岡直見著  
四六判上製 228頁 2500円  
ISBN978-4-8461-1610-1 C0036

日本の鉄道の混雑を解消するために必要なことは、事業者の姿勢の問い直しであり、交通政策、政治の転換である。本書は、混雑の本質的な原因を指摘し、鉄道が本来持っている存在価値を再確認すると共に、リニア新幹線の負の側面についても言及。(2016.6)



**プロブレムQ&A**  
**どうする？鉄道の未来 [増補改訂版]**  
[地域を活性化するために]

鉄道まちづくり会議・編  
A5判並製 264頁 1900円  
ISBN978-4-8461-0903-5 C0336

日本全国で赤字を理由に鉄道の廃止が続出していますが、いいのでしょうか。日本社会の今後を考えれば、交通問題を根本から見直す必要があります。本書は地域の鉄道を見直し、その再評価と存続のためのマニュアルです。(2009.4増補改定、初版2004.12)

☆☆



**市民のための道路学**

上岡直見著  
四六判上製 260頁 2400円  
ISBN4-8461-0409-5 C0036

今日の道路政策は、諸交通機関の総合的関係、環境対策との関係などを踏まえ、私たちの暮らしにどうかかわるのかという観点から議論される必要がある。本書は、市民のために道路交通の基礎知識を解説するとともに、「脱道路」を考える入門書！(2004.7)

\*



**持続可能な交通へ**  
シナリオ・政策・運動

上岡直見著  
四六判上製 304頁 2400円  
ISBN4-8461-0304-8 C0036

自動車の過剰な使用による様々な弊害は、今なお改善の方向が見いだせない。一方、国民皆免許で、クルマは不可欠なものになっている。脱クルマの社会システムと持続的に住み良い環境作りのために、生活と自治をキーワードに、具体策を提言。(2003.7)

\*



## クルマが鉄道を滅ぼした [増補版]

ビッグスリーの犯罪

ブラッドフォード・C・スネル著  
戸田清・他訳  
四六判上製 286頁 3000円  
ISBN4-8461-0622-5 C0065

米国のクルマ社会はどのように形成されたのか？ ビッグスリーが、競合する鉄道・バスを自動車へ強引に置き換え、利益追及のためにいかに破壊してしまうのかを描く。米国の脱クルマ社会化の動向を白石忠夫が「増補版解説」で増補（2006.12 増補、初版 1995.4）

\*



## 世界は脱クルマ社会へ

白石忠夫編著  
四六判上製 226頁 2000円  
ISBN4-8461-0014-6 C0065

ディーゼル車などクルマの排ガスによる発がん物質の排出、大気汚染、地球温暖化問題など、いまやクルマ社会を放置しておくことはできない。欧米各国はすでに公共交通の復活など脱クルマ社会へと向かっている。本書はその現状と展望を考える。（2000.11）



## ディーゼル車公害

川名英之著  
四六判並製 252頁 2000円  
ISBN4-8461-0021-9 C0036

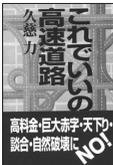
肺がん、呼吸器疾患、花粉症、地球温暖化の元凶であるディーゼル排ガス。先進国に比べ日本は野放しで、ディーゼル車の販売台数はうなぎのぼり。地球温暖化防止の国際条約にも違反する始末。問題点と緊急対策を提起。（2000.12）



## 東京湾アクアラインの検証

久慈力著  
四六判並製 232頁 1800円  
ISBN4-8461-9909-6 C0036

総事業費1兆4400億円の巨費を投じ完成した東京湾アクアライン。だがこの1年間の交通量は通行料の高さも禍いし予定の4割にも満たなかった。年間欠損は933億円にのぼり、返済の目処さえない。公共事業の大愚行、アクアラインを総点検。（1999.7）



## これでいいのか高速道路

久慈力著  
四六判並製 214頁 1900円  
ISBN4-8461-9621-6 C0065

高速道路の料金はなぜこんなに高いのか？ 道路公団はなぜ巨大な赤字をかかえているのか？ 阪神大震災での被害はなぜ起こったのか？ 関係法人は大儲けし、談合は花盛りで建設だけが進み、自然は破壊される。高速道路路行政を厳しく告発する。（1997.1）



## どうする旧国鉄債務

横田一著  
四六判並製 197頁 1800円  
ISBN4-8461-9807-3 C0036

国民1人あたり20万円、総額28兆円の旧国鉄債務。国鉄の分割・民営化から10年で1.7倍にも増えた国民の借金負担。本書は、処理法案によって国民へのツケ回しが目論まれている旧国鉄債務の原因と責任を徹底追及した告発の書！（1998.4）



## 「国鉄改革」を撃つ 公共交通の再生

鎌倉孝夫著  
四六判上製 214頁 1600円  
ISBN4-8461-8625-3 C0033

国鉄の「分割・民営」は、天文学的な資産の切り売りで財界による国鉄乗っ取りの大陰謀計画である。交通政策の第一人者が膨大なデータを分析、本質をトータルに解明し公共交通としての国鉄の民主的再生の道を構想する。（1986.9）



## 成田空港って何だろう [新装版]

松岡秀雄著  
四六判上製 302頁 2500円  
ISBN4-8461-8903-1 C0036

公益性の名を冠するにあたいしない、戦後最大の愚拳といわれる成田空港建設問題を、科学的・実証的・歴史的・体系的に分析した書がないなかで、人権の論理を基底に空港建設の不法性・不当性を明らかにした注目の労作！（1989.3）

☆\*



## 『時刻表が薄くなる日』書評 「社会資本」としての鉄道

本書は危機に瀕している公共交通とくに鉄道の現実を直視し、その打開の方向性を探ることを目的にしている。その危機の性格と具体的内容を把握するために豊富な資料の分析および多数の調査が行われている。

国鉄の分割・民営化にさいして自民党は、「国鉄が…あなたの鉄道になります」「ローカル線もなくなりません」「全国画一からローカル優先のサービスに徹します」などの「意見広告」を掲載した。国鉄の分割・民営化から三十六年が経過したが、自民党がなくなるとした「ブルートレイン」はとくに廃止されたし、ローカル線はいまなお廃止の対象になっている。

この間に公共交通のあり方の何が変わったのか。各路線を網状に結ぶのが「ネットワーク型」で、在来線で出発地・目的地に直接行き来することができる。それが各路線を集約し、ハブ(中核)都市間をまとめて輸送する「ハブ&スポーク型」に変化した。地方から地方への移動は乗り換えが多くなり、利用者にとってサービス低下であるが、事業者には効率化で、大都

市中心の交通体系である。

ローカル線は廃止されバスに転換され、主要幹線だけが残り、地方の地域はますます衰退する。鉄道事業者は列車の減便や駅の無人化などでサービスを低下させ「乗らせない」政策によって利用者の著しい減少＝「赤字」を少しでも大きく見せ廃線への道をつくる。この典型を北海道にみることができる。その総計「赤字」は、JRグループで総計九千二百六十七億円(二〇一九年度)の営業黒字からみたら桁違いに小さいが。

今国会でローカル線の廃線を容易に進める法案が可決された。一方で政府はリニア新幹線に財政投融资三兆円を投入する。政府による一極集中化と地方の切り捨てである。

本書は、地域公共交通を利潤追求の「産業」ではなく「社会資本」「セーフティネット」として取り扱い、このための客観的条件が存在することを示している。地域論・貧困論としても読める。

(宮田和保、北海道教育大名誉教授)

●『東京新聞』『中日新聞』2023年7月8日付、  
『北海道新聞』2023年7月23日付



## 『次世代につなぐ地域の鉄道』書評 地域のための鉄道を次世代につなぐ道筋を描いた好著

本書は、現在進められようとしているローカル線廃止の背景と論理を解明し、この流れに抗し、いかにして地域のための鉄道を次世代につなげていくか、その道筋を描いた好著である。廃線の動きが全国的に広がろうとしている今、刊行される意義は大きい。(…)

本書は改正地域交通法の基礎となった国交省検討会提言への徹底批判を通じて、この「提言」の本質がローカル線廃止に向けた模索であることを解明し、再構築協議会の枠組みが廃線を加速させると喝破する。評者はこれまで、再構築協議会の評価は、今後の推移を見なければ確定できないと逡巡していたが、本書を通じて、認識の甘さを痛感した。

(…)

本書では、鉄道をインフラとして捉えることで国の財政責任を確立するというオルタナティブを提示する。毎年2兆円がつき込まれている道路投資に比して、鉄道に関する予算は二桁少ない。この政策を転換し、鉄道をインフラとして位置づけることで、路線の採算性に左右

されない地域の鉄道運営が可能になるとする。また採算性の議論を超えても維持すべき価値が鉄道にはある点について、ネットワーク性や交通権・移動権、あるいは社会的共通資本など、その根拠が説得的に示される。さらに、国鉄分割・民営化や、鉄道廃止に際して地元合意が不要になった2000年の法改正など、歴史をたどって解明している点も本書の特徴である。本書の課題について言及しておこう。第一に、社会的共通資本としての鉄道、交通権・移動権、クロスセクター評価といった重要概念の体系的な記述があれば、読者の理解が進んだと思われる。第二に、オルタナティブの萌芽、あるいはその担い手についての考察に踏み込んで欲しかった。海外での鉄道再生の仕組みと実態、あるいは現状でも都市モノレールや路面電車について道路予算が充当されていること、本書の主張との共通性を多分に含む「23知事による緊急提言」などについての検討が盛り込まれていたならば、本書が示すオルタナティブと展望を深く理解できただろう。(…)

【関耕平・島根大学教授】

●『経済』新日本出版社、通巻342号

# Ⅲ 社会問題の本 人権を守る



## プロブレムQ&A 新・部落差別はなくなったか？ [改訂版] 〔隠すのか顕すのか〕

塩見鮮一郎著  
A5判変並製 236頁 1800円  
ISBN978-4-8461-1720-7 C0336

部落問題については、隠せと顕せ、のふたつの主張が繰り返されてきた。本書は、部落差別もまた、他の差別問題と同様に顕すことで、議論を深め、解決していく必要を説く。改訂版では、本書への部落解放同盟の見解などの資料、「改訂版」あとがきを加えた。(2017.11)

### 【Qの例】

部落はどこにあるのですか？  
藤村の『破戒』のテーマは？  
『破戒』はなぜ批判されたのですか？  
差別と政治とのかかわりは？  
「近代差別」をどのように理解しますか？  
差別は日常生活にあるのですか？  
マスメディアは差別の元凶では？  
差別を利権にすり変えていいのか？  
結論・隠すのか顕すのか？



## 根絶！ヘイトとの闘い 共生の街・川崎から

ヘイトスピーチを許さないかわさき市民ネットワーク編  
四六判並製 239頁 1900円  
ISBN978-4-8461-1708-5 C0036 ☆

在日コリアンを中心に多文化共生の町づくりを長きにわたって進めてきた川崎市南部桜本……この生活圏にヘイトデモが襲いかかる。本書は市や市議会、裁判所、法務省、警察、国会に働きかけるとともに、ヘイトデモと闘う「市民ネットワーク」の全記録。(2017.6)



## 死刑廃止と拘禁刑の改革を考える 寛容と共生の社会をめざして

日本弁護士連合会 第59回人権擁護大会シンポジウム第3分科会実行委員会編  
A4判並製 240頁 3200円  
ISBN978-4-8461-1707-8 C0032

本書は、日本弁護士連合会が2016年10月に開催した第59回人権擁護大会シンポジウム第3分科会の基調報告書「死刑廃止と拘禁刑の改革を考える」並びに「死刑制度の廃止を含む刑罰制度全体の改革を求める宣言」を収録したものである。(2017.5)

### 【内容構成】

まえがき  
巻頭 死刑制度の廃止を含む刑罰制度全体の改革を求める宣言  
提案理由  
第1章 我が国における刑罰の現状と課題  
第2章 国際社会から学ぶべき刑罰制度  
第3章 死刑制度について  
第1節 日本における死刑制度について  
第2節 死刑についての海外調査の結果  
第3節 なぜ、今、日本は死刑制度を廃止すべきなのか  
第4章 求めるべき刑罰制度



## 『根絶！ヘイトとの闘い』紹介 「オール川崎」で挑む

「ヘイトスピーチにNO!」の取り組みが全国各地に広がっている。なかでも神奈川県川崎市での取り組みが際立っている。「オール川崎」を旗印に掲げた「かささき市民ネットワーク」が市議会、行政を動かし、全国に先駆けて公的施設の利用を制限するガイドライン案をつくらせた。国の対策法成立にも大きな影響を与えたことでも知られる。これは結成から1年余りの闘いを振り返った中間報告だ。

執筆陣は「オール川崎」を思わせる多彩な顔

ぶれがそろった。在日同胞の多住する桜本で民族差別 [解消] を進めるための取り組みを進めてきた実践者を中心に弁護士、ヘイトデモの現場に立って取材してきた神奈川新聞の現役記者まで。

冒頭で桜本地域の歴史的背景を紹介。この地のヘイトデモが「共に生きる街づくり」を推進してきた努力を踏みにじるものだと指摘した。本書を読むとその怒りがよく理解できる。なかでも人種差別主義者と直接対峙し、闘ってきた崔江以子さんが語る「魂の叫び」が胸を打つ。(…)

●『民団新聞』2017年8月2日付け。



プロブレムQ & A②  
**新在日韓国・朝鮮人読本**  
 [リラックスした関係を求めて]

梁森昊・山田貴夫著  
 A 5判変並製 / 272頁 / 2000円  
 ISBN978-4-8461-1419-0 C0336

☆ 在日韓国・朝鮮人に対するヘイトスピーチは、ますます激しくなっている。本書は、在日韓国・朝鮮人の歴史と民族差別の現実を分かりやすくQ & Aで解説し、共生の道を考える好評のロングセラー。旧版を全面的に書き改め増補改訂した。(2014.12、初版1996.4)



**モラル・ハラスメント**  
 こころのDVを乗り越える

橋本俊和・智子著  
 A5判並製 / 268頁 / 2400円  
 ISBN978-4-8461-1405-3 C0036

\* パートナーの言動や態度が怖くて、自由にもがけない。それは、「モラル・ハラスメント」といわれる暴力です。本書は、被害者に寄り添いながら、「モラル・ハラスメント」とは何か、そしてそれにどのように対処するべきかを、丁寧に説明しています。(2014.7)



**刑事事件お助けガイド**

矢野輝雄著  
 A 5判並製 192頁 2200円  
 ISBN978-4-8461-1012-3 C0032

\* 本書は、告訴・告発のしかたから起訴後まで、刑事手続きの仕組み、そこでの対応法や問題点、また、新たに導入された裁判員制度とその問題点も解説しています。被疑者やその家族の立場から、まさかの時の刑事事件お助けガイドになっています。(2010.10)



プロブレムQ & A  
**どうなくす? 部落差別**  
 3.11以降の差別を考える

塩見鮮一郎著  
 A 5判変並製 180頁 1700円  
 ISBN978-4-8461-1218-9 C0336

\* 本書は、「放射能差別」とも呼ばれる3.11以降の差別問題を通して、なぜ差別が生まれるのか、なぜいじめが絶えないのかを近代史のうちに探る。隠そうとする心が差別を助長させてないのか、どうすれば部落差別をなくせるかを提言する。(2012.10)



プロブレムQ & A  
**戸籍って何だ [増補改訂版]**  
 [差別をつくりだすもの]

佐藤文明著  
 A 5判変並製 268頁 1900円  
 ISBN978-4-8461-1002-4 C0336

\* ☆ 戸籍制度は日本独特のもの。謄本や抄本なんて他の国にはないし、人権侵害の根源である。本書は戸籍研究家として知られる著者が、戸籍の問題点を中心にQ & Aで解説する。最新の関係法の改正を踏まえ増補改訂した戸籍の決定版。(2010.4、初版2002.7)



プロブレムQ & A  
**在日「外国人」読本 [三訂増補版]**  
 [ボーダーレス社会の基礎知識]

佐藤文明著  
 A 5判変並製 220頁 1800円  
 ISBN978-4-8461-0905-9 C0336

☆ 在日「外国人」ってどういう人をいうのだろうか? 本書三訂増補版では、09年7月に成立した入管法・入管特例法・住民基本台帳法の改定の問題点などを総点検。在日「外国人」の人権を考えるロングセラーの決定版! (2009.9、改訂版1996.12、初版1993.6)



プロブレムQ & A  
**問い直す「部落」観**  
 [日本賤民の歴史と世界]

小松克己著  
 A 5判変並製 256頁 1800円  
 ISBN4-8461-0520-2 C0336

本書は日本の賤民(被差別民)の形成・成立・確立・解体を歴史的展開のなかに問い直す。そして、社会問題としての部落問題がいかに成立したのかを考察、近代化のどこに問題があったのかを論じつつ、今日の部落差別の現実を再度検証する。(2006.2)



『在日「外国人」読本』三訂増補版書評  
**さまざまな点で人権を侵害**

「日本の少数民族はどのようになっているのですか?」「入国管理法ってどんな法律なのですか?」「日系外国人の『定住』化とはどんなことで

か?」一ボーダーレス化社会と在日外国人について36の項目を立て、Q & A方式で紹介した。同じ版元の「プロブレムQ & Aシリーズ」の1冊。改正された入管法・入管特例法・住民基本台帳法の問題点にも言及。

●『中日新聞』2009年10月25日付



**プロブレムQ & A**  
**問い直す差別の歴史**  
 [ヨーロッパ・朝鮮賤民の世界]

小松克己著  
 A 5判変並製 200頁 1700円  
 ISBN4-8461-0516-4 C0336

☆☆

中世ヨーロッパでは、職業による差別があり、また朝鮮でも「白丁」と呼ばれる人々が、賤視されていた。本書は、人権感覚を問いつつ「洋の東西を問わず、歴史のなかの賤民(被差別民)は、どういう存在であったか」を追い求め、差別とは何かを考える。(2005.10)



**プロブレムQ & A ⑩**  
**どう超えるのか? 部落差別**  
 [人権と部落観の再発見]

小松克己・塩見鮮一郎著  
 A 5判変並製 235頁 1800円  
 ISBN4-8461-9619-4 C0336

\*

部落差別はなぜ起こるのか? 本書は被差別民の登場と部落の成立を歴史に追い、近代日本の形成にその原因を探る。また現代社会での差別を考察しつつ、人間にとって差別とは何であるのかに迫り、どう超えるかを考える。(1996.11)



**DNA鑑定 [増補改訂版]**  
 科学の名による冤罪

天笠啓祐/三浦英明著  
 四六判上製 216頁 定価 2200円  
 ISBN4-8461-0603-9 C0036

☆

「DNA鑑定」が人物特定の切り札となっているが、捜査当局の旧態依然たる人権感覚と結びつく時、様々な冤罪が生み出されている。本書は具体例を検証し、問題を明らかにする。最新のDNA鑑定の動向を増補、全面改訂版。(2006.2、初版1996)



**「逮捕・起訴」対策ガイド**  
 市民のための刑事手続法入門

矢野輝雄著  
 A 5判並製 208頁 2000円  
 ISBN4-8461-0219-X C0032

\*

万一、あなたやあなたの家族や友人が犯人扱いされたり、犯人となってしまった場合、どうすればよいのか。本書はそういう人たちのために、逮捕から起訴、そして裁判から万一の服役まで刑事手続法の一切をやさしく解説する。(2002.10)



**全国監獄実態 [四訂版]**

監獄法改悪とたたかう獄中者の会編著  
 四六判並製 356頁 2500円  
 ISBN4-8461-0604-7 C0036

\*

初版発行以来20年、版を重ねたこの分野第一の名著。厳しい監視下で獄中者により行われた実態調査アンケートをもとに、想像を絶する非人道的実態を明らかにし、日本の拘禁法制の問題性を衝く。新受刑者処遇法の解説を加えた四訂版。(2006.3、初版1985.3)



**冤罪と国家賠償**  
 沖繩ゼネストと松永国賠裁判

松永国賠を闘う会著  
 井出孫六解説  
 四六判上製 296頁 2400円  
 ISBN4-8461-9474-4 C0032

\*

沖縄復帰闘争のなかで警官殺害の犯人にデッチ上げられた青年が無実を勝ち取り、人権補償を求めた23年の歩み。一青年の人生をスズタに切り裂きながら、なお国家賠償を拒む国、それを支持する最高裁を指弾する!(1994.4)



**監獄法改悪**

監獄法研究会編著  
 四六判上製 349頁 2400円  
 ISBN4-8461-8624-5 C0036

監獄法を改悪しようとする国家の目論見はなにか。十数年にわたる救援運動の実績をもとに弁護士、医師、活動家が協力し新監獄法=刑事施設法案を全角度から全面的に批判。同法案、同法修正案、留置施設法案も全文収録!(1986.7)



**プロブレムQ & A ①**  
**逮捕・拘禁セキュリティ**  
 [被疑者・被告人・受刑者たちの人権]

佐藤友之著  
 A 5判変並製 180頁 1500円  
 ISBN4-8461-9367-5 C0336

不幸にして「犯人」とされた時、まず私たちは何ができ、何をやらなければいけないのか? 職務質問・家宅捜索の対応法、取調までの心構えや弁護士選任、法廷や留置場・拘留所などの知識など、人権擁護のノウハウを満載!(1993.6)

# 監視社会と治安法制を問う



## AI裁判

小川進著  
四六判並製 180頁 1800円  
ISBN978-4-8461-2017-7 C0036

AIが現代社会を大きく変えようとしている。アメリカでは警察が積極的に使い出した。AIを刑事事件で導入したらどうということになるか。個人識別に使用する顔画像データは免許証等で65%を確保できる。裁判に勝つには、AIを積極的に導入し、警察・検察の上をいく弁護活動が要求される。

本書は冤罪事件にITとAIを駆使し防犯カメラ等を分析、刑事事件で次々に勝訴している著者の鑑定を具体的に解説。(2020.10)

### [内容構成]

はじめに

- 1 AI裁判
- 2 防犯カメラ画像による個人識別
- 3 ビッグデータによる犯人の特定
- 4 1秒間の犯行(1)
- 5 1秒間の犯行(2)
- 6 画像によるアリバイ計算(1)
- 7 画像によるアリバイ計算(2)
- 8 監視カメラ
- 9 交通事故(1)
- 10 交通事故(2)
- 11 その後の裁判
- 12 結論

付録

1. Photoshop
2. Photocan
3. PowerDirector
4. Shade

あとがき



## 共謀罪は廃止できる

海渡雄一著  
四六判並製 160頁 1200円  
ISBN978-4-8461-1718-4 C0036

2017年6月15日、市民の強い反対を無視して共謀罪法が成立しました。いま必要なのは、デジタル監視社会の下で、市民活動をやりきることを誓い合うことです。本書は、共謀罪法のすべてをわかりやすく解説した、廃止運動のためのテキスト(2017.10)



## 新共謀罪の恐怖 危険な平成の治安維持法

平岡秀夫・海渡雄一共著  
四六判並製 288頁 1800円  
ISBN978-4-8461-1704-7 C0036

「共謀罪」が「テロ等準備罪」と呼び名を変えてまた登場してきた。安倍政権は「東京オリンピック・パラリンピックに向けてのテロ対策として必要」と力説する。だがはたしてそうか？本書は、「共謀罪」の成立を阻止してきた専門家による緊急出版！(2017.3)



## 防犯カメラによる冤罪

小川進著  
四六判並製 132頁 1600円  
ISBN978-4-8461-1415-2 C0036

防犯カメラによる刑事事件の証拠が増えていく。いまや、DNAと並んで、二つの決定的な証拠として、被告を次々に有罪としている。本書では、画像が読み解く真実をテーマに、特に刑事事件での冤罪を取り上げて、その原因と機構を明らかにした。(2014.10)



## マイナンバーは監視の番号 徹底批判まやかしの共通番号制度

やぶれっ！住基ネット市民行動著  
四六判並製 276頁 2000円  
ISBN978-4-8461-1210-3 C0036

共通番号制度は、様々な「限定番号」をつないで広範な事務に汎用的に使用される。本書は監視社会や管理強化、プライバシー侵害などの問題からの批判だけでなく、現実に行われようとしている制度やシステムに内在する矛盾や問題点も検討する。(2012.6)



## 個人情報保護法の狙い

臺 宏土著  
四六判並製 264頁 1900円  
ISBN4-8461-0112-6 C0036

この法案は、個人情報に関して民間分野に初めて法の網をかけると共に、言論・出版・表現の自由の封殺をもくろむ悪法である。本書は、法案の背景、政府・与党の狙い、法案をめぐる動きと法案の問題点を、第一線の新聞記者が追う。(2001.10)



## プロブレムQ & A 個人情報を守るために (瀕死のプライバシーを救い、監視社会を終わらせよう)

佐藤文明著  
A 5 判変並製 256頁 1900円  
ISBN4-8461-0107-X C0336

IT時代といわれ、簡単に情報入手できる現在、個人情報やプライバシーを護るにはどうしたらよいのか？ 本書は人権に関する現状や法律を踏まえ、自分を護るための方法を分かり易く提示。(2001.7)

☆



## 危ない住基ネット

臺 宏土著  
46 判並製 264頁 1900円  
ISBN4-8461-0216-5 C0036

住民基本台帳ネットワークシステムの稼動により行政にプライバシーが握られると、悪利用がされるおそれがある。本書は住基ネットの内容、個人情報がどのように侵害されるのか、など第一線記者があらゆる角度から危険性にメスをいれる。(2002.10)



## 『パウハウス』書評 デザインを逍遙する十九世紀ネオ・ゴシックからポスト・モダンまで

タイトル『パウハウス—モダン・デザインの源流』からは、モダン・デザインの専門書といった印象を受けるが、本書はこうした類の書籍ではない。本書はパウハウスの意義を問う形で描き始められているが、全三十一章の内、パウハウスについては三分の一ほどであり、十九世紀ネオ・ゴシックからポスト・モダンまで、自在に西洋デザイン史の全体を捉えたエッセイ集だと言えるだろう。

著者は日本及びフランスで工業デザインを学んだ。ジャン・ボードリヤール著『シミュラクルとシュミレーション』の翻訳者としてだけでなく、歴史エッセイの巧者としても知られている。実のところ評者も雑誌『日経デザイン』の連載コラムのファンである。著者の経験に基づいた語り口は、研究者には書けない本書の魅力と言える。(…)

社会のモラル、ユートピア、装飾からの離脱、衛生観念としての白色などのモダン・デザインの要件について、著者はそれぞれの造形について多面的に語っている。異色なのは、モダンをどう生きるのかに焦点を当てた画家ピート・モンドリアンについての記述だ(十八章)。人生の全てをモダンに捧げた彼の生き様は、過酷で新たな実験の繰り返しだった、と著者は描く。

日本のモダン・デザインの源流はパウハウスだけではない。著者はライマン・シューレに注目した(二五章)。ベルリンに存在していたこの工芸学校には、水谷武彦、向井寛三郎、山室光子、今井和子ら著名な教育者が学び、また若き日の著者自身がこの学校が出版していた広報誌『Farbe und Form』に影響を受けたという。後年のシャルロット・ペリアンと著者との交流もまた、生きた証言となっている。

女性デザイナーとしての著者の思いは、モダン・デザインが女性を解放したのか、という疑問点に向かう。いやモダン・デザイン以上に、家電の量産化や女子教育について、である。パウハウスは女性建築家を養成しなかった。意外にも女性を家事労働から解放しようとしたのは、社会主義国家であった。ソヴィエトのアパート「ナルコムヒンビル」(三十章)は台所やシャワー室が共有で、食事は共同食堂で取るというものであった。ただしこのアパートが完成してから数ヶ月後には党の政策が変わり、個々の世帯に台所がついた。

本書はモダン・デザインの生き証人たち、そして日本のデザイナー及び教育者との著者の地縁をふんだんに活かした稀な思考となっている。

【谷本尚子(京都精華大学教授・デザイン史・デザイン論)】

●『週刊読書人』2023年8月18日付

# アイヌ差別を問う



## アイヌ近現代史読本 [増補改訂版]

小笠原信之著

A5判並製 312頁 2400円

ISBN978-4-8461-1908-9 C0021

☆\*

アイヌの歴史、とりわけ江戸末期から今日までの歴史をやさしく書いた本は、ほとんどない。本書は、松前藩によるアイヌ搾取、1789年のアイヌ民族最後の蜂起といわれるクナシリ・メナシの蜂起と弾圧、幕府の直轄支配と明治維新政府のアイヌモシリ（アイヌの大地）の収奪など、アイヌ支配の歴史、それに対するアイヌ民族の差別との闘い、民族復権への道程を分かりやすく書いた。

江戸末期から今日までのアイヌ民族の過酷なまでの近現代史。

増補改訂版は、アイヌ共有財産裁判、アイヌ遺骨返還訴訟の顛末を追加した。(2019.4)

### [内容構成]

1. 「異域」から「内国」へ
2. 「皇国の臣民」へ
3. 樺太・北千島アイヌの悲劇
4. 開拓の嵐、吹き荒れる
5. 逆境から立ち上がる
6. 民族復権の新しい波
7. アイヌ民族共有財産とアイヌ遺骨返還の

行方

年表

参考文献

あとがき



## アイヌの遺骨はコタンの土へ 北大に対する遺骨返還請求と先住権

北大開示文書研究会編著

四六判並製 304頁 2400円

ISBN978-4-8461-1604-0 C0036

19世紀後半から1970年代まで、北大など全国の大学の教授らが、各地のアイヌ・コタンの墓地を曝いて、人骨・副葬品を研究室に持ち去った。本書は、その返還訴訟を起こしたアイヌたちの闘いを通して、政府が進める「名ばかりのアイヌ政策」を告発する。(2016.4)

### [内容構成]

序章 大量のアイヌ遺骨がなぜ全国の大学にあるのか

フォト・リポート アイヌ墓地「発掘」の現場を訪ねる

第1部 コタンの墓地を暴いた者たちへ

第2部 発掘遺骨「白老再集約」の人権侵害を告発する

第3部 北海道大学はアイヌ遺骨を返還せよ

第4部 先住民族の遺骨返還の潮流

補足資料

あとがきにかえて



## 植民学の記憶 アイヌ差別と学問の責任

植木哲也著

四六判上製 240頁 2400円

ISBN978-4-8461-1512-8 C0036

☆

1977年に北海道大学の「北海道経済史」講義で起きた、アイヌ民族に対する差別発言……。しかし、それはたまたま起きた事件ではなく、背後に「植民学」があった。研究者たちはアイヌ民族をどのように捉えてきたのか。札幌農学校以来の植民学の系譜をたど

り、現代にまでいたるアイヌ民族差別の源流を明らかにし、「学問」の責任を考える。

(2015.7)

### [内容構成]

第一章 差別講義事件

第二章 植民学講座

第三章 内国植民論

第四章 開拓の歴史

第五章 辺境論

終章 植民地の大学

文 献

あとがき



**百年のチャランケ  
アイヌ民族共有財産裁判の記録**

「アイヌ民族共有財産裁判の記録」編集委員会編  
A 5 判上製 616頁 6000円  
ISBN978-4-8461-0908-0 C0036

明治から北海道庁が管理してきたアイヌ民族共有財産。しかし杜撰・不正な管理で、財産は雲散霧消。本書はあまりの理不尽に不正・不法を訴え、また尊厳と人権を懸けたアイヌ民族の裁判闘争の全記録。日本国家による蔑視・差別の構造を明らかにする。(2009.8)



**プロブレムQ & A  
アイヌ差別問題読本 [増補改訂版]  
[シサムになるために]**

小笠原信之著  
A 5 判変並製 268頁 1900円  
ISBN4-8461-0417-6 C0339

二風谷ダム判決や、「アイヌ文化振興法」「アイヌ共有権裁判」などで話題になっているアイヌ民族。しかし私たちは、アイヌの歴史をどれだけ知っているのだろうか？ 本書はその歴史と差別問題、そして先住民権とは何か、をやさしく解説。(2004.10、初版1997.8)



**アイヌ共有財産裁判  
小石一つ自由にならず**

小笠原信之著  
四六判上製 264頁 2200円  
ISBN4-8461-0403-6 C0036

「北海道旧土人保護法」のもと「アイヌ共有財産」として道庁が管理してきた下賜金や下付金は、ずさんにも1世紀後の今に残るは、わずか147万円。その顛末にアイヌの人々の怒りが爆発、裁判に立ち上がった。本書はその闘いの克明な記録である。(2004.3)



『アイヌの遺骨はコタンの土へ』書評  
**帝国時代の学問の後進性を暴く**

帝国主義時代の学問的研究が人権意識の定着した現代社会から厳しく糾弾されている。それに対応しえない研究空間の後進性を暴くのが、本書のモチーフだ。

帝国大学医科大学（現・東大医学部）教授の小金井良精が1880年代に2回、北海道を訪れて各地のアイヌ墓地から160前後の頭骨と多くの副葬品を持ち帰った。1924年に京都帝大教授の清野謙次が樺太アイヌの頭骨を収奪している。さらに北海道帝大教授の児玉作左衛門らが、道内各地、樺太、北千島から大量のアイヌ遺骨を発掘、研究に用いていた。この発掘は戦後になっても続く。

北大側の調査によっても、八雲町の241体、新ひだか町の196体を筆頭に、52市町で1014体の遺骨が発掘されたというのだ。北海道開拓時には発掘は違法ではなかったが、その後違法になっても教授たちは詭弁を弄してその責任を免れつづけてきた。

これに対して80年代に入って北海道ウタリ協会（当時）からの返還要請が始まる。遺骨の一部が戻されたにせよ、文科省の調査では未だ全国12大学のアイヌ遺骨1636体が戻されていない。本書の執筆グループはこの返還と、資料や文書の公開を求めているわけだが、「北海道帝国大学」の壁は厚く、政治もまた先住民族への理解も十分とはいえない。その辺りが細部にわたって描写されている。

幕藩体制のもとアイヌは「化外の民とされ」独自に集落をつくり、漁猟や冠婚葬祭などを行っていた。明治以後の同化政策でもコタンは独自に民事、刑事の訴訟を行っていた。遺骨や墓地の管理権はコタンにあり、埋葬はコタンで行われていて、個人が特定化できないケースもある。

先住民族の伝統を考慮しない法体系や、遺骨を動物実験室に置く非人間性、「アイヌの遺骨はアイヌに返せ」とのあたり前の論に立ちふさがる論理の破綻ぶりに驚かされる。

保坂正康（ノンフィクション作家）

●『朝日新聞』2016年6月26日付読書欄



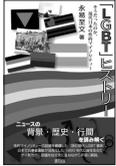
『植民学の記憶』書評  
**アイヌ民族の尊厳を守るために  
何が必要か**

1977年、北海道大学でアイヌ民族を差別、冒涇する内容の講義に対し、学生たちは教授に自己批判を求めるという事態が発生した。後に教授は警官隊によって救出され、学生数名が逮捕された。本書は、このアイヌ民族差別講義事

件がたまたま起きたのではなく、背後に北海道大学の根幹ともいえる植民学があることを示し、その系譜を辿る。自らも研究者である著者は特に内国植民論に着目し、これが現住民族を滅ぼし、自民族の経済的繁栄をめざすもので、具体的にはアイヌモシロを和人支配下の北海道に転換する政策であったことを確認し、アイヌ民族の尊厳を守るために何が必要かを考える。

●『出版ニュース』2015年10月中旬号

# 多様な性を考える



「LGBT」ヒストリー  
そうだったのか、現代日本の性的マイノリティー

永易至文著  
四六判並製 240頁 2000円  
ISBN978-4-8461-2203-4 C0036 ☆

【内容構成】  
性をめぐる知識との出会い  
同性パートナーシップと法整備  
同性カップルの暮らしの諸相  
生活者としての性的マイノリティーと老後  
子ども・若者・学校をめぐって  
コミュニティー、文化、政治  
エイズとLGBT  
1990年代に起こったこと  
あとがき

LGBTが人口に膾炙するにつれ、ネット時代の今日、SNSのそここで小ぜりあいのような応酬が繰り返されています。

LGBTに対し、左巻きとか利権狙いとか、糾弾主義とか行きすぎた主張だとか、ネットで無責任に責めなじる声を見るたびに、ゲイの一人として、われわれはこの30年そんなことやってきたかな、と不思議な気がします。

性的マイノリティーの社会運動が、近代人権思想に立脚し、条理にもとづく穏当な主張を積み重ねて今日に至っていることは、本書を一読していただければおわかりいただけるのではないのでしょうか。(2022.3)



性別違和・性別不合一  
性同一性障害から何が変わったか

針間克己著  
四六判並製 152頁 1600円  
ISBN978-4-8461-1915-7 C0036

【内容構成】  
1 DSMとはなんだろうか  
2 ICDとはなんだろうか  
3 病理化と脱病理化とはなんだろう  
4 DSM-5の「性別違和」を詳しく見てみよう  
5 ICD-11の性別不合一を詳しく見てみよう  
6 服装倒錯的フェティシズムはどうなったか？  
7 ガイドラインはどうなるだろう？  
8 保険適用はどうなるだろう？  
9 「性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律」はどうなるだろう？  
10 GID学会の名称はどうなるだろう？  
最終章 トランスジェンダーの人権と健康

性同一性障害が、「性別違和」「性別不合一」へと変更される。本書は性同一性障害をめぐるとの諸問題に精神科医として二十数年にわたって取り組み、現在も患者の診療を担っている第一人者が、その変更の意味と影響についてやさしく解説する。(2019.9)



プロブレムQ&A  
新 同性愛って何？  
【わかりあうことから共に生きるために】

伊藤浩・三宅大二郎・築瀬竜太・大江千束・小川葉子・石川大我・大月純子・新井敏之著 A5判並製 204頁 1800円 ISBN978-4-8461-1703-0 C0336 ☆

同性愛者はクラスに1人はいるという。同性愛って何だろう？ 偏見や差別は？ 本書は素朴な疑問から、皆が各自の自由を尊重して共生できる社会を目指すためのQ&A！ 旧版を全面的に見直し最新情報を踏まえ増補改訂した。(2017.2、初版2003.4)



プロブレムQ&A  
パートナーシップ・生活と制度 [増補改訂版]  
【結婚、事実婚、同性婚】

杉浦郁子・野宮亜紀・大江千束編著  
A5判並製 256頁 1800円  
ISBN978-4-8461-1608-8 C0336

パートナーシップの形は、法律婚に止まらず多様化している。本書は実際の生活における問題点を取り上げ、対応策を提案し、新たなパートナーシップ制度を考える。増補改訂版では、「同性パートナーシップ証明」制定など新しい動きを増補。(2016.9、初版2007.1)



**Xジェンダーって何?**  
日本における多様な性のあり方

Label X 編著  
四六判並製 260頁 2000円  
ISBN978-4-8461-1615-6 C0036

☆

Xジェンダーとは、出生時に割り当てられた男性・女性のいずれかに二分された性別の自覚をもたない人々を指す。本書は、当事者自助サークルLabel Xなど多様な執筆陣が、日本独自の呼称であるXジェンダーについて、初心者向けに明解に論じる。(2016.10)



**性同一性障害と戸籍**  
性同一性障害と戸籍 [増補改訂版]  
[性別変更と特例法を考える]

針間克己・大島俊之・野宮亜紀・虎井まさ衛・上川あや著 A 5判変並製 216頁 1800円  
ISBN978-4-8461-1304-9 C0336 \*☆

本書は、専門家と当事者が「性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律」をやさしく解説、具体的な戸籍の性別変更手続き、戸籍変更後の問題などをQ&Aで答える。増補改訂版では、特例法改正を踏まえ内容を刷新した。(2013.02増補改訂、初版2007.12)



**性同一性障害って何?**  
性同一性障害って何? [増補改訂版]  
[一人一人の性のありようを大切にするために]

野宮亜紀・針間克己・大島俊之・原科孝雄・虎井まさ衛・内島豊著 A 5判変並製 264頁 2000円 ISBN978-4-8461-1101-4 C0336 \*

特例法が2004年から施行され、日本でも性同一性障害が社会的に認知されるようになったものの、当事者を取り巻く環境は厳しい。本書は発売以来五刷りを重ねた入門書として定評の高いロングセラーに最新情報をプラスした改訂版。(2011.2、初版2003.9)



**同性パートナー生活読本**  
同性パートナー生活読本  
[同居・税金・保険から介護・死別・相続まで]

永易至文著  
A 5判並製 192頁 1700円  
ISBN978-4-8461-0901-1 C0336 \*

結婚式、戸籍や住民票の作成、社会保険や税金、住宅の賃貸や購入、住宅ローン、看護や手術、介護、そして死別と相続など、人生の各ステージで同性パートナーは、いろいろな問題にぶつからざるをえません。どうすればいいのかを、例をあげて解説。(2009.3)



**パックス**  
新しいパートナーシップの形

ロランス・ド・ペルサン著  
齊藤笑美子訳  
四六判上製 192頁 1900円  
ISBN4-8461-0405-2 C0036

欧米では、結婚を選ばない異性カップルや結婚を認められない同性カップルが増えて、多様なパートナーシップの形が定着してきている。本書は、連帯民事契約=パックスとして法制化したフランスの事例に学び、新しいパートナーシップの形を考える。(2004.8)



**10代からのセيفァーセックス入門**  
[子も親も先生もこれだけは知っておこう]

堀口貞夫・堀口雅子・伊藤 悟・築瀬竜太・大江千束・小川葉子著 A 5判変並製 220頁 1700円 ISBN4-8461-0510-5 C0336

ここ数年日本では、若者の望まない妊娠・人工中絶やSTD(性感染症)・HIVの感染者が増加し続けている。これ以上望まない妊娠・STD感染者を増やさないために、正しい性知識と、セيفァーセックスについて、Q&A形式で詳しく解説。(2005.7)



**レインボー・フォーラム**  
ゲイ編集者からの論士歴問

永易至文編  
四六判上製 232頁 1800円  
ISBN4-8461-0614-4 C0036

あの人がゲイ・レズビアンを語ったら……それぞれの論者は同性愛コミュニティにリンクして、いかに問題を語るのか? その語りを通し、同性愛者コミュニティがむしる日本社会の課題を、すぐれて先鋭的に体現する場所である事を明らかにする。(2006.10)



**性なる聖なる生**  
セクシュアリティと魂の交契

虎井まさ衛・大月純子/河口和也著  
四六判並製 240頁 1700円  
ISBN4-8461-0503-2 C0036

自らをポリセクシュアルと語る牧師と、性同一性障害で性別 適合手術をした男性の著者が、別々の視点から「聖なるもの」を語り、信仰とは無縁な人も含め、一人一人の性を自分らしく、今を生き生きと生きるために性と聖を見つめなおす。(2005.3)



## 『「LGBT」ヒストリー』書評 日本のLGBTの歴史を綴る

『「LGBT」ヒストリー』とはなかなか挑戦的なタイトルの本である。なぜならL（レズビアン）とG（ゲイ）とB（バイセクシャル）とT（トランスジェンダー）は性に関わるマイノリティであるとはいえ、それぞれが異なる性的感受性や歴史性、社会制度をそのしるしに背負っているからだ。どんなに緻密に「ストーリー」を組み立ててみても、様々な方面から「○○が足りない」「それは○○中心主義だ！」…などと矢が飛んでくるのが目に見えている。

しかし、批判は批判として受け止めるにしても、歴史というのは誰がどう紡いでも、すべての人が納得する内容になるわけがなく、書き手の問題意識や価値観、経験などによっていかようにも見え方は変わってくる。肝要なのは、その偏差に自覚的、意識的であることであって、「客観的な歴史」が存在するなど想定すること自体、客観的ではない。

ということを前提にしても、本書は（おもに）80年代から今日までのLGBTの歩みを網羅的に抽出している、という意味において貴重な一冊だ。そして、著者以上に広いパースペクティブでその歴史を編集することができる書き手を、私は知らない。そうした評価の根拠は、私自身がこの期間のLGBTムーブメントを内側から見てきた経験によるし、同世代の書き手として、著者のこれまでの仕事に関心を抱いてきたからである。

永易至文氏は1966年生まれ、日本のゲイ・リベレーションの大きな転換点であった「府中青年の家裁判」の原告の一人で、以後も出版活動を通じて、またパレードなどの運営スタッフとして、そして現在ではLGBTが暮らしていく上での助けとなるべく行政書士として、コミュニティ活動に深く関わってきた。それだけに書物から学ぶだけでも、運動に関わった体験からだけでなく書くことのできないLGBT本と

なっている。

とりわけ、著者が最前線で取り組んできた「同性パートナーシップと法整備」のトピックは、経緯がシンプルに整理されており、私のように同時代を生きてきた人間でさえ、「あーそういうことだったのか！」と初めてその事実と理解に近づくことができた。

永易氏は渋谷区・世田谷区に始まった地方自治体による同性カップルのパートナーシップ制度の普及に関して、このように述懐する。「国の法律が同性カップルについてなんらの規定をしていない現状で、自治体が法の範囲を超えて同性カップルに特段の法的効果を付与することはできません。しかし、形式的とはいえ自治体が同性カップルを公認することは、当事者へ社会に認められているという感覚を与えるとともに、社会に対する大きな啓発効果を発揮するに違いないと（略）私は思いました」

忘れてはならないのは、こうした制度が作られていく前段階として、まさに永易氏自身が公正証書の契約などで同性パートナーシップを保護する活動を展開してきたことなど、過去の試みの積み重ねだ。本書では控えめに触れてはいるが、彼の実践の意義を、後続世代の研究者が「日本のLGBTの歴史」として記録する必要があることはいうまでもない。また、著者はあどがきに「日本で性的マイノリティの社会運動が活発化した90年代以後を生きたゲイが、話題を自分史に重ねながら解説」したと記しているが、永易氏の個人史もまた、一次資料、史料として遺されるべきものであることは、ここで指摘しておきたい。

ともあれ本書はトピックごとに読みやすい文体で解説されているLGBT入門書であると同時に、玄人筋が読んでも納得できるだけの内容が凝縮された力作だ。若い世代にも是非、手に取ってもらいたいものである。

（伏見恵明、作家）

●『現代性教育研究ジャーナル』  
2022年5月15日号



## 『「LGBT」ヒストリー』紹介 日本の性的マイノリティに関する話題 を網羅 読む現代LGBTQ事典、

性的マイノリティを表す言葉等の基礎知識や権利保障、パレードやHIVなど、日本の性的マイノリティに関する話題を網羅した『読む現代LGBTQ事典』です。

著者はゲイ当事者として1980年代から同性

愛者の運動に携わり、現在は当事者支援の団体を運営。同性パートナーシップ制度と同性婚、住まいや職場、災害時、老後、コミュニティや文化…。自ら見てきた性的マイノリティの社会運動の歴史を、自分史に重ねて解説します。

同じ人間として当たり前の人権や平等を求める運動が、今日につながっていると伝わります。

●『しんぶん赤旗』2022年5月7日付

## 「障害者」と生きる



### 私たちの仲間 結合双生児と多様な身体の未来

アリス・ドムラット・ドレガー著 針間克己訳  
四六判上製 272頁 2400円  
ISBN4-8461-0421-4 C0036

結合双生児、インターセックス、巨人症、小人症、口唇裂……多様な身体を持つ人々。その中でも、もっとも独特な身体と思われる結合双生児。本書は、人種差別から医学裁判まで、身体的「正常化」の歴史的文化的背景をさぐり、独特の身体に対して治療でも同情

でもなく、変えるべきは身体ではなく、人々の心ではないかと問いかける。(2004.12)

#### 【内容構成】

はじめに  
第1章 結合双生児は個人であるのか  
第2章 分離手術をするべきかしないべきか  
第3章 一人を犠牲にしても分離するべきか  
第4章 アイルランドの巨人を解放せよ  
第5章 新しい時代の正常な身体とは  
訳者あとがき



### プロBLEM Q & A 「障害者」と街で出会ったら [増補改訂版] (通りすがりの介助術)

もりすぐる著  
A 5判変並製 224頁 1800円  
ISBN4-8461-0213-0 C0336

☆\*

「障害者」が生活しやすいバリアフリーな社会をつくるための知恵と、様々なケースでの介助方法を紹介する。今回新しく、内部障害、難病の人との接し方などを増補し、全面増補改訂した最新版！

(2002.8、旧版 1996.10)

#### 【Qの例】

街で「障害」をもつ人が見かけたらどうする？  
車椅子を利用している人と歩道を歩くときは？  
目が不自由な人を誘導するにはどうすればいい？  
盲導犬ってどんな犬なんですか  
視覚障害の人と一緒に食事をするときは？  
言葉が不自由な人と会話をするには？  
「マヒ」という言葉をよく耳にしますが、どのようなことですか  
「内部障害」って、何ですか  
「障害」をもつ人が暮らしやすい街とは、どんなものなのでしょうか



### プロBLEM Q & A バリアフリー入門 【誰もが暮らしやすい街をつくる】

もりすぐる著  
A 5判変並製 168頁 1600円  
ISBN4-8461-9907-X C0336

街づくりや、交通機関、住まいづくりでよく耳にする「バリアフリー」。誰でも年を取れば日常生活に「バリア」を感じるが多くなる。何がバリアなのか、バリアをなくす＝バリアフリーにはどうすればいいのかを分かり易く解説。(1999.6) (美本なし)



### 『私たちの仲間』書評 障害ある身体から社会を問う

衝動的で、深く心に染み込む本だ。結合双生児やインターセックス、巨人症など多様な身体を持つ人々のエピソードを紹介しながら、障害とは、身体とは何なのかと鋭く問いかける力作である。

結合双生児は一人と数えるのか二人なのか。

なぜ彼らを分離することが医学的に正しいことだとされ、分離されれば「ついに自由に」といわれ、手術が失敗すれば「彼らは勇敢だった」と美談になるのか。ほとんどの結合双生児は分離を望んでいない。なぜ個人の身体でなく社会の心を変えないのか、というのが医学史家である著者の主張であり読後は社会の見方が変わるだろう。

●『日本経済新聞』2005年2月3日付

# 教育を考える



## 世界一素敵な学校 [改訂新版] サドベリー・バレー物語

ダニエル・グリーンバーグ著／大沼安史訳  
四六判上製 320頁 2000円  
ISBN978-4-8461-1905-8 C0037

いじめ、落ちこぼれ、学級崩壊等、学校の状況はますます厳しくなっている。子どもに大人の価値観を押し付け、管理するやり方では、この傾向は加速するばかりだ。

本書は、カリキュラムも、点数も、卒業証書もない世界一自由な学校と言われる米国のサドベリー・バレー校の物語である。人が本来持っている好奇心や自由を追い求める姿勢を育むこそが教育であるとの理念を貫くまさに、21世紀のための学校だ。

フリースクール教育の名著の改訂新版！  
(2019.3)

### [内容構成]

21世紀の学校をつくる～日本語新版への序文  
(ダニエル・グリーンバーグ)  
混在する二つの教育観  
(〈教授〉という教育観  
<近代〉以前の子どもたち  
子どもたちの内なる自然  
産業革命と〈教授〉  
自由な精神の破壊と「3つのR」  
強制教育の出現  
情報の時代の教育  
序文 (サドベリー・バレー校出版会)  
サドベリー・バレー(谷)へ、ようこそ(訳者)  
はしがきに代えて—受験勉強は無用  
第一部 お勉強？  
第二部 学校生活  
美しい子ども期は、美しい人生の出発点になるか？(ミムジー・サドウスキー)  
あとがき—プディングは卒業生の味  
日本語新版への訳者あとがき



## 逆転の教育 理想の学びをデザインする

ラッセル・L・エコフ／ダニエル・グリーン  
バーグ著 呉春美／大沼安史訳  
四六判上製 320頁 2400円  
ISBN978-4-8461-1605-7 C0037

本書は米国ウォートン校(ペンシルバニア大学)のカリスマ経営学者と、世界に広がる「デモクラティック・スクール運動」の第一人者が、現状を建て直し、学校、大学・大学院のあるべき姿を現実的かつ具体的に構想した、逆転と希望の青写真である。(2016.4)



## 環境教育とは何か 良質な環境を求めて

岩田好宏著  
四六判並製 232頁 2000円  
ISBN978-4-8461-1305-6 C0036 \*

環境教育が教育現場で誕生してから40年がたちます。しかし、未だに環境教育とは何かということが明確にされていないばかりか、逆に消滅の危機にさえあります。環境教育は、歴史的に自然保護教育や公害教育と同じように民意によって担われてきて、普通の教育として確立されていないのです。しかし、地球環境の危機が叫ばれている今こそ、環境教育が必要なのです。

本書は、環境教育の歴史にふれ、人間にとって良質な環境とは何か、それを実現するためには何が必要かを今までの実践を通して、理論的に明らかにしています。(2013.2)

### [内容構成]

はじめに  
序章 環境教育の誕生まで  
第一部 人間における自然と環境  
—「良質な環境」を求めて—  
一章 都市環境と農村環境  
—人間世界の特徴—  
二章 人間における「主体—環境」関係  
三章 野生世界と生物多様性  
第二部 環境教育の独自性を明らかにする  
四章 環境学習と自然学習  
五章 環境学習と農業学習  
六章 環境学習と Education for Sustainable Development  
七章 「地域に根ざす」実践  
終章 環境保全主体形成の助成・支援としての環境教育  
あとがき  
注・引用文献



## 自由な学びとは サドベリーの教育哲学

ダニエル・グリーンバーグ著／大沼安史訳  
四六判上製 480頁 3400円  
ISBN978-4-8461-1001-7 C0037

本書は、ダニエル・グリーンバーグが自らの教育哲学を全面的に展開したものであり、サドベリー校での経験から生み出された著者の教育理論の全結晶である。新たな「この時代」の現実的な学校理論として、「自由とデモクラシーの教育哲学」を提起。(2010.9)



## ドイツ環境教育教本 環境を守るための宝箱

ティルマン・ラングナー著  
染谷有美子訳  
四六判上製 356頁 2800円  
ISBN978-4-8461-0917-2 C0037

本書は、環境政策先進国、ドイツの環境教育のための教本。具体的なきっかけ作りを集め、単元毎に、ねらい、対象グループ、準備と実施、専門との関連、経験と成果というように目的を明確にし、環境教育に役立ち、成果の上がる授業内容になっている。(2010.2)



## 自由な学びが見えてきた サドベリー・レクチャーズ

ダニエル・グリーンバーグ著  
大沼安史訳  
四六判上製 232頁 1800円  
ISBN978-4-8461-0801-4 C0037

本書は、『世界一素敵な学校』（下掲）の続編ともいべき書。同校の自由教育を回顧し、基本理念を再検討、「デモクラシー教育」の本質をより鮮明な視野で捉え返す。また、「ポスト産業社会」の教育の在り方を平易で、透명한言葉使いで、書き出す。(2008.1)



## ホームスクーリングに学ぶ

リンダ・ドブソン・著  
遠藤公美恵訳  
四六判並製 364頁 2300円  
ISBN4-8461-0809-0 C0037

今やアメリカでは、ホームスクーリングは優秀な生徒を多く排出している。本書は、草分け的存在である著者が、そのエッセンスを披露。手法や勉強のこつを具体的に伝授。ホームスクーリングをめざす親のみならず、すべての親に必読の書。(2008.7)



### 『ホームスクーリングに学ぶ』書評 子供の自立性を最大限重視

アメリカでは現在200万から250万人がホームスクール（在宅教育）で初等中等教育を受けている。驚異的な数字である。80年ごろにはほとんどの州で認められていなかったが、長年の運動の結果、現在はすべての州で合法化されている。これも驚きである。本書は、このようにアメリカですでに定着したホームスクーリングにおいて、「教師」を実践している多数の親に向けてそのあるべき姿を説き、一般の親にもその気になれば誰でもよい教師になれることを訴えている。

ホームスクーリングの実践者の多くは実は宗教保守派であり、公立学校の世俗的性格に不満を持つ親たちである。本書はそうした背景には触れていないが、社会的認知を受けるのがいかに困難であったかについては力説している。大学入試の成績が通常の教育を受けた子供と同じ程度であることを自ら証明することができて初めて、受け入れられたというのが実情である。

日本ではホームスクールに関して、不登校生

徒との関係で若干の関心があるのみであり、実践者はほとんどいない。しかし、親として子供の教育にどのようにかかわるべきかという観点から、多くのことを本書から学ぶことができる。とくに子供の自立性を最大限重視し、親（同時に教師）に対して「先生」であるよりも「ファシリテーター」（進むべき道を開けてあげる人）であるように説く議論は傾聴に値する。

同時に本書は痛烈な公立学校教育批判でもある。著者によれば、「現代のホームスクーリング運動は、教育を家庭や地域に戻そうとするもの」である。そして「教育というものが、比較的シンプルで、お金のかからない、家族中心の、楽しいプロセスだということ」に気がついて欲しいというのが著者の願いである。

市民の力で政府の責任と考えられていることを実行してしまうアメリカの政治文化の強靱（きょうじん）さ、教育における政府の役割と同時に、教育そのものの性格について根源に立ち返って考えるためにも、きわめて興味深い書である。訳書が出たことを喜びたい。

●久保文明氏評『朝日新聞』2008年8月31日

# 現代社会と宗教



## 一無教会キリスト者のあゆみ

筒井哲郎著  
四六判上製 340頁 3000円+税  
ISBN978-4-8461-2215-7 C0036

筆者は学生時代に矢内原忠雄の教えを受けた先生が主催する無教会主義キリスト教の一員として生きてきた。矢内原は、戦前の東京帝国大学で植民政策講座を担当し、植民地朝鮮に統治者側の立場で関与していた。その帝国主義的思想は現在の日本社会へも連綿と影響しており、その清算は終わっていない。

一方、日本の同盟国であったドイツでは、知識人たちはより深刻に、戦争を遂行した体制を反省し、贖罪に努めている。この違いを比較検証しながら、これら二つの宿題に対して回答を試みた。

また筆者は、技術者として無教会キリスト

者として現代企業社会を生きてきた。四エチル鉛製造工場建設に携わって以後、企業内反公害運動に取り組み、退職後は反原発運動に献身してきた。技術者として人間として、企業の論理にいかに対峙すべきかを体験を元に考える。(2022.9)

### 【内容構成】

- 第1章 子供時代
- 第2章 大学進学
- 第3章 会社生活
- 第4章 朝鮮半島からの友人たち
- 第5章 市民社会における無教会
- 第6章 牧会に身を投じて
- 第7章 世界市民への道
- 第8章 原発事故と技術者の社会的責任
- あとがき
- 解題 著者をめぐる無教会キリスト教集団 (若木高善)



## 検証・統一教会＝家庭連合 靈感商法・世界平和統一家庭連合の実態

山口広著  
四六判並製 392頁 2500円  
ISBN978-4-8461-1706-1 C0036

統一教会の被害にあった人は、みなまじめで、素直な人たちだ。加害者でありつづける信者たちも、かつてはまじめで素直な嘘をつけない人だった。統一教会は宗教を組織的な資金集めの手段とし、人集めの道具に悪用している。反社会的な犯罪行為・違法行為を正しいこと、信者としてなすべきことと思込ませ日々実践するような人格に彼らを変容させている。世界平和統一家庭連合（略称「家庭連合」）と名称を変えて、文鮮明の死で内部分裂をしても巧妙に仕組まれる靈感商法の手口は変わらない。

本書は、1993年春に刊行した『検証・統

一協会——靈感商法の実態』をその後24年間の統一教会の被害救済の活動を踏まえて、ほぼ全面的に書き直した。(2017.4)

### 【内容構成】

- はじめに
- 第1章 文鮮明の死と一族の分裂
- 第2章 靈感商法の何が問題か
- 第3章 なぜ信者になるのか
- 第4章 靈感商法の実態
- 第5章 靈感商法の背景と歴史
- 第6章 統一教会（家庭連合）とは
- 第7章 統一教会の世界戦略
- 第8章 靈感商法と統一教会の未来
- 第9章 弁護士としての法律上の対策
- 第10章 統一教会・カルト対策の今後
- 統一教会関係年表
- あとがき



## 解放の宗教へ

菱木政晴著  
四六判上製 260頁 2200円  
ISBN4-8461-9822-7 C0014

宗教とは何か。宗教はいかに支配イデオロギーとなるのか。「国家神道」「靖国」の問題や、仏教の戦争責任を問うことを通じて、脅しと癒しの支配イデオロギーとしての宗教を克服し、「批判原理としての浄土」を根拠に解放の宗教を目指す。(1998.12)



**青春を奪った統一協会**  
青春を返せ裁判（東京）の記録

青春を返せ裁判（東京）原告団・弁護士 編著  
A 5 判上製 548頁 5800円  
ISBN4-8461-0011-1 C0036

統一協会の「神」に万物＝お金を捧げることで人は救われると信じ、人參濃縮液、大理石の壺などを法外な値段で売る若い信者。青春のすべてを捧げて活動して、裏切られ、疑問をもち、脱会した元信者たちが、統一協会を告発して訴えた訴訟の全記録。（2000.11）



**統一協会信者を救え**  
杉本牧師の証言

杉本誠/名古屋「青春を返せ訴訟」弁護士編著  
四六判並製 259頁 1900円  
ISBN4-8461-9371-3 C0036

杉本牧師は、山崎浩子さんなどマインドコントロールされた信者の説得・救出活動を永年、展開してきたベテラン牧師である。本書は、霊感商法に利用された元信者がおこした「青春を返せ訴訟」で、同氏が語った救出証言。（1993.10）



**統一協会合同結婚式の手口と実態**

全国霊感商法対策弁護士連絡会／  
日本基督教団統一原理問題連絡会／  
全国原理運動被害者父母の会編著  
A 5 判並製 272頁 2500円  
ISBN4-8461-9715-8 C0036

タレント信者の参加と脱会で注目を集めた統一協会合同結婚式が97年、更に大規模に行われた。本書は統一協会の被害者救済にあたる三つの団体が、資料と証言をもとに、式典、の実態を明らかにし、その危険性を強く訴える。（1997.9）



**宗教名目による悪徳商法**  
日弁連報告書にみるその実態と対策

宗教と消費者弁護士ネットワーク編著  
A 5 判並製 256頁 2500円  
ISBN4-8461-9607-0 C0036

宗教を装いしるのびよる悪徳商法その他による被害はあとを絶たない。本書は長年被害者救済に携わってきた弁護士グループが、その実例と問題点、対応策を提示。日弁連の三報告書と併せて、その被害の根絶を世に訴える。（1996.5）



**論争・宗教法人法改正**

第二東京弁護士会・消費者問題対策委員会編  
四六判並製 245頁 1800円  
ISBN4-8461-9597-X C0036

オウム真理教による宗教に名を借りた犯罪、統一協会等の霊感商法、霊視商法といった詐欺的商法による被害の続出。こうした事態を招いた一因は、宗教法人法にあるとして改正問題が急浮上した。本書は改正の是非を問う。 \*



『**検証・統一協会**』書評  
**あくまで被害者や元信者、家族などの証言と証拠をして事実を語らしている**

霊感商法での印鑑、壺のセールスの実態。街頭アンケートを使った信者リクルート。統一協会の国内外での活動。表面は関係ないと偽って活動する統一協会の隠れ団体から、被害にあつた時の返金方法にいたるまで、統一協会に関する必要にして十分な情報が網羅されている。

著者の山口広は、霊感商法対策弁護士連絡会

の事務局長として、6年間にわたって統一協会の被害者救済にあつた弁護士。

執筆に当たっては全国300名の弁護士や7000名の被害者から集めた膨大な情報を、再構成したという。

紹介されている一つ一つの内容自体、衝撃的な事実が並ぶ。が、その記述は法律家らしく抑制が利き、あくまで被害者や元信者、家族などの証言と証拠をして事実を語らしている。

●『週刊文春』1993年4月5日号より抜粋。



『**論争・宗教法人法改正**』書評  
**意見の違いをめぐって激しいやりとりも**

オウム真理教事件をきっかけに、大きな焦点となっている宗教法人法問題。改正の是非をめぐり論議が巻き起こっているが、本書は第二東京弁護士会が開催した同法についての研究討論

集会の内容を収録した。

集会は、慎重派、促進派がそれぞれの立場から問題を提議し、会場から質疑を受け付ける形で進行。意見の違いをめぐって激しいやりとりもあり、白熱した討論となっている。巻末には、宗教法人法そのものをはじめ、諸外国の法律とその適用例なども収録。

●『京都新聞』1995年10月1日付より抜粋。

# 働き方を考える



プロBLEM Q & A  
**労働安全衛生とハラスメント**  
〔安心して働き続けられる職場を目指して〕

鷺川由美子／千葉茂／飯田勝泰著  
A 5判変並製 276頁 2000円  
ISBN978-4-8461-2023-8 C0336

「働き方改革」とは名ばかりで、労働者の権利保護の法律は会社本位となり、職場の環境は改善されません。職場のいじめ、パワハラ・セクハラ、サービス残業や長時間労働・過労死が社会問題になっています。

本書はこれらの労働安全衛生、職場のいじめ（ハラスメント）、セクシュアルハラスメントについての最新の労働現場の実態や労働者の声をあつめ、人権や人格権を守る立場から具体的にどうすれば問題を解決できるかを指南します。  
(2020.12)

## 〔Qの例〕

労災が認定されなかったら——審査請求制度  
ストレスチェック制度にどう対応したらいい  
でしょうか  
パワハラ問題の実態はどのようなものでし  
うか

サービス業界で暴言や暴行が増えています  
第三者からの暴力の解決に向けて  
韓国では「感情労働」問題への取り組みが進  
んでいます  
使用者や労働組合はメンタルヘルスケアをど  
う進めたらいいのでしょうか  
リハビリ勤務をどう活用したらいいのでし  
うか  
セクシュアルハラスメントを受けたらどこに  
相談したらよいのでしょうか  
セクシュアルハラスメントをなくすために職  
場で必要なことは  
マタニティハラスメント（マタハラ）の相談  
が増えていると言いますが



プロBLEM Q & A  
**ひとり闘う労働紛争**  
〔個別労働紛争対処法〕

橋本忠治郎／平賀健一郎／千葉茂著  
A5判変並製 216頁 1900円  
ISBN978-4-8461-1702-3 C0336

ある日突然の解雇、雇止め、降格、減給  
——でも労働組合が取り合ってくれない。ど  
うすればいいか？ 本書は、その手引き書で  
す。一人で闘いを始めるための法律や相談先、  
どのように行動すればよいかを、ていねいに  
詳しくQ & Aで解説します。  
(2017.3)

☆



“職場のいじめ”労働相談

いじめ メンタルヘルス労働者支援センター著  
四六判並製 264頁 2000円  
ISBN978-4-8461-1408-4 C0036 \*☆

『メンタルヘルスの労働相談』の続編として  
書かれた本書は、厚生労働省が取り組み始め  
た「職場のパワーハラスメントの予防・解決  
に向けた提言」を精査しながら、具体的相談  
例をとりあげて、解決に向けた取り組みや方  
向性を探っています。  
(2014.6)



イタリアの協同組合

アルベルト・イアーネス著／佐藤紘毅訳  
四六判上製 232頁 2200円  
ISBN978-4-8461-1330-8 C0031

いまや協同組合は、あらゆる産業分野に浸  
透し、資本主義的暴走への抑制的役割を担っ  
ている。

本書は、欧州、とりわけイタリアの協同組  
合運動の起源と歴史、理論と現状を総括した、  
協同組合の入門書である。  
(2014.4)



プロBLEM Q & A  
**「解雇・退職」対策ガイド 〔三訂増補版〕**  
〔辞めさせられたとき辞めたいとき〕

金子雅臣／小川浩一／龍井葉二著  
A 5判変並製 344頁 2200円  
ISBN978-4-8461-1303-2 C0336 \*

本書は、対応の基本、法律の定め、解雇・  
雇用の類型、損をしない退職の仕方、退職時  
の保険と税金、解決手段・方法など、働く者  
の立場からQ & Aで多角的に疑問に答える。  
3回目の改訂にあたり、有期雇用をめぐる問  
題をなど、全面刷新。(2013.2、初版1994.12)



**日産自動車の盛衰**  
自動車労連会長の証言

塩路一郎著  
四六判上製 480頁 2200円  
ISBN978-4-8461-1214-1 C0036

日産自動車に何があったのか。英国工場進出で労組が反対の記者会見をして以来、労使の対立抗争がマスコミを賑わせたが、やがて会社が仕掛けたスキャンダルで表舞台から去った自動車労連会長の証言。いまその歴史の真実が明らかになる。(2012.8)

\*



**メンタルヘルスの労働相談**

メンタルヘルス・ケア研究会著  
四六判並製 244頁 1800円  
ISBN978-4-8461-1112-0 C0036

本書は、SOSを発している相談者に寄り添い、相談を受ける側の心構え、相談の仕方、会社との交渉、労災申請、会社の協力の下での職場復帰プロセス、アフターケアなどを具体的に簡明に解説。メンタルヘルス・ケアの労働相談マニュアルの決定版。(2011.7)



**プロブレムQ&A**  
ひとりでも関わる労働組合読本 [三訂増補版]  
[リストラ・解雇・倒産の対抗戦法]

ミドルネット著  
A5判変並製 280頁 1900円  
ISBN978-4-8461-0716-1 C0336

派遣・契約・パートなどの非正規労働者問題を増補。個別労働紛争救済機関新設など改正労働法に具体的に対応。労働条件の切り下げや解雇・倒産に、どう対処したらいいのか？ひとりでも会社とやり合うための60箇条。(2007.11、初版1998.12)



**日本型ワーカーズ・コープの社会史**  
働くことの意味と組織の視点

石見尚著  
四六判上製 264頁 2400円  
ISBN978-4-8461-0703-1 C0036

資本家も労働者もなく、人がその仕事に意味を見出して共に働いて成果を共に分け合い得ないのか？本書は研究の第一人者が、日本のワーカーズ・コープの歴史と運動史を総括、近未来の労働と社会のあり方を考える力作。(2007.3)



**恐竜の道を進む労働組合**

早房長治著  
四六判並製 216頁 1800円  
ISBN4-8461-0411-7 C0036

リストラの嵐が吹き荒れるような状況でこそ、最も頼りになるはずの労働組合が雇用を守ることができず、勤労者の信頼を失い、組織率は20%を割ってしまった。連合評価委員会を組織し、あるべき姿を模索し続けた著者が、抜本的改革の必要性を語る。(2004.7)



**転形期の日本労働運動**  
ネオ階級社会と勤労革命

東京管理職ユニオン・編  
四六判上製 233頁 2200円  
ISBN4-8461-0314-5 C0036

ネオ階級社会と呼ばれ、社会は富める者と貧しい者に二極分解し、パートや契約、派遣社員が増える中、労働運動はどのように転換していけばいいのか？本書は、一人一人が自立した連合をめざす管理職ユニオンが、今後の展望と運動のありかたを提議。(2003.12)



**職場いびり**

アメリカの現場から

ノア・ダベンポート、ルース・ディスラー、シュワルツ、ゲイル・パーセル、エリオット著／アカデミックNPO監訳 四六判上製 328頁 2400円 ISBN4-8461-0214-9 C0034

肩たたきを始めとする職場におけるいじめは不況の中で益々増えてきている。欧米では多くの研究書が刊行されている。本書はアメリカにおいて職場いびりによって会社をやめざるをえなかった、3人の体験から職場いびり問題を提議した基本図書。(2002.10)



**ユニオン・バスター**  
米国労務コンサルタントの告白

マーティン・ジェイ・レビット／テリー・コンロウ著 渡辺勉／横山好夫訳  
四六判上製 464頁 2500円  
ISBN4-8461-0002-2 C0034

「労務屋」「争議ゴロ」といわれる米国のユニオン・バスター。そのスペシャリストとして、経営の代理人として、夥しい数の組合潰しをした著者が、悪行の数々を労働組合のために告白。アメリカ労使関係の裏面史として興味深い1冊。(2000.4)



### 米国自動車工場の変貌

「ストレスによる管理」と労働者

マイク・パーカー／ジェイン・スローター編  
著／戸塚秀夫監訳  
四六判上製 427頁 3800円  
ISBN4-8461-9586-4 C0036

米国自動車産業の巻き返しがはじまった。その背景には、「ストレスによる管理」といわれる日本型生産管理の導入による厳しい労務管理の展開がある。本書は、米国労働者の日本型生産管理との闘いを実証的に分析した書。(1995.3)



### 労働のメタモルフォーズ

働くことの意味を求めて 経済的理性批判

アンドレ・ゴルツ著／真下俊樹訳  
四六判上製 413頁 3200円  
ISBN4-8461-9701-8 C0010

現代産業社会の中で労働の解放はどのように構想されるのか？ マルクスの労働論からイリイチ、ハーバーマスら現代思想に至る労働観を総括し、労働する人間の自律と解放を考える、フランス現代思想家の注目の書。(1997.3)



### プロブレムQ & A パート・アルバイトのトラブル対処術 [いざという時のために]

金子雅臣／小川浩一著  
A 5判変並製 244頁 1800円  
ISBN4-8461-9705-0 C0336

パートタイマーやアルバイトだからといって勝手に時給を下げられたり、辞めさせられてはかなわない！ 短時間労働者がどのような法律によって守られているかなどの知識を身につけて、会社の「理不尽」に立ち向かうための必勝本！(1996.6)



### 【プロブレムQ & A ⑩】 働く女性のお助け本 [職場のトラブル対処術]

金子雅臣／龍井葉二著  
A 5判変並製 186頁 1700円  
ISBN4-8461-9602-X C0336

均等法から10年以上経ってもまだ女性であることで不利益なことが多すぎる！ 職探しから待遇差別、出産・育児・介護休業、セクハラ・お茶くみ・お局さま対策まで網羅した、女性が元気に働きつづけるためのお助け本！(1996.6)



### プロブレムQ & A ⑦ 仲間とはじめる「会社」プラン [ワーカーズ・コレクティブ入門]

宇津木朋子著  
A 5判変並製 200頁 1800円  
ISBN4-8461-9484-1 C0336

同じ志の仲間と一緒に事業資金を出し合い、自らが労働者として働き、かつ経営者として責任を持つ、新しい時代の新しい働き方「ワーカーズ・コレクティブ」。その起業から運営までを伝授する。(1994.12)



### ワーカーズ・コレクティブ その理論と実践

メアリー・メロー／ジャネット・ハナ／ジョン・スターリング著 佐藤紘毅／白井和宏訳  
四六判上製 384頁 3200円  
ISBN4-8461-9256-3 C0036

労働者協同組合＝ワーカーズ・コレクティブ運動は、資本の論理に対抗し、労働と生活の質を変える社会運動として注目されている。本書は、ワーカーズ・コレクティブ運動の歴史と現状、理論と実践の課題をまとめたもの。(1992.4)



### 労働者の対案戦略運動 社会的有用生産を求めて

ワーカーズ・コレクティブ調整センター編  
四六判並製 328頁 2500円  
ISBN4-8461-9591-0 C0036

平成大不況の中で、企業の論理と対決する労働者の対案戦略運動が注目されはじめた。本書は、労働の質を問い直し、社会的有用生産とは何かを考える労働者生産協同組合の理論と清掃・水道など現場の対案戦略の実践を報告。(1995.5)



### ルーカス・プラン 「もう一つの社会」への労働者戦略

ヒラリー・ウェインライト／ディブ・エリオット著／田窪雅文訳  
A 5判並製 357頁 4000円  
ISBN4-8461-8730-6 C0036

「景気後退と人員整理に対する積極的代案」を掲げて起ち上がったルーカス労働者の闘いの全体像を明らかにした本書は、大失業時代に抗する労働運動の方向を示すばかりでなく、「もう一つの社会」への展望をも構想する。(1987.10)



クリティカル・サイエンス⑤  
IT革命の虚構

緑風出版編集部編  
A 5判並製 220頁 2000円  
ISBN4-8461-0120-7 C0340



先端産業社会の夢と現実

渡辺鋭気/森董樹編著  
四六判上製 222頁 1700円  
ISBN4-8461-8413-7 C0050

IT革命(情報技術革命)は、急速な勢いで私たちの暮らしから世界までを激変させている。そのプラス面と同時に、デジタル犯罪、個人情報管理の強化などマイナス面も大きくなっている。本書はIT革命の問題点を切る！  
(2002.1)

コンピュータリゼーションに象徴される先端技術革命をテコに、ドラスチックに変貌する日本産業の高度化は、人間と社会に何をもたらすのか？ 六人のジャーナリストが主要先端産業を取材し、その夢と現実を鋭くえぐる。  
(1984.5)



『スーパーマンは来ない』書評  
「科学」だけではなく「市民の価値」が必要

スーパーマンは来ない。  
これは一つの現実を突きつけている。  
問題を解決する答えを待っているも与えてくれない。

訳者はこれを日本の現在とした。  
著者であるエリン・プロコピッチは一市民である。博士の学位もないし、水環境について専門的教育を受けていたわけではない。スーパーマンではない。

しかし、プロコピッチは米国における種々の飲料水の問題に関わってきた、行政や専門家を動かしてきた。(…)

これらに関してどのようにプロコピッチは関心を持ち、障害に立ち向かったかが本書で述べられている。そこに通底しているのは、飲料水の問題はすべて私たちの日常の問題と気付きから発しているということである。市民が、自らが使い、飲む水に関心を持つことは自然である。水に問題があればそれは身近な問題として現れる。水道水の見え目、臭いの異常があればそれは明らかであるし、地域において特定の疾患が多発するようなことがあれば、環境の異常を疑うことになる。プロコピッチはそのような市民からの声から行政などが持つ、水質についての情報を要求し、知ることからさらに活動を広げていった。専門家の協力もあったとはいえず、その原動力として私たちの水について、知ろうとすることが重要であるとしている。「好奇心を持って」と記している。著者は、オズの魔法使いの魔女による罠であるケシ畑の匂いを例えに無関心の恐ろしさを説いている。飲んでいて水が「安全である」という安心感はとても心地よい。「実はそうではない」という声を聞きたくないのである。

しかし、プロコピッチらは声をあげた。そのきっかけから始まったプロコピッチの活動も平坦ではないし、利害関係者により「科学的」知

見さえ左右される例、水道事業者、化学会社、共和党優位の州政府、連邦政府の影響がどれだけあったかが列挙される。米国の環境政策が政治により左右されてきた事例を述べている。しかし一方で、レーガンが1970年に環境保護庁の設立を立法に働きかけたのは市民による意志によると断じた。党派による環境政策への介入以上に、市民の安全な水への希求が大きくなるとなれば、それは現状を変えることができるのである。「科学」だけではなく「市民の価値」が必要であることがわかる。

では日本の我々にプロコピッチはいるだろうか。

プロコピッチにどうしたらなることができるだろうか。

プロコピッチは飲料水の異常についての市民の声を集めた。しかしながら、どのようにその汚染を知ることができているのか。本書で指摘されたような水の問題は日本ではなかったからプロコピッチはいないのか。それならば幸せである。

しかしながら、少なくとも本書の取り扱った水汚染の一つ、PFASについて米国だけでなく、世界の各地で懸念されているものである、また日本においてもこの数年で認知度が上がってきたものの一つである。(…)

日本においても、飲料水の安全は絶対ではないと考える。そうであるから、このプロコピッチの活動の軌跡には市民からのアクションとコミュニケーションが必須であり、これにより、よりよい環境を求め続ける必要がある。

(…)

環境リスクは「専門家」だけが扱うものではなく、当事者である「ステークホルダー」、「市民」が関わるべきであるものとなってきた。「科学」の名前がついていても実社会に関する限り、無視すべきではない。

本書は非専門家にとっての声をあげるきっかけであり、また専門家にとって心に留めるべき戒めも発しているのである。(…)

【原田浩二・京都大学大学院医学研究科准教授】  
●『図書新聞』2023年7月8日付

# 国際労働問題叢書



## 国際労働問題叢書 [1] 日本の労働組合 国際化時代の国際連帯活動

ヒュー・ウィリアムソン／戸塚秀夫監訳  
A 5判並製 445頁 4500円  
ISBN4-8461-9801-4 C0036 \*

日本の企業の海外進出、多国籍化が進む中で、日本の企業別労働組合、そして「連合」などのナショナルセンターは、国際的にどのような影響力を及ぼしつつあるのか？ 英国の労働運動研究者がその動向と実態を分析する。(1992.4)

### 【内容構成】

第1章 日本と冷戦——戦後労働運動の国際関係史／第2章 総評、同盟、IMF-JCの国際関係史／第3章 ナショナルセンター／第4章 奇跡に立ち向かう——民間労組の国際活動／第5章 多国籍企業対策——日本、アジアそして国際連帯／第6章 労働組合の権利をめざして闘う公共部門の組合／第7章 労働外交——日本のスタイル／第8章 国際労働財団——労働者の国際協力の強化／第9章 JILAFの招待プログラム／第10章 労働組合の国際協力／第11章 国際労働問題に関わる労働組合以外の団体／第12章 結論——奇跡に立ち向かう



## 国際労働問題叢書 [2] 新世紀の労働運動 アメリカの実験

グレゴリー・マンツィオス／戸塚秀夫監訳  
A 5判並製 364頁 4000円  
ISBN4-8461-0114-2 C0336 \*

アメリカ最大の労働組合であるアメリカ労働総同盟・産業別労働組合会議（AFL-CIO）での、ニューボイス（新しい声）グループの勝利によって、アメリカの労働運動は革新的な方向に大きく変化している。本書は、その新しい考え方を紹介する。(2001.12)

### 【内容構成】

第1部 民主主義、イデオロギー、変革  
第2部 未組織を組織化する  
第3部 多様性と多様性の包括  
第4部 政党と政治  
第5部 国際問題  
あとがき  
訳者による注  
解題 米国労働運動の新しい波



## 国際労働問題叢書 [3] 社会運動ユニオンズム アメリカの新しい労働運動

国際労働研究センター編著  
A 5判並製 384頁 3200円  
ISBN4-8461-0518-0 C0336 \*

労働運動の低迷と社会的影響力の後退、組織率の低下など労働運動の危機が叫ばれて久しい。アメリカ労働運動のニューボイスの登場とアメリカ労働総同盟・産業別労働組合会議（AFL-CIO）でのニューボイス派の勝利、そして運動の昂揚と分裂に至る理論と実践を

総括。社会運動ユニオンズムとしての新しい労働運動の可能性を提起する。(2005.11)

### 【内容構成】

第1部 ニューボイスの歴史的 position  
第2部 グローバル化の下での労働運動の戦略  
第3部 改革派の運動  
第4部 労働者教育の広がり  
第5部 日米のつながり  
第6部 アメリカ労働運動から学ぶ  
あとがき 山崎 精一  
国際労働研究センター研究会一覧



## 『社会運動ユニオンズム』書評 どのような反転攻勢ができるのか

表題に掲げられた「社会運動ユニオンズム」とは、米国の主流的労働組合の伝統的理念である「ビジネス・ユニオンズム」に対峙するそれ

として、位置づけられている。(…) 未組織・非正規労働者、マイノリティー、女性の組織化を中心的議題とし、彼ら・彼女らのための「社会的正義」の実現を「草の根の組合民主主義」を通じて行おうという姿勢である。

●『労働情報』2005年12月15日号・No 685

# 暮らしの法律



## 住民税非課税制度活用術

太田哲二著  
A 5判並製 116頁 1500円  
ISBN978-4-8461-2210-2 C0036

多くの方は「パート妻 103 万円の壁」は、よく知っています。でも、「住民税非課税限度額の壁」は、不思議なことに、ほとんど知られていません。

住民税非課税世帯は、住民税がゼロになるだけでなく、各種の優遇措置があります。住民税非課税限度額を大きく上回る収入・所得ならば嬉しいのですが、「住民税非課税限度額」を1円でもオーバーすると、介護保険、医療費、保育、各種高等教育（大学・短大・高専・専門学校）の修学支援制度などの優遇措置が受けられず、とても困った事態になります。年金 150 万円の高齢者単身世帯は、ア

ルバイト収入をいくらまでなら、優遇措置が受けられるかは、生活上の重大事です。住民税非課税限度額のラインは、天国と地獄の境界線になりかねません。

本書は、そうした人のために住民税非課税制度活用術を伝授します。(2022.5)

### 【内容構成】

- 第1章 誰も言わない得する話
- 第2章 住民税非課税限度額とは
- 第3章 非課税限度額と生活保護基準額が逆転
- 第4章 非課税世帯に 10 万円給付はゴチャゴチャ制度
- 第5章 特別養護老人ホームでは大得のケースあり
- 第6章 高等教育の修学支援新制度と住民税非課税世帯あとがき



## 本人訴訟ハンドブック [増補改訂版]

矢野輝雄著  
A 5判並製 260頁 2300円  
ISBN978-4-8461-1811-2 C0032

民事訴訟の仕組みは、大体のルールが分かれば、誰でも本人で訴訟すること＝本人訴訟が可能です。本書は、法律知識のない人でも、自信をもって訴訟を進め、訴訟に勝てるように、丁寧に解説します。「初めての民事訴訟」を追加・増補改訂。(2018.7、初版 2014.11)



## 相続・遺言対策ガイド 相続の仕組みと遺言書の書き方

矢野輝雄著  
A 5判並製 208頁 2000円  
ISBN978-4-8461-1508-1 C0032

相続の仕組みや遺言のことなどをきちんと把握しておかないと、あとで家族に迷惑が掛かります。本書は、相続人の範囲や取り分（相続分）、遺言書の書き方、生前贈与の方法、相続税や贈与税の計算方法、もめた場合の裁判所の利用法まで、詳しく解説。(2015.6)



## 家事事件手続ハンドブック 家庭裁判所利用術

矢野輝雄著  
A 5判並製 192頁 2000円  
ISBN978-4-8461-1502-9 C0032

家庭内の問題で争いが生じた場合は、家庭裁判所の家事調停や家事審判の手続によることとされています。本書では、特に利用することの多い家事事件手続を取り上げたほか、どんな家事事件にも対応することのできる理論と実務について説明をしました。(2015.2)



## 絶対に訴えてやる! 訴えるための知識とノウハウ

矢野輝雄著  
A 5判並製 188頁 1900円  
ISBN4-8461-0410-9 C0032

「絶対に訴えてやる!」と息巻いても、弁護士に断われたり、費用や煩雑さから尻込みすることも多い。だが、ルールさえ分かれば、ひとりでも可能だ。本書は、民事訴訟、家事事件での要な理論と書式、手続を解説。マニュアルとしても利用可能。(2004.7)

# 暮らしのトラブル



## 化学物質過敏症の原因と対策

藤田良美著

四六判並製 220頁 2000円  
ISBN978-4-8461-2307-9 C0036

オーガニックの専門店を経営して、化学物質過敏症、電磁波過敏症、アトピー、ガン、その他の重篤な病気の方から多くの体験談を聞くなかで、「汚染された食と環境」に原因があることが明確になってきました。

日本の自然食品店（オーガニック店）で販売されている加工食品の基本は、無添加・遺伝子組み換えでない・放射能検査済、できるだけ無農薬の原材料、ほとんどが国産品で輸入品は少ないという良い特徴があります。製造の基本はスーパーマーケットのメーカーとは違いアレルギーの人が食べられる・使えるものを作っています。

本書を読めば、安全でオーガニックな食の選択とエコロジカルな生活をすれば、化学物質過敏症、電磁波過敏症といった現代病の治療に有効なことが分かります。（2023.7）

### 【内容構成】

はじめに

- 第一章 化学物質過敏症の症状
- 第二章 安全な食品
- 第三章 環境汚染
- 第四章 化学物質、香害
- 第五章 住まい、電磁波、家電製品
- 第六章 医療、代替療法
- 第七章 生活用品

おわりに

化学物質過敏症（CS）の資料



## 【プロブレム Q&A】 香害入門

【日用品に含まれる化学物質による新たな公害】

深谷桂子著

A 5 変並製 164頁 1600円  
ISBN978-4-8461-2218-8 C0336

☆

最近、香りの害で悩まされている人が増えています。合成洗剤や柔軟剤、除菌消臭スプレー、芳香剤、香水、シャンプー・リンス、制汗剤などの日用品から発生する香りをはじめとした化学物質が原因で、体調不良や健康被害を起こしているのです。頭痛や吐き気、目や鼻の痛みを誘発します。しかも香りを長持ちさせるためにマイクロカプセルに香料や除菌消臭成分を閉じ込めて拡散させ、環境汚染も引き起こします。

本書では、まだ馴染みのない香害をやさしく Q&A で解説、日用品に含まれる化学物質による新たな公害を告発します。（2022.12）

### 【Qの例】

香害は公害なのですか？

香害は、香りの好き嫌いといった精神的なものや、香りが強過ぎるせいでは？

香害の健康被害というのは、具体的にどういう症状が出るのですか？

香りも VOC なのですか？ 天然アロマは大丈夫ですよ？

香害と化学物質過敏症は違うのですか？

香害でのマイクロカプセルの問題点は何ですか？

香害の被害者・加害者にならないためにはどうすればいいのですか？

社会から香害を減らすにはどうすればいいのですか？

ミニ解説① 香料の問題点

ミニ解説② 嗅覚受容体と侵害受容体について

ミニ解説③ シクロデキストリンという微粒子



## 【プロブレム Q&A】 プラスチックごみ問題入門 【安心して暮らせる未来のために】

栗岡理子著

A 5 判並製 192頁 1800円  
ISBN978-4-8461-2106-8 C0336

☆

海でも陸でも大気でもプラスチックによる汚染と被害は深刻化している。どうすればいいのか？ レジ袋対策だけですむのか？ プラスチックの代替品、デポジット制、脱プラスチック生活まで、プラスチックごみ問題と対策をやさしく Q&A で解説する！（2021.3）

## [Qの例]

マイクロプラスチックの何が問題ですか？  
生物濃縮って何ですか？／人間もマイクロプラスチックを食べているのですか？ 健康への影響は？／ペットボトルは安心安全ですか？／日本の飲料容器の回収率は高いって本

当？ ならばデポジット制度は不要？／せつせと分別しているのに、なぜ日本のリサイクル率は低いのですか？／リサイクル品から禁止された有害物質が検出されることがあるって本当？／家に持ち込むプラスチックごみをなくしたいです。どうしたらよいですか？



## 生活保護獲得ガイド [改訂新版]

矢野輝雄 著

A5判並製 172頁 1800円  
ISBN978-4-8461-1817-4 C0036

様々な理由で生活保護を受けなければ生活できない人が急増している。しかし行政は財政難から、保護を受けさせないようにやがらせをしている。本書は、生活保護獲得の方法を懇切丁寧に説明している。今回、法改正に合わせて全面改訂した。(2018.10、2007.7)

## [内容構成]

- 第1章 生活保護の制度の仕組みは、どのようになっているのですか
  - 第2章 生活保護を申請する手続は、どのようにするのですか
  - 第3章 生活保護の種類と内容は、どのようになっていますか
  - 第4章 保護の要否や程度の決定は、どのようになされますか
  - 第5章 生活保護の各種の処分への不服申立ては、どうするのですか
- 付録



## 香りブームに異議あり

ケイト・グレンヴィル著／鶴田由紀訳

四六判上製 204頁 2200円  
ISBN978-4-8461-1814-3 C0036

香水などのフレグランス製品で頭痛が起きる著者が専門家の力をかり、医学論文や様々な文献にあたり、問題の大きさと根深さを明らかにしてゆく。平易な文章で、語りかけるように解説しているが、香りをめぐる恐ろしい事実を余すところなく知らせる。(2018.9)

## [内容構成]

- 第一章 プラネット・フレグランス／第二章 被害者はどれくらい？／第三章 ボトルの中には何が？／第四章 鼻は知っている／第五章 ラベルに隠されたものは／第六章 誰がテストしているの？／第七章 フレグランスを守るため／第八章 研究所ではわからないこと／第九章 ヒゲ剃りあとにつけるのは？／第十章 分解不能／第十一章 意外な結果／第十二章 空気はみんなのもの／第十三章 フレグランスなんかいららない／原注／謝辞／訳者あとがき



## 化学毒物マヒ がん・アレルギーの真因に迫る

渡辺雄二著

四六判並製 192頁 1600円  
ISBN978-4-8461-1803-7 C0036

化学物質は、私たちの生活を便利にしました。しかし化学毒物は現代病を引き起こし、私たちは化学毒物マヒに陥っています。これらの現代病を克服するには、対症療法ではだめで、化学毒物を減らすしかありません。化学毒物の現状と対策を考えます。(2018.2)

化学物質は、私たちの生活を便利にしました。しかし化学毒物は現代病を引き起こし、私たちは化学毒物マヒに陥っています。これらの現代病を克服するには、対症療法ではだめで、化学毒物を減らすしかありません。化学毒物の現状と対策を考えます。(2018.2)



## クリーニング業界の裏側

鈴木和幸著

四六判並製 252頁 1800円  
ISBN978-4-8461-1801-3 C0036

世界一のクリーニング大国・日本では、しかしブラック企業が業界を支配し、劣悪な労働条件・不正な商法がまかり通る。本書は、NPO法人を立ち上げ問題解決に奔走する著者が、クリーニング業界の裏側を暴露すると共に、問題解決の処方箋を示す。(2018.1)

世界一のクリーニング大国・日本では、しかしブラック企業が業界を支配し、劣悪な労働条件・不正な商法がまかり通る。本書は、NPO法人を立ち上げ問題解決に奔走する著者が、クリーニング業界の裏側を暴露すると共に、問題解決の処方箋を示す。(2018.1)



## プロBLEM Q&A アレルギーの人の家造り [増補2訂版] [シックハウス・住宅汚染の問題と対策]

足立和郎著

A5判並製 200頁 2000円  
ISBN978-4-8461-1715-3 C0036

2002年の建築基準法改正にも関わらずシックハウス対策は改善されず、逆に悪化する傾向です。本書は、最新情報をもとに、有害建材・一般住宅は勿論、自然素材やエコ建材、自然住宅やエコ住宅の問題点を解説します。(2017.8、初版2008.9)



**ファブリーズはいらない [増補改訂版]**  
 危ない除菌・殺虫・くん煙剤

渡辺雄二著  
 四六判並製 176頁 1600円  
 ISBN978-4-8461-1607-1 C0036

「ファブリーズ」をはじめ、くん煙剤、殺虫剤、防虫剤など、除菌や殺虫、防虫のための製品が、溢れんばかりに陳列されています。しかし、それらは安全なものなのでしょうか？ 本書は、こうした商品をひとつひとつ総点検します。(2016.4、初版 2009.11)



**喘息・花粉症・アトピーを絶つ**  
 真の原因を知って根本から治す

渡辺雄二著  
 四六判並製 172頁 1600円  
 ISBN978-4-8461-1109-0 C0036

喘息の原因はダニなのか？ 杉花粉の多い山里に花粉症が少ないのはなぜか？ アトピー性皮膚炎の原因は何なのか？ 食物アレルギーの原因は本当に食べ物なのか？ 悩みを抱える読者の疑問にやさしく答え、具体的な治療法や対策を伝授する。(2011.7)



**プロブレムQ&A**  
**あなたの「町内会」総点検 [三訂増補版]**  
 [地域のトラブル対処法]

佐藤文明著  
 A 5判並製 232頁 1900円  
 ISBN978-4-8461-1016-1 C0336

事実上の強制加入で、役所や警察、消防など行政の下請けと化した町内会など自治組織の在り方などに、日頃から疑問を持っている人は多い。そうした疑問に答える、唯一の町内会・自治会問題の入門書。大好評ロングセラーの三訂増補版！(2010.12、初版 1994.8)



**花王「アタック」はシャツを白く染める**  
 蛍光増白剤・合成界面活性剤は危ない

渡辺雄二著  
 四六判並製 176頁 1500円  
 ISBN978-4-8461-0815-1 C0036

スーパーやドラッグストアには、洗濯用洗剤、台所用洗剤などが山のように積まれている。これらには、驚くほど多くの化学物質が含まれている。本書ではこうした製品を一つ一つ取り上げ、その成分を検証し、安全性や毒性を明らかにする。(2008.11)



**配偶者暴力対策ガイド**

矢野輝雄 著  
 A 5判並製 200頁 1800円  
 ISBN978-4-8461-0720-8 C0036

DV(ドメスティック・バイオレンス)防止法が制定されたが、十分活用されない。本書は、DVへの対処法、相談や保護命令の申立、生活保障などを解説すると共に、離婚に至ったときのやり方も詳細に解説。Q&A形式ですぐに役立つ実用本。(2007.12)



**介護保険活用ガイド**

矢野輝雄著  
 A 5判並製 220頁 1700円  
 ISBN4-8461-0621-7 C0036

超高齢社会の日本で、少ない年金で生活するには、今後、介護保険の上手な活用が鍵となる。親の介護はもちろん、自分の老後を賢く設計するためにも、介護保険のしくみを理解しておくことが必要だ。本書は、多数の図解とともに、活用法をガイド。(2006.12)



『香りブームに異議あり』書評  
**浮かび上がる安全性への疑問**

(…) 国際機関の発表や学術論文など1次情報から引き出された事実が、香料の安全性に対する疑問を浮かび上がらせます。香料成分の安全性テストを実施している国際機関はIFRA(国際香粧品香料協会)です。ここでの検査は主に皮膚のみで、香害で問題となっている吸入による暴露はありません。危険成分も指定していますが、あくまで定量的リスク評価、つまり病気一歩手前になるまでにどれくらい暴露できるかということではかありません。(…)

そして私が最も恐ろしいと感じたのは、ほとんどの人が毎日使っている合成洗剤は。その主成分の界面活性剤に問題があるだけでなく、「洗い立てのようないい香り」をわざわざ付けるために、内分泌かく乱作用のある合成ムスクを配合しているという事実です。

(…) 絶望的なこの事実を突きつけられながらも、世界や日本で草の根運動が起き、地方自治体が香料自粛の啓発を始めたことに希望を感じます。

(杉浦陽子『消費者レポート』編集長)  
 ●『消費者レポート』2018年10月20日号



## 欠陥住宅をつかまない法

宮武正基・矢野輝雄 著  
A 5判並製 196頁 1900円  
ISBN4-8461-0605-5 C0052

前著、『欠陥住宅被害・対応マニュアル』でも詳説したように、一度欠陥住宅をつかむと後の対応は本当に大変だ。では、どうすればよいのか？ 本書は、一級建築士等が、一戸建て、建売、マンションなどのチェックの仕方や見方を見本付きで解説。(2006.2)



## 欠陥住宅被害・対応マニュアル

矢野輝雄・宮武正基 著  
A 5判並製 176頁 1900円  
ISBN4-8461-0414-1 C0052

欠陥住宅に泣く人は後を絶たない。原因究明や解決は時間も金もかかり、難しい。本書は一級建築士らが、建築の素人である一般市民でも聞えるように、業者に対抗する知識とノウハウをQ&A形式でやさしく解説している。(2004.9)



## 定年からの生活マニュアル

矢野輝雄 著  
A 5判並製 220頁 1900円  
ISBN4-8461-0515-6 C0036

定年後の長い期間を過ごすため、また生活設計をするためには、少なくとも社会保険制度の理解が必須のことと言える。だが、複雑な年金制度やその他の仕組みを理解するのは難しい。本書はQ&A方式でわかりやすく解説している。(2005.9)



## 自動車事故・対応マニュアル

矢野輝雄 著  
A 5判並製 188頁 1900円  
ISBN4-8461-0420-6 C0036

交通事故死傷者数100万人、関係検挙者数は刑法上の全犯罪の70%以上。誰もが被害者となり、加害者となる可能性がある。本書は、被害者、加害者双方の立場から、交通事故や保険の基礎知識のほか、発生時から損害賠償の最終的解決までの対応を解説。(2004.11)

☆



## プロブレムQ&A⑨ 大疑問・交通取締り 〔教習所では教えない運転術〕

浜島望 著  
A 5判変並製 176頁 1800円  
ISBN4-8461-9589-9 C0365

根拠不明の規則や不当な交通取締りに泣き寝入りすることはない。交通安全を錦の御旗に、全国で進められる路上監視カメラ群の整備に警察国家への危惧を深める著者が、対応法の数々を完全披露。(1995.5)



## プロブレムQ&A⑩ 55歳からの生き方教室 〔高齢者時代をのりきる40問40答〕

マインド21 著  
A 5判変並製 224頁 1800円  
ISBN4-8461-9480-9 C0336

「もっと働きたい」「悠々自適の生活をした」「健康が不安」などと老後への思いはさまざま。でもそのための準備はしていますか？ 健康や生きがい、死の問題から年金・保険・財産管理まで、気になるテーマを総ざらえ。(1994.11)



## 図書館づくり運動実践記 三つの報告と新・図書館づくり運動論

扇元久栄・栗原進・盛泰子・漆原宏・共著  
四六判上製 352頁 2400円  
ISBN4-8461-9713-1 C0000

図書館が身近になれば…町・村で図書館づくり運動は盛んだ。本書は仙台・鶴ヶ島・伊万里における実践を報告。また図書館カメラマン漆原宏氏のネットワーク運動論を紹介。文庫・図書館関係者必携！(1997.9)



## 『ポスト・コロナ社会を考える』紹介 新型コロナ対策をひと任せに しないために

(…) マスク、ひととの距離、ワクチン……  
それぞれが個々の健康観、死生観、自然観など

を反映し、唯一の正解はない、ということは見えている。結局は、多様な考えとどう共存するか、という問いに至るようにも思う。「ポスト・コロナ社会」が、痛みの経験を生かした社会になるための羅針盤に。

●『クーオン』2022年7月号

# 医療と健康を考える



## カルテがないC型肝炎患者の闘い 薬害C型肝炎訴訟の記録

カルテがないC型肝炎 東京弁護士団編著  
四六判上製 316頁 2500円  
ISBN978-4-8461-2217-1 C0036

中途半端なC型肝炎救済特別措置法のために、フィブリノゲン製剤によるC型肝炎に長く苦しめられながらも、カルテの残らない患者たちの救済には困難が伴い、患者や遺族たちが落胆・絶望に陥るケースが絶えない。

本書は全国7弁護士団の患者と家族そして弁護士たちが、C型肝炎特措法の問題点、限界を克服するべく取り組んできた十年余の苦闘の実態を報告する。そして現行特措法は、単なる延長をせずに、何としても適正な法改正がなされるべきであると訴える。(2022.11)

### 【内容構成】

- 絶望と憤りの果ての感激—巻頭言にかえて  
弁護士 山口広
- 第1章 薬害C型肝炎とは何か 弁護士 萱野一樹
- 第2章 原告の声
- 第3章 いろいろ尽くしたけれど救済されなかった事例
- 第4章 なんとか苦勞して救済された(和解できた)事例
- 第5章 各地弁護士団の悪戦苦闘
- 第6章 東京地裁『所見』の検討 弁護士 高橋宣人・土田元哉
- 第7章 東京地裁二〇二二年七月一九日判決 批判 弁護士 山口広
- 第8章 C型肝炎特措法の問題点と改正の必要性 弁護士 加藤晋介
- 終わりに 弁護士 萱野一樹



## プロBLEM Q & A 化学物質過敏症の暮らしと住まい 【どうすれば良いのか?】

足立和郎著  
A 5変並製 244頁 2000円  
ISBN978-4-8461-2213-3 C0336

化学物質過敏症を発症した患者や家族、また、シックハウス症候群の患者が、どのような問題で苦勞し、どのような対策を取らなければいけないのか。本書は暮らしや住まいの対策、生活に使える商材の案内などを詳しく解説し書き下ろした実用書です。(2022.8)

### 【内容構成】

- 化学物質過敏症を発症後、今の生活はどのように一変するのでしょうか？  
化学物質過敏症を発症すると、発症しない人の違いはなんなのでしょうか？  
CS発症後、日々使えないものが増えていきます。対策を教えてください。  
シックハウス症候群と化学物質過敏症は、どのように違うのでしょうか？  
自然素材でもアレルギーを起こします。その対策はありますか？  
CS患者対応の建物の新築とリフォームの仕様例を教えてください！



## プロBLEM Q & A ポスト・コロナ社会を考える 【ワクチン依存社会総点検】

天笠啓祐著  
A 5判並製 140頁 1500円  
ISBN978-4-8461-2205-8 C0336

## コロナ収束のための処方箋

長崎大学バイオハザード予防研究会／医療ガバナンス研究所編著  
四六判並製 279頁 2000円  
ISBN978-4-8461-2201-0 C0036

新型コロナ対策の切り札としてワクチンが推奨されています。しかし、その安全性に保障はなく、そもそも対症療法では何度もパンデミックを引き起こしかねません。人間が持つ自然免疫力の強化が必要です。本書はコロナめぐる問題点を総点検します。(2022.4)

新型コロナウイルス感染の再々拡大の最大の原因は何なのか？ 本書は前著『新型コロナのエアロゾル感染』でエアロゾル感染をいち早く警告した著者らが、新型コロナを収束させる方法を、医療・人権・法律・経済面から提言する。(2022.2)



## 高血糖は万病の元

長山淳哉著  
四六判並製 192頁 1800円  
ISBN978-4-8461-2115-0 C0047

高血糖と糖尿病は食習慣に起因する健康障害であり、放置すれば三大合併症、癌、心疾患、脳血管疾患、認知症などを惹起する。本書は、公衆衛生学・予防医学が専門家が、日常の食生活を通じた高血糖・糖尿病の予防と、改善・治療のノウハウを明らかにする。(2021.8)



## 新型コロナワクチン

その実像と問題点

天笠啓祐著  
四六判並製 192頁 1700円  
ISBN978-4-8461-2110-5 C0036

いま、原発に続き惨事をもたらしかねないのがバイオテクノロジーである。生命倫理の領域はどんどん冒されつつある。今回の新型コロナ遺伝子ワクチンも、一線を越えた生命操作の一環にある。本書は危うい新型コロナワクチンの実像と問題点を明らかにする。(2021.6)

☆



## 【プロブレム Q&A】 化学物質過敏症対策

【専門医・スタッフからのアドバイス】

水城まさみ／小倉英郎／乳井美和子著・宮田幹夫監修 A5判変並製 164頁 1700円  
ISBN978-4-8461-2015-3 C0336

環境過敏症患者さんは年々増加しています。しかし、必ずしも非専門医に十分認知されている状況ではありません。本書は、そうした患者さんへの理解を深め、非専門医らが適確な診断と治療ができるように、専門医が具体的なアドバイスをしています。(2020.9)



## 新型コロナのエアロゾル感染

【上巻】分析編 医療問題

長崎大学バイオハザード予防研究会著  
四六判並製 196頁 1700円  
ISBN978-4-8461-2013-9 C0036

本書は、10年前からバイオハザードに関心を持って、その危険性について警鐘を鳴らしてきた著者らが、その知見を基に、今回のCOVID-19への感染を少しでも防ぐ方法を提示し、さらに、喫緊の課題について、どう対処すべきかを提言するものです。(2020.6)



## 新型コロナのエアロゾル感染

【下巻】提言編 法律・経済・教育問題

長崎大学バイオハザード予防研究会著  
四六判並製 280頁 1900円  
ISBN978-4-8461-2021-4 C0036

新型コロナ感染症は、今なお終息する気配が見えません。本書下巻では、エアロゾル感染の観点から、PCR検査や換気的重要性など具体的な感染症対策を提言し、また、コロナ対策の法的問題点、経済・教育・人権の問題など喫緊の課題を取り上げます。(2020.10)



## 乳幼児ワクチンと発達障害

【増補改訂版】

白田篤伸著  
四六判並製 244頁 2000円  
ISBN978-4-8461-2403-8 C0047

著者は、自閉症・発達障害の原因を追求し、様々な証拠から、0歳児を中心とする乳幼児予防接種の乱用が、自閉症・発達障害の激増の原因ではないかとの結論にいたる。本書は、その根拠と仕組みを丁寧に解説、予防・解決法を提言。(2024.4、初版2020.2)



## 名医の追放

滋賀医科大病院事件の記録

黒数哲哉著  
四六判並製 208頁 1800円  
ISBN978-4-8461-1918-8 C0036

滋賀医科大病院で、ボス医師らの不正治療を告発・阻止し、患者を救った前立腺癌の名医。しかし、カルテ不正閲覧、QOL調査票の偽造など、卑劣な追放工作を仕掛けられた。患者の命より病院幹部のメンツを優先する、黒い巨塔、の闇に迫る！(2019.10)



## 薬害エイズ事件の真相

長山淳哉著  
四六判並製 268頁 2200円  
ISBN978-4-8461-1717-7 C0036

治療用の血液製剤を通じてエイズウイルスが血友病患者の40%、1500人ほどに感染、約600人が死亡した薬害エイズ事件。2001年、東京地裁はこの薬害エイズを放置した安部英帝京大医学部長に無罪判決を下した。本書は、医学者の著者がその真相に迫る。(2017.09)

☆



**惨事ストレス**  
救済者の「心」のケア。

『惨事ストレス』編集委員会編著  
四六判並製 216頁 2000円  
ISBN978-4-8461-1421-3 C0036

☆

消防士・警察官、自衛隊員、自治体職員、教職員、ボランティアなどの救済者が、被災地の悲惨な現実、展望の見えない復興活動のなかで心身が疲弊し、病に陥り、自殺者まで出ている。本書は、この「惨事ストレス」の現状を捉えなおし、ケアを考える。(2014.12)



**ボケない食べ方 [改訂新版]**  
認知症を予防し、進行を抑える食事と運動

伊藤晴夫著  
A 5判並製 152頁 1600円  
ISBN978-4-8461-1412-1 C0047

認知症は予防できる、発症を遅らせることができるということ、また食品の成分が脳に与える影響が明らかになってきた。超高齢社会における日本人のライフスタイルを、食事を中心に見直すことが重要だ。あなたもこうすればボケずに長生きができる！ (2014.8)



**前立腺がん予防法 [改訂新版]**  
正しい食事とライフスタイル

伊藤晴夫著  
A 5判並製 128頁 1600円  
ISBN978-4-8461-1215-8 C0047

男性に特有な前立腺にできる悪性腫瘍、前立腺がんが激増しています。自覚症状の現れにくいこのがんは、生活習慣を見直し、食事療法をすれば予防可能です。本書は、がんの進行を抑え、免疫系を強化するなどの具体的な対策を分かりやすく説明します。(2012.8)



**サリドマイド事件全史**

川俣修壽著  
A 5判上製 544頁 8400円  
ISBN978-4-8461-1003-1 C0036

\*

本書は、被害者原告の支援者として40年間事件を追い続けた著者が、原資料を綿密に調べあげ、当事者に取材し、サリドマイド事件の全貌、とりわけ和解交渉の内幕を初めて明らかにする。その後も続く公害・被害事件に大きな影響を与えた事件全史。(2010.5)



**医療現場は今**

小笠原信之著  
四六判並製 276頁 1900円  
ISBN4-8461-0619-5 C0036

\*

超高齢社会入りを目前に、今、日本の医療が大きく揺れている。いずの課題も、医療費削減や高齢社会へのシフト転換が背景にある。本書は、そんな医療周辺の問題に敢然と踏み込み、丁寧な取材を通してそれぞれの課題を鋭くあぶりだしていく。(2006.10)



**生殖医療の何が問題か**

伊藤晴夫著  
四六判並製 210頁 1700円  
ISBN4-8461-0620-9 C0047

☆☆

生命科学・生殖医療の進展はめざましい。しかしいったい、「いのち」の操作は、どこまで許されるべきなのか。本書は、日本不妊学会の理事長を務めた第一人者が生殖医療の現状と問題点を分かりやすく解説しつつ、その限界を問う。(2006.11)



**プロブレムQ&A**  
**どう考える？生殖医療**  
(体外受精から代理出産・受精卵診断まで)

小笠原信之著  
A 5判並製 208頁 1700円  
ISBN4-8461-0505-9 C0336

\*

人工受精、体外受精、代理出産、はてはクローンと生殖分野の医療技術の発展はめざましいものがあるが、さまざまな問題も浮上してきている。国によって規制も違う。本書は、これらの疑問や問題を整理し、生命の尊厳を踏まえ、どうすべきかを考える。(2005.3)



**プロブレムQ&A**  
**ここが危ない！アスベスト [新装版]**  
(発見・対策・除去のイロハ教えます)

アスベスト根絶ネットワーク著  
A 5判並製 168頁 1800円  
ISBN4-8461-0513-X C0336

アスベストの危険性は周知の事実だ。しかしどこにあり、どう対処すればいいのだろうか。本書では発見の方法、除去に対する様々な援助制度などを紹介する。実践的アスベスト根絶マニュアル！ 売り上げ好評につき新装版発行。(2005.8、初版1996.8)



**プロブレムQ & A**  
**許されるのか? 安楽死**  
 [安楽死・尊厳死・慈悲殺]

小笠原信之著  
 A 5判変並製 264頁 1800円  
 ISBN4-8461-0313-7 C0336

高齢社会が到来し、終末期医療の現場では安易な「安楽死ならざる安楽死」も噂される。本書は、安楽死や尊厳死をめぐる諸問題について、その定義から歴史、医療、宗教・哲学まで、わかりやすいQ & Aで答える。あなたなら、どうするか? (2003.11)



**ホメオパシー医学哲学講義**

ジェームズ・タイラー・ケント著  
 松本文二・永松昌泰訳  
 四六判上製 440頁 3200円  
 ISBN4-8461-0506-7 C0047

物質論的な現代西洋医学の限界を乗り越えようとするホメオパシー(類似療法)医学の古典的名著『オルガノン』。その第一級解説書として名高い、ジェームズ・タイラー・ケントの『ホメオパシー医学哲学講義』の翻訳。ホメオパシー医学の基本教本。(2005.4)



**がん患者が共に生きるガイド**

柚原君子著  
 A 5判並製 212頁 2000円  
 ISBN4-8461-0105-3 C0047

がんは寛解率(一時的に治る事)も50%をこえ、がんと共に生きていく時代になった。すべてのがん患者のためにがん患者会をレポート。はじめてのアンケート調査をもとに全国の患者会を紹介。がんで悩むすべての人のためのがん患者会ガイド! (2001.4)



**がんサバイバル**  
 生還者たちの復活談

S・ネッシム/J・エリス共著  
 小笠原信之訳  
 四六判上製 302頁 2200円  
 ISBN4-8461-9616-X C0047

がん治療率はいまや五割を越えている。その体験者たちが抱えているストレスや、再発の恐怖、社会復帰の障害への立ち向かい方を、アメリカで大反響と共感を呼んだ自助・支援グループの創設者である著者が示す、初めての生還ガイド。(1996.7)



**プロブレムQ & A ⑩**  
**がん告知、から復帰まで**  
 [疑問と不安 完全ケア]

小笠原信之著  
 A 5判変並製 164頁 1700円  
 ISBN4-8461-9596-1 C0347

あなた、あるいは家族がガンと告知された時、どうすればいいのか。告知・治療・痛みについて、またホスピス、社会復帰・保険と費用、自助・支援組織など、ガン闘病に関する疑問と不安のすべてにQ & Aで応える。(1995.7)



**プロブレムQ & A**  
**「たばこ病」読本**  
 [禁煙・分煙のすすめ]

渡辺文学著  
 A 5判変並製 168頁 1500円  
 ISBN4-8461-0007-3 C0336

本書は、世界の趨勢に20年以上も遅れているという日本のたばこ事情の問題点を考えるとともに、たばこがなぜ健康に良くないのか、どうせれば禁煙できるかを分かりやすくQ & A解説する。(2000.8)

☆☆



**老い路遥かなり**  
 老人コミュニティを訪ねて

岩尾 徹著  
 四六判並製 228頁 1700円  
 ISBN4-8461-0406-0 C0036

本書は、永年、老人問題に携わってきた著者が、10年以上にわたって、2つの老人コミュニティをルポし、そこで暮らす老人たちのありのままの人間模様を描いたドキュメントである。老いを考えるための様々な示唆を提供している。(2004.4)



**私こそ私の主治医**

橋本行生/多々良志共著  
 四六判並製 268頁 2200円  
 ISBN4-8461-0103-7 C0077

本書は、臨床医の著者がガンに対する免疫療法を中心に、自らの意志や力で諸病を予防・治療するための考え方、ガンに備える生活術、その他もれている有用な民間療法などについて、診療上の具体例を示しながら述べたもの。(2001.4)

# サリドマイド事件日誌

(全四巻+DVD [電子書籍])

川俣修壽編著・揃300,000円 [税別、分売不可]  
ISBN978-4-8461-1650-7 C3036

国内のサリドマイド事件関係の新聞・雑誌記事(専門紙を含む)、法律、医学薬学、国会審議、旧厚生省、原告団、弁護団、支援グループ等の文書などを可能な限り収集し年月日順に整理、必要に応じ解説を付け、参考文献の要旨と関連項目、書証号数を示し、全ての項目に出典を明示。1926

年から2015年までを網羅している。

被害者の苦悩、和解開始時の国の動き、原告弁護団との接触、和解金合意のプロセス、原告弁護団の和解説得の状況、支援者との考えの違いなどのやりとりを原資料で生々しく再現し、同事件の全貌を明らかにしている。(2016.10)



## 第1巻 開発・提訴・準備手続き

1926年～1971年1月

A 4判並製 628頁

サリドマイドの開発と発売／多発する奇形児と西ドイツの回収／漫然と販売を続行／原因究明に動く被害者／名古屋地裁に提訴／集団提訴と準備手続き／大日本製薬を刑事告発／西独の刑事裁判開始 他



## 第2巻 追いつめられる被告

1971年2月～1973年11月30日

A 4判並製 620頁

口頭弁論はじまる／支援の輪、広がる／レント証言／国、和解方針を決定／和解金額を詰める国／原告弁護士、和解で被告と接触／和解概要をサンケイがスクープ／ネーダー、厚生大臣に質問状 他



## 第3巻 和解交渉

1973年12月1日～1974年9月

A 4判並製 650頁

和解交渉はじまる／原告・支援者、和解条件を議論／真鶴で原告団合宿／支援者、厚生省内で座り込み／被告、賠償金を試算／賠償金額の提示／東京地裁、和解金額のあっせん案提示 他



## 第4巻 調印、続発する薬害／資料

1974年10月～2015年7月4日

A 4判並製 734頁

調印に走り出す／和解調印、第1次申請受付／第1次認定の結果公表／薬害被害救済制度を検討／第2次申請受付／薬事法改正案骨子、薬業界に説明 他  
資料



## 【DVD】サリドマイド事件日誌

電子書籍 (第1巻～第4巻まで全巻)

2.5GB PDF画像形式



『サリドマイド事件日誌』書評  
事件の全貌を原資料で再現

サリドマイド事件の全貌を原資料で再現した『サリドマイド事件日誌』が刊行された。(…)これらの資料は、薬害事件による被害者の苦悩、和解開始時の国の動き、原告弁護団との接触、

和解金合意のプロセス、原告弁護団の和解説得の状況、支援者との考えの違いなどのやりとりを生々しく再現し、薬害和解の先例となったこの事件の全貌を明らかにしている。

●『出版ニュース』2016年5月中下旬号より。

# IV 現代の政治と社会の本

## 現代世界を読む



### 中朝国境都市・丹東を読む 私は今日も国境を築いては崩す

姜柱源著  
市村繁和訳  
四六判上製 240頁 2400円  
ISBN978-4-8461-2202-7 C0026

中朝国境の大河・鴨緑江を挟んで北朝鮮・新義州と向かい合う中国・丹東。この2つの都市は、世界に広まったその断絶のイメージとは異なり、国境を挟んだ多彩で活発な交流によって、互いを支え合う国境都市だ。それは脱北者たちの脱出ルート、あるいは北朝鮮の鏡とは異なる姿といえる。そこで北朝鮮人・北朝鮮華僑・中国朝鮮族・韓国人の4集団および中国人たちは活発に貿易し、交流を繰り返す。こうした暮らしぶりを丹東の人びとは「鴨緑江には国境がない」と表現する。

韓国の気鋭の人類学者が中朝国境都市・丹東に赴いて彼らのあいだで暮らしつつ、こと

細かに観察してしたためた迫真のルポルターージュ。(2022.2)

#### [内容構成]

はじめに

- 第一章 人類学者、国境都市・丹東を読む
  - 第二章 現場のなかへ
  - 第三章 四集団のはなし—北朝鮮人・北朝鮮華僑・朝鮮族・韓国人
  - 第四章 丹東、三カ国貿易の中心地
  - 第五章 中朝国境のふたつのコード、境界あるいは共有
  - 第六章 四集団、コリア語を共有する—国民・民族アイデンティティの地形図
  - 第七章 丹東、三カ国の過去・現在・未来
- 参考文献  
訳者あとがき



### G A F A という悪魔に

ジャック・セグラ著  
佐藤真奈美・小田切しん平訳  
四六判上製 228頁 2200円  
ISBN978-4-8461-2016-0 C0036

GAF A:グーグル、アップル、フェイスブック、アマゾンの4つの企業は、規制・罰則を回避し生活を独占する。人類史上、最も愚かな行為は、彼らの覇権をよそに、そのデジタル的略に熱狂して参加することだ。この悪魔とどう戦えばいいのか? (2020.9)

☆



### ドナルド・トランプ物語

トマス・カトウ著  
四六判並製 348頁 2000円  
ISBN978-4-8461-1812-9 C0031

日本の政財界やメディアはトランプ米大統領について分かっていない。本書は「反エスタブリッシュメント」「アメリカファースト」「バックスアメリカーナからの撤退」「レスピロカルな関係」などのキーワードを軸に、その政治をわかりやすく読み解く。(2018.7)

☆



### パリ・エコと減災の街

竹原あき子著  
四六判上製 204頁 2500円  
ISBN978-4-8461-1609-5 C0036

パリは大規模開発から環境重視へと舵をきり、セーヌ川を核に緑化・エコ・福祉の街へ再改造されつつある。また郊外では地域や住宅での社会的混在を目指すミキシテ・ソーシャル政策が進められている。本書は最新の都市デザイン政策を現地レポート! (2016.6)



### フランス人の新しい孤独

マリー＝フランス・イリゴエン著  
小沢君江訳  
四六判並製 248頁 2200円  
ISBN978-4-8461-1517-3 C0036

フランスにおいて、経済的にも性生活でも自立した多くの女性は、カップル生活のために、自らの独立を犠牲にすることを拒否する。結果として、新たな孤独につき当たる。本書は、著名な精神科医の著者が、現代の女と男の愛と性と生活の在り方を提起。(2015.12)



**この身が灰になるまで**  
**韓国労働者の母・李小仙の生涯**

呉道燁著／村山俊夫訳  
 四六判並製 272頁 2000円  
 ISBN978-4-8461-1404-6 C0031

☆

1970年11月13日、全泰壹は幼い労働者たちの待遇改善を求めて、焼身抗議した。そして母、李小仙はその日から息子の遺志を引き継ぎ、労働者たちと共に歩み始めた。韓国の労働運動・民主化運動の精神的支柱となったオモニ・李小仙の生きる姿。(2014.3)



**諜報ビジネス最前線**

エイモン・ジャヴァーズ著  
 大沼安史訳  
 四六判上製 464頁 2800円  
 ISBN978-4-8461-1113-7 C0034

\*

秘密のヴェールに包まれた、現代の「諜報企業」による、産業化された「諜報活動」。それはグローバル化した経済において、企業活動の成否を決める。本書は、米国の調査報道ジャーナリストの第一人者がその全貌を世界で初めて明らかにする。(2011.8)



**ビルケナウからの生還**  
**ナチス強制収容所の証言**

モシェ・ガルバーズ、エリ・ガルバーズ著  
 小沢君江訳  
 四六判上製 404頁 3200円  
 ISBN978-4-8461-1009-3 C0022

☆☆

著者は生還が不可能と言われた数カ所のナチス強制収容所で、3年間生き抜いた。本書は、過去の証言としてではなく、収容所のそのただ中で生き抜いたひとりのポーランド系ユダヤ人の身体に刻まれた実体験として、読み継ぐべき衝撃的な証言と言える。(2010.7)



**戦争の家**  
**ペンタゴン**

ジェームズ・キャロル著  
 大沼安史訳  
 四六判上製 672頁 3400円  
 ISBN978-4-8461-0904-2 C0031

\*

1941年9月11日、ペンタゴン＝「戦争の家」の起工式が執り行われた。このアメリカの戦争マシーンが、核の支配、冷戦を通じて、いかにして合衆国の主権と権力を篡奪し、世界の悲劇の「爆心」になっていったのか？多くの人びとの証言により記録する。(2009.3)



**戦争の家**  
**ペンタゴン**

ジェームズ・キャロル著  
 大沼安史訳  
 四六判上製 688頁 3500円  
 ISBN978-4-8461-0915-8 C0031

\*

本書〔下巻〕では、ケネディ以降、ブッシュに至る、米国及び世界の戦争と破局の危機の現代史を追い、知られざる歴史の内幕と世界支配を狙う「アメリカ帝国」化の道を照らし出す一方、平和の扉を開こうとする人びとの闘いを浮き彫りにする。(2009.12)



**大統領チャベス**

クリスティーナ・マルカーノ／アルベルト・バレラ・ティスカ著 神尾賢二訳  
 四六判上製 520頁 3000円  
 ISBN978-4-8461-0902-8 C0031

\*

2009年2月、大統領の無期限再選制を成立させ、長期政権を目指すベネズエラのウゴ・チャベス大統領。彼は革命家なのか、ポピュリスト的独裁者にすぎないのか？そして何を目指すのか？関係者への膨大なインタビューと調査により実像を活写。(2009.3)



**ラムズフェルド**  
**イラク戦争の国防長官**

アンドリュー・コバーン著  
 加地永都子監訳  
 四六判上製 344頁 2600円  
 ISBN978-4-8461-0813-7 C0031

\*

本書はペンタゴンのトップとして二度にわたり君臨し、武力外交を展開したネオコンのリーダー、ラムズフェルド米国国防長官の実像を浮き彫りにし、大企業・財界の利益に左右される米国政治、ブッシュ政権の内幕を活写した力作。(2008.12)



**海に消えた星の王子さま**

ジャック・ブラデル／リュック・ヴァンレル著  
 神尾賢二訳  
 四六判上製 256頁 2000円  
 ISBN978-4-8461-0907-3 C0036

☆☆

本書は、第二次大戦における連合軍最年長の伝説の現役飛行士でもある『星の王子さま』の作者、サンテグジュペリの行方不明の真相を解明するため、情熱に燃えた数人の小さなグループが、あきらめることなく続けた捜索活動のドキュメント。(2009.5)



**永遠の絶滅收容所**  
動物虐待とホロコースト  
チャールズ・パターソン著  
戸田清訳  
四六判上製 396頁 3000円  
ISBN978-4-8461-0706-2 C0036

動物の家畜化、奴隷制からジェノサイドまで、人類による虐待と殺戮の歴史を辿る。罪なき犠牲者である動物を護ることこそが、ある生命は他の生命よりもっと価値があるという世界観を克服し、搾取と殺戮の歴史に終止符を打つことができると説く。(2007.4)



**難民を追いつめる国**  
クルド難民座り込みが訴えたもの  
クルド人難民二家族を支援する会編著  
四六判並製 236頁 1700円  
ISBN4-8461-0511-3 C0036

欧米では年に数千人から万単位の難民認定をするのに比べ、わずか十数人しか認定しない難民鎖国の日本。2歳の子どもを含む2家族が、難民認定を求め、国連大学前に座り込んだ。強制退去を迫る当局と支援の輪から見えてきたものは。(2005.7)



**WTO——シアトル以後**  
下からのグローバリゼーション  
石見 尚・野村かつ子著  
四六判上製 180頁 1800円  
ISBN4-8461-0404-4 C0036

WTO(世界貿易機関)はなぜかくも紛糾するのか? 本書は特に、シアトル以後の会議を通して、WTOの問題点を掘り下げるとともに、下からのグローバリゼーションの運動に焦点を当てて、今後の展望を打ち出している。(2004.5)



**誰のためのWTOか?**  
パブリック・シティズン/ロリー・M・ワチ/ミッシェル・スフォーザ著、ラルフ・ネーダー監修 海外市民活動情報センター監訳  
A5判並製 336頁 2800円  
ISBN4-8461-0109-6 C0031

WTOは国際自由貿易のための世界基準と考える人が少なくない。だが実際には超大国アメリカの利益や多国籍企業のために利用され、厳しい環境基準等をもつ国の制度の改変を迫るなど弊害も多い。本書は現状と問題点を明らかにする。(2001.11)



**フランサフリック**  
アフリカを食いものにするフランス  
フランソワ・グザヴィエ・ヴェルシャヴ著/大野英士、高橋武智訳  
四六判上製 544頁 3200円  
ISBN4-8461-0211-4 C0031

数十万にのぼるルワンダ虐殺の影にフランスが……。歴代大統領が絡むフランスの巨大なアフリカ利権とスキャンダルを暴き、新植民地主義の事象を明らかにし、欧米を騒然とさせた問題の書、遂に邦訳。(2003.3)



**アジアの眼**  
NGOからの反グローバリズム  
モハメド・イドリス著/安藤栄雄監訳/中本健一訳  
四六判上製 264頁 2400円  
ISBN4-8461-0303-X C0036

多国籍企業によってアジアは破壊されている。それは新植民地主義そのものである。マレーシアのペナン消費者協会の会長である著者が、反グローバリズムの立場から森や生活基盤を破壊する開発や環境破壊を告発。イスラムの経済システムを提言する。(2003.3)



**途上国支援と環境ガイドライン**  
国際環境 NGO FoE-Japan 編  
A5判並製 216頁 2800円  
ISBN4-8461-0205-X C0031

ODA実施機関であるJBIC(国際協力銀行)が融資するプロジェクトが現地ですさまざまな社会・環境問題を引き起こしている。世界各地の事例を挙げ問題点を指摘し、必要な提言をしている。(2002.5)



**有機農業大国キューバの風**  
生協の国際産直から見えてきたもの  
首都圏コープ事業連合編  
四六判並製 248頁 1800円  
ISBN4-8461-0204-1 C0061

今静かなキューバ・ブームが起きている。それはゲバラでもなくサルサでもなく、有機農業大国として。経済封鎖のなか化学肥料もないキューバは有機農業を選ばざるをえず、それが生協産直でブームに。本書は現地を見て、苦労話をまとめたもの。(2002.4)



## アジア小農業の再発見

岩崎美佐子／大野和興編著  
四六判並製 269頁 2200円  
ISBN4-8461-9806-5 C0061

☆

「農業近代化」の波がアジア農業をより大規模に浸食しつつある中で、各地の小農民たちの手で「もうひとつの農業」への試みが進められている。NGOなどで広く活動する著者らが現況を報告、その可能性を展望する。(1998.4)



## 草の根から経済システムをつくる ネグロスからケララへ・出会いの記録

日本ネグロス・キャンペーン委員会編  
四六判並製 340頁 2500円  
ISBN4-8461-9803-0 C0036

☆

資本のグローバル化とIMF＝世銀体制の下、第三世界各国が絶望的な債務危機に瀕する中で、そこに暮らす民衆の自立は展望できるのか。アジア各国のNGO・個人によってたれた2回の国際的「寄り合い」の報告を通じ、これを考える。(1998.2)



## 新台湾の奇跡

杉岡碩夫著  
四六判上製 198頁 1900円  
ISBN4-8461-0110-X C0033

大国・中国の目前でコンピューター産業を軸にアジアのシリコンバレーとして急成長を続ける台湾。この台湾の奇跡を生み出した中小企業の活力、民進党などの台湾政治のしたたかな動きなどを分析。現代の台湾の動向を知るための書。(2001.8)



## 金日成後の朝鮮半島

前田康博著  
四六判上製 270頁 2000円  
ISBN4-8461-9481-7 C0030

金日成後の朝鮮半島はどうなるのか？ 金正日体制は確立するのか。米朝国交回復は成るか。日朝交渉の行方は？ 本書は、元毎日新聞ソウル支局長の著者が、マスコミの軽薄な分析を両断し、これらの疑問に明快に答える。(1994.10)



## 北朝鮮とは何か 南北統一と日朝交渉

中川信夫著  
四六判上製 221頁 2000円  
ISBN4-8461-9259-8 C0030

☆\*

金日成独裁、世襲、テロ・謀略国家、経済危機など、マスコミが流布する北朝鮮のマイナス・イメージは枚挙にいとまがない。本書はこうした現実をふまえ、北朝鮮の論理と行動を分析して、南北統一と日朝正常化を考える。(1992.7)



## 激動の朝鮮半島 日朝新時代と90年代統一

中川信夫著  
四六判上製 249頁 1900円  
ISBN4-8461-9046-3 C0031

\*

日朝国交回復へ向けての政府間交渉がはじまり、日朝新時代の幕が開いた。戦前の植民地支配と戦後の北朝鮮敵視政策に対し、日本は何を償い、何をなすべきか。北朝鮮は何を目指すのか。南北朝鮮の90年代統一は可能か？(1990.12)



## 現代と朝鮮 [上] ソ連崩壊後の朝鮮社会主義

鎌倉孝夫監修／社会科学研究所編著  
A 5判上製 425頁 5800円  
ISBN4-8461-9370-5 C1033

未だ分断されたままの朝鮮半島の再統一はなるのか？ 戦後世界史のなかに現代朝鮮を位置付け、その政治経済学的総括とともに、ソ連崩壊後の北朝鮮社会主義の理論的特徴を解明し、南北朝鮮の統一の方向を探った大著！(1993.11)



## レ・タン・モデルヌ50周年記念号

クロード・ランズマン編／記念号翻訳委員会訳  
A 5判並製 384頁 2700円  
ISBN4-8461-9816-2 C0010

サルトル、ボーヴォワールが主宰し筆鞭を振った『レ・タンモデルヌ(現代)』誌の50周年記念号。クロード・ランズマン、ジャック・デリダ、ジャン・フランソワ・ルウエット、ジャネット・コロンベルなどの現代フランスの知の最前線が大集合の一冊。(1998.10)



**シリーズ東欧革命①**  
チェコスロバキア 東欧のエコロジー

「シリーズ東欧革命」編集委員会編  
四六判並製 238頁 2000円  
ISBN4-8461-9042-0 C0331

☆☆

東欧の反体制運動情報を最も系統的・網羅的に発信してきた『イースト・ヨーロッパ・レポーター』（ロンドン）と『ラ・ヌーベル・アルテルナティブ』（パリ）との特約の下に、生の資料で東欧情勢を分析するシリーズ。  
(1990.7)



**シリーズ東欧革命②**  
ハンガリー 東欧の民族問題 ブルガリア

「シリーズ東欧革命」編集委員会編  
四六判並製 412頁 3000円  
ISBN4-8461-9149-4 C0031

☆☆

東欧の反体制運動情報を最も系統的・網羅的に発信してきた『イースト・ヨーロッパ・レポーター』（ロンドン）と『ラ・ヌーベル・アルテルナティブ』（パリ）との特約の下に、生の資料で東欧情勢を分析するシリーズ。  
(1991.6)



**東西ドイツを超えて**  
共産主義からエコロジーへ

ルドルフ・バーロ著／増田裕訳  
四六判上製 325頁 2500円  
ISBN4-8461-9040-4 C0030

\*

ベルリンの壁が崩壊し、東独は西独に飲み込まれる形で統一ドイツが歩みだした。本書は、東独に生き西独へ追放された著者が、その体験的な「社会主義」批判と資本主義批判を通じて、東西ドイツを超える新たな道を探る。  
(1990.3)



『クルーハウスの秘密』書評  
**戦争をどのように終わらせたのか**  
連合国側の視点から描いた壮大な物語

戦争は、いかにして終わるのか。この問いへの答えとなる1つの事例が、本書にはある。表題のクルーハウスは、第一次世界大戦期における英国の対敵プロパガンダ機関であり、敵国であるドイツやブルガリアに対するプロパガンダ用印刷物の制作と配布を主たる任務とした。(…) 本書に記されているクルーハウスの活動の記録は、戦時から和平へと世界を動かしたプロパガンダ活動の一部始終であり、先の大戦をどのように終わらせたのかを、連合国側の視点から描いた壮大な物語であるといえる。

(…) 敵国に対するプロパガンダ用のパンフレットやリーフレットでは、勝利への希望を打砕き、戦争を続けることや政府に協力することへの意欲を失わせる宣伝活動が行われた。本書ではそのうちの何点かを対訳付きで紹介している。

(…) 最も「有効かつ失敗がない」配布手段として選ばれたのは気球であった。本書では特別仕様の気球を飛ばす様子を、当時の写真付きで紹介している点が興味深い。(…) 評者はこれまでプロパガンダ印刷物の配布方法を臆測するばかりだったが、実際の作業に携わった当事者による報告は、宣伝戦がリアルで「日常的」だったことを伝えてくれる。

著者は本書について「わが英国が敵国に対して行った目覚ましいプロパガンダ戦争の物語」とした上で、「ある意味で先駆的な歴史上の活動を記録している」と序文で述べている。クルーハウスの活動が先駆的だったのは、のちに第一

次世界大戦の戦勝国となる連合諸国の協力体制のもとに、明確な方針に基づいて対敵国プロパガンダ活動が行われた点である。連合諸国間プロパガンダ協議会が開催され、イギリス、フランス、イタリアのプロパガンダ部門担当者が参加し、後から参戦したアメリカもオブザーバーとして出席した。プロパガンダ政策の方向性が共有され、配布方法や内容、さらには捕虜の教育についても話し合われた。協力体制は連合国内にとどまらず、敵国内に居ながら戦争に疑問を持つ知識人にも広げられ、また中立国のメディア報道や、ドイツに送られる書簡も用いて活動が展開された。連合国軍によって教育された捕虜もまた、プロパガンダの伝道者となった。

戦時下のプロパガンダは、1918年9月のブルガリア王国崩壊を機に、和平へのプロパガンダへと移行する。本書の言葉を借りれば「(ドイツ国民に対して)彼らはできるだけ意気消沈させねばならないが、同時に彼らが戦っている相手との友好的、商業的関係が永久に失われると思いがちまいやうにせねばならない。もし彼らがそう思い込むと、彼らはかたくなになり、可能な限り必死に戦おうとする」とし、連合国側が意図するところの平和の理念や、戦争が終わった後の世界を描くプロパガンダ活動を展開したのだった。巻末で本書の訳者は、クルーハウスの活動が現在のロシアによるウクライナ侵攻にも繋がっていることに言及している。日本でも行われている議論や報道も、我々が意図しないうちに、中立国を経由したプロパガンダとして機能しているのかもしれない。

(土田泰子、長岡工業高専一般教育課教授)  
●『図書新聞』2023年1月14日付

# 戦争・紛争・暴力に迫る



## 非対称な脱冷戦 1990~2020

平和への細い回廊に刻まれた南北関係三〇年

李制勳著  
市村繁和訳  
四六判上製 428頁 3600円  
ISBN978-4-8461-2405-2 C0031

1990年代に本格化した朝鮮半島の「脱冷戦」。それはソ連・中国・東欧との修交に成功した韓国と、米国・日本との不和のままに取り残された北朝鮮の不均衡、つまり「非対称な脱冷戦」であった。30年を超える葛藤は、今あらためて新次元の緊張関係に達しつつある。「平和の波」はもはや潰えたのか？

本書は、韓国大手紙『ハンギョレ』のベテラン記者であり、また南北関係研究者でもある著者による「実録」である。不信と敵対のなかでも繰り返された安定・平和の試みと、その破産を丹念に追い、東北アジアの状況を活写しながら、絶望の果ての平和を構想する。

(2024.4)

### 【内容構成】

【推薦の言葉】 記者のまなざしと学者の透察で掬いあげた南北関係三〇年史（林東源）

【推薦の言葉】 朝鮮半島問題を理解するための最高の道しるべ（文正仁）

日本の読者の皆さんへ 絶望を踏み締めて希望をふたたび語る日へ

はじめに 停戦七〇年、六番目の「平和の波」を待ちながら

I 非対称な脱冷戦と一民族二国家の始まり（一九九〇年～一九九七年）

II 平和の狭すぎる回廊にて（一九九八年～二〇〇七年）

III 一〇年の冬と二年の春（二〇〇八～二〇二〇年）

おわりに 韓国・朝鮮・米国・中国の四者会談で「平和体制」の扉を開こう

日本語版・補論 南北の類例なき断絶状況のなかに垣間見える暗中模索



## ウクライナ停戦と私たち

ロシア・ウクライナ戦争と日本の安全保障

額原厚著  
四六判上製 232頁 2000円  
ISBN978-4-8461-2315-4 C0031

ロシアのウクライナ侵略に始まるロシア・ウクライナ戦争は、戦線が膠着し泥沼化しつつある。ドローンをはじめ先端科学兵器による死傷者は兵士・市民共に急速に増大している。今こそ戦争の即時停止と和平交渉の開始を求めたい。

イスラエル・ガザ戦争をも含め、停戦を求める「私たち」の立ち位置を何処に求めるのか。日本の安全保障政策が非武装中立・非同盟を掲げ平和創造の実績を積んでいる国であるならば、歴史和解と停戦勧告をなす最適な国家と成り得る。しかし、アメリカに追随する日米安保体制では不可能だ。どうすれば平

和実現の第一歩としての停戦を実現するために、深く連帯できる「私たち」であり得るのかを考える。（2024.1）

### 【内容構成】

停戦を阻むものは何か／ロシアのウクライナ侵略をどう読むのか／アメリカはウクライナで何をしているのか／和平派と正義派との乖離を超えて—なぜ、停戦論が深化しないのか—戦争の「できる」国から「する」国へ／アメリカの軍事戦略に追随する日本／日米安保のNATO化を許してはならない／反撃能力論と防衛費増額の危うさ／非武装中立・非同盟政策の提唱／抑止力と同盟の限界を問う—国会での参考人陳述に絡めて—／敵基地攻撃論の真相—専守防衛論から先制攻撃論へ—／日本安全保障問題を論じる—「日中経済戦争」を許してよいのか／漂流するリベリズム／いまこそ非武装中立・非同盟政策の実現を！—平和実現の最終方途として—



## クルーハウスの秘密

第一次世界大戦の英国プロパガンダ戦争の内幕

キャンベル・スチュアート著  
松田あぐり・小田切しん平訳  
四六判上製 260頁 2600円  
ISBN978-4-8461-2214-0 C0031

1918年、英国が敵国に対して展開した大々的なプロパガンダ戦争。その遂行組織・クルーハウスについて、沿革、国別のプロパガンダ作戦に関する詳細、連合諸国間の連携、和平局面におけるプロパガンダなどの項目に沿って、第一人者が詳らかにした古典。（2022.9）



**米国の科学と軍産学複合体**  
米ソ冷戦下のMITとスタンフォード

スチュアート・W・レスリー著  
豊島耕一・三好永作共訳  
A5判上製 376頁 4000円  
ISBN978-4-8461-2102-0 C0040

本書は、現代アメリカの理工系有名2大学における、第二次世界大戦から米ソ冷戦期の軍事研究を、個人と組織の両面から描いたドキュメンタリー。いわば「普通の」研究者たちがどのようにして軍事研究に組み込まれていったかを、詳細に明らかにする。(2021.1)



**捏造されるエコテロリスト**

ジョン・ソレンソン著  
井上太一訳  
四六判上製 468頁 3200円  
ISBN978-4-8461-1711-5 C0036

本書は米国、英国やカナダにおける国家と企業による市民運動・社会運動の弾圧、とりわけ、環境保護運動や動物擁護運動を「エコテロリズム」なる汚名を着せて迫害するという近年の現象について、世界各国の実例を批判的見地から考察した書である。(2017.7)



**フランス人ジャーナリスト**  
彼らはなぜイスラム聖戦士になったのか

ダヴィッド・トムソン著  
小沢君江訳  
四六判並製 240頁 2200円  
ISBN978-4-8461-1618-7 C0036

☆ 彼らはなぜイスラム教に帰依し、イスラム聖戦士として戦いに参加していくのか？本書は、フランス人ジャーナリストの著者がシリアに向かう多くのフランス人ジャーナリストとコンタクトし、彼らが初めて明かす証言をまとめたものである。(2016.10)



**イスラム国の反乱**  
ISISと新スンニ革命

パトリック・コバーン著／大沼安史訳  
四六判上製／208頁／1800円  
ISBN978-4-8461-1504-3 C0036

☆ 本書は、英国高級紙『インディペンデント』特派員として、1979年から中東で現地取材を続け、英国の「2014年海外報道ジャーナリスト・オブ・ザ・イヤー」を受賞するなど、第一級の評価を受けている著者による「イスラム国」の最新緊急現地報告！(2015.3)



**鉄の壁 [第二版] [上巻]**  
イスラエルとアラブ世界

アヴィ・シュライム著／神尾賢二訳  
四六判上製 584頁 3500円  
ISBN978-4-8461-1311-7 C0031

\* 今日まで続く中東の戦火の元凶は、アラブの非妥協性であるとするシオニストの考え方は今、イスラエル史を再検証するユダヤ人歴史学者グループによって批判的に検証されている。本書は、公開され資料やインタビューを駆使して、歴史の真実を追求する。(2013.6)



**鉄の壁 [第二版] [下巻]**  
イスラエルとアラブ世界

アヴィ・シュライム著／神尾賢二訳  
四六判上製 556頁 3500円  
ISBN978-4-8461-1318-6 C0031

\* 著者は、現代世界におけるもっとも苦渋に満ち、長く、厄介な紛争について、その過去の歴史をより深く、公平に理解することを通じて、将来的な和解への展望を切り開こうとする。下巻では、1977年から2006年までの中東紛争を追う。(2013.9)



**9・11の矛盾**  
9・11委員会報告書が黙殺した重大な事実

デヴィッド・レイ・グリフィン著  
加藤しをり・きくちゆみ訳  
四六判上製 552頁 3400円  
ISBN978-4-8461-1005-5 C0031

9・11事件に関する膨大な報道記録と資料を調べ上げ、客観的に事実関係を綿密に比較分析。米国議会とマスコミに対し、主要な25項目についての説明と真相の解明を求める。科学的・論理的視点から事実に向ける内容は、事件の本質を浮き彫りにする。(2010.7)



**9・11事件は謀略か**  
「21世紀の真珠湾攻撃」とブッシュ政権

デヴィッド・グリフィン著  
きくちゆみ・戸田清訳  
四六判上製 438頁 2800円  
ISBN978-4-8461-0713-0 C0031

\* 米政府の公式説明は矛盾に満ちている。ペンタゴンに激突したのは本当に旅客機だったのか？本書は9.11事件をめぐるさまざまな疑惑を検討し、ブッシュ政権の共犯性を示す証拠24項目を列挙し、真相解明のための徹底調査を求める全米話題の書！(2007.8)



## アメリカの暗殺者学校

ジャック・ネルソン - ポールミヤー著  
安倍陽子訳／戸田清監訳  
四六判上製 304頁 2600円  
ISBN978-4-8461-1004-8 C0031

「暗殺者学校」と呼ばれるアメリカ陸軍米州学校 (SOA) の活動は、アブグレイヴ刑務所などでも垣間見えたようにイラク戦争、アフガン戦争にも及んでいる。本書は、数十万の犠牲者を出したと言われるその活動の実態をあきらかにする。(2010.4)



## 灰の中から

### サダム・フセインのイラク

アンドリュース・コバーン／パトリック・コバーン著／神尾賢二訳  
四六判上製 484頁 3000円  
ISBN978-4-8461-0806-9 C0031

サダム・フセインによる1990年のクウェート侵攻、湾岸戦争とその後の国連制裁下の10年間にわたるイラクの現代史を、国際的に著名な兄弟のジャーナリストが、中近東とアメリカをそれぞれに取材して得られた、興味深い事実とともに報告する。(2008.5)



## イラク占領

### 戦争と抵抗

パトリック・コバーン著  
／大沼安史訳  
四六判上製 376頁 2800円  
ISBN978-4-8461-0707-9 C0031

イラクの現状は真に内戦状態にあり、人々は常に命の危険にさらされている。本書は、開戦前からイラクを見続けてきた国際的に著名なジャーナリストの現地レポートの集大成。なぜ、ここまで悪化したのか? その答えがこの本にはある。(2007.4)



## 石油の隠された貌

エリック・ローラン著  
神尾賢二訳

四六判上製 452頁 3000円  
ISBN978-4-8461-0708-6 C0031

国際石油資本と産油国は、石油の枯渇が間近のことをひた隠しにしている。本書は、カダフィ大佐、イラン・パーレビ国王、チェイニー米副大統領、石油の世界の黒幕、石油をめぐる興亡のキーマンに直接取材した、世界石油戦争のドキュメント。(2007.6)



## 石油資源の支配と抗争

### オイルショックから湾岸戦争

宮嶋信夫著  
四六判上製 213頁 1900円  
ISBN4-8461-9151-6 C0033

石油を支配するものが世界を制する。現代史は文字通り石油資源をめぐる支配と抗争の歴史でもあった。本書は国際石油資本と中東産油国との抗争が激化した、オイルショックから湾岸戦争後の現局面までの歴史を総括する。(1991.8)



## 世界のマフィア

ティエリ・クルタン著／上瀬倫子訳  
四六判上製 384頁 2800円  
ISBN8461-0606-3 C0036

本書は、フランスの司法官として実地で犯罪対策にあたっている著者が、膨大なデータをもとに、マフィアの定義、歴史と現況、組織編成と活動分野、国内外の拠点など、世界のマフィアの全体像を初めて明らかにした研究書である。(2006.7)



## 戦火・自由そして死

### カンボジア難民収容所日記

池原征夫著  
四六判上製 262頁 1700円  
ISBN4-8461-8204-5 C0036

病める現代の象徴ともいべきカンボジア難民の悲惨な姿を凝視し、その叫びを聴くなかで、著者は怒り、迷い、苦しみ、悩む。カンボジア難民救援活動の半ばでマラリアに倒れた、若きフリーランスライターのレクイエム。(1982.1)



## 戦争の翌朝

### ポスト冷戦時代をジェンダーで読む

シンシア・エンロー著／池田悦子訳  
四六判上製 372頁 2500円  
ISBN4-8461-9904-5 C0036

冷戦は本当に終わったのか。40年もの間冷戦を支えてきたものは安全保障問題だけではない。米国クラーク大の女性学・政治学教授が、ランボー、強姦、湾岸戦争、女性兵士などに視点を向け戦争・軍事化をジェンダー分析する。(1999.4)

# 現代日本を読む



【横田一の現場直撃・Ⅲ】  
**亡国の国賊・安倍晋三**  
旧統一教会との癒着

横田一著  
四六判並製 220頁 1700円  
ISBN978-4-8461-2219-5 C0031

村上誠一郎元大臣の国賊発言、「財政、金融、外交をぼろぼろにし、官僚機構まで壊して、旧統一教会（世界平和統一家庭連合）に選挙まで手伝わせた。私から言わせれば国賊だ」はまさに「国賊」と呼ぶに値する“アベ政治”の問題点を列挙したものだ。

旧統一教会との関係を安倍家が三代にわたって続け、選挙支援の見返りに靈感商法や高額献金を野放しにし、自らも広告塔となり韓国教団に日本人の富（財産）を流出する片棒を担いだのは、紛れもない事実だった。

突撃ジャーナリストの横田一が、その全貌を白日の下に晒す！（2023.1）

【内容構成】

- はじめに  
第1章 「旧統一教会に選挙まで手伝わせた」ズブズブの関係  
第2章 教団票差配の安倍元首相  
第3章 悪の国日本から韓国教団への国富流出  
第4章 「やっている感」演出に止まる総理と河野大臣  
第5章 アベノミクスで円の価値半減  
第6章 国賊・安倍元首相の葬儀になぜ税金投入  
第7章 家庭内野党昭恵夫人  
第8章 アベ友優遇政治という負の遺産の清算が課題  
第9章 旧統一教会問題が直撃した沖縄県知事選  
第10章 外交もぼろぼろにした国賊・安倍元首相  
おわりに



【横田一の現場直撃・Ⅱ】  
**岸田政権の正体**  
米国と富裕層の犬、

横田一著  
四六判並製 238頁 1800円  
ISBN978-4-8461-2212-6 C0031

本書のタイトルを「岸田政権の正体——米国と富裕層の犬」としたのは、れいわ新選組・大石見子衆院議員の例えが単刀直入かつ簡単明瞭と思ったためだ。これに「米国」を加えたのは、沖縄米軍基地由来の感染拡大が起きてもなお岸田政権（首相）が不平等な日米地位協定改定をしようとしなかったためだ。米国防衛兵器の爆買などで「トランプ大統領の従属的助手」と酷評された安倍首相（政権）の対米追随路線は、菅政権から岸田政権へと継承されていたのだ。日本国民の生命や財産が脅かされるリスクを高める権力者は、1日も早く交代させるべきだ！（2022.6）

【内容構成】

- はじめに  
第1章 野党第一党と同等以上の存在感を示し始めた「れいわ新選組」  
第2章 ウクライナ侵攻で原発攻撃リスクを問う新潟県知事選  
第3章 岸田政権下の日米地位協定改定否定と名護版森友事件  
第4章 維新の正体——保守分裂長崎県知事選と石川県知事選  
第5章 感染拡大を招いた五輪強行コンビ  
第6章 菅降ろしで延命した自民党  
第7章 岸田首相の正体  
第8章 岸田政権の逃げ恥解散で総選挙は野党敗北  
第9章 リニア中央新幹線と静岡県知事選  
第10章 下関市長選で「桜を見る会」疑惑再燃  
あとがき



『安倍・小池政治の虚飾』紹介  
**現実の都の対策の「空疎さ」も指摘**

(…) 第1章は、小池百合子東京都知事が五輪開催を優先して新型コロナ対策を怠りながら、延期が決まると手のひらを返したように「感

染拡大の〆火消し役、としてメディア露出した「大変身」の経過を追跡。現実の都の対策の「空疎さ」も指摘し、「『やっている感』演出の政治ショーだけでは、感染拡大を抑え込むことは困難」だと警告します。

●『しんぶん赤旗』2020年6月28日



**リベラリズムはどこへ行ったか**  
米中対立から安保・歴史問題まで

額綱厚著  
四六判上製 240頁 2400円  
ISBN978-4-8461-2204-1 C0031

☆

米中対立、台湾有事などを背景に日米同盟は強化され、日本の対米従属化は深まり、リベラリズムが劣化していく。本書は、そうした最近の動きを視野に入れながら、米中対立から安保・歴史問題に触れていく。そこから、リベラリズム再興の方途を探る。(2022.3)

[内容構成]

まえがき  
第一講 米中対立と台湾有事をめぐって～中国脅威論が結果するもの～  
第二講 あらためて新安保法制の違憲性を問う～戦争への敷居を低くする危うさ～  
第三講 東アジア諸国民とどう向き合っていくのか～アジア平和共同体構築と歴史和解への途～  
最終講 危機の時代をどう生きるのか～リベラリズムの多様性と限界性～  
あとがき



**憲法を生きる人びと**

田中伸尚著  
四六判上製 272頁 2400円  
ISBN978-4-8461-2108-2 C0036

☆

日本国憲法を生きる10人の市民の物語。彼らは、戦争と敗戦によって生まれた憲法を生きて、鮮やかに闘っている。(2021.4)



**ルポ 東尋坊**  
生活保護で自殺をとめる

下地毅著  
四六判上製 328頁 2400円  
ISBN978-4-8461-2101-3 C0036

東尋坊の断崖をさまよう自殺企図者……そうした人を見つけるや体を張って止めに入る「NGO 月光仮面」。彼らは、生活保護申請を様々な手口で受け付けない行政と年間1万人を超える人間を自殺に追いやる冷酷な日本国に立ち向かう！(2021.1)



[横田一の現場直撃・I]  
**安倍・小池政治の虚飾**  
コロナ・カジノ・災害対応

横田一著  
四六判並製 236頁 1800円  
ISBN978-4-8461-2012-2 C0031

安倍・小池政治の持続で、国民は疲弊し、国の形は崩れ、日本は潰れる。都知事の「排除発言」を引き出し、希望・民進の合流を空中分解させたジャーナリストが、「やっている感」演出で飾り立てた口先対策コンビ・安倍首相と小池都知事を一刀両断！(2020.6)



**日本を潰すアベ政治**

上岡直見著  
四六判上製 304頁 2500円  
ISBN978-4-8461-1904-1 C0031

安倍政権の政策は米国追従かと思えば旧態依然の公共事業バラマキ、消費税率引き上げなど、支離滅裂。もはやその存在そのものが「災害」だ。本書では防災・原子力・経済・防衛・教育などの分野にわたって、具体的なデータをもとにその誤りを指摘。(2019.2)



**Jアラートとは何か**

上岡直見著  
四六判上製 272頁 2500円  
ISBN978-4-8461-1809-9 C0031

☆

Jアラートの発令をもとに国民保護訓練が繰り返される。しかし訓練の目的は本当に国民の保護なのだろうか？ 朝鮮半島の緊張緩和に向けた模索が続くいま、社会的・経済的・技術的な事実に基づいてこの政策を検証し、本当の危険の所在について考える。(2018.6)



**森友 国有地払下げ不正の構造**

小川敏夫著  
四六判並製 172頁 1600円  
ISBN978-4-8461-1802-0 C0031

国有地の払下げ問題に対し、真相究明と責任の明確化を求める国民の声は大きい。政府行政は、事実の隠蔽と責任回避に終始し、明快な説明がなされていないとは言えない。本書は、国会の鬼検事も呼ばれる著者が、その疑惑の構造を鋭くえぐりだす。(2018.2)



**占領は終わっていない**  
核・基地・冤罪・そして人間

中村尚樹著  
四六判並製 256頁 2000円  
ISBN978-4-8461-1714-6 C0031

現代日本の起点は日本の敗戦と連合国軍の占領。しかしそれだけではない。本書は、原爆被爆を含む核問題をはじめ米軍基地と安保条約、奄美と沖縄、在日コリアン、それに占領軍と冤罪などの現代の課題について、「占領」に連なる出来事を切り口に再検討。(2017.8)



**検証・小池都政**

横田一著  
四六判並製 208頁 1600円  
ISBN978-4-8461-1712-2 C0031

さまざまな政策課題を解決するのではと期待されて都知事選に勝利した小池百合子知事。しかし、就任後も曖昧な態度で、漂流を続けている。このまま「政権補完勢力」として安倍政権に擦り寄るのか。本書は、都知事に密着取材して、小池都政を検証する。(2017.6)



**シールズ選挙〈野党は共闘!〉**

横田一著  
四六判並製 228頁 1700円  
ISBN978-4-8461-1611-8 C0031

今こそ〈野党は共闘!〉して市民参加型選挙で、安倍内閣を打倒しなければならない。民主主義って何だ? 選挙に行こうよ! 安保関連法廃止まで〈一緒に歩こう!〉本書は、野党を動かし、市民の参加を呼びかけるシールズ選挙を密着取材!(2016.6)



**弁護士・藤田一良  
法廷の闘い**

藤田一良著  
四六判上製 336頁 3200円  
ISBN978-4-8461-1416-9 C0036

日本で最初の原発訴訟・伊方原発1号炉設置許可取消訴訟。科学裁判ともいわれたその訴訟は、反原発裁判の先駆・模範となった。本書はその弁護団長として20年にわたって闘った人権弁護士・藤田一良の法廷での闘いの軌跡を追う。(2014.11)



**TPPの何が問題か**

天笠啓祐著  
四六判並製 192頁 1800円  
ISBN978-4-8461-1406-0 C0036

TPPは、レベルの高い自由化を目指しており、原則的に例外は認められない。自給率が低い日本の農業は壊滅的な打撃を受け、危険のある牛肉などが我々の食卓を占拠することになる。いま必要なのは、このグローバリズムに立ち向かうことである。(2014.5)



**プロブレムQ&A  
「北方領土問題」読本**  
【どう解決すべきか?】

小笠原信之著・大沼安史編  
A5判変形 192頁 1700円  
ISBN978-4-8461-1220-2 C0336

「北方領土問題」は日本とロシア間の第二次大戦の「戦後処理」問題である。それが60年以上も互いに譲らぬ議論を続け、今日の膠着状態に陥っている。本書は「北方領土問題」の歴史を分かりやすくまとめ、どう解決すべきかを考える。(2012.11)



**プロブレムQ&A  
あきれる裁判と裁判員制度**  
(裁判官は、なぜ信用できないのか)

矢野輝雄著  
A5判並製 184頁 1800円  
ISBN4-8461-0617-9 C0336

裁判は公平で、正しいものと思っている人も多いが、どうみてもおかしい判決や冤罪があとをたたない。本書はあきれる裁判の実例をあげ、具体的に検証する。また新たに導入された裁判員制度がどのような制度で、どのような問題があるのかも検討する。(2005.3)



**公務員の個人責任を追及する法**

矢野輝雄著  
A5判並製 240頁 2000円  
ISBN4-8461-0610-1 C0032

複数の公務員や民間業者が関与して行なわれることが多い裏金作り、カラ出張、収賄等を告発するには、どんな方法があるのか。本書は、公務員の犯罪行為やその他の違法行為を効果的に追及する方法を個別、具体的に説明している。(2006.4)



## ひとりできる行政監視マニュアル

矢野輝雄著

A 5判並製 260頁 2200円  
ISBN4-8461-0508-3 C0032

☆☆

税金の無駄遣いの監視は、各自治体の監査委員や議会がすべきだが、「眠る議会と死んだ監査委員」といわれるように、何も監視しない状況が続いている。本書は、市民がひとりでも行政監視できるように、丁寧に様々な監視手法を説明。(1999.4)



## 行政監視本人訴訟マニュアル

矢野輝雄著

四六判並製 264頁 1800円  
ISBN4-8461-9905-3 C0032

美本なし

カラ出張、カラ接待といったあの手この手の公金不正支出から贈収賄と、役人の不正は止まるところを知らない。こうした輩をやっつけるために、市民がひとりでもできる行政監視の方法やカネのかからない訴訟の方法を解説。(1999.4) (美本なし)



## 石原慎太郎が総理大臣になったら

久慈力著

四六判並製 232頁 1700円  
ISBN4-8461-0020-0 C0031

国民のフラストレーションは高まる中、いま日本で最も総理大臣になってもらいたい人物ナンバー1が、石原慎太郎東京都知事だ。だがタカ派・国家主義者の石原ほど危険な人物もいない。その危険性を分析、総理への可能性を考える。(2000.11)



## 政界の仕掛人 亀井静香放言録

久慈力著

四六判並製 244頁 1800円  
ISBN4-8461-9802-2 C0031

亀井静香——その評価はさておき、保保派、として、現在の日本政治を動かす「キーマン」である。本書は、亀井氏の爆発力のある「発言」の緻密な検証を通し、日本政界の動静を診断し、権力の座についた暁の「問題性」を追及する。(1998.1)



## これでいいのか首都機能移転

久慈力著

四六判並製 232頁 1900円  
ISBN4-8461-9706-9 C0036

92年に成立した「国会等の移転に関する法律」に基づく、首都機能の移転計画とは何か? どこに移転するのか? 国会・省庁・司法機関、はたまた皇居は移転するのか? 本書はその問題点をひとつひとつ明らかにする。(1997.5)



## 平松・大分県政の検証

地方分権研究会編

四六判並製 228頁 1600円  
ISBN4-8461-9825-1 C0031

一村一品運動など地方分権の旗手として有名な平松守彦大分県知事。だが、5期20年にわたる県政に対する批判が、地元から吹き出している。地域開発の失敗とムダ遣い、財政赤字など放漫県政を徹底検証。(1999.1)



## 暴走を続ける公共事業

横田 一著

四六判並製 232頁 1700円  
ISBN4-8461-0312-9 C0036

諫早干拓、沖縄・泡瀬干潟埋立、九州新幹線、愛知万博、ケニアODAなど、暴走を続ける公共事業。本書は公共事業の利権構造にメスをいれるとともに、土建国家から決別しようとしている田中康夫長野県政もルポした渾身の力作。(2003.10)



## 経済学入門 経済の不思議に答える

名和隆央著

A 5判並製 144頁 1900円  
ISBN4-8461-0402-8 C0033

経済は不思議に満ちている。自分中心に動く市場経済でも、社会的には皆がそれなりに生活している。本書は経済現象に含まれるさまざまな不思議さをテーマにすえ、経済学の基本を分かりやすく解説。現代の不況を解明するための入門書。(2004.3)



## 国権と民権

山川暁夫＝川端治 論文集

山川暁夫著

山川暁夫＝川端治論文集刊行委員会編集

A 5 判上製 496頁 6000円

ISBN4-8461-0101-0 C0031

70年安保と沖縄返還、金大中拉致など日韓関係、グラマン疑惑など構造汚職、55年体制から日本の保守支配体制、日米安保体制とアメリカなど、60年代から世紀末まで、政治・軍事評論家として鋭い分析を展開してきた著者の主要論文を集大成した一冊。(2001.3)



## 農と食の政治経済学

大野和興著

四六判上製 304頁 2400円

ISBN4-8461-9476-0 C0061

コメの自由化はどのように日本の農業を壊滅させるのか？ 本書は、日本の農と食をめぐる現状と問題点を分析、その全面的解体ともいべき状況がなぜ生まれたかを考え、土を生かした農業の再生と自立の方向を探る！(1994.5)



## 85年体制への序章

中曽根・行革・レフチェンコ・大韓機事件を撃つ

山川暁夫著

四六判上製 238頁 1700円

ISBN4-8461-8311-4 C0031

中曽根政治とは何か、行政改革の狙いは、著者を「スパイ」と名指したレフチェンコ証言のカラクリとは、大韓航空機撃墜事件の謎とは——膨大なマスコミの行間を読み、右傾化の焦点を抉り、支配の側の八五年体制を衝く。(1984.12)



## 新たなる戦前

山川暁夫著

四六判上製 285頁 1800円

ISBN4-8461-8310-6 C0031

人民ジャーナリスト＝山川暁夫の政治評論集。反動化を強める今日の内外情勢は「新たなる戦前」といっても過言ではない。本書は現代帝国主義を統合帝国主義として総括、反戦・反核、反原発を環とする変革を提起する。(1983.8)



## 85年体制とは何か

中曽根政治を料理する

いいたかも著

四六判上製 245頁 1800円

ISBN4-8461-8415-3 C0031

右傾化の道を暴走する中曽根改造内閣は、臨調行革と教育臨調をつゆ払いに、恐るべき総合安保国家づくりを今めざしている。軍拡と改憲のこの「85年体制」は何をもたらすのか。危機の時代とどう対決すべきかを解明する。(1984.11)



教育と国家I

## 「教育改革」を撃つ

鎌倉孝夫著

四六判上製 270頁 1900円

ISBN4-8461-8729-2 C0037

臨教審「教育改革」の政治・経済、社会的背景と狙い、政府・財界による教育再編成の内容と方向は何なのか？ 各答申はどう読むべきか？ 「教育自由化」と国家主義的な管理強化の関連は？ これらの疑問を解く。(1987.6)



教育と国家II

## 自由と統制

鎌倉孝夫著

四六判上製 422頁 2800円

ISBN4-8461-8831-0 C0037

「教育改革」は、何をもたらすのか？ 今日の教育問題はその専門領域に限定しては問題を解明しえない。臨教審「教育改革」は新自由主義と新国家主義によるという観点から、全問題を検討し、教育の再生を展望する。(1988.1) (美本なし)



## 危ない 抵当証券

山一 抵当証券被害回復の記録

小西慶太著

山一 抵当証券被害弁護団

四六判並製 256頁 1900円

ISBN4-8461-0102-9 C0033

「元本保証で高利回りですから 抵当証券をご購入下さい」という営業マンの勧誘に、老後資金などをつぎ込んだ市民たち。そこに寝耳に水の山一証券の破綻。危ない 抵当証券のカラクリをドキュメント。(2001.3)

# 市民社会からの対案提起



## 権利に基づく闘い

熊本一規著  
四六判上製 280頁 2700円  
ISBN978-4-8461-2211-9 C0036 ☆

「権利」とは「一定の利益を自己のために主張することができる法律上保障された力」をいいます。そのため、法律には、権利者の意思を尊重する規定が設けられています。それらは、長年の民衆の血と汗によって勝ち取られた成果です。ならば、権利を侵害する事業に対して、それらの規定に依拠し、権利者が自分の持つ権利に基づいて闘うことを柱とする手法が有効ではないか。

本書はそう考えて、1976年以来、一貫して「権利に基づく闘い」を追究してきた集大成です。(2022.6)

## 【内容構成】

はじめに

### 第I部 漁業権

#### 第1章 上関原発と漁業権

### 第II部 廃棄物問題

#### 第1章 伊万里射撃場の鉛汚染

#### 第2章 米子市産廃処分場と水利権

#### 第3章 福島中間貯蔵施設設計画と地権者

### 第III部 財産権

#### 第1章 都市計画道路事業と沿道住民の権

#### 利

#### 第2章 築地市場の廃止と営業権

### 特別寄稿

築地市場移転と「開発独裁」 水谷和子

卸売市場制度の早急な再確立を 菅原邦昭

あとがき

索引



## 歩く民主主義

村上稔著  
四六判並製 208頁 1600円  
ISBN978-4-8461-1820-4 C0036

誰かに一票を入れるだけが民主主義なんか面白くない。誰かの押し付けじゃなく、自分で感じ、考え、決め、動くこと。たったひとつのツボは「歩くこと」だ。コツコツと歩いて現場を経験し、乗り越えて行くこと。元氣の出る「歩く民主主義」！ (2018.11)



## 買物難民を救え 移動スーパーとくじ丸の挑戦

村上稔著  
四六判並製 196頁 1800円  
ISBN978-4-8461-1411-4 C0036 ☆

本書は、著者が新たなビジネスとして仲間と始めた、「移動スーパーとくじ丸」の奮闘記。ソーシャルビジネス創業の方法や意義、社会問題としての「買物難民」の現実、その背景にある政治・行政の問題点、将来あるべきビジョンなどが存分に語られる。(2014.6)



## 希望を捨てない市民政治 吉野川可動堰を止めた市民戦略

村上稔著  
四六判上製 200頁 2000円  
ISBN978-4-8461-1310-0 C0036 \*

吉野川可動堰という国の計画に反対する市民運動は、選挙で自分たちが議会に乗り込むことでその構成を逆転し、住民投票を実現させました。絶望を希望に変えるための、ツボをついた市民政治とはどのようなものか、その要点を考えてみました。(2013.5)



## 地域を変える市民自治 井手敏彦の実践と思想

井手敏彦選集刊行会編  
四六判上製 248頁 1900円  
ISBN4-8461-0522-9 C0036 \*

日本で初めて自治体レベルでのゴミの分別収集に取り組み、石油化学コンビナート建設を阻止するなどの活躍をした元沼津市長の功績は、いまでも色あせることはない。本書は、井手氏の足跡を辿りつつ、先駆者としての実践や思想を多角的にとらえる。(2006.2)



### わたしの消費者運動

野村かつ子評論集

野村かつ子著／石見 尚編  
四六判並製 328頁 2800円  
ISBN4-8461-0306-4 C0036

日本の消費者運動を常にリードし、93歳にしてなおその可能性を探索している著者の生涯を懸けた思索と実践による評論集。本書は、運動が形成される過程の歴史的な貴重かつ生きた証言。確かなオルタナティブを求める消費者・市民運動関係者の必読の書 (2006.5)



### プロブレムQ&A これなら勝てる市民運動

【いかに悪徳行政と闘い開発を止めるか】

岩田 薫著  
A 5判変並製 240頁 1900円  
ISBN4-8461-0003-0 C0336

国などによる無駄な公共事業が、後を絶たない。役人の不正腐敗も花盛り！横暴を止めさせるには、市民が立ち上がるしかない。本書は、豊富な市民運動の経験者で元地方議員であった著者が、運動の立ち上げ方から必勝法を完全ガイド。(2000.7)



### 堤義明との5700日戦争

岩田 薫著  
四六判上製 224頁 1700円  
ISBN4-8461-0519-9 C0036

著者が軽井沢に移り住み、ゴルフ場計画に反対したことから始まった堤義明のコクド、西武グループとの戦争。闘いは、オリンピック招致と長野新幹線反対から、別荘疑惑、株偽装告発へと続き、遂に彼を逮捕へと追い込む。市民による壮絶な闘いの記録。(2005.11)



### 住民自治で未来をひらく

住民自治の拡大をめざすネットワーク編  
四六判並製 230頁 1900円  
ISBN4-8461-9593-7 C0031

役人たちの権力が肥大化し、官僚支配による行政は、やりたい放題。特に公共事業の名で行われる利権事業で、生活も自然も大きく破壊されている。住民による住民のための政治を取り戻すにはどうすればいいかを考える。(1995.7)



### 戦後期の地方自治

佐藤俊一著  
四六判上製 347頁 2500円  
ISBN4-8461-8519-2 C0031

敗戦は抑圧されていた民主化と自治へのエネルギーを一気に噴出させた。地方自治事件を点描しつつ、官公庁民主化、知事・市町村長・教育委員・公安委員の公選、自治体警察といった地方自治の諸改革と挫折を活写する。(1985.9) (美本なし)



### 地域と自治の復権

石川錬治郎著  
四六判上製 225頁 1700円  
ISBN4-8461-8307-6 C0036

減反農政と乱開発の中で、いま静かに進行する農山村破壊の現状と実態を解明。過疎・過密に象徴される農山村と都市の問題の解決を、地域と自治の復権の論理により展望する。農業問題研究者で元秋田市長の手による変革の書。(1983.7)



### 『希望を捨てない市民政治』書評 政策欠陥への警鐘 沖縄でも

日本では、この20年あまりの間に、条例にもとづき400件を超える住民投票が実施されてきた。

投票はなぜ求められてきたのか。村上穂『希望を捨てない市民政治』は、住民投票運動の当事者による回顧録である。記述からは、行政を

統制することの困難さや議会の機能不全など地方政治の問題点が透けて見える。ある日、そのような現実と直面した市民たちにとって、住民投票はこれらを是正するための「最後の手段」であった。

ただし住民投票という手法は、今なお論争の的でもある。(…)

【上田道明・仏教大学教授／地方自治論】

●『朝日新聞』2019年2月20日付より。

# メディアの公正と自由



## 僕らはまだテレビをあきらめない

是枝裕和・川端和治・早大そうだったのか！  
ジャーナリズム研究会著  
メディア総合研究所監修  
四六判並製 344頁 2500円  
ISBN978-4-8461-2312-3 C0036

民主主義社会では報道機関のチェックを受けるべき政府が、これを逆手に取って自分たちに都合よく報道を牽制する道具として使うようになってきている。たとえば、自民党は選挙が近づくと、放送法4条の「政治的に公平であること」を根拠にテレビ放送などの内容への介入を繰り返してきた。

本書は、権力によるメディアへの介入の実態とそれを防ぐ手立て、「政権への付度」のない取材や報道、国民の知る権利をどう守るかについて考える。(2024.3)

## 【内容構成】

### 序章

- 第1章 是枝裕和監督の放送愛  
是枝裕和監督が語る 放送法と歴史修正主義／今でも放送で何かしたい
- 第2章 川端和治／元放送倫理検証委員長と放送法四条  
放送はどこまで自由か／川端・元放送倫理検証委員長に聞く
- 第3章 広瀬道貞／元民放連会長が明かす放送倫理検証委をつくったわけ
- 第4章 公平公正とは何か  
座談会 公平公正論を考える／石破茂氏インタビュー／片山虎之助氏インタビュー／「総務省文書」とは何か／座談会「総務省文書」をどう読み解くべきか  
是枝裕和監督「論考」編  
「放送」と「公権力」の関係について／誰が何を誤解しているのか？／「歴史修正主義」に抗するために



## 「表現の不自由展」で何があったのか

臺宏士・井澤宏明著  
四六判並製 280頁 2400円  
ISBN978-4-8461-2216-4 C0036

歴史認識の問題と絡んだ、メッセージ性のある作品の展示は近年、公立の美術館などでの展示が難しくなっている。本書は、こうした流れの中にあつた「表現の不自由展・その後」の中止をめぐる出来事の取材記録であり、表現の自由とは何かを考える。(2022.11)

## 【内容構成】

### まえがき

- 第1章 「表現の不自由展・その後」が中止
- 第2章 連帯
- 第3章 補助金不交付 ☆
- 第4章 愛知県知事 VS 名古屋市長
- 第5章 広がる表現の不自由展  
あとがき  
「不自由」な国ニッポン  
歴史修正主義の終焉  
「表現の不自由展」をめぐる出来事



## 報道圧力

官邸 vs 望月衣塑子

臺宏士著  
四六判並製 216頁 1800円  
ISBN978-4-8461-2007-8 C0036

長期化する安倍政権下で起きている、東京新聞望月記者への質問妨害、「面前DV」、「いじめ」。本書では東京新聞による申し入れの時系列にそって官邸が苛立ちを見せた「望月質問」について検証し、政権の報道圧力とメディアの「自殺行為」に肉薄する。(2020.4)



## アベノメディアに抗う

臺宏士著  
四六判並製 272頁 2000円  
ISBN978-4-8461-1821-1 C0036

報道機関への「恫喝」と「懐柔」によってマスコミを支配しつつある「アベノメディア」状況。一方、安倍晋三政権のマスコミ支配や情報隠しに抗う人たちがまだまだ大勢いる。本書は、ジャーナリストや市民の抵抗を活写、政権とメディアの腐敗を曝く。(2018.12)



### 検証 アベノメディア 安倍政権のマスコミ支配

臺宏士著  
四六判並製 276頁 2000円  
ISBN978-4-8461-1701-6 C0036

安倍政権は放送内容への介入やテレビの停波発言など「恫喝」と消費税の軽減税率などの「懐柔」によってマスメディアを支配しようとしている。本書は、筆者の記者時代からの資料や、執筆した記事を手繰りながら追加取材、再整理したものである。(2017.1)

☆



### 調査報道 公共するジャーナリズムをめざして

土田修著  
四六判上製 224頁 2200円  
ISBN978-4-8461-1306-3 C0007

本書は、調査報道、市民運動に連携する欧米の「パブリック・ジャーナリズム」を紹介しながら、記者クラブ制度に依拠し、行政広報と化した日本のメディア・ジャーナリズムの在り方を脱構築し、市民の視点に立った「公共するジャーナリズム」を提言。(2013.3)

☆



### 記者クラブ 情報カルテル

ローリー・アン・フリーマン著 / 橋場義之訳  
四六判上製 360頁 3000円  
ISBN978-4-8461-1018-5 C0036

日本のメディアは記者クラブや新聞協会、メディアグループなどがつくり出す「情報カルテル」が支配している。結果「報道の自由」が事実上制限され、民主社会の発展が阻害されている。本書は日本の情報カルテルの実態を実証的、批判的に明らかにする。(2011.1)

\*



### ペンの自由を貫いて 伝説の記者・須田禎一

小笠原信之 著  
四六判上製 304頁 2,500円  
ISBN978-4-8461-0913-4 C0036

敗戦日本の針路を決める講和条約には全面講和論を最後まで貫き、「60年安保」では在京「七社共同宣言」の事なかれ主義を徹底批判した伝説の記者、須田禎一・生誕100年の今、やせ細るばかりのジャーナリズムに送る「再生の書」。(2009.11)

☆



### 電波メディアの神話

木村愛二著  
四六判並製 309頁 2200円  
ISBN4-8461-9478-7 C0065

電波の希少性を根拠に国家管理され続け、形式的公平さを装ってきた電波メディア。マルチメディア時代を迎え、企業と国家による管理と支配が更に強まるなかで、どうすれば電波メディアを市民の手に取り戻せるかを考える。(1994.7)

\*



### 『表現の不自由展』で何があったのか? 書評 流れを変えた事件後の市民の運動

あいちトリエンナーレ「表現の不自由展・その後」中止事件から3年余りが経過した。(…)規制が広がる背景には、安倍政権によるメディアへの介入があり、歴史修正主義者の策動があった。(…)こうした一連の出来事の経過について、現場での取材をもとに振り返るのが本書である。

とりわけ重要なのは、「表現の不自由展」のその後の動向を追っていることである。(…)

流れが変わったのは、施設側の承認取り消しを裁判所の決定により覆して完全開催をかちとった大阪展からである。警察による厳重な警備体制が敷かれてではあるが、3年後には、東京、京都、名古屋での開催が実現した。関係者と市民の粘り強い運動が困難な状況を切り開いたのだ。コロナ禍でも、自由のためのたたかいは続けられた。「歴史を再修正する流れが生まれ、その先に見えて来るのが歴史修正主義の終焉であってほしい」という結びの言葉に著者の願いが込められている。

●『しんぶん赤旗』2023年1月29日付



### 『表現の不自由展』で何があったのか? 紹介 自由な表現が抑圧されていく社会

表現に対する近年の不自由さを考えさせられる。2019年8月、愛知で開催した国際芸術祭「あいちトリエンナーレ2019」で、「表現の不自由展・その後」が一時中止となった。旧日本

軍の慰安婦を象徴した「平和の少女像」などの展示が脅迫されたからだ。本書は元新聞記者が不自由展のその後3年をつぶさに取材した記録。各地で開催された不自由展の警備の厳重さに、徐々に自由な表現が抑圧されていく社会の危うさを感じた。

●『中日新聞』2022年12月2日付

# 安全保障を考える



## 日本の武器生産と武器輸出 1874～1962

額縁厚著  
四六判上製 296頁 3000円  
ISBN978-4-8461-2314-7 C0031

戦争が繰り返される限り、武器生産と武器輸出及び武器輸入、総じて武器移転は頻繁化する。第二次大戦後の日本は、再軍備過程で武器輸入はアメリカに依存していくが、同時に戦前日本の実績を取り戻すべく武器生産への渴望も生まれて行く。

戦争の可能性を軽減していく一つの方途として、武器生産と武器移転の歴史事実を追い、その削減方法を紡ぎ出すためにも、歴史考察は益々重要となっている。(2023.12)

### 【内容構成】

第一章 武器生産をめぐる軍民関係と軍需工業動員法／第二章 帝国日本の武器生産問題と武器輸出商社／第三章 第一次世界大戦後期日本の対ロシア武器輸出の実態と特質／第四章 第一次世界大戦期日本の対中国武器輸出の展開と構造／第五章 冷戦期日本の防衛産業と武器移転



## イージス・アショアの争点 隠された真相を探る

荻野晃也・前田哲男・額縁厚・横田一・櫻田憂子・森上雅昭著  
四六判並製 284頁 2000円  
ISBN978-4-8461-1920-1 C0031

ある日、降って湧いたイージス・アショア導入・配備計画。本書は、安保防衛問題や電磁波問題の専門家がその問題を詳細に分析・批判、秋田や山口の現地から、この間の闘いの報告をする。またイージス・アショア導入をめぐる安倍政治を追及する。(2019.11)



## 崩れゆく文民統制 自衛隊の現段階

額縁厚著  
四六判上製 248頁 2400円  
ISBN978-4-8461-1916-4 C0031

本書は、自衛隊の現段階、とりわけ「文官統制」破壊の歴史的経過を詳述、自衛隊制服組の右翼的思想の膨脹を分析する。また現行平和憲法を活かす方向性のなかで、自衛隊の文民統制、民主的統制をどのようにして実質化・現実化して行くかを提言する。(2019.9)



## 安保「再定義」と沖繩 アジアの視点から

剣持一巳編  
四六判並製 240頁 2000円  
ISBN4-8461-9702-6 C0036

米軍基地は土地問題、兵士の暴行事件等、さまざまな社会問題をもたらし、またアジアの人々にとって脅威である。本書はグローバル化する日米安保と基地の問題を、日本とアジアの論客が多角的に撃つ。(1997.3)



## プロブレムQ&A 「基地・軍隊」と私たちの安全 「新ガイドライン」時代の反戦と平和

派兵CHECK編集委員会著  
A5判並製 272頁 1800円  
ISBN4-8461-9810-3 C0336

「冷戦」後も「テロやゲリラ」などの危険地域紛争などに対処するために軍隊は必要だという。しかし兵士による暴力事件・性犯罪の続発、環境破壊、税金の無駄遣いは止まらない… 基地・軍隊が私たちの安全を脅かす現実から「真の安全」を問う。(1998.4)



## 派兵国家日本の進路

派兵チェック編集委員会編  
四六判並製 284頁 2200円  
ISBN4-8461-9595-3 C0031

日本政府はPKO協力法成立以降、世界各地に自衛隊を送り出すなど「国際貢献」に積極的である。しかし国連の名の下の国際平和とは何なのか。反戦・反派兵市民運動の手によるPKO派兵の背景を分析。(1995.6)



## カンボジアPKO違憲訴訟

「PKO法」違憲訴訟の会 編著  
四六判並製 339頁 2600円  
ISBN4-8461-9812-X C0036

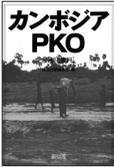
湾岸戦争を契機に政府は「PKO協力法」を強行成立させ、戦後初の海外派兵を実現した。本書は、この自衛隊派兵を、憲法を踏みにじり平和的生存権を侵害するものとして、カンボジアPKO違憲訴訟に立ち上がった市民の記録である。(1998.6)



## 国際利権を狙うPKO

木村愛二著  
四六判上製 220頁 2000円  
ISBN4-8461-9373-X C0031 ☆\*美本なし

PKO(国連平和維持作戦)は、米国等の大国が国連を通じて冷戦後の国際利権の再配分、資源と市場の奪取を狙ったものだ。本書は、マスメディアが報道しない、PKOの真実を明らかにし、「国際貢献」の虚構を撃つ!(1994.1)



## カンボジアPKO [分析と資料]

緑風出版編集部編  
四六判並製 273頁 2200円  
ISBN4-8461-9262-8 C0031

国連によるカンボジアの占領、統治ともいえるカンボジアPKO。カンボジアPKOははたしてカンボジア民衆のためなのか。本書はカンボジアPKOをさまざまな視点から分析し、パリ和平協定など基本資料を収録した書。(1992.11)



## PKO派兵 [分析と資料]

剣持一巳著  
四六判並製 245頁 2000円  
ISBN4-8461-9260-1 C0031 \*

PKO法の成立によって自衛隊のPKO派兵がはじまった。PKO法(国連平和維持活動協力法)とは何か。それは何を狙っているのか。PKO派兵をめぐる問題点を洗い出し、PKO法全文など豊富な資料を加えた入門書。(1992.9)



## PKO問題の争点 [増補版] [分析と資料]

緑風出版編集部編  
四六判並製 352頁 2500円  
ISBN4-8461-9257-1 C0031 ☆

PKO=国連の平和維持活動とは何か。その歴史と現状はどうなっているのか。PKOは国際貢献になるのか。自衛隊の海外派兵は許されるのか。PKO問題をめぐる疑問をあらゆる角度から分析した書。PKO法案を増補。(1992.4、初版1991.9)



## 湾岸戦争と海外派兵 [分析と資料]

剣持一巳・宮嶋信夫・山川暁夫編著  
四六判並製 298頁 2000円  
ISBN4-8461-9147-8 C0031 ☆\*

湾岸戦争は「終結」したが、問題は何も解決してはいない。本書は、湾岸戦争の政治・経済的背景と本質を明らかにし、湾岸戦争と日本の対応について、国会論戦、関連法令、イラク情報文化省資料など基本的な資料を収録する。(1991.2)



## ピース・アクション・ハンドブック イギリス市民運動の手引

ギャビン・スコット著/近藤和子訳  
四六判並製 222頁 1500円  
ISBN4-8461-9041-2 C0030 ☆

イギリスの反核市民運動のノウハウをやさしく紹介した市民運動のためのマニュアル。政党・議員・組合・マスコミの利用法、スピーチの仕方、ビラ作りや集会やデモのやり方、問題人物対処法など、すぐに役立つ内容!(1990.5)(美本なし)



## 核軍縮と平和 イアブック2014

特定非営利活動法人ピースデポ編著  
A5判並製 356頁 2000円  
ISBN978-4-8461-1418-3 C0036

2013年、10年核不拡散条約(NPT)再検討会議の最終文書に核兵器の非人道性と国際人道法の遵守が初めて盛り込まれた。本書は、核軍縮問題に力点を置きつつ、日本の平和と安全保障の動向を、市民や自治体の視点から整理し、解説することをめざす。(2014.10)

# ピース・アルマナック

核兵器と戦争のない地球へ

ピース・アルマナック刊行委員会編著

ピース・アルマナックは、年鑑として、前年の主要な動向を記録すると共に、動向の検証、引用などの目的に有用な原典資料を翻訳・収録する。今後の世界平和にとって重要な関心事であるロボット兵器や宇宙兵器の問題にも注目する。



## ピース・アルマナック 2023

核兵器と戦争のない地球へ

ピース・アルマナック刊行委員会編著  
梅林宏道監修  
B 5判並製 260頁 2700円  
ISBN978-4-8461-2305-5 C0336

巻頭エッセイ：時代のなかで…栗田禎子  
2020年解題：藤田明史／中村桂子／渡辺洋介／前川大／役重善洋／榎本珠良、河合公明／木元茂夫 資料：ウクライナ戦争に対する市民社会の声／朝鮮半島における軍事的緊張緩和を求める声明 ほか (2023.5)



## ピース・アルマナック 2022

核兵器と戦争のない地球へ

ピース・アルマナック刊行委員会編著  
梅林宏道監修  
B 5判並製 262頁 2500円  
ISBN978-4-8461-2209-6 C0336

巻頭エッセイ：時代のなかで…謝花直美  
2020年解題：中村桂子／渡辺洋介／前川大／役重善洋／榎本珠良／河合公明／木元茂夫 資料：核禁条約への署名批准を求めた703地方議会意見書採択全リスト／英核弾頭数上限引き上げ報告書 ほか (2022.5)



## ピース・アルマナック 2021

核兵器と戦争のない地球へ

ピース・アルマナック刊行委員会編著  
梅林宏道監修  
B 5判並製 262頁 2300円  
ISBN978-4-8461-2111-2 C0036

巻頭エッセイ：大学の自治…日野川静枝  
2020年解題：中村桂子／前川大／榎本珠良／河合公明 資料：「核兵器禁止条約」関連資料マクロンの核抑止戦略演説／プーチンの核使用条件の原則 ほか (2021.5)



## ピース・アルマナック 2020

核兵器と戦争のない地球へ

ピース・アルマナック刊行委員会編著  
梅林宏道監修  
B 5判並製 262頁 2200円  
ISBN978-4-8461-2011-5 C0036

創刊エッセイ：ウイルス禍と平和…高原孝生  
2019年解題：中村桂子／梅林宏道／森山拓也／木元茂夫／河合公明 資料：地方議会416リスト／フォード米国防務次官補：核軍縮の環境創出／米国防権限法：宇宙軍創設 ほか (2020.7)



## イアブック 2019

特定非営利活動法人ピースデポ編著

A 5判並製 340頁 2000円  
ISBN978-4-8461-2005-4 C0036

2018年は、私たちが暮らす北東アジアにおける核軍縮の趨勢を理解するために冒頭に「監視活動：朝鮮半島非核化から北東アジア非核兵器地帯へ」、「専守防衛考」の2つの特別記事を掲載した。また新資料27点を掲載し、充実させた。(2020.2)



## イアブック 2018

特定非営利活動法人ピースデポ編著

A 5判並製 298頁 1900円  
ISBN978-4-8461-1818-1 C0036

トランプ政権が米国に誕生し、朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)の核・ミサイル実験が繰り返され、北東アジアの軍事的緊張が極度に高まった本年は、北東アジアの核軍縮の趨勢理解のため、朝鮮半島の非核化と日本に関係する2つの特別記事を載せた。(2018.12)



## イアブック 2015-17

特定非営利活動法人ピースデポ編著

A 5判並製 360頁 2000円  
ISBN978-4-8461-1722-1 C0036

2017年は「核兵器禁止条約」の採択、国内での集団的自衛権行使や対多国籍軍軍事協力を合法化する安保法制が施行された。本書は、核軍縮問題に力点を置きつつ、日本の平和と安全保障の動向を、市民や自治体の視点から整理し、解説することをめざす。(2017.11)

# 天皇制と戦争責任を問う



## ルポ「日の丸・君が代」強制

永尾俊彦著  
四六判上製 392頁 2700円  
ISBN978-4-8461-2022-1 C0036

自分が東京大阪の教員で国旗・国歌の「日の丸・君が代」の起立・斉唱を、処分をちらつかせて迫られたら、屈服してしまうかもしれない。世間から非難され罵倒され、さまざまな処分をうけても不起立・不斉唱を貫いた教職員たち。かれらはどのような思いで「日の丸・君が代」強制に対峙したのか。

本書は、戦前回帰の様相を強め、荒廃の一途をたどる教育現場で、内面の自由と民主教育の原則をかけ抵抗する教職員群像を追った迫真のルポルタージュ！ (2020.12)

## 【内容構成】

### 第一部 少国民たちの道徳

第一章 東の少国民「うんこするのでも天皇のため」～山中恒さんインタビュー／第二章 西の少国民「上があるから下ができる」～黒田伊彦さんの語り／第三章 「君が代」の道徳「生と性の賛歌」から天皇の讚美歌へ～川口和也さんの研究

### 第二部 東京篇

第一章 東京の「狂妄派」～教職員の牙を折りたい狂おしい欲望／第二章 東京の教師、子どもたちと「日の丸・君が代」強制／第三章 「生徒の心を聞く仕事」であるために

### 第三部 大阪篇

第一章 大阪の「狂妄派」～ビシッと「モノサシー本」の快感／第二章 大阪の教師、子どもたちと「日の丸・君が代」強制／第三章 「自己を持つ」子どもたちを育てるために



## 重い扉の向こうに 歴史和解と戦前回帰の相克

額縁厚著  
四六判上製 324頁 2500円  
ISBN978-4-8461-1922-5 C0031

本書は、日中戦争史と戦争責任、天皇制と戦争責任、朝鮮の植民地支配と従軍慰安婦、変容する自衛隊と戦前回帰志向の安倍政権など、現代日本の争点を分析し、どうすればいいのかを考える。私たちは眼前の「重い扉」を押し倒し、未来を築けるのか？ (2020.1)



## 万人坑を訪ねる 満州国の万人坑と中国人強制連行

青木茂著  
四六判上製 296頁 2500円  
ISBN978-4-8461-1323-0 C0036

旧「満州国」があった中国東北地方に、万人坑と呼ばれる「人捨て場」が数え切れないぐらい現存する。本書は、4回にわたる訪問の記録をもとに、その実態を整理する。加害事実としての万人坑と中国人強制連行について、日本人は知る必要がある。 (2013.11)



## プロブレムQ&A お世継ぎ問題読本 【どこへ行く？ 女性天皇論争】

佐藤文明著  
A5判変並製 248頁 1800円  
ISBN978-4-8461-0704-8 C0336

この間、女性天皇を容認する典範改正が図られ、賛否の論争が行なわれた。議論は棚上げになっているものの、問題の本質が明確にする必要がある。女性にとって、天皇家の家長としての地位はプラスなのか。本書は、歴史を踏まえて論点を整理する。 (2007.3)



## 私たちが中国でしたこと [増補改訂版]

星徹著  
四六判並製 282頁 2300円  
ISBN4-8461-0613-6 C0030

本書は中国における旧日本軍の加害行為を、将兵らの証言を通じて明らかにする。なぜ多くの日本人青年が数々の蛮行を起こし、後にその罪をどう悔悟したのか。慟哭と悔恨の告白が示す衝撃の事実。増補改訂版では、証言者たちの現在の想いを取材。 (2006.7)



## 戦争責任 過去から未来へ

アジアに対する日本の戦争責任を問う民衆法廷準備会編著  
四六判上製 447頁 3200円  
ISBN4-8461-9804-9 C0030

日本の戦争責任に「時効」はない。本書は未来に向け、市民的権利・義務としての「不服従」「抗命」の権利の確立を訴える。(1998.2)

### 【内容構成】

第I部 アジア民衆法廷の記録  
第II部 アジアに対する日本の戦争責任を問う



## 時効なき戦争責任 [増補版] 裁かれる天皇と日本

アジア民衆法廷準備会編  
四六判上製 290頁 2200円  
ISBN4-8461-9815-4 C0030

アジアに対する日本の戦争責任に時効はない。天皇と日本の戦争責任を市民の立場から追及することを宣言し、そのさきがけになった、アジア民衆法廷論集。「戦後50年国会決議」「自由主義史観」以後の戦争責任論を増補。(1998.7)



## 問い直す東京裁判

アジア民衆法廷準備会編  
四六判上製 272頁 2200円  
ISBN4-8461-9585-6 C0030

侵略戦争を指導した東条英機らが裁かれた東京裁判＝極東国際軍事裁判が、改めて問い直されている。東京裁判がはらむ問題点を様々な角度から総括。(1995.1)

\*



## 「戦争の記憶」その隠蔽の構造 国立戦争メモリアルを通して

田中伸尚著  
四六判並製 347頁 2500円  
ISBN4-8461-9717-4 C0036

戦争遺児への慰藉が目的とする「戦没者追悼平和祈念館（仮称）」の建設が始まった。だがアジア諸国に対する戦争責任を曖昧にしたままで良いのか。日本遺族会が国に要望した祈念館構想と背景・経緯を探り、建設の意味を問う。(1997.12)



## 天皇制に挑んだ一七〇〇人 「即位の礼・大嘗祭」違憲訴訟の記録

『即・大』いけん訴訟団編著  
四六判並製 290頁 2400円  
ISBN4-8461-9501-5 C0036

「即位の礼」「大嘗祭」は政教分離規定に違反の疑いあり、との画期的判決が95年大阪高裁で出された。信教・思想・良心の自由を求めて1,700人近くもの原告が名を連ねたこの裁判闘争の意味をさまざまな観点から考える。(1995.12)



## 裁判の中の天皇制

靖国・天皇制問題情報センター編  
四六判並製 281頁 2400円  
ISBN4-8461-9620-8 C0036

天皇代替わりの前後に様々な「事件」が起こり、また行事・儀式に多額の国・公費（税金）が使われ、そして多くの裁判が起こされた。本書では10件の訴訟を通じて、天皇制がはらむ問題と、自由と人権を守る闘いの意味を探る。(1997.1)

\*



## プロブレムQ&A 「日の丸」「君が代」「元号」考 起源と押しつけの歴史を問う

佐藤文明著  
A5判並製 204頁 1800円  
ISBN4-8461-9719-0 C0336

「日の丸」「君が代」を「国旗」「国歌」とする法律が成立した。本書は「元号」も含め、これらの起源を探り、生活の中にひそむ「天皇制」の問題を明らかにしながら、その変革の可能性を問う。目から鱗の落ちる情報も満載！(1997.12)



## 資料「君が代」訴訟

「君が代」訴訟をすすめる会編  
A5判上製 596頁 6200円  
ISBN4-8461-9908-8 C0032

小・中学校の入学式・卒業式での「君が代」強制は、思想・良心の自由を侵害するとして、保護者・市民・教員らが京都市教委を訴えた「君が代」訴訟の全記録。精神的自由の観点から、体系的理論を提起し、「君が代」訴訟が何を問うたのかを明らかにする。(1999.6)

# ドキュメント 昭和天皇(全8巻)

田中伸尚著

揃20600円

膨大な一次資料と綿密な取材で昭和史のタブーに挑み、昭和天皇の戦争責任を鋭く問う、大河ドキュメント遂に完結！「類書中、群を抜くできればである」(毎日新聞88年10月8日夕刊)と大好評！その他各紙誌も絶讃。



## 第一巻 侵略

四六判上製 350頁 1900円 ISBN4-8461-8414-5 C0021

泥沼の中国侵略から太平洋戦争前夜に至る激動の時代を、昭和天皇を頂点とする宮中と政府・軍部の動きを克明に描きながら、国民の埒外で謀略的に推進された戦争政策を明らかにし、天皇の侵略責任、戦争責任を鋭く追及する。

(1984.7)

### 【内容構成】

#### プロローグ

- 第一章 侵略と追認
- 第二章 対米戦も辞せず
- 第三章 東条に大命
- 第四章 宮中の激論
- 第五章 無言の決断



## 第二巻 開戦

四六判上製 406頁 2200円 ISBN4-8461-8518-4 C0021

東条首相の自信に満ちた発言を最後に、会議は終わった。終始無言ではあったが、東条らの説明にいちいち頷いていた天皇は席を立つ。「開戦の聖断」は下った。すでに機動部隊は東進し、パール・ハーバーに照準を合わせた。

(1985.4)

### 【内容構成】

- 第一章 日米交渉
- 第二章 毒ガス戦
- 第三章 41年晩秋
- 第四章 交渉決裂
- 第五章 前夜
- 第六章 開戦



## 第三巻 崩壊

四六判上製 454頁 2400円 ISBN4-8461-8521-4 C0021

緒戦の勝利に酔う42年正月の華麗な宮中。「戦果が早く挙り過ぎるよ」と相好を崩す天皇。だが6月のミッドウェー海戦大敗以降は敗勢覆うべくもなく、「米軍をピシャリと叩けぬか」と叫ぶ中で大日本帝国の崩壊が始まる。

(1986.1)

### 【内容構成】

- 第一章 華麗な元旦
- 第二章 神々の侵略
- 第三章 驕慢と油断
- 第四章 敗兆
- 第五章 焦慮と怒り
- 第六章 崩壊



## 第四巻 敗戦〔上〕

四六判上製 542頁 2800円 ISBN4-8461-8728-4 C0021

敗戦が決定的になったにもかかわらず、天皇の戦意は衰えない。天皇制の崩壊を恐れた宮中グループは密かに「終戦工作」を開始する。「もう一度戦果を」と呟く天皇を嘲笑うように、連合軍は本土を連日空襲し沖繩に迫る。

(1987.4)

### 【内容構成】

- 第一章 東条放逐
- 第二章 決戦への幻想
- 第三章 「戦局ノ危急」
- 第四章 連合艦隊の潰滅
- 第五章 特攻
- 第六章 天皇の動揺
- 第七章 ヤルタ
- 第八章 首都炎上



### 『ドキュメント 昭和天皇』書評 「大河ドキュメント」

(…)読み始めるや、大いに刺激され、一気に読み通した。また、3、4人の友人のために買い、すすめた。(…)

ここには、まぎれもなく「歴史」がある。悔恨に満ちた、今日なお切実な思いをもってかえりみざるをえない。私たちの現代史がある。(…)

●安江良介氏評、『信濃毎日新聞』1993年4月17日付「今日の視角」より抜粋。



## 第五巻 敗戦〔下〕

四六判上製 618頁 3200円 ISBN4-8461-8832-9 C0021

「沖縄島は一木一草焦土と化せん。沖縄県民かく戦えり」と海軍守備隊は訣別電を打つ。遂に戦争を断念した天皇は国体護持のための「終戦」を決意。皇族会議で「たのむたのむ」と結束を訴え、「聖断」のシナリオを演ずる。(1988.5)

### 【内容構成】

- 第一章 沖縄
- 第二章 ヒトラーの最期
- 第三章 攻囲された日本
- 第四章 「和平」工作
- 第五章 ポツダム
- 第六章 「聖断」神話
- 第七章 敗戦



## 第六巻 占領

四六判上製 274頁 2000円 ISBN4-8461-9043-9 C0021

美本なし

「聖断神話」の流布、軍隊の武装解除、初の皇族内閣の組織など「国体護持」のため必死の工作が進められる中で、占領軍が進駐し、降伏文書が調印され、東条ら戦犯が逮捕される。遂に天皇はマッカーサー元帥を訪問する。(1990.10)

### 【内容構成】

- 第一章 武装解除
- 第二章 進駐
- 第三章 降伏文書調印
- 第四章 マ元帥訪問



## 第七巻 延命

四六判上製 342頁 2500円 ISBN4-8461-9255-5 C0021

裕仁天皇は、天皇制と自らの延命を賭け、短波放送に耳をそばだて連合国の動向を探る。そして木戸内大臣ら宮中グループと対策を練り次つぎと手を打っていく。しかし、米国本土を中心に戦争責任追及の声が高まってくる。(1992.2)

### 【内容構成】

- 第一章 改憲への深謀
- 第二章 天皇を救う人びと
- 第三章 内大臣府廃止
- 第四章 戦犯と天皇
- 第五章 藩屏たちの運命



## 第八巻 象徴

四六判上製 509頁 3600円 ISBN4-8461-9364-0 C0021

新憲法作成をめぐる保守・革新勢力、政府とGHQの攻防の中、宮中グループは、天皇制の延命と護持に向けて、必死の工作を続ける。象徴天皇の成立への波乱のドラマは頂点を迎える。昭和天皇の実像に迫り、その戦争責任を問う大河ドキュメント遂に完結！(1993.3)

### 【内容構成】

- 第一章 神格
- 第二章 神性の否定
- 第三章 緊急電
- 第四章 天皇の戦い
- 第五章 象徴
- 第六章 巡幸のなかで
- 第七章 不訴追



### 『ドキュメント 昭和天皇』書評 10年の歳月挑んだ労作

この大河ドキュメントは、事実をもって語らしめながら、その関係の根幹を衝く大労作である。無謀ともいえるこの全八巻の「昭和史」に独力で挑戦した著者に惜しめない拍手を送りたい。

第1巻を「侵略」と題して始めた著者が、第8巻の「象徴」を、東京裁判における天皇不起訴で終えたのは、ここが「戦後天皇史の最初の切れ目」であり、このあと、舞台は第2幕に移り、「そこで役者も替わり、装置も照明も新しくしなければならぬ。天皇さえも新しい仮面を被って出てこなければならぬ」からである。

「天皇裕仁の政治的なディテールにこだわる方

法論』によって書かれたこのドキュメントで一貫しているのは、昭和天皇の戦争責任の追及である。

著者は第3巻の「崩壊」で、敗色濃くなった昭和19年8月5日に、天皇が参謀総長の杉山元に、「米軍をピシャリと叩くことは出来ないのか」と言ったのを引く。昭和天皇を平和主義者と呼ぶ人間が少なくないが、こうした発言はそのイメージをくつがえすものだろう。

第5巻の「敗戦（下）」では、いわゆる終戦の「聖断」についても、事実を示して疑問を投げかけている。この大著は読みごたえをもって読者に天皇制への再考を迫るものである。

●佐高信氏評、『信濃毎日新聞』1993年5月9日付より抜粋。

# 日本軍性奴隷制を裁く(全6巻)

2000年女性国際戦犯法廷の記録

VAWW-NET Japan編・揃18700円



## 第1巻 戦犯裁判と性暴力

内海愛子・高橋哲哉責任編集、  
VAWW-NET Japan 編  
四六判上製 335頁 2800円  
ISBN4-8461-0006-5 C0030

強かんや強制売春はれっきとした戦争犯罪である。過去の戦犯裁判は戦時下での女性への性暴力をどう裁いたのか。本書は、過去の戦犯裁判だけでなく、現在の各国における紛争時の人権侵害をも明らかにし、ジェンダーの視点から問い直す。(2000.5)



## 第2巻 加害の精神構造と戦後責任

内海愛子・高橋哲哉責任編集、  
VAWW-NET Japan 編  
四六判上製 320頁 2800円  
ISBN4-8461-0010-3 C0030

戦争という異常な状況の中で、兵士達はなぜ、あのような残虐行為に走ってしまうのか? 第1巻に続き、加害者の倫理と戦後責任を問う。(2000.8)



## 第3巻 「慰安婦」・戦時性暴力の実態 I

内海愛子・高橋哲哉責任編集、  
VAWW-NET Japan 編  
四六判上製 352頁 3000円  
ISBN4-8461-0017-0 C0030

従軍「慰安婦」制度の分析に加え、日本・台湾・朝鮮の各地における実態を实地調査をもとに明らかにする。北朝鮮における実態も報告。(2000.11)

☆



## 第4巻 「慰安婦」・戦時性暴力の実態 II

内海愛子・高橋哲哉責任編集、  
VAWW-NET Japan 編  
四六判上製 335頁 3400円  
ISBN4-8461-0022-7 C0030

従軍「慰安婦」制度の分析に加え、中国・東南アジア・太平洋の各地における証言を地道な調査で掘り起こし、その被害と加害の実態を詳細に検証している。(2000.12)



## 第5巻 女性国際戦犯法廷の全記録 I

内海愛子・高橋哲哉責任編集、  
VAWW-NET Japan 編  
四六判上製 388頁 3400円  
ISBN4-8461-0206-8 C0030

戦時・性暴力不処罰の悪循環を断ち切るため、被害女性の期待に応え、国際的な民間法廷として開廷された日本軍性奴隷制(「慰安婦」制度、戦時性暴力)を裁く2000年女性国際戦犯法廷。本書は法廷の記録と意義を収録した前編。(2002.5)



## 第6巻 女性国際戦犯法廷の全記録 II

内海愛子・高橋哲哉責任編集、  
VAWW-NET Japan 編  
四六判上製 388頁 3900円  
ISBN4-8461-0207-6 C0030

戦時性暴力不処罰の悪循環を断ち切るため、被害女性の期待に応え、国際的な民間法廷として開廷された女性国際戦犯法廷。法廷の資料が膨大となり1巻に収めきれず、やむなく2巻に分け、本書では主に判決を中心に収録。(2002.7)



### 『女性国際戦犯法廷』書評 女性グループが国際的に連携

(...) 法廷は1昨年、東京で開催され、昭和天皇と日本政府の責任を認定し、日本よりも海外のメディアから注目された。日本ではNHK

が法廷などを基に番組を放送したが、法廷の主催者側は判決を報じなかったなどとして東京地裁に提訴、NHKと係争している。

シリーズ最終の第6巻は法廷に提出された起訴状と判決全文を英語から翻訳し収録。(…)

●『東京新聞』2002年10月6日付より。

# カルチャー・ドキュメント



## バウハウス モダン・デザインの源流

竹原あき子著  
四六判上製 332頁 2800円  
ISBN978-4-8461-2303-1 C0070

第一次世界大戦の敗戦国ドイツの廃墟から、忽然と立ち上がったモダン・デザインの工芸美術学校、バウハウス。

バウハウスは、モダン・デザインの思想と教育指針を世界に蒔き、世界のデザインをリードし、現代産業デザインにも大きく貢献した。ヒトラーとスターリンの弾圧によってやむなく閉校しても、現代デザインに影響を与え続けたバウハウス 100年の軌跡を追う。(2023.5)

### [内容構成]

バウハウス—特別な時代の特別な学校／バウハウスの人々／バウハウス以前／ワイマー

ルからデッサウへ／「ハウス・アム・ホルン」のデザイン／もう一つのバウハウスモスクワ／「ブフテマサー〇〇歳」「バウハウス一〇〇歳」／ごった煮のバウハウス／最高の人材輸出、バウハウス／「メイド・イン・イングランド」と「メイド・イン・ジャーマニー」の争い／モダンへの掛け橋／芸術不在、アート砂漠のイギリス／イギリスのモダン／二つのユートピア／芸術家村／モダンへの一歩、シンプルとクリア／出遅れたフランスのモダン／モンドリアン／裝飾ナシの素材へ／「ヴァイセンホーフ・ジードルング」へ／ウエルクブント・シュトゥットガルトの丘／空間のモダン／コルビュジエのモダン／世界のバウハウス／日本人留学生／ペリアンと山荘で／ドイツ家電戦争／家電は女性を解放したか／モダンと女性、モードが先行したモダン／女性解放の住宅のゆくえ／規格化—戦争か平和か  
年表



## 袖が語れば

竹原あき子著  
A5判並製 224頁 3600円  
ISBN978-4-8461-1912-6 C0070

中世には床に届くほど華麗で長かった、日本の着物の袖。その袖に導かれて奈良、長安、サマルカンド、コンスタンチノーブル、ローマ、フィレンツェに旅した。「T」の字をなすアジアの袖の時空を超える旅に、終わりは無い。注目に値する袖の文化史！ (2019.8)



## 国境の北と日本人

藤巻光浩著  
四六判並製 256頁 2000円  
ISBN978-4-8461-1901-0 C0095

旧樺太豊原、ロシア兵から逃れるため日本人はバスに乗り込み点呼を受けたが、朝鮮戸籍の彼はバスを降ろされた……サハリン、アイヌモシリ、青森——近代日本の「国境」の北への旅。コロニアルな記憶を辿る旅から見てきた「日本」と「日本人」の自画像。(2019.1)



## フミ物語

### 想い出の足利デパート

小沢君江著  
四六判並製 128頁 1400円  
ISBN978-4-8461-1810-5 C0095

大正・昭和の激動の時代、栃木県の小都市、足利で、当時めづらしかったデパートを創設した女性の一代記。末っ子で、パリで45年間日本語新聞を発行し続ける著者が、商売一筋に生きた母を中心に、保守的な父、家族への想いを語る。(2018.6)



## 沈黙の環

### 版画家・木原康行と私たちのパリ物語

木原千珂著  
小沢君江協力  
四六判並製 248頁 2200円  
ISBN978-4-8461-1506-7 C0095

聴力を失いながらも、パリで画と版画に命を削り、フランス画家版画家協会の正会員に選ばれるなど、銅版画で高い評価を受けるようになった木原康行。本書は、妻で画家でもある千珂が、連れ添った60年の日々を振り返って綴った、ある家族の物語。(2015.5)



**一台の黒いピアノ…  
未完の回想**

バルバラ著／小沢君江訳  
四六判並製 216頁 1800円  
ISBN978-4-8461-1312-4 C0098

シャンソンの女王、バルバラ。その波乱の人生をはじめて綴った本書、未完の自伝が人びとに強い衝撃を与えたのは、父親による「インセスト＝近親姦」の思い出が語られたことだった。一台の黒いピアノとともに生きたバルバラの生涯…… (2013.5)



**それは6歳からだった  
ある近親姦被害者の証言**

イザベル・オブリ著  
小沢君江訳  
四六判上製 296頁 2500円  
ISBN978-4-8461-1202-8 C0036

実父や祖父などによる子どもへの近親姦は、想像以上に多い。本書はフランスで初めて国際近親姦被害者協会を設立して、問題に取り組む著者が、6歳の時に実父から近親姦をうけ、14歳になるまで性交などを強要された、自らの赤裸々な半生を語る。 (2012.3)

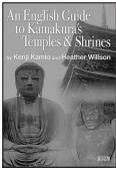
\*



**四十年パリに生きる  
オヴニーひと筋**

小沢君江著  
四六判並製 272頁 2000円  
ISBN978-4-8461-1325-4 C0095

憧れのパリに40年も前に渡り、今もパリで生きる日本人女性がいる。パリの日本語新聞「オヴニー (OVNI)」を、フランス人の夫とともに作り続ける女性である。1974年の日本語ミニコミ誌創刊から40年、彼女が、自身の波瀾万丈で痛快な人生を語る！ (2013.3)



**An English Guide to  
Kamakura's Temples & Shrines**

by Kenji Kamio and Heather Willson  
B 6 判並製 184頁 1500円  
ISBN978-4-8461-0811-3 C0026

鎌倉のすべての寺と神社の歴史と仏像など見どころを写真付きで完全ガイド！ 各エリアの地図、歩き方、コースタイム付きで丁寧な作られた、初の本格的な英語版鎌倉ガイドブック。 (2008.7)



『バウハウス』書評  
**現代デザインに影響を与え続けたバウハウス百年の軌跡を追う**

最早、伝説となったバウハウスの崇拜者は後を絶たない。思想的モダン・デザインは終焉し、直感的カワイイ・デザインが主流だという主張もまた、モダン・デザインの呪縛から逃れられない。モダン・デザインとはそれ程、甘くない。先日、授業でヒトラーのポスターがどれだけモダンなのかを調べたら、限りなく社会主義国のような扇動に満ち溢れていたことに驚く。ナチスが勝利したのであれば、ヒトラーが弾圧したバウハウス、即ちモダン・デザインはその時に絶え、今日のデザインは全く異なるものになっていたのだらう。バウハウスを讃える書物を読むと、どうしても尻すぼみになり、過去の栄光になってしまっている。

このような傾向のなかで、本書は現代デザインに影響を与え続けたバウハウス百年の軌跡を追っている。非常に説得力のある思想である。三一章にも分かれる目次には、バウハウス以前、もう一つのモスクワのバウハウス、イギリスの

モダン、フランスのモダン、モンドリアン、コルビュジェのモダン、ドイツ家電戦争、家電は女性を解放したが、モード、女性解放のゆくえといった、意外なキーワードに満ち溢れている。三〇〇頁余りの本書に詰め込んでいるのではなく、それが流れるように描かれているので、内容は薄くなく、説得力がある。末尾のたった二頁の年譜にも、その簡潔さが示されている。

私が本書を読んで何よりも学んだのは、当時に生活している人々の様子である。限られた紙面なので、簡素な引用をお許し願いたい。「モダン・デザインを育んだのは、戦争という悲劇の代償であり、未来への不安がなかったら、過去を捨てよう、過去から逃れてモダンというまだ見ぬ世界に飛びこもうと、若者が奮起するわけがない」(二〇頁)。ここまでは誰でも書ける。竹原の優れている点は、「バウハウスが、重点を置いていた初期の表現主義から方向を変えたのは、バウハウスの教育内容を市民に分らせるには単純なほうが効果的だったからでもある」(二五頁)という一文を傍らに書いている点にある。… 【宮田徹也・嵯峨美術大学客員教授】

●『図書新聞』2023年10月28日号

【あ】

I T革命の虚構 (クリティカル・サイエンス⑤).....71  
 アイヌ共有財産裁判.....59  
 アイヌ近現代史読本 [増補改訂版].....58  
 アイヌ差別問題読本 [増補改訂版] (Q&A).....59  
 アイヌの遺骨はコタンの土へ.....58  
 アウト・オブ・コントロール (世界が見た福島原発災害④).....12  
 赤と緑.....15  
 あされる裁判と裁判員制度 (Q&A).....93  
 朝日連峰の自然と保護.....22  
 アジア・オセアニア (世界の環境問題 第8巻) 45  
 アジア小農業の再発見.....86  
 アジアの環境破壊と日本 (日本の公害 第十三巻).....47  
 アジアの眼.....85  
 足尾・水保・ビキニ (日本の公害 第四巻) 46  
 あなたの「町内会」総点検 [三訂増補版] (Q&A).....76  
 アニマルライト犬との暮らし方全書 (Q&A⑧).....39  
 危ないオール電化住宅 [増補改訂版] (Q&A).....33  
 危ない携帯電話 [増補改訂版] (Q&A).....34  
 危ない住基ネット.....57  
 危ない抵当証券.....95  
 危ないリニア新幹線.....33  
 安倍・小池政治の虚飾(横田一の現場直撃・1).....92  
 アベノメディアに抗う.....98  
 新たなる戦前.....95  
 歩く民主主義.....96  
 アメリカの暗殺者学校.....90  
 アレギーの人の家造り [増補二訂版] (Q&A).....75  
 安全な暮らし方事典.....43  
 安保「再定義」と沖縄.....100  
 An English Guide to Kamakura's Temples and Shrines.....109

【い】

イアブック「核軍縮・平和2014」.....101  
 イアブック「核軍縮・平和2015-17」.....102  
 イアブック「核軍縮・平和2018」.....102  
 イアブック「核軍縮・平和2019」.....102  
 「慰安婦」・戦時性暴力の実態Ⅰ (日本軍性奴隷制を裁く 第3巻).....107  
 「慰安婦」・戦時性暴力の実態Ⅱ (日本軍性奴隷制を裁く 第4巻).....107  
 イーゼス・アショアの争点.....100  
 石原慎太郎が総理大臣になったら.....94  
 イスラム国の反乱.....89  
 イタリアの協同組合.....68  
 一台の黒いピアノ.....109  
 一無教会キリスト者のあゆみ.....66  
 遺伝子組み換えイネの襲来(クリティカル・サイエンス④).....43  
 遺伝子組み換え企業の脅威 [増補版].....41  
 遺伝子組み換え食品入門 [増補改訂版] (Q

& A).....41  
 遺伝子組み換え食品の危険性 (クリティカル・サイエンス①).....43  
 遺伝子組み換え食品の争点(クリティカル・サイエンス③).....43  
 遺伝子組み換えナタネ汚染(クリティカル・サイエンス⑥).....41  
 遺伝子操作時代の権利と自由.....36  
 生命 (いのち).....36  
 いのち・女たち・連帯 (世界が見た福島原発災害③).....12  
 イラク占領.....90  
 医療現場は今.....80  
 飲料水・海水汚染 (日本の公害 第十巻).....47

【う】

ウォーター・ウォーズ.....19  
 ウクライナ停戦と私たち.....88  
 失われた日本の景観.....21  
 海 (自然保護事典②).....24  
 海・川・湖の放射能汚染.....4  
 海に消えた星の王子さま.....84  
 海の記憶.....21  
 海の放射能汚染.....4  
 埋立問題の焦点.....24

【え】

A I 裁判.....56  
 永遠の絶滅収容所.....85  
 エイリアン・スピーシーズ.....24  
 Xジェンダーって何?.....61  
 エコ社会主義とは何か.....14  
 エコロジから自治へ.....15  
 エコロジーとマルクス主義.....15  
 エコロジーの歴史.....19  
 エコロジカルな暮らし方.....19  
 エコロジスト宣言.....15  
 エネルギー倫理命法.....13  
 「LGBT」ヒストリー.....60  
 冤罪と国家賠償.....55  
 沿線住民は眠れない.....50  
 延命 (昭和天皇 第七巻).....106

【お】

古い路遙かなり.....81  
 O-157と無菌社会の恐怖.....43  
 小笠原が救った鳥.....21  
 教えて! ガス化溶融炉 (Q&A).....29  
 教えて! バイオハザード (Q&A).....37  
 汚染水海洋放出の争点.....1  
 お世継ぎ問題読本 (Q&A).....103  
 ODAダムが沈めた村と森.....25  
 重い扉の向こうに.....103  
 終りなき狂牛病.....39  
 終りのない惨劇.....11

【か】

海外メディアが報じる真実 (世界が見た福島

原発災害①)……………	12	牛乳をめぐる10の神話……………	40
「解雇・退職」対策ガイド [三訂増補版] (Q & A) ……	68	「教育改革」を撃つ……………	95
介護保険活用ガイド……………	76	狂牛病……………	39
開戦 (昭和天皇 第二巻)……………	105	行政監視本人訴訟マニュアル……………	94
解放の宗教へ……………	66	共謀罪は廃止できる……………	56
買物難民を救え……………	96	恐竜の道を辿る労働組合……………	69
花王「アタック」はシャツを白く染める……………	76	極地・カナダ・中南米 (世界の環境問題 第6巻) ……	44
香りブームに異議あり……………	75	虚構に基づくダム建設……………	25
加害の精神構造と戦後責任 (日本軍性奴隷 制を裁く 第2巻)……………	107	金日成後の朝鮮半島……………	86
化学災害……………	28	<b>【く】</b>	
科学・技術倫理とその方法……………	13	空港公害 (日本の公害 第八巻)……………	47
科学者の社会的責任を問う……………	8	草の根から経済システムをつくる……………	86
化学毒物マヒ……………	75	崩れゆく文民統制……………	100
化学物質過敏症対策 (Q & A)……………	79	暮らしの中の電磁波測定……………	33
化学物質過敏症の暮らしと住まい (Q & A) ……	78	クリーニング業界の裏側……………	75
化学物質過敏症の原因と対策……………	74	クルーハウスの秘密……………	88
化学防災読本 (Q & A)……………	27	クルマが鉄道を減らした [増補版]……………	51
隠された携帯基地局公害……………	33	グローバルな正義を求めて……………	17
隠された人災……………	27	<b>【け】</b>	
核燃料サイクルの黄昏 (クリティカル・サ イエンス②)……………	6	経済学入門コース……………	94
核の地獄を超えて (世界が見た福島原発 害⑥)……………	12	刑事事件お助けガイド……………	54
核の時代70年……………	16	携帯電話でガンになる!?……………	33
核のない未来を願って……………	7	激動の朝鮮半島……………	86
核廃棄物は人と共存できるか……………	6	欠陥住宅被害・対応マニュアル……………	77
核被害の歴史……………	8	欠陥住宅をつかまない法……………	77
核問題の隠された真実……………	1	ゲノム操作・遺伝子組み換え食品入門 (Q & A)……………	40
家事事件手続ハンドブック……………	73	ゲノム操作食品の争点……………	40
カネミ油症 過去・現在・未来……………	28	健康食品は効かない!?……………	41
金持ちが地球を破壊する……………	16	健康を脅かす電磁波……………	34
G A F A という悪魔に……………	83	検証アベノメディア [増補版]……………	99
カルテがないC型肝炎患者の闘い……………	78	検証・ガス化溶融炉 [増補版]……………	29
がれき処理・除染はこれでよいのか……………	4	検証・カネミ油症事件……………	28
がん患者が共に生きるガイド……………	81	検証・小池都政……………	93
環境危機はつくり話か……………	19	検証・ダイオキシン汚染……………	30
環境教育とは何か……………	64	検証・大規模林道……………	21
環境行政の岐路 (日本の公害 第十一巻) ……	47	検証・統一協会=家庭連合……………	66
環境庁 (日本の公害 第二巻)……………	46	検証・リゾート開発 [東日本篇]……………	23
環境を破壊する公共事業……………	23	検証・リゾート開発 [西日本篇]……………	23
ガン`告知、から復帰まで (Q & A ⑩) ……	81	原子力市民年鑑 2018-20……………	8
監獄法改悪……………	55	原子力市民年鑑 2023……………	7
がんサバイバル……………	81	原子力防災の虚構……………	1
カンボジアPKO……………	101	現代と朝鮮 [上]……………	86
カンボジアPKO違憲訴訟……………	101	原発再稼働と海……………	3
<b>【き】</b>		原発時代の終焉……………	8
危険な食品・安全な食べ方 (Q & A)……………	42	原発大国とモノリザ……………	10
岸田政権の正体 (横田一の現場直撃・2) ……	91	原発に抗う……………	9
気候パニック……………	19	原発の即時廃止は可能だ……………	6
記者クラブ……………	99	原発の底で働いて……………	10
北朝鮮とは何か……………	86	原発のない未来が見えてきた……………	2
「基地・軍隊」と私たちの安全 (Q & A) ……	100	原発は終わった……………	3
希望を捨てない市民政治……………	96	原発は地球にやさしいか (Q & A)……………	5
逆転の教育……………	64	原発は日本を減らす……………	8
9・11事件は謀略か……………	89	原発は減りゆく恐竜である……………	10
9・11事件の矛盾……………	89	原発避難はできるか……………	2
		原発フェイドアウト……………	3
		原発閉鎖が子どもを救う……………	5

原発問題の争点	4
憲法を生きる人びと	92
権利に基づく闘い	96
<b>【こ】</b>	
高圧線と電磁波公害 [増補改訂版]	35
香害入門 (Q & A)	74
公害の激化 (日本の公害 第一巻)	46
公共事業締出しに勝訴	21
高血糖は万病の元	79
高速増殖炉の恐怖 [三訂増補版]	5
高速増殖炉もんじゅ事故	6
交通公害 (日本の公害 第九巻)	47
公務員の個人責任を追及する法	93
国際利権を狙うPKO	101
「国鉄改革」を撃つ	51
告発・原子力規制委員会	8
告発・電磁波公害	33
ここが危ない!アスベスト [新装版] (Q & A)	80
55歳からの生き方教室 (Q & A⑥)	77
個人情報保護法の狙い	57
個人情報を守るために (Q & A)	57
戸籍って何だ [増補改訂版] (Q & A)	54
国境の北と日本人	108
国権と民権	95
国立感染症研は安全か	37
この身が灰になるまで	84
ゴミ問題の焦点 [増補版]	30
コリンズとラインの微生物学実験法 [第8版]	36
これでいいのか高速道路	51
これでいいのか首都機能移転	94
これなら勝てる市民運動 (Q & A)	97
コロナ収束のための処方箋	78
根絶!ヘイトとの闘い	53
<b>【さ】</b>	
再生可能エネルギーの問題点	18
在日「外国人」読本 [三訂増補版] (Q & A)	54
裁判の中の天皇制	104
ザ・ラスト・グレート・フォレスト	23
サリドマイド事件全史	80
サリドマイド事件日誌	82
惨事ストレス	80
<b>【し】</b>	
Jアラートとは何か	92
JRに未来はあるか	50
死刑廃止と拘禁刑の改革を考える	53
時効なき戦争責任 [増補版]	104
時刻表が薄くなる日	48
地すべり災害と行政責任	28
次世代へつなぐ地域の鉄道	48
自然史思想への招待	19
自然保護の神話と現実	19
持続可能な交通へ	50
シックスクール問題と対策	32
実は危険なダイオキシン	29
自動運転の幻想	50
自動車事故・対応マニュアル	77
自動車の社会的費用・再考	48

死の電流	35
死の灰の下で (世界が見た福島原発災害②)	12
資本主義からの脱却	16
市民のための疫学入門	42
市民のための道路学	50
社会運動ユニオニズム (国際労働問題叢書3)	72
宗教名目による悪徳商法	67
10代からのセイファースセックス入門 (Q & A)	61
自由と統制	95
自由な学びが見えてきた	65
自由な学びとは	65
住民自治で未来をひらく	97
住民税非課税制度活用術	73
首都圏の公害 (日本の公害 第六巻)	46
主役に育つエコ・エネルギー	46
「障害者」と街で出会ったら [増補改訂版] (Q & A)	63
象徴 (昭和天皇 第八巻)	106
職場いびり	69
“職場のいじめ”労働相談	68
食品汚染読本	42
食品添加物から身を守る (Q & A)	40
食不安は解消されるか	42
植物誌入門	22
植民学の記憶	58
食料主権	42
女性国際戦犯法廷の全記録 I (日本軍性奴 隷制を裁く 第5巻)	107
女性国際戦犯法廷の全記録 II (日本軍性奴 隷制を裁く 第6巻)	107
白神山地の入山規制を考える	22
資料「君が代」訴訟	104
シールズ選挙〈野党は共闘!〉	93
新型コロナ禍の交通	49
新型コロナのエアロゾル感染 (上)	79
新型コロナのエアロゾル感染 (下)	79
新型コロナワクチン その実像と問題点	79
新共謀罪の恐怖	56
新 在日韓国・朝鮮人読本 (Q & A)	54
新・白神山地—森は蘇るか	22
新世紀の労働運動 (国際労働問題叢書 2)	72
新台湾の奇跡	86
新 電磁波・化学物質過敏症対策 (Q & A)	33
新東京タワー	34
新同性愛って何? (Q & A)	60
新・なぜ脱原発なのか? (Q & A)	3
新・部落差別はなくなったか? [改訂版] (Q & A)	53
新・ヤマザキパンはなぜカビないか	41
新・水俣まんだら	28
侵略 (昭和天皇 第一巻)	105
<b>【す】</b>	
スキー場はもういらぬ	24
杉並病公害	30
スーパーマンは来ぬ	18
スマートシティーの脅威	31
スマートメーターの何が問題か	32

[せ]

西欧（世界の環境問題 第2巻）……………44  
 政界の仕掛人 亀井静香放言録……………94  
 生活保護獲得ガイド [改訂新版]……………75  
 政治が歪める公共事業……………23  
 政治的エコロジーとは何か……………14  
 政治的エコロジーの歴史……………14  
 青春を奪った統一協会……………67  
 生殖医療の何が問題か……………80  
 生態学的債務……………16  
 性同一性障害って何？ [増補改訂版] (Q&A) ……61  
 性同一性障害と戸籍 [増補改訂版] (Q&A) ……61  
 性なる聖なる生……………61  
 生物多様性と食・農……………42  
 性別違和・性別不合へ……………60  
 生命操作事典……………37  
 生命特許は許されるか……………37  
 世界一素敵な学校 [改訂新版]……………64  
 世界食料戦争 [増補改訂版]……………42  
 世界のマフィア……………90  
 世界は脱クルマ社会へ……………51  
 石油資源の支配と抗争……………90  
 石油の隠された貌……………90  
 絶対に訴えてやる！……………70  
 戦火・自由そして死……………93  
 戦後期の地方自治……………97  
 全国監獄実態 [四訂版]……………55  
 戦争責任 過去から未来へ……………104  
 戦争の家 [上]……………84  
 戦争の家 [下]……………84  
 「戦争の記憶」その隠蔽の構造……………104  
 戦争の翌朝……………90  
 戦争はいかに地球を破壊するか……………17  
 喘息・花粉症・アトピーを絶つ……………76  
 先端産業社会の夢と現実……………71  
 戦犯裁判と性暴力（日本軍性奴隷制を裁く  
 第1巻）……………107  
 前立腺がん予防法 [改訂新版]……………80  
 占領（昭和天皇 第六巻）……………106  
 占領は終わっていない……………93

[そ]

総合開発（日本の公害 第五巻）……………46  
 相続・遺言対策ガイド……………73  
 増補改訂 遺伝子組み換え食品……………43  
 総点検・リニア新幹線（Q&A）……………32  
 袖が語れば……………108  
 それは6歳からだった……………109

[た]

ダイオキシン汚染地帯……………30  
 ダイオキシンは怖くないという嘘……………29  
 大規模開発（日本の公害 第七巻）……………46  
 大規模林道はいらぬ……………22  
 大疑問・交通取締り（Q&A⑨）……………77  
 胎児と乳児の内部被ばく……………4  
 大雪山のナキウサギ裁判……………24  
 大統領チャベス……………84  
 「逮捕・起訴」対策ガイド……………55

逮捕・拘禁セキュリティ（Q&A①）……………55  
 脱原発・脱炭素社会の構想……………7  
 脱原発の経済学……………14  
 脱原発の市民戦略……………14  
 脱ダムから緑の国へ……………26  
 「たばこ病」読本（Q&A）……………81  
 WTO——シアトル以後……………85  
 WWF黒書……………21  
 ダムとの闘い……………25  
 誰でもわかる電磁波問題……………34  
 誰のためのWTOか？……………85

[ち]

地域と自治の復権……………97  
 地域を変える市民自治……………96  
 地域における鉄道の復権……………49  
 チェコスロバキア 東欧のエコロジー（シ  
 リーズ東欧革命①）……………87  
 チェルノブイリ人民法廷……………11  
 チェルノブイリと福島……………5  
 チェルノブイリの嘘……………9  
 チェルノブイリの惨事 [新装版]……………11  
 チェルノブイリの犯罪 [上巻]……………9  
 チェルノブイリの犯罪 [下巻]……………9  
 地球環境の危機（日本の公害 第十二巻）…47  
 地球環境問題と人類の未来（世界の環境問  
 題 第11巻）……………45  
 中国（世界の環境問題 第7巻）……………44  
 中朝国境都市・丹東を読む……………83  
 中東・アフリカ（世界の環境問題 第9巻）…45  
 中・東欧（世界の環境問題 第3巻）……………44  
 調査報道……………99  
 諜報ビジネス最前線……………84  
 沈黙の環……………108

[つ]

堤義明との5700日戦争……………97

[て]

DNA鑑定 [増補改訂版]……………55  
 デイゼル車公害……………51  
 低線量内部被曝の脅威……………5  
 定年からの生活マニュアル……………77  
 T P Pの何が問題か……………93  
 デジタル公害……………34  
 鉄道は誰のものか……………50  
 鉄の壁 [第二版] [上巻]……………89  
 鉄の壁 [第二版] [下巻]……………89  
 転形期の日本労働運動……………69  
 電磁波汚染と健康 [増補改訂版]……………32  
 電磁波過敏症 [増補改訂版]……………32  
 電磁波過敏症を治すには [増補改訂版]……………31  
 電磁場からどう身を守るか……………35  
 電磁波はなぜ恐いか [増補改訂版] (Q&A) ……35  
 電磁波による健康被害……………32  
 電磁波の何が問題か [増補改訂版]……………32  
 天皇制に挑んだ一七〇〇人……………104  
 電波メディアの神話……………99  
 電力改革と脱原発……………13  
 電力改革の争点……………13

電力線電磁場被曝……………	35	日本を壊す国土強靱化……………	28
<b>【と】</b>		日本を潰すアベ政治……………	92
ドイツ環境教育教本……………	65	乳幼児ワクチンと発達障害 [増補改定版]・79	79
ドイツと北欧 (世界の環境問題 第1巻) ……	44	<b>【ね】</b>	
問い直す差別の歴史 (Q & A)……………	55	捏造されるエコテロリスト……………	86
問い直す東京裁判……………	104	熱帯雨林コネクション……………	21
問い直す「部落」観 (Q & A)……………	54	<b>【の】</b>	
統一協会合同結婚式の手口と実態……………	67	農と食の政治経済学……………	95
統一協会信者を救え……………	67	農と食の戦後史……………	40
どう考える? 生殖医療 (Q & A)……………	80	<b>【は】</b>	
東京五輪がもたらす危険……………	8	パート・アルバイトのトラブル対処術 (Q & A)……………	70
東京湾アクアラインの検証……………	51	パートナーシップ・生活と制度 [増補改訂版] (Q & A)……………	60
どう超えるのか? 部落差別 (Q & A ⑩) ……	55	バイオパイヤラシー……………	19
東西ドイツを超えて……………	87	バイオハザード原論……………	36
どうする旧国鉄債務……………	51	バイオハザード裁判……………	37
どうする? 鉄道の未来 [増補改訂版] (Q & A) ……	50	配偶者暴力対策ガイド……………	76
どうする? 放射能ごみ [増補改訂新版] (Q & A) ……	4	敗戦 [上] (昭和天皇 第四巻)……………	105
同性パートナー生活読本 (Q & A)……………	61	敗戦 [下] (昭和天皇 第五巻)……………	106
どう創る循環型社会……………	30	ハイテク食品は危ない [増補版] (Q & A) ……	43
東大闘争と原発事故……………	10	灰の中から……………	90
東電の核惨事……………	11	バウハウス……………	108
どうなくす? 部落差別 (Q & A)……………	54	働く女性のお助け本 (Q & A ⑬) ……	70
動物工場……………	39	破綻したブルトニウム利用……………	5
動物の権利・人間の不正……………	38	85年体制とは何か……………	95
動物の権利論入門……………	39	85年体制への序章……………	95
どう身を守る? 放射能汚染……………	5	ボックス……………	61
道路の現在と未来……………	49	派兵国家日本の進路……………	100
ドキュメント クロム公害事件……………	28	バリアフリー入門 (Q & A)……………	63
ドキュメント チェルノブイリ [新装版] ……	11	パリ・エコと減災の街……………	83
所沢ダイオキシン報道……………	30	パリから見た被災の世紀……………	27
屠殺……………	39	反核シスター……………	17
途上国支援と環境ガイドライン……………	85	ハンガリー 東欧の民族問題 ブルガリア (シリーズ東欧革命②)……………	87
図書館づくり運動実践記……………	77	反原発運動四十五年史……………	8
ドナルド・トランプ物語……………	83	反原発運動マップ……………	11
どんぐりの森から……………	10	<b>【ひ】</b>	
<b>【な】</b>		ビーガン食の栄養ガイド……………	38
仲間とはじめる「会社」ブラン (Q & A ⑦) ……	70	ビーガンという生き方……………	38
ナショナル・トラストの軌跡……………	23	PKO派兵……………	101
ナショナル・トラストの軌跡Ⅱ……………	21	PKO問題の争点 [増補版]……………	101
ナショナル・トラストの誕生……………	23	ピース・アクション・ハンドブック……………	101
ナショナル・トラストへの招待……………	23	ピース・アルマナック 2020……………	102
ナショナル・トラストへの招待 [改訂カラー版]……………	20	ピース・アルマナック 2021……………	102
なぜ遺伝子組み換え作物に反対なのか……………	41	ピース・アルマナック 2022……………	102
なぜ即時原発廃止なのか……………	4	ピース・アルマナック 2023……………	102
なぜダムはいらないのか……………	26	非除染地帯……………	9
成田空港って何だろう [新装版]……………	51	非対称な脱冷戦 1990～2020……………	88
難民を追いつめる国……………	85	人クローン技術は許されるか……………	37
<b>【に】</b>		ひとりで闘う労働紛争 (Q & A)……………	68
ニームとは何か [増補改訂版]……………	18	ひとりでできる行政監視マニュアル……………	94
日産自動車の盛衰……………	69	ひとりで闘える労働組合読本 [三訂増補版] (Q & A)……………	69
ニッポン原子力帝国 (世界が見た福島原発災害⑦)……………	12	「日の丸」「君が代」「元号」考 (Q & A) ……	104
日本 (世界の環境問題 第10巻)……………	45	百年のチャランケ……………	59
日本型ワークス・コープの社会史……………	69	「表現の不自由展」で何があったのか……………	98
日本の武器生産と武器輸出……………	100		
日本の労働組合 (国際労働問題叢書 1) ……	72		

平松・大分県政の検証	94
ビルケナウからの生還	84
<b>【ふ】</b>	
5 Gクライシス	31
ファブリーズはいらない [増補改訂版]	76
福島原発事故の謎を解く	9
フクシマの荒廃	9
フクシマ・フォーエバー (世界が見た福島原発災害⑤)	12
フミ物語	108
フランサフリック	85
フランス人ジハーディスト	89
フランス人の新しい孤独	83
プラスチックごみ問題入門 (Q & A)	74
プラトニウム	2
<b>【へ】</b>	
米国 (世界の環境問題 第5巻)	44
米国自動車工場の変貌	70
米国の科学と産産学複合体	86
弁護士・藤田一良	93
ペンの自由を貫いて	99
変貌する世界の緑の党	13
<b>【ほ】</b>	
崩壊 (昭和天皇 第三巻)	105
崩壊したごみサイクル	29
亡国の国賊・安倍晋三 (横田一の現場直撃 3)	91
放射性廃棄物	4
放射線規制値のウソ	5
放射線被曝の隠蔽と科学	2
放射線被曝の争点	3
放射能を喰らって生きる	9
放射能汚染の拡散と隠蔽	3
放射能に負けないレシピと健康法	3
放射能は人類を減らす	3
暴走を続ける公共事業	94
報道圧力	98
防犯カメラによる冤罪	56
ホームスクーリングに学ぶ	65
僕の街に「道路怪獣」が来た	50
僕らはまだテレビをあきらめない	98
ボケない食べ方 [改訂新版]	80
ポスト・グローバル社会の可能性	16
ポスト・コロナ社会を考える (Q & A)	78
「北方領土問題」読本 (Q & A)	93
ホメオパシー医学哲学講義	81
本州のクマゲラ	24
本人訴訟ハンドブック [増補改訂版]	73
<b>【ま】</b>	
マイナンバーは監視の番号	56
万人坑を訪ねる	103
<b>【み】</b>	
水戦争	24
緑の政策事典	15
緑の政策宣言	14
緑のダム。の保続	26
水俣病闘争の軌跡	28

身の回りの電磁波被曝	32
未来は緑	14
<b>【む】</b>	
むだで危険な再処理 (Q & A)	6
<b>【め】</b>	
名医の追放	79
メタルヘルスの労働相談	69
<b>【も】</b>	
モラル・ハラスメント	54
森友・国有地払下げ不正の構造	92
<b>【や】</b>	
薬害エイズ事件の真相	79
薬害・食品公害 (日本の公害 第三巻)	46
野生生物保全事典	22
ハッ場ダムと倉渕ダム	25
山と森林 (自然保護事典① [増補版])	24
<b>【ゆ】</b>	
有機農業大国キューバの風	85
雪印の落日	42
ユニオン・バスター	69
ユビキタス社会と電磁波 (Q & A)	34
許されるのか? 安楽死 (Q & A)	81
<b>【よ】</b>	
よみがえれ! 清流球磨川	26
四十年バりに生きる	109
<b>【ら】</b>	
ラムズフェルド	84
<b>【り】</b>	
リニアが壊す南アルプス	20
リニアはなぜ失敗したか	20
リベラリズムはどこへ行ったか	92
<b>【る】</b>	
ルーカス・ブラン	70
ルポ 東尋坊	92
ルポ・東北の山と森	22
ルポ・日本の川	26
ルポ「日の丸・君が代」強制	103
<b>【れ】</b>	
レインボー・フォーラム	61
歴史物語り私の反原発切抜帖	10
レ・タン・モデルヌ50周年記念号	86
<b>【ろ】</b>	
労働安全衛生とハラスメント	68
労働者の対案戦略運動	70
労働のメタモルフォーズ	70
ロシアと旧ソ連邦諸国 (世界の環境問題 第4巻)	44
論争・宗教法人法改正	67
<b>【わ】</b>	
ワーカーズ・コレクティブ	70
私こそ私の主治医	81
私たちが中国でしたこと [増補改訂版]	103
私たちの仲間	63
わたしの消費者運動	97
湾岸戦争と海外派兵	101

---

## 『昭和天皇』 広告拒否訴訟で小社が中日新聞社に逆転勝訴

「昭和天皇の戦争責任を鋭く問う」という広告文が「時節柄まずい。右翼を刺激する。広告企画の趣旨に合わない」などの理由で、出版広告の掲載を拒否された緑風出版が、昭和天皇の死亡直後の1989年1月18日、中日新聞社を相手取って契約不履行による損害賠償を求めている事件で、東京高等裁判所（小川英明裁判長）は、一審判決を変更、同社に賠償を命じる逆転判決を去る（94年）2月28日、言い渡した。

小社は、中日新聞社が発行する東京新聞1月18日付別刷『昭和史』特集保存版へ「ドキュメント昭和天皇」（田中伸尚著、全八巻）、の広告出稿を同社広告局から直接勧誘を受け、これに応じた。ところが、ゲラ校正が済んだ後になって、昭和天皇の死亡直後の異様な`追悼・自粛、ムードに畏怖した同社が、「右翼のウォッチャーがしっかりみているから困る」など冒頭の理由を言い立てて、突然、広告掲載を拒否してきたため、小社が東京地裁に訴えていた。この時、同様の理由で同紙に拒否された出版社が、他に二社あった。

91年11月26日の第一審判決は、広告契約の成立自体を認めず、小社の請求が棄却されたため、これを不服として控訴していた。高裁判決は、「遅くとも広告文が最終的に決定された」時点、つまり小社のゲラの責任校了の時点で契約が成立したと認定した上で「控訴人（緑風出版）と被控訴人（中日新聞社）との間で控訴人が主張するとおり広告掲載契約が成立したものであるべきであり、被控訴人は、同月18日発行の『昭和史』特集保存版に『ドキュメント昭和天皇』の広告を掲載しなかったものであるから、控訴人に対し債務不履行の責任を免れないものというべきである」と判示し、一審判決を全面的に否定した。

また、「被控訴人は、本件広告の掲載を拒絶した理由として、本件企画の趣旨は昭和天皇の追悼をすることであり、本件広告文は右趣旨に合わなかったからであると主張する。しかし、仮に被控訴人において本件企画をそのように予定していたとしても、本件企画書には、そのような趣旨の記載はなく、他に本件契約成立前に被控訴人から控訴人に対しその趣旨を伝えたことを認めるに足る証拠はなく、かえって証人西田の証言及び控訴人代表者尋問の

---

結果によれば、西田を含む被控訴人の社員等も控訴人代表者に対し、最後に（中略）本件広告を掲載できない旨を連絡する際に、本件企画が右趣旨のものであることを告げるまでそのことを一切言っていないことが認められるのであって、本件広告の掲載契約が成立した後になってその掲載を拒絶することを正当化しうるものではなく、被控訴人は、これによって債務不履行の責任を免れ得るものではない」と断じ、小社の主張を認めた。その上で一審判決を変更し、中日新聞社に1万5000円の支払いを命じた。

請求額は大幅に減額されたものの、1円でもとれれば勝ちという裁判で、小社の主張が全面的に認められた逆転勝訴であった。

裁判は債務不履行による損害賠償請求事件という形をとりながら、実は「昭和天皇の戦争責任を鋭く問う」という広告文を理由に、出版広告の掲載を拒否できるのかという言論、表現の自由の問題が問われていた。それは同時に、日本出版学会会長で、ピンクチラシ裁判の弁護人でもあった清水英夫氏が「出版の自由は印刷、広告から流通まで確保されて初めて成り立つ」（『朝日新聞』1989年2月26日付読書欄）と語るように、出版の自由と天皇制とのせめぎあいでもあった。そして、読者の立場に立ってみれば、広告を通じて出版物を知るという知る権利が侵されたという問題でもある。「『東京新聞』のこの別刷特集は、国民統合の象徴である昭和天皇の崩御に際して発行される日本有数の日刊紙の特集であるという性質上、一般社会通念上からも、社会慣行上からも、国民の総意を踏まえ、天皇追悼の趣旨を根底とする企画であったことは明らかである」（被控訴人準備書面第五）などという主張を、中日新聞社は繰り返した。

この裁判は、日本の新聞マスコミが天皇制に対してどのようなスタンスをとっているかを、改めて白日の下に晒した、内外二千万人の死に直接に責任のある昭和天皇の戦争責任を問えないジャーナリズムが、はたしてジャーナリズムの名に値するのであるか？

（『図書新聞』1994年4月4日付より転載）

\*附記／完敗した中日新聞社は結局、上告を断念、緑風出版の勝訴が確定した。

## \*小社刊行物のご購入方法\*

- 全国どの書店でもご購入いただけます。
- 店頭がない場合は、なるべく**最寄りの書店**を通じてご注文下さい。
- お急ぎの場合は直接、電話・ファックス（下記FAX購入申込書に、書店へのお届けか、直送かをお選びの上お送りください）でお申し込み下さい。また、Eメール（info@ryokufu.com）か、小社ホームページ（URL <https://ryokufu.com/>）からのご注文も承っております。その際、**書名・注文部数、及び、ご氏名・郵便番号・ご住所・お電話番号**をお知らせ下さい。
- 直送を希望される場合は、何冊でも1回につき**代引き料込みの送料350円**（全国一律）が加算されます。 **代金 = (目録記載の定価 + 税 [10%]) + 送料350円**
- 電子書籍でもご購入できます。小社HPの「電子書籍購入のご案内」をご覧ください。

----- キリトリ線 -----

FAX購入申込書 (FAX03-3812-7262)		* 1. 書店お届け 2. 直送
書 名	定 価	注 文 冊 数
ご氏名 ( 歳)	取次店・番線 (小社にて記入)	
ご住所 〒		
TEL ( )		
書店名・所在地 (書店お届けご希望の場合のみ記入)		
		TEL ( )

キリトリ線

現代を探索する



緑風出版

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-17-5 ツイン寺岐坂  
TEL03-3812-9420 / FAX 03-3812-7262  
URL : <http://www.ryokufu.com/>